

ごみの減量化・リサイクル及び  
適正処理に関する市民・事業所意識調査  
結果報告書

平成31年3月



<集計結果に関する注意事項>

○端数処理の関係により、合計が100%とならない場合がある。

○複数選択可の設問についても、回答者数を分母として割合を計算しているため、回答割合の合計は100%とならない。

## 目 次

第1章 意識調査の概要.....	1
1. 意識調査の実施概要.....	1
(1) 調査の趣旨.....	1
(2) 調査対象.....	1
(3) 調査方法・期間.....	1
(4) 回収状況.....	1
2. 調査票等.....	2
(1) アンケート依頼文（市民用）.....	2
(2) アンケート調査票（市民用）.....	4
(3) アンケート依頼文（事業所用）.....	14
(4) アンケート調査票（事業所用）.....	15
3. 発送及び回収状況.....	24
(1) 市民用.....	24
(2) 事業所用.....	25
第2章 市民意識調査結果.....	26
I. 回答者の属性.....	26
1. 年齢.....	26
2. 職業.....	27
3. 世帯人数.....	28
4. 住居形態.....	29
5. 居住年数.....	30
II. アンケート回答集計結果.....	31
1. 現在のごみ排出、減量、リサイクルへの取組について.....	31
(1) 「第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の認知について.....	31
(2) 「生活ごみ」について.....	32
(3) 資源物の分別について.....	34
(4) 各種資源物の出し方と出す頻度.....	49
(5) ごみ減量・リサイクルの取組（複数回答）.....	53
(6) その他取り組んでいるごみ減量・リサイクル行動.....	55
(7) ごみ減量・リサイクルに関する情報を知る方法（複数回答）.....	56
2. 現在の市の取組について.....	58
(1) 市が行っている取組の実施・利用について.....	58

(2) 「ごみ減量化推進員制度」の認知度について.....	61
3. ごみ処理について.....	62
(1) ごみ処理の一律サービスについて.....	62
(2) ごみ減量やリサイクルに対する姿勢について.....	63
(3) 分別品目を増やした場合の対応について.....	64
(4) 焼却灰は大阪湾フェニックスに埋め立てられることを知っているか.....	65
(5) 堺市の施設の老朽化が進み整備が必要なことを知っていたか.....	66
4. 今後のごみ処理行政について.....	67
(1) 今後、本市に希望する取組について（複数回答）.....	67
(2) 取組を市が知らせる方法について希望するものは何か（複数回答）.....	73
(3) 災害発生時にごみ処理に関する重要な情報は何か（複数回答）.....	75
(4) 災害発生時に市が知らせる方法について希望するものは何か（複数回答）.....	77
(5) ごみ減量やリサイクル推進のために必要な取組（自由意見）.....	79
(6) 市へのご意見、ご要望（自由意見）.....	85
Ⅲ. 市民意識調査結果.....	91
1. 現在のごみ排出、減量、リサイクルへの取組について.....	91
2. 現在の市の取組について.....	92
3. ごみ処理について.....	92
4. 今後のごみ処理行政について.....	92
第3章 事業所意識調査結果.....	93
Ⅰ. 回答事業所の属性.....	93
1. 業種.....	93
2. 事業形態.....	95
3. 従業員数.....	97
4. 事業用大規模建築物の指定.....	98
Ⅱ. アンケート回答集計結果.....	99
1. ごみの排出と処理・リサイクル状況について.....	99
(1) 「第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の策定を知っていたか.....	99
(2) ごみの排出量や分別、処理方法について.....	101
(3) 分別していない理由（複数回答）.....	135
(4) 5年前と比べたごみ排出量の変化.....	137
(5) 今後のごみ排出量の変化予測.....	139

2. ごみ減量・リサイクルについて .....	141
(1) ごみ減量・リサイクルに関する方針を定めているか（複数回答） .....	141
(2) ごみ減量・リサイクルに関する方針等の作成・公表の有無 .....	144
(3) ごみ減量に取り組む責任者設置の有無 .....	146
(4) ごみ減量・リサイクルに関する情報の入手先（複数回答） .....	148
(5) ごみ減量・リサイクルに関する研修会等の実施について（複数回答） .....	151
(6) ごみ減量・リサイクルに関する具体的な取組（複数回答） .....	154
(7) 周辺事業所と共同での効率的な収集について .....	157
(8) 地域におけるまちの美化活動・ごみ減量活動への取組 .....	159
3. 市のごみ行政について .....	161
(1) 3種類の排出方法があるのを知っているか（複数回答） .....	161
(2) 許可業者の費用に市に支払う処理手数料が含まれることを知っているか .....	164
(3) 「事業系古紙回収協力事業所制度」を知っているか .....	166
(4) 事業用大規模建築物を所有する事業者への制度 .....	168
4. 今後のごみ処理行政について .....	172
(1) 清掃工場に搬入される資源化可能な資源物の分別協力 .....	172
(2) 生ごみの減量化・リサイクルについて .....	174
(3) 市に求める周知施策（複数回答） .....	176
(4) その他導入してほしい施策（複数回答） .....	179
(5) 今後のごみ行政に求めることは？（自由意見） .....	182
Ⅲ. 事業所意識調査結果考察 .....	185
1. ごみの排出と処理、リサイクル状況について .....	185
2. ごみ減量・リサイクルについて .....	185
3. 市のごみ行政について .....	186
4. 今後のごみ処理行政について .....	186



## 第1章 意識調査の概要

### 1. 意識調査の実施概要

#### (1) 調査の趣旨

平成28年3月に策定した「第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画※」が平成32年度に改定年度を迎えるにあたり、第3次基本計画策定前（前回調査：平成25年度）からの市民・事業所意識の変化や、各種取組に対する認識・浸透度、ごみの減量化等への取組状況、今後の廃棄物行政への要望等を把握することを目的として実施した。

※廃棄物処理法に基づき、市が長期的な視点に立って、ごみの発生抑制及び適正処理等に関する基本的事項を定めた計画

#### (2) 調査対象

- 市民意識調査：18歳以上かつ堺市在住の個人2,000人  
(区別人口を勘案した無作為抽出)
- 事業所意識調査：堺市内2,000事業所  
(業種や事業所規模を考慮した無作為抽出)

#### (3) 調査方法・期間

郵送による調査

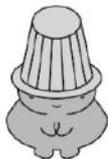
平成30年12月15日（調査票送付）～平成31年1月11日（回答期限）

#### (4) 回収状況

- 市民意識調査：最終回答件数…624件（回収率31.2%）
- 事業所意識調査：最終回答件数…593件（回収率29.7%）

## 2. 調査票等

### (1) アンケート依頼文（市民用）



堺市環境マスコット  
キャラクター「ムーヤン」

## ごみの減量化・リサイクル及び適正処理に関する 意識調査へのご協力をお願い

アンケート調査をお願いする市民の皆様へ

平素は、本市廃棄物行政にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

さて、本市では、ごみの減量化・リサイクル及び適正処理に関する長期計画である「第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」改定の基礎資料とするため、前回調査（平成25年度）からの市民の皆様の意識の変化や各種取組に対する認識・浸透度等を把握したいと考えております。

ご多忙のこととは存じますが、十分な調査結果を得るため、多くの市民の皆様のお答えが必要ですので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成30年12月

堺 市

#### ■調査のあつかい

1. 本アンケートは、市民の皆様の中から、**無作為で2,000名の方**にお送りしています。
2. **無記名**でお答えいただけますので、**どなたのお答えかは、わからない**ようになっており、統計的（「〇〇」と答えた人は△△%でしたというような表現）に処理します。
3. この調査は、上記の**目的以外に使用することはありません**。

#### ■記入上の注意

1. 原則として、**あて名のご本人**がお答えになってください。
2. お答えは、ボールペンや鉛筆などで**あてはまるものの番号又は記号にハッキリと〇印**をつけてください。

#### ■調査票の回収

記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**1月11日（金）まで**に郵便ポストにご投函ください（**切手は不要です**）。

#### ■謝礼品（シャーペン、らくがきちょう）の贈呈

お答えいただいた方を対象に、謝礼品を贈呈します。ご希望の方は、同封しておりますラベルに、謝礼品の**あて先（郵便番号、住所、氏名）**を記入のうえ、調査票とともに返信用封筒に入れてください。

#### 【問合せ先】

堺市環境局 環境事業部  
環境事業管理課（担当：高橋）  
電話：072-228-7478 FAX：072-229-4454

#### 【調査委託会社】

株式会社東京商工リサーチ  
堺支店（担当：佐川）  
電話：072-275-8701 FAX：072-222-8766



### 第3次ごみ処理基本計画のあらましと現在の状況

#### ● ごみ処理基本計画ってなに？

市民や事業者がだすごみ（一般廃棄物）について、ごみの減量化、適正処理に関する取組や目標等を定めた基本的な計画です。

#### ● 第3次基本計画ではどんなことを決めているの？

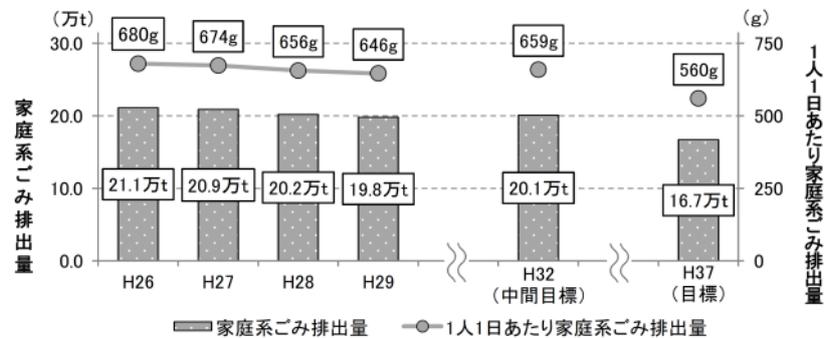
第3次基本計画では、平成28年度から平成37年度までの10年間を計画期間とし、ごみの排出抑制及びその発生から最終処分に至るまでの適正な処理を進めるための基本的な方向性や、ごみの減量化・リサイクルの目標値を定めています。

また、第3次基本計画に掲げる各施策の進捗管理を毎年行っています。

#### ● 堺市のごみはどんな状況なの？

1人1日あたりの家庭から出るごみの量は近年減少傾向であり、平成29年度は646グラムと、平成32年度の中間目標を前倒して達成しています。しかし、平成37年度の目標560gに向けて更なるごみの減量・リサイクルが必要なため、ご協力をよろしくお願いします。

また、平成29年度のごみ処理経費（収集運搬＋焼却処理＋埋立処分）は年間1人あたり9,059円となっています。



#### ● 家庭で分別したごみはどうやって処理しているの？

生活ごみ、粗大ごみ、蛍光管などと資源（缶・びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、小型金属、使用済小型家電、古紙類（美原区のみ））に分けて収集しています。

蛍光管などを除くごみは、清掃工場で焼却（熔融）した後、発生した灰は埋め立て、熔融して発生したスラグなどはリサイクルしています。

また、資源は品目ごとに選別し、異物を除いた後、再生資源化事業者でリサイクルしています。

より詳しい内容は堺市ホームページへ

【基本計画】[https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/gyosei/shishin/kankyo/gomi\\_recy/haikibutsu\\_kihon3/index.html](https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/gyosei/shishin/kankyo/gomi_recy/haikibutsu_kihon3/index.html)

## (2) アンケート調査票（市民用）



率直なご意見を聞かせて

### アンケート調査票（市民用）

#### 1. 現在のごみ排出、減量、リサイクルへの取組について

- (1) 本市では、平成28年3月に「第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」を策定し、平成37年度までのごみ削減計画等を定めております。この計画の策定をご存じですか。該当するもの1つだけに○をしてください。

1. 計画の策定を知っていた                      2. 計画の策定を知らなかった

- (2) 市が収集を行っている「生活ごみ」について、お尋ねします。

- ① 排出する頻度はどのくらいですか。該当するもの1つだけに○をしてください。

1. 週に2回（収集日どおり）    2. 週に1回                      3. 2週間に1回  
4. 月に1回                          5. その他（                      ）

- ② 排出する量は1回あたりどのくらいですか。該当するもの1つだけに○をしてください。

1. 45ℓごみ袋2袋以上            2. 45ℓごみ袋1袋程度            3. レジ袋2袋程度  
4. レジ袋1袋程度                  5. レジ袋半分以下

- (3) 市が分別収集を行っている資源物等について、分別の状況や考え方についてお尋ねします。

#### ア. 「缶・びん」（月2回収集）について



- ① どの程度分別をしていますか。該当するもの1つだけに○をしてください。

1. いつもしている → 「イ. プラスチック製容器包装」の設問へお進みください  
2. 大体している  
3. ときどきしている  
4. ほとんどしていない  
5. 全くしていない
- } 下記②の設問にお答えください。

- ② ①で2～5の選択肢をお答えの方にお尋ねします。分別をしないときの理由は何ですか。該当するものすべてに○をしてください。

1. 分別があることを知らなかった                      2. リサイクルの必要性がわからない  
3. 手間がかかる（どこが面倒ですか：                      ）  
4. 出し方、分け方がわからない                          5. 収集曜日がわからない  
6. 洗うための水がもったいない                          7. 捨てたいときに捨てられない  
8. その他（具体的に：    ）

イ.「プラスチック製容器包装」(週1回収)について



① どの程度分別をしていますか。該当するもの1つだけに○をしてください。

- |                                     |                   |
|-------------------------------------|-------------------|
| 1. いつもしている → 「ウ. ペットボトル」の設間へお進みください | } 下記②の設間にお答えください。 |
| 2. 大体している                           |                   |
| 3. ときどきしている                         |                   |
| 4. ほとんどしていない                        |                   |
| 5. 全くしていない                          |                   |

② ①で 2~5 の選択肢をお答えの方にお尋ねします。分別をしないときの理由は何ですか。  
該当するものすべてに○をしてください。

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1. 分別があることを知らなかった      | 2. リサイクルの必要性がわからない |
| 3. 手間がかかる (どこが面倒ですか: ) |                    |
| 4. 出し方、分け方がわからない       | 5. 収集曜日がわからない      |
| 6. 洗うための水がもったいない       | 7. 捨てたいときに捨てられない   |
| 8. その他 (具体的に: )        |                    |

ウ.「ペットボトル」(月2回収)について



① どの程度分別をしていますか。該当するもの1つだけに○をしてください。

- |                                   |                   |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. いつもしている → 「エ. 小型金属」の設間へお進みください | } 下記②の設間にお答えください。 |
| 2. 大体している                         |                   |
| 3. ときどきしている                       |                   |
| 4. ほとんどしていない                      |                   |
| 5. 全くしていない                        |                   |

② ①で 2~5 の選択肢をお答えの方にお尋ねします。分別をしないときの理由は何ですか。  
該当するものすべてに○をしてください。

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1. 分別があることを知らなかった      | 2. リサイクルの必要性がわからない |
| 3. 手間がかかる (どこが面倒ですか: ) |                    |
| 4. 出し方、分け方がわからない       | 5. 収集曜日がわからない      |
| 6. 洗うための水がもったいない       | 7. 捨てたいときに捨てられない   |
| 8. その他 (具体的に: )        |                    |

エ.「小型金属」(月1回収集)について



① どの程度分別をしていますか。該当するもの1つだけに○をしてください。

- |   |                   |
|---|-------------------|
| 1. いつもしている → 「オ. 蛍光管、乾電池、水銀体温計等」の設問へお進みください |                   |
| 2. 大体している                                   | } 下記②の設問にお答えください。 |
| 3. ときどきしている                                 |                   |
| 4. ほとんどしていない                                |                   |
| 5. 全くしていない                                  |                   |

② ①で2~5の選択肢をお答えの方にお尋ねします。分別をしないときの理由は何ですか。該当するものすべてに○をしてください。

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 分別があることを知らなかった     | 2. リサイクルの必要性がわからない |
| 3. 手間がかかる(どこが面倒ですか: ) |                    |
| 4. 出し方、分け方がわからない      | 5. 収集曜日がわからない      |
| 6. 捨てたいときに捨てられない      |                    |
| 7. その他(具体的に: )        |                    |

オ.「蛍光管、乾電池、水銀体温計等」(拠点回収)について



① どの程度分別をしていますか。該当するもの1つだけに○をしてください。

- |                             |                   |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. いつもしている → (4)の設問へお進みください |                   |
| 2. 大体している                   | } 下記②の設問にお答えください。 |
| 3. ときどきしている                 |                   |
| 4. ほとんどしていない                |                   |
| 5. 全くしていない                  |                   |

② ①で2~5の選択肢をお答えの方にお尋ねします。分別をしないときの理由は何ですか。該当するものすべてに○をしてください。

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 分別があることを知らなかった     | 2. 分別の必要性がわからない |
| 3. 手間がかかる(どこが面倒ですか: ) |                 |
| 4. 出し方、分け方がわからない      | 5. 回収場所がわからない   |
| 6. 捨てたいときに捨てられない      |                 |
| 7. その他(具体的に: )        |                 |

(4) 下表の各資源物の出し方と出す頻度についてお尋ねします。

「ア. 出し方」については、該当するものすべてに○をしてください。

「イ. 出す頻度」については、全体でどのくらいの頻度になるか該当するもの1つだけに○をしてください。

資源物	ア. 出し方								イ. 出す頻度			
	市の「生活」み」収集	市の各資源物 <sup>※1</sup> の収集	市の「粗大ごみ・不燃小物類」収集	市の拠点回収	自治会等での集団回収	廃品回収業者等 <sup>※2</sup> の引き取り	の店頭回収	スーパーや家電量販店等	その他(直接市の清掃工場へ持ち込み等)	週に1回以上	月に2回程度	月に1回程度
① 空き缶	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
② リターナブルびん (ビールびん、牛乳びんなど)	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
③ 上記②以外のびん	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
④ ペットボトル	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
⑤ 小型金属(鍋、やかん、はさみ、フライパン、包丁など)	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
⑥ 古布・古紙(新聞・雑誌・段ボールなど)	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
⑦ 牛乳パック	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
⑧ 小型家電(デジタルカメラ、携帯電話、音楽プレーヤーなど)	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
⑨ その他の家電(家電リサイクル法で定められている家電 <sup>※3</sup> 以外の家電)	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
⑩ 乾電池	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
⑪ ボタン電池	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
⑫ 充電式電池	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
⑬ 蛍光管	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
⑭ インクカートリッジ	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
⑮ 食品トレイ	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
⑯ 卵パック	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
⑰ てんぷら油	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4

※1 「缶・びん」「ペットボトル」「プラスチック製容器包装」「小型金属」「古紙類(美原区のみ実施)」の収集

※2 廃品回収業者が古紙や小型家電などをトラックで回収するもの及び廃品回収業者の回収拠点へ持ち込むもの

※3 家電リサイクル法で定められている家電: エアコン、テレビ(ブラウン管、液晶・プラズマ)、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機

(5) 次に挙げるごみ減量・リサイクルの取組みのうち、「ア. 普段から行っている」と「イ. 新たに取り組もうと考えている」に該当するものすべてに○をしてください。

取 組	ア. 普段から行っている	イ. 新たに取り組もうと考えている
① コンビニなどで使い捨てのストローや割り箸などを断る	1	2
② マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る	1	2
③ 過剰包装を断る	1	2
④ 不要なダイレクトメールを断る	1	2
⑤ マイ箸やマイボトルを持ち歩くなど、お店で使い捨て製品を使わないようにする	1	2
⑥ パックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ	1	2
⑦ 外食時に食べ残しをしないようにする	1	2
⑧ 家庭で「買った食材を使いきる、残さず食べきる、生ごみを出す前に水を切る」などにより生ごみを減らす	1	2
⑨ 詰め替え商品を購入する	1	2
⑩ 不要になった物をフリーマーケットやリユース（リサイクル）ショップ、ネットオークション等で売る	1	2
⑪ フリーマーケットやリユース（リサイクル）ショップ、ネットオークション等で買い物をする	1	2
⑫ 家電製品などが故障したときは修理をして、長期間使う	1	2
⑬ 古紙や古布などを地域の集団回収等に出す	1	2
⑭ ごみ（資源物）を分別している	1	2
⑮ 食品トレー・紙パックなどをスーパーの店頭回収に出す	1	2
⑯ 再生紙でできたトイレトペーパーなど、再生品を買う	1	2

(6) その他、取り組んでいるごみ減量・リサイクル行動がありましたらご記入ください。

(7) あなたがごみ減量化・リサイクルに関する情報を知る方法は何ですか。該当するものすべてに○をしてください。

- |                   |  |
|-------------------|--|
| 1. 広報さかい          | 2. 市役所等で配布するパンフレットやチラシ                             |
| 3. 堺市ホームページ       | 4. 回覧板   |
|                   | 5. ツイッターなどの SNS                                    |
| 6. ごみ分別アプリ「さんあ〜る」 | 7. 堺市ホームページ以外の関連サイト                                |
| 8. 廃品回収業者のチラシ     | 9. 新聞、テレビ、ラジオなど                                    |
| 10. 口コミ           | 11. その他（具体的に： <span style="float: right;">)</span> |

## 2. 現在の市の取組について

(1) 本市が行っている下表①～⑦の取組について、「ア. 実施・利用の有無」と「イ. 実施利用の意向」のそれぞれで該当するもの1つだけに○をしてください。また、⑥、⑦のアで4の選択肢をお答えの方は、利用していない理由すべてに○をしてください。

取組	ア. 実施・利用の有無					イ. 実施・利用の意向			
	いつもしている	よくしている	たまにしている	取組を知っているが、していない	取組を知らない	ぜひしたい	機会があればしたい	あまりしたいと思わない	全くしたいと思わない
① ごみの4R運動 ごみ減量のための行動として、Refuse（発生源でごみを断つ）、Reduce（ごみとなるものを減量する）、Reuse（くり返し使う）、Recycle（再資源化する）を推進する運動	1	2	3	4	5	1	2	3	4
② 「生きごみさん」講習会 環境にやさしい生ごみの処理方法である「生きごみさん」の方法についての講習会を行っています	1	2	3	4	5	1	2	3	4
③ 市内イベントでのブース設置 区民まつり等で、ごみ減量の啓発や、アンケート、リサイクル製品の展示などを行っています	1	2	3	4	5	1	2	3	4
④ 「どこでもセミナー」堺市生涯学習まちづくり出前講座の実施 市の職員が講師として各地域に出向き、ごみ問題に関する講演を行っています	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑤ 施設見学 クリーンセンター（ごみ焼却工場）やリサイクルプラザ（缶・びん選別施設）では施設見学を実施しており、ごみ問題の啓発と情報提供を行っています	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑥ 集団回収制度 自治会や子ども会などで自主的に行われている古紙や古布の集団回収に対し、報償金（1kgあたり4円）を交付しています	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑥-2 ⑥を利用していない理由 ⑥のアで4の選択肢をお答えした方にお尋ねします。利用しない理由を選択してください	1. 地域で実施していない 2. 出し方がわからない 3. 分別するのが面倒である 4. その他（具体的に： ）								
⑦ ごみ分別アプリ「さんあ〜る」 お住いの地域を設定することで、ごみ収集日をお知らせする機能や、出したいごみの品目名から分別方法を検索できる機能がついたアプリです	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑦-2 ⑦を利用していない理由 ⑦のアで4の選択肢をお答えした方にお尋ねします。利用しない理由を選択してください	1. 使いたい機能がない 2. 利用方法がわからない 3. 利用できる端末を持っていない 4. その他（具体的に： ）								

(2) 本市が行っているごみ減量化推進員制度\*について知っていますか。該当するもの1つだけに○をしてください。

\* ごみ減量・リサイクルを推進するため、地域のリーダーとして市と地域をつなぐ役割を担っていただく市民に対し、ごみ減量化推進員を委嘱している

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1. よく知っている   | 2. 少し知っている |
| 3. 名前だけ知っている | 4. 知らない    |

### 3. ごみ処理について

(1) ごみ減量に取り組んでいる人もそうでない人も一律のサービスとなっていることについてどう思いますか。該当するもの1つだけに○をしてください。

平成 29 年度ごみ処理経費\*は年間 1 人あたり 9,059 円だよ



\*ごみ処理経費とは、ごみ収集運搬・中間処理・埋立処分にかかる経費

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. ごみ減量に取り組んだ分のメリットはある方がよい           |
| 2. ごみ減量に取り組んでいる人には不公平感はあるだろうがこのままでよい |
| 3. 特に何とも思わないし、このままでよい                |
| 4. その他（具体的に： _____）                  |

(2) ごみ減量やリサイクルに対する姿勢について、以下の①～④それぞれであなたの考えに最も近いもの1つだけに○をしてください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
① ごみをなるべく少なくするために、物の購入や使い方を工夫する	1	2	3	4
② 出したごみがリサイクルされるように分別に協力する	1	2	3	4
③ 出したごみが最終的にどのように処理されるかまで関心をもつ	1	2	3	4
④ 市民の出すごみを処理するのは行政の責任であり、市民がごみ減量や分別に責任をもつ必要はない	1	2	3	4

- (3) 以下の①～③について分別収集の品目を拡充した場合、あなたは協力しようと思いませんか。それぞれ該当するもの1つだけに○をしてください。

品 目	ぜひ協力したい	できる範囲で協力したい	あまり協力できない	全く協力できない
① 古布・古紙 (新聞、雑誌、段ボールなど)	1	2	3	4
② 剪定枝(せんでいし) ※ 枝木等	1	2	3	4
③ プラスチック製品 (バケツ、おもちゃなど)	1	2	3	4

- (4) ごみを焼却した後の焼却灰は最終的に大阪湾の埋め立て地(大阪湾フェニックス)に埋め立てられていることをご存じですか。該当するもの1つだけに○をしてください。

1. 知っている      2. 知らなかった

- (5) 本市クリーンセンターの各施設は、全国の政令指定都市の中でも稼働率が高いうえ、竣工から40年以上経過している施設もあります。クリーンセンター各施設の老朽化が進行する中、整備が必要であることをご存じですか。該当するもの1つだけに○をしてください。

1. 知っている      2. 知らなかった

質問はあと少しだよ



#### 4. 今後のごみ行政について

- (1) 今後、本市に希望する取組についてお尋ねします。

- ① 分別等の周知や情報提供の取組について、希望するもの2つまで○をしてください。

1. 詳細な分別品目表の配布(分別に関する辞典等)  
 2. 市内で開催されるフリーマーケットやリユース(リサイクル)ショップの取扱品目、日時や場所等の情報提供  
 3. 家具や服飾品などのリフォームショップの情報提供  
 4. その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )

② ごみ減量・リサイクルへの取組について、希望するもの2つまで○をしてください。

1. インターネットで家具や服飾品などのリユースを仲介する事業
2. 不要となった家具や服飾品などを市が引き取り、市民へ販売する事業
3. 缶・びんなどを使用後、販売店に返却するとエコポイントが付く制度
4. 紙などの資源化可能なものを、市内の公共施設に持ち込める制度
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

③ ごみの処理施設の整備について、希望するもの2つまで○をしてください。

1. 市民の安全安心に配慮した施設整備
2. ごみ減量等、市民の環境活動の拠点となる機能が充実した施設整備
3. 災害時に発生する多量の廃棄物（家屋のガレキなど）への対応も可能な施設整備
4. エネルギーや資源を多く回収できる先進的な施設整備
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

(2) 上記のような新しい取組や既存の取組を市がお知らせする方法について、希望するもの2つまで○をしてください。

1. 広報さかい
2. 市役所等で配布するパンフレットやチラシ
3. 堺市ホームページ
4. 回覧板
5. ツイッターなどの SNS
6. ごみ分別アプリ「さんあ〜る」
7. 新聞折り込み
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

(3) 災害発生時のごみ処理に関する情報について、より重要と考えるもの2つまで○をしてください。

1. 生活ごみ等の収集再開予定日
2. 災害で破損したものやがれきの排出・分別方法
3. 災害ごみの仮置場の位置
4. 携帯トイレなどの生活ごみの排出方法
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

(4) 災害発生時のごみ処理に関する情報周知の方法について、希望するもの2つまで○をしてください。

1. テレビ、ラジオ、新聞など
2. 防災行政無線
3. 堺市のホームページ
4. 回覧板
5. ツイッターなどの SNS
6. ごみ分別アプリ「さんあ〜る」
7. 広報車
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

(5) その他、ごみ減量やリサイクル推進のために市が行う取組として、どのようなものが必要だと思いますか。ご提案がありましたらご記入ください。

(6) その他、本市へのご意見、ご要望等がありましたらご記入ください。

**最後に、あなたご自身についてお尋ねします**

以下の各項目について、該当するものに1つだけ○をしてください。

居住区	1. 堺区 2. 中区 3. 東区 4. 西区 5. 南区 6. 北区 7. 美原区
年代	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上
職業	1. 会社員 2. 公務員・団体職員 3. 自営業・事業主 4. 家事専業 5. パート・アルバイト・派遣社員・契約社員 6. 学生 7. 無職 8. その他（具体的に： ）
世帯人数	1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上
住居の形態	1. 持家一戸建て住宅 2. 持家一戸建て住宅（事務所や店舗と兼用） 3. 持家集合住宅（分譲マンションなど） 4. 市営・府営などの公営賃貸住宅 5. 民間の借家・賃貸アパート・マンション 6. 社宅・寮・官公舎 7. その他（具体的に： ）
堺市での 通算居住年数	1. 5年未満 2. 5年以上10年未満 3. 10年以上

ご協力ありがとうございました



### (3) アンケート依頼文（事業所用）

## ごみの減量化・リサイクル及び適正処理に関する 意識調査へのご協力をお願い

アンケート調査をお願いする事業者の皆様へ

平素は、本市廃棄物行政に格別のご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本市では、ごみの減量化・リサイクル及び適正処理に関する長期計画である「第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」改定の基礎資料とするため、前回調査（平成25年度）からの事業者の皆様意識の変化や各種取組に対する認識・浸透度等を把握したいと考えております。

ご多忙の中、誠に恐縮ではございますが、十分な調査結果を得るために多くのご協力が必要ですので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成30年12月

堺市

#### ■調査のあつかい

1. 本アンケートは、市内の事業所の中から、**無作為で2,000社**にお送りしています。
2. いただいたご回答は、統計的（「〇〇」と答えた事業所は△△%でしたというような表現）に処理するだけで、事業者を特定する内容を公表することはありません。
3. この調査は、上記の**目的以外に使用することはありません**。

#### ■記入上の注意

お答えは、ボールペンや鉛筆などで**あてはまるものの番号又は記号にハッキリと〇印**をつけてください。

#### ■調査票の回収

記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**1月11日（金）まで**に郵便ポストにご投函ください（**切手は不要です**）。

#### 【問合せ先】

堺市環境局 環境事業部  
環境事業管理課（担当：高橋）  
電話：072-228-7478 FAX：072-229-4454

#### 【調査委託会社】

株式会社東京商工リサーチ  
堺支店（担当：佐川）  
電話：072-275-8701 FAX：072-222-8766

より詳しい内容は堺市ホームページへ

【基本計画】[https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/gyosei/shishin/kankyo/gomi\\_recy/haikibutsu\\_kihon3/index.html](https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/gyosei/shishin/kankyo/gomi_recy/haikibutsu_kihon3/index.html)

(4) アンケート調査票（事業所用）

アンケート調査票（事業所用）

1. ごみ排出と処理・リサイクル状況について

- (1) 本市では、平成28年3月に「第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」を策定し、平成37年度までのごみ削減計画等を定めております。この計画の策定をご存じですか。該当するもの1つだけに○をしてください。

1. 計画の策定を知っていた  
2. 計画の策定を知らなかった

- (2) 貴事業所でのごみの排出量や分別、処理方法等についてお尋ねします。

ア. ごみの排出量について

事業系一般廃棄物の排出量を把握していますか。該当するもの1つだけに○をしてください。

1. 把握している  
2. 把握していない

イ. ごみの処理費用について

- ① 事業系一般廃棄物の処理にかかる費用を把握していますか。該当するもの1つだけに○をしてください。

1. 把握している → 下記の②③の設問にお答えください  
2. 把握していない → 設問ウへお進みください

- ② ①で「1. 把握している」をお答えの方にお尋ねします。費用はどのように算出されていますか。該当するもの1つだけに○をしてください。

1. 重量ごと                      2. 袋の数ごと                      3. 月極め（量や大きさによらない）

- ③ ①で「1. 把握している」をお答えの方にお尋ねします。費用の負担感はいかがですか。該当するもの1つだけに○をしてください。

1. かなり高い                      2. やや高い                      3. 妥当  
4. やや安い                      5. かなり安い

**ウ. ごみの種類について**

どのようなごみを排出していますか。下記の①～⑨ごみの種類から排出量が多い順に3つ選択してください。

多い順に番号をご記入ください

1		2		3	
---	--	---	--	---	--

→

**<ごみの種類>**

- ① 古紙（新聞、雑誌、段ボール、OA紙等）
- ② 紙くず（ちり紙、紙コップ等）
- ③ 生ごみ（料理くず、残飯、茶かす等）
- ④ プラスチック製容器包装（プラスチック製の弁当容器、包装材、レジ袋等）
- ⑤ 缶・びん、ペットボトル
- ⑥ 木くず（木ぎれ等）
- ⑦ 古繊維（古着、古布等）
- ⑧ 繊維くず（木綿くず、羊毛くず等）
- ⑨ 金属類

**エ. ごみの分別について**

ごみの分別はされていますか。該当するもの1つだけに○をしてください。

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 分別している → 下記の設問オにお答えください |
| 2. 分別していない → 設問（3）へお進みください |

**オ. ごみの種類に応じた分別の有無及び処理方法について**

設問エで「1. 分別している」とお答えの方にお尋ねします。以下のごみの分別の有無及び処理方法について、該当するもの1つだけに○をしてください。

**① 焼却ごみ**

ア. 処理方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託 <sup>※1</sup> 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 貴事業所の処理施設で処理 4. 継続ごみ <sup>※2</sup> として市に収集を依頼 5. 産業廃棄物として処理している 6. その他（具体的に： _____）
---------	---

※1 市が許可した一般廃棄物収集業者（許可業者）に処理を委託すること  
※2 市が有料で収集しているもの

**② 生ごみ類**

ア. 分別の有無	1. はい      2. いいえ
イ. 処理方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 民間のリサイクル業者でリサイクル 4. 貴事業所の処理施設で処理 5. 継続ごみとして市に収集を依頼 6. 産業廃棄物として処理している 7. その他（具体的に： _____）





## 2. ごみ減量・リサイクルについて

(1) ごみ減量・リサイクルに関する方針を定めていますか。該当するものすべてに○をしてください。

1. 「ISO14001」の認証を取得している
2. 「エコアクション21」の認証を取得している
3. 運輸事業者を対象とした「グリーン経営認証」を取得している
4. その他のごみに関するマネジメントシステムの認証を取得している  
→ (取得している認証の名称： )
5. 独自の方針を定めている
6. 定めていない

(2) ごみ減量・リサイクルに関する方針、目標、計画や実施状況などをまとめた「環境報告書」(CSR 報告書：環境や社会的な取組をまとめた報告書)などを作成・公表していますか。また今後作成する予定はありますか。該当するもの1つだけに○をしてください。

1. 作成し公表している
2. 作成しているが公表していない
3. 今後作成する予定である
4. 今後も作成する予定はない
5. わからない

(3) 事業所内でごみ減量に取り組む責任者を定めていますか。該当するもの1つだけに○をしてください。

1. 専任の責任者を定めている
2. 他の役割(総務など)との兼務としている
3. 定めていない

(4) ごみ減量・リサイクルに関する情報で参考としているものすべてに○をしてください。

1. 堺市ホームページ、広報紙、パンフレットなど
2. ビル管理会社などからのお知らせ
3. 収集業者からのお知らせ
4. 同業種の組合、業界団体等からのお知らせや研修会
5. 新聞、テレビ、ラジオなどの放送番組
6. 堺市ホームページ以外の関連サイト
7. 口コミ
8. その他(具体的に： )
9. 特に参考としているものはない

(5) 従業員に日頃からごみ減量・リサイクルに関する研修会等を実施していますか。該当するものすべてに○をしてください。

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 自社で定期的実施している           | 2. 自社で必要に応じて(不定期に)実施している |
| 3. 外部の研修会やシンポジウム等に参加させている |                          |
| 4. その他(具体的に: )            |                          |
| 5. 何もしていない                |                          |

(6) ごみ減量・リサイクルに関してどのような取組を行っていますか。該当するものすべてに○をしてください。

- |  |
|--|
| 1. ごみ減量・リサイクルを事業所内に呼びかけている                 |
| 2. ごみ減量・リサイクルのマニュアルを作成している                 |
| 3. ごみ問題について検討する組織を設置している                   |
| 4. 取引先や納入業者に簡易包装や通い箱(繰り返し使用できる箱)の使用を依頼している |
| 5. ペーパーレス化を推進している                          |
| 6. その他(具体的に: )                             |
| 7. 特に取り組んでいない                              |

(7) 資源化の取組について、事業所間のネットワーク(オフィス町内会など)を構成するなど、周辺事業所と共同(ビル単位や商店街単位など)での効率的な収集について取り組んでいますか。該当するもの1つだけに○をしてください。

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 共同での効率的な収集方法に取り組んでいる        |
| 2. 共同での効率的な収集方法に取り組む準備をしている    |
| 3. 共同での効率的な収集方法を知っているが取り組んでいない |
| 4. 共同での効率的な収集方法自体を知らない         |

(8) 地域におけるまちの美化活動に取り組んでいますか。今後、取り組もうと思いますか。該当するもの1つだけに○をしてください。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 積極的に取り組んでいる   | 2. できる範囲で取り組んでいる |
| 3. 今後、取り組むつもりである | 4. 今後も取り組むつもりはない |
| 5. わからない         |                  |

### 3. 市のごみ行政について

- (1) 市内の事業者が事業系一般廃棄物を排出する際には、「継続ごみ<sup>※1</sup>」「許可業者への委託<sup>※2</sup>」「直接搬入<sup>※3</sup>」の3種類の排出方法があることをご存じですか。該当するものすべてに○をしてください。

※1 市が有料で収集している方法

※2 市が許可している堺市一般廃棄物収集運搬許可業者（許可業者）に委託する方法

※3 排出事業者自らが清掃工場へ搬入する方法

- |         |               |
|---------|---------------|
| 1. 継続ごみ | 2. 許可業者への委託   |
| 3. 直接搬入 | 4. いずれも知らなかった |

- (2) 許可業者に支払うごみ処理費用の中に、許可業者が市の処理施設へ支払う「処理手数料<sup>※</sup>」が含まれていることをご存じですか。該当するもの1つだけに○をしてください。

※ 100 kgあたり 1,100 円（破砕機を使用するものは 100 kgあたり 1,700 円）

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

- (3) 本市では、平成 30 年 4 月から更なる古紙のリサイクル推進のため「事業系古紙回収協力事業所制度<sup>※</sup>」が始まりました。このような制度があることをご存知ですか。該当するもの1つだけに○をしてください。

※ 事業所で不要になった OA 紙などの古紙を、事業系古紙回収協力事業所の営業時間内であれば、自由に持ち込むことができる制度

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

- (4) 本市では、事業用大規模建築物<sup>※</sup>を所有する事業者を対象として、ごみの減量化・リサイクル及び適正処理の推進のため、廃棄物管理責任者の設置及び減量計画書作成を義務付けています。

※ 事業の用に供される延床面積が 3,000 m<sup>2</sup>以上の建築物、および大規模小売店舗については店舗部分の延床面積が 1,000 m<sup>2</sup>を超える事業所

- ① このような制度があることをご存じですか。該当するもの1つだけに○をしてください。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

- ② 今後、この制度についてどうお考えですか。該当するもの1つだけに○をしてください。

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1. 推進・拡充すべき  | 2. 現状のまま進めていくべき |
| 3. 廃止又は縮小すべき | 4. わからない        |

#### 4. 今後のごみ処理行政について

- (1) 本市の清掃工場に搬入されるごみには資源化可能と考えられる紙ごみなどの資源物が多く見られます。このことについて、どうお考えですか。該当するもの1つだけに○をしてください。

1. できる限り資源物は分別するなど、リサイクルに協力したい
2. 資源物の回収料金が清掃工場への持ち込み料金より安い場合は、分別してリサイクルに協力したい
3. 分別はできない

- (2) 生ごみの減量化・リサイクルについてどうお考えですか。該当するもの1つだけに○をしてください。

1. 多少費用や手間がかかっても取り組みたい
2. 現在のごみ処理費より安く済むなどのメリットがあれば取り組みたい
3. 生ごみの減量化・リサイクルはできない

- (3) 今後、事業系ごみ減量・リサイクルを促進するために、本市に求める周知施策はどのようなものですか。重要だと思ふものすべてに○をしてください。

1. 法律や条例等の規制に関する情報提供
2. 収集業者や処理業者に関する情報提供
3. ニュースレターの配信
4. 講習会の開催
5. 事業所への出前研修会や相談員等の派遣
6. 優良事例の紹介
7. マニュアル等の情報提供
8. 古紙類や缶・びん・ペットボトルなどの資源物のリサイクルルートの情報提供
9. その他（具体的に： )

- (4) その他、ごみ減量・リサイクルのために導入してほしいと思う施策（制度）について該当するすべてに○をしてください。

1. 事業所向けの分別ボックス購入への補助金制度
2. ごみ減量・リサイクルに積極的に取り組む事業者の表彰制度
3. 商店街などを対象とした、事業者とごみ収集業者が参加するごみ減量のための話し合いの場（ワークショップなど）の設置
4. 市の清掃工場でのリサイクル可能物の搬入規制
5. ごみ減量に関する情報誌の発行
6. その他（具体的に： )

(5) その他、今後のごみ行政に求めることがありましたらご記入ください。

最後に、貴事業所の概要についてお答えください

事業所名	
回答者	(部署) (氏名)
所在区	1. 堺区 2. 中区 3. 東区 4. 西区 5. 南区 6. 北区 7. 美原区
業種	1. 農業, 林業 2. 建設業 3. 製造業 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 5. 情報通信業 6. 運輸業, 郵便業 7. 卸売業, 小売業 8. 金融, 保険業 9. 不動産業, 物品賃貸業 10. 学術研究, 専門・技術サービス業 11. 宿泊業, 飲食サービス業 12. 生活関連サービス業, 娯楽業 13. 教育, 学習支援業 14. 医療, 福祉 15. 複合サービス業 16. サービス業 17. その他 ( )
事業形態	<u>※複合している場合は、主たる業務形態をお答えください</u> 1. 飲食店・レストラン 2. 食料品小売業 3. 食料品以外の小売業 (日用品等物品販売店) 4. スーパー・百貨店・コンビニエンスストア 5. 事務所・営業所 6. 工場・作業所 7. 倉庫・配送センター 8. ホテル・旅館 9. 学校・保育所 10. 病院 11. 会館・娯楽施設 12. その他 ( )
従業員数	<u>※パート・役員を含む人数について、平成30年11月末現在でお答えください。</u> 1. 1～4人 2. 5～9人 3. 10～19人 4. 20～29人 5. 30～49人 6. 50～99人 7. 100～199人 8. 200～299人 9. 300人以上
事業用大規模建築物の指定	1. 指定されている 2. 指定されていない 3. 分からない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

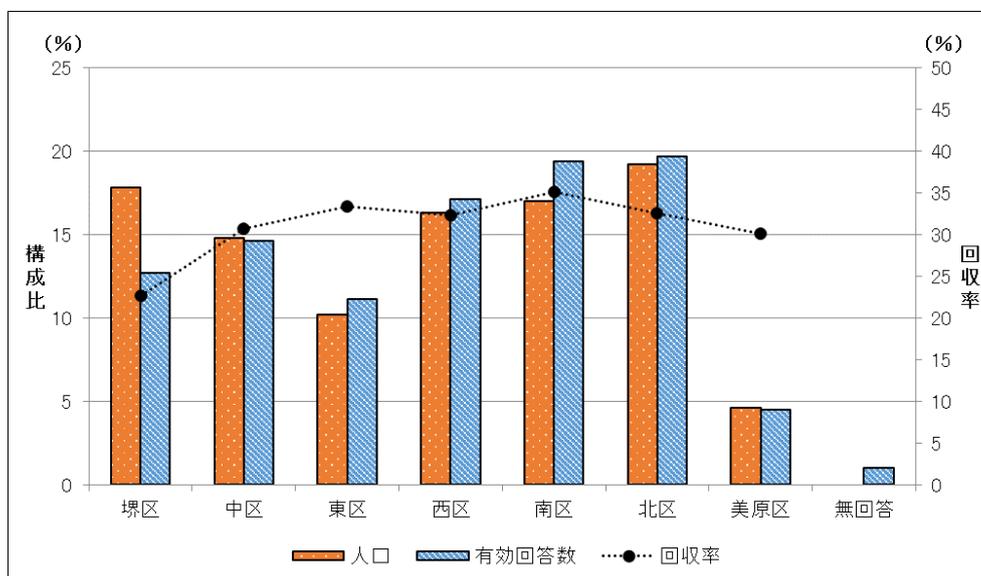
### 3. 発送及び回収状況

#### (1) 市民用

市民用アンケートは、2,000 件の配布に対し、624 件の有効回答があり、回収率は市全体で 31.2%であった。

	人口※	発送数	有効回答数	回収率
全体	838,095 (100.0%)	2,000 (100.0%)	624 (100.0%)	31.2%
堺区	146,297 (17.5%)	349 (17.5%)	79 (12.7%)	22.6%
中区	123,995 (14.8%)	296 (14.8%)	91 (14.6%)	30.7%
東区	86,636 (10.3%)	207 (10.4%)	69 (11.1%)	33.3%
西区	138,666 (16.5%)	331 (16.6%)	107 (17.1%)	32.3%
南区	144,513 (17.2%)	345 (17.3%)	121 (19.4%)	35.1%
北区	159,038 (19.0%)	379 (19.0%)	123 (19.7%)	32.5%
美原区	38,950 (4.6%)	93 (4.7%)	28 (4.5%)	30.1%
無回答			6 (1.0%)	

注) 端数処理の関係により、人口と発送数の割合が一部異なる。  
 ※ 平成 30 年 9 月末現在の住民基本台帳(外国人含む)を参照



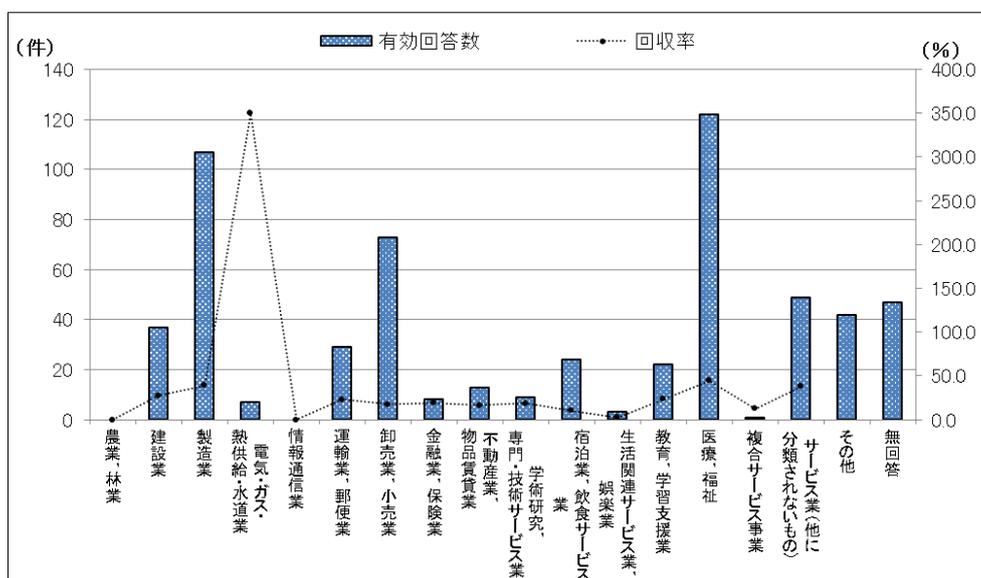
## (2) 事業所用

事業所用アンケートは、2,000 件の配布に対し、593 件の有効回答があり、回収率は市全体で 29.7%であった。

産業大分類	発送数			有効回答数※1	回収率※2
	従業者 30人未満	従業者 30人以上	合計		
全体	1,000	1,000	2,000	593	29.7%
農業、林業	1	1	2	0	0.0%
建設業	88	46	134	37	27.6%
製造業	99	176	275	107	38.9%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	2	2	7	350.0%
情報通信業	5	5	10	0	0.0%
運輸業、郵便業	33	94	127	29	22.8%
卸売業、小売業	238	179	417	73	17.5%
金融業、保険業	11	31	42	8	19.0%
不動産業、物品賃貸業	72	7	79	13	16.5%
学術研究、専門・技術サービス業	35	13	48	9	18.8%
宿泊業、飲食サービス業	131	103	234	24	10.3%
生活関連サービス業、娯楽業	88	39	127	3	2.4%
教育、学習支援業	34	59	93	22	23.7%
医療、福祉	104	169	273	122	44.7%
複合サービス事業	5	3	8	1	12.5%
サービス業（他に分類されないもの）	56	73	129	49	38.0%
その他				42	
無回答				47	

※1 結果の集計には、事業所からの回答に記載されている業種を用いている。

※2 市で把握している業種と事業所からの回答に記載されている業種が異なるものがあるため、回収率が 100%を超えている場合がある。



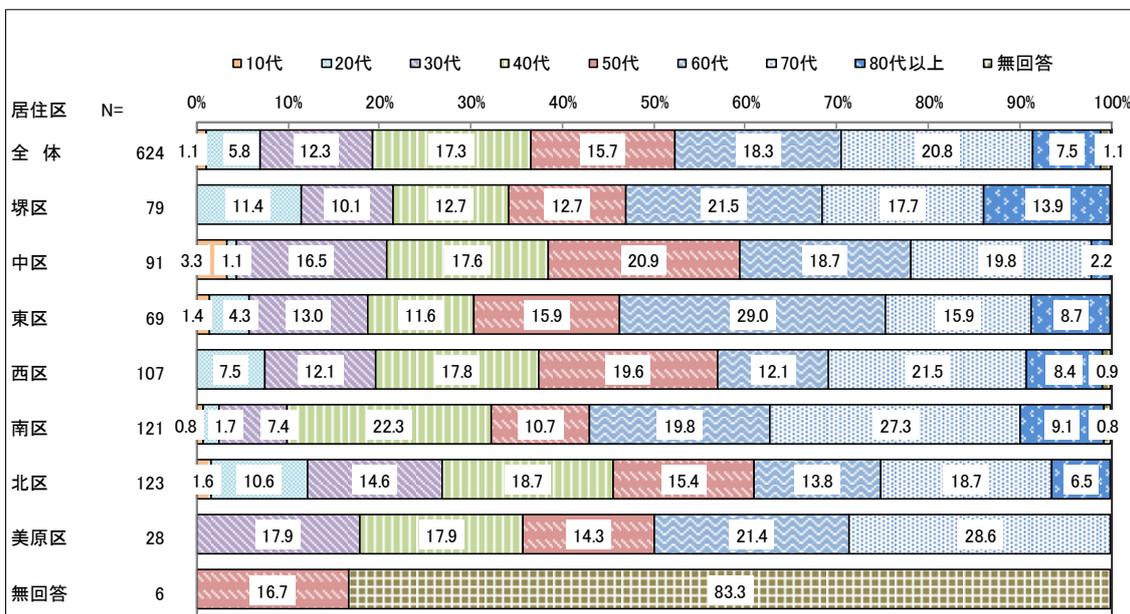
## 第2章 市民意識調査結果

### I. 回答者の属性

#### 1. 年齢

回答者の年齢について、市全体でみると「70代」が20.8%と最も多く、次いで「60代」が18.3%となっており、前回調査と同様、高い割合を占めている。

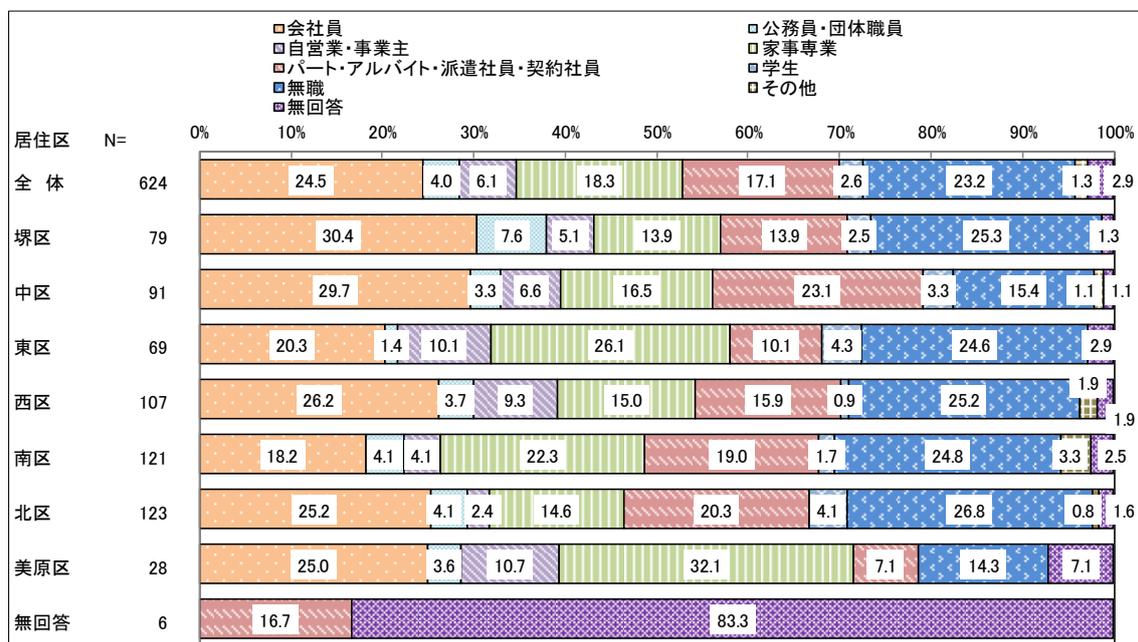
	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
全体	624 (100.0%)	7 (1.1%)	36 (5.8%)	77 (12.3%)	108 (17.3%)	98 (15.7%)	114 (18.3%)	130 (20.8%)	47 (7.5%)	7 (1.1%)
堺区	79 (100.0%)	-	9 (11.4%)	8 (10.1%)	10 (12.7%)	10 (12.7%)	17 (21.5%)	14 (17.7%)	11 (13.9%)	-
中区	91 (100.0%)	3 (3.3%)	1 (1.1%)	15 (16.5%)	16 (17.6%)	19 (20.9%)	17 (18.7%)	18 (19.8%)	2 (2.2%)	-
東区	69 (100.0%)	1 (1.4%)	3 (4.3%)	9 (13.0%)	8 (11.6%)	11 (15.9%)	20 (29.0%)	11 (15.9%)	6 (8.7%)	-
西区	107 (100.0%)	-	8 (7.5%)	13 (12.1%)	19 (17.8%)	21 (19.6%)	13 (12.1%)	23 (21.5%)	9 (8.4%)	1 (0.9%)
南区	121 (100.0%)	1 (0.8%)	2 (1.7%)	9 (7.4%)	27 (22.3%)	13 (10.7%)	24 (19.8%)	33 (27.3%)	11 (9.1%)	1 (0.8%)
北区	123 (100.0%)	2 (1.6%)	13 (10.6%)	18 (14.6%)	23 (18.7%)	19 (15.4%)	17 (13.8%)	23 (18.7%)	8 (6.5%)	-
美原区	28 (100.0%)	-	-	5 (17.9%)	5 (17.9%)	4 (14.3%)	6 (21.4%)	8 (28.6%)	-	-
無回答	6 (100.0%)	-	-	-	-	1 (16.7%)	-	-	-	5 (83.3%)



## 2. 職業

回答者の職業について、市全体でみると「家事専業」と「学生」、「無職」を合わせた非就労者が全体の44.1%を占めている。

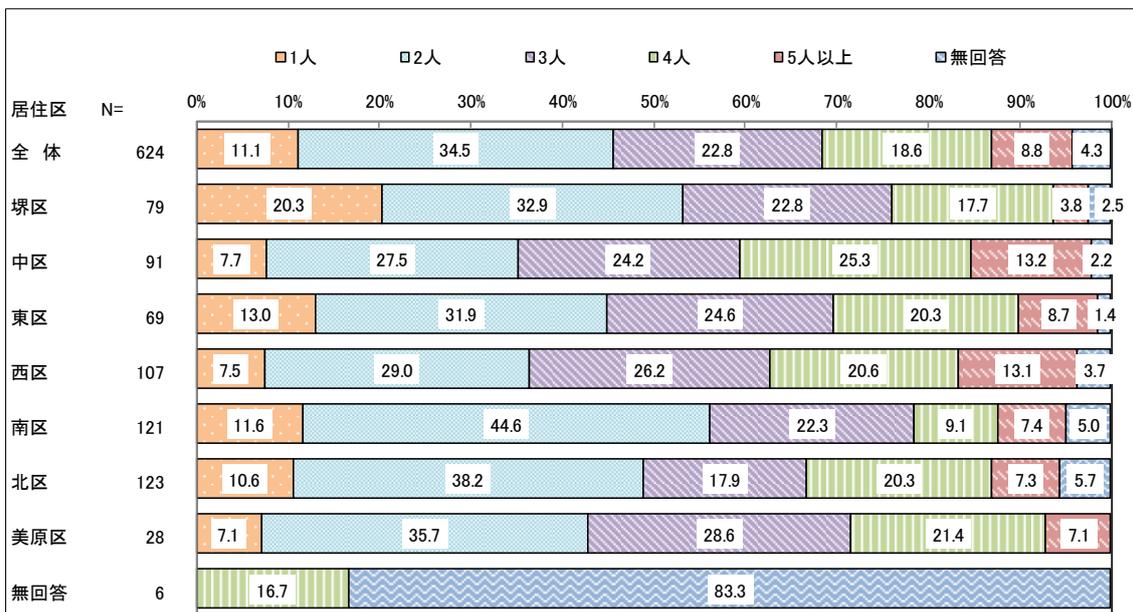
	全体	会社員	公務員・ 団体職員	自営業・ 事業主	家事専業	パート・ アルバイト・ 派遣社員・ 契約社員	学生	無職	その他	無回答
全体	624 (100.0%)	153 (24.5%)	25 (4.0%)	38 (6.1%)	114 (18.3%)	107 (17.1%)	16 (2.6%)	145 (23.2%)	8 (1.3%)	18 (2.9%)
堺区	79 (100.0%)	24 (30.4%)	6 (7.6%)	4 (5.1%)	11 (13.9%)	11 (13.9%)	2 (2.5%)	20 (25.3%)	-	1 (1.3%)
中区	91 (100.0%)	27 (29.7%)	3 (3.3%)	6 (6.6%)	15 (16.5%)	21 (23.1%)	3 (3.3%)	14 (15.4%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)
東区	69 (100.0%)	14 (20.3%)	1 (1.4%)	7 (10.1%)	18 (26.1%)	7 (10.1%)	3 (4.3%)	17 (24.6%)	-	2 (2.9%)
西区	107 (100.0%)	28 (26.2%)	4 (3.7%)	10 (9.3%)	16 (15.0%)	17 (15.9%)	1 (0.9%)	27 (25.2%)	2 (1.9%)	2 (1.9%)
南区	121 (100.0%)	22 (18.2%)	5 (4.1%)	5 (4.1%)	27 (22.3%)	23 (19.0%)	2 (1.7%)	30 (24.8%)	4 (3.3%)	3 (2.5%)
北区	123 (100.0%)	31 (25.2%)	5 (4.1%)	3 (2.4%)	18 (14.6%)	25 (20.3%)	5 (4.1%)	33 (26.8%)	1 (0.8%)	2 (1.6%)
美原区	28 (100.0%)	7 (25.0%)	1 (3.6%)	3 (10.7%)	9 (32.1%)	2 (7.1%)	-	4 (14.3%)	-	2 (7.1%)
無回答	6 (100.0%)	-	-	-	-	1 (16.7%)	-	-	-	5 (83.3%)



### 3. 世帯人数

回答者の世帯人数について、市全体で見ると「2人」が34.5%と最も高く、次いで「3人」が22.8%、「4人」が18.6%となっており、前回調査と同様、上位を占めていた。

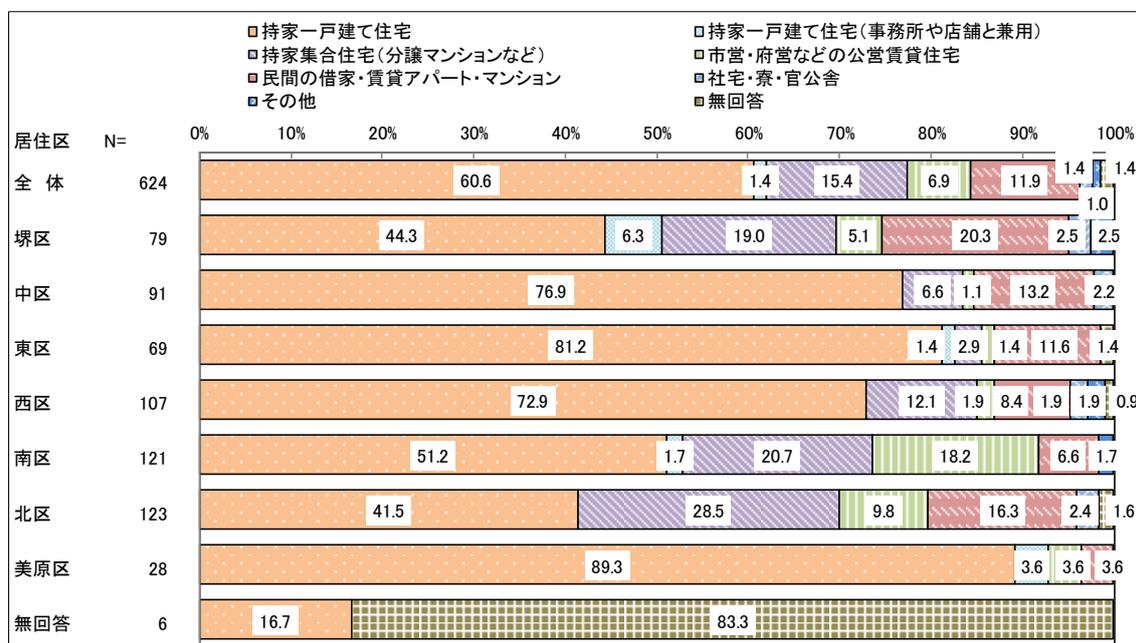
	全体	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体	624 (100.0%)	69 (11.1%)	215 (34.5%)	142 (22.8%)	116 (18.6%)	55 (8.8%)	27 (4.3%)
堺区	79 (100.0%)	16 (20.3%)	26 (32.9%)	18 (22.8%)	14 (17.7%)	3 (3.8%)	2 (2.5%)
中区	91 (100.0%)	7 (7.7%)	25 (27.5%)	22 (24.2%)	23 (25.3%)	12 (13.2%)	2 (2.2%)
東区	69 (100.0%)	9 (13.0%)	22 (31.9%)	17 (24.6%)	14 (20.3%)	6 (8.7%)	1 (1.4%)
西区	107 (100.0%)	8 (7.5%)	31 (29.0%)	28 (26.2%)	22 (20.6%)	14 (13.1%)	4 (3.7%)
南区	121 (100.0%)	14 (11.6%)	54 (44.6%)	27 (22.3%)	11 (9.1%)	9 (7.4%)	6 (5.0%)
北区	123 (100.0%)	13 (10.6%)	47 (38.2%)	22 (17.9%)	25 (20.3%)	9 (7.3%)	7 (5.7%)
美原区	28 (100.0%)	2 (7.1%)	10 (35.7%)	8 (28.6%)	6 (21.4%)	2 (7.1%)	-
無回答	6 (100.0%)	-	-	-	1 (16.7%)	-	5 (83.3%)



#### 4. 住居形態

回答者の住居形態について、市全体でみると「持ち家一戸建て住宅」が60.6%と、前回調査と同様、最も高い割合を占めていた。

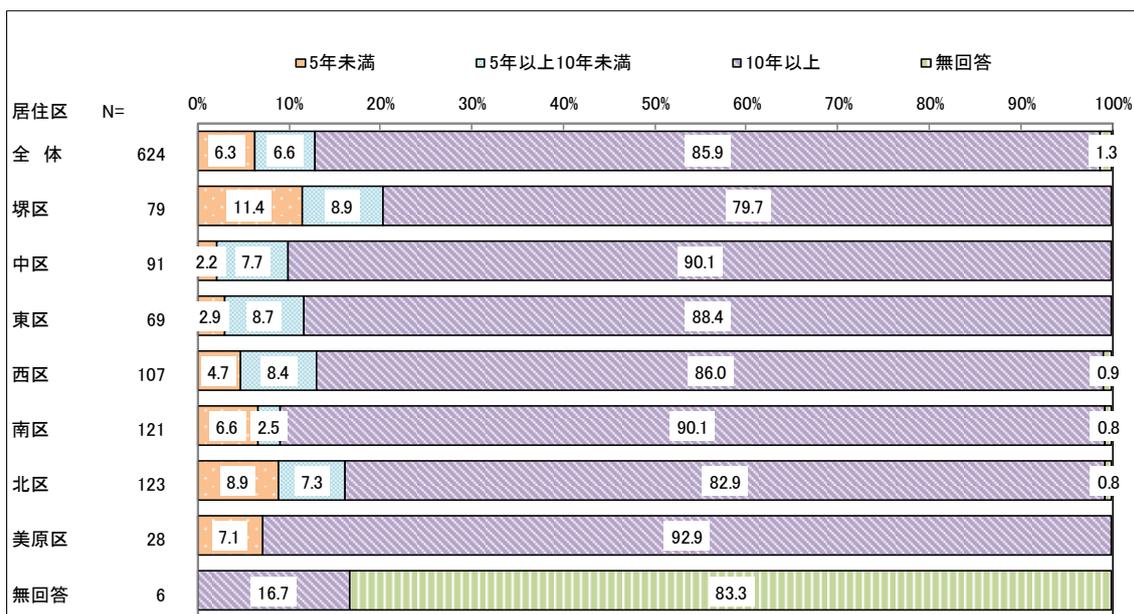
	全体	持家一戸建て住宅	持家一戸建て住宅 (事務所や店舗と兼用)	持家集合住宅(分譲マンションなど)	市営・府営などの公営賃貸住宅	民間の借家・賃貸アパート・マンション	社宅・寮・官公舎	その他	無回答
全体	624 (100.0%)	378 (60.6%)	9 (1.4%)	96 (15.4%)	43 (6.9%)	74 (11.9%)	9 (1.4%)	6 (1.0%)	9 (1.4%)
堺区	79 (100.0%)	35 (44.3%)	5 (6.3%)	15 (19.0%)	4 (5.1%)	16 (20.3%)	2 (2.5%)	2 (2.5%)	-
中区	91 (100.0%)	70 (76.9%)	-	6 (6.6%)	1 (1.1%)	12 (13.2%)	2 (2.2%)	-	-
東区	69 (100.0%)	56 (81.2%)	1 (1.4%)	2 (2.9%)	1 (1.4%)	8 (11.6%)	-	-	1 (1.4%)
西区	107 (100.0%)	78 (72.9%)	-	13 (12.1%)	2 (1.9%)	9 (8.4%)	2 (1.9%)	2 (1.9%)	1 (0.9%)
南区	121 (100.0%)	62 (51.2%)	2 (1.7%)	25 (20.7%)	22 (18.2%)	8 (6.6%)	-	2 (1.7%)	-
北区	123 (100.0%)	51 (41.5%)	-	35 (28.5%)	12 (9.8%)	20 (16.3%)	3 (2.4%)	-	2 (1.6%)
美原区	28 (100.0%)	25 (89.3%)	1 (3.6%)	-	1 (3.6%)	1 (3.6%)	-	-	-
無回答	6 (100.0%)	1 (16.7%)	-	-	-	-	-	-	5 (83.3%)



## 5. 居住年数

回答者の居住年数について、市全体でみると「10年以上」が85.9%と、前回調査と同様、最も高い割合を占めていた。

	全体	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	無回答
全体	624 (100.0%)	39 (6.3%)	41 (6.6%)	536 (85.9%)	8 (1.3%)
堺区	79 (100.0%)	9 (11.4%)	7 (8.9%)	63 (79.7%)	-
中区	91 (100.0%)	2 (2.2%)	7 (7.7%)	82 (90.1%)	-
東区	69 (100.0%)	2 (2.9%)	6 (8.7%)	61 (88.4%)	-
西区	107 (100.0%)	5 (4.7%)	9 (8.4%)	92 (86.0%)	1 (0.9%)
南区	121 (100.0%)	8 (6.6%)	3 (2.5%)	109 (90.1%)	1 (0.8%)
北区	123 (100.0%)	11 (8.9%)	9 (7.3%)	102 (82.9%)	1 (0.8%)
美原区	28 (100.0%)	2 (7.1%)	-	26 (92.9%)	-
無回答	6 (100.0%)	-	-	1 (16.7%)	5 (83.3%)



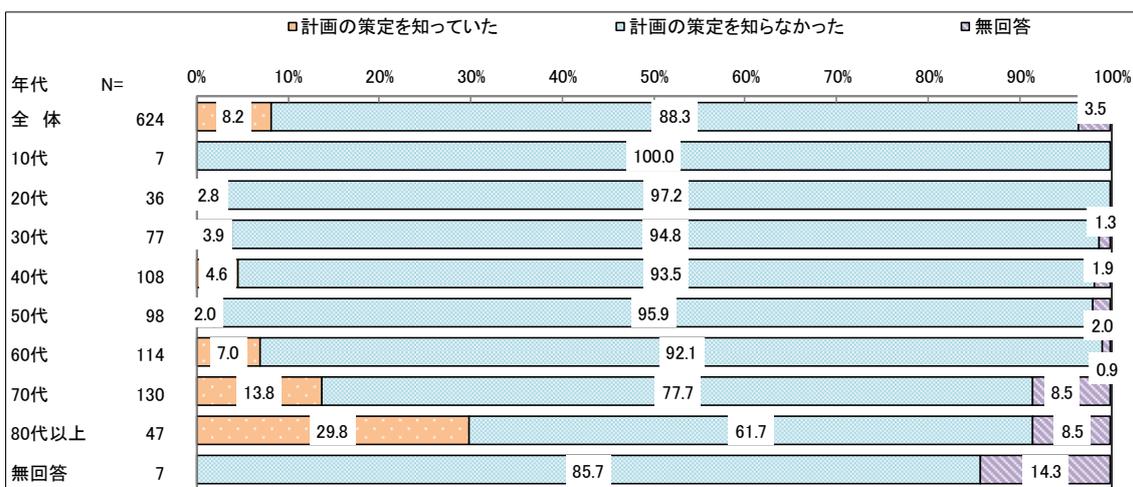
## II. アンケート回答集計結果

### 1. 現在のごみ排出、減量、リサイクルへの取組について

#### (1) 「第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の認知について

- 現行計画の認知について、市全体で見ると「計画の策定を知っていた」は8.2%、「計画の策定を知らなかった」は88.3%となっており、「第2次堺市一般廃棄物処理基本計画」の認知を聞いた前回調査の11.7%よりも認知度は低くなっていた。
- 年代別にみると、80代以上が29.8%、70代が13.8%と高いのに対し、10代から50代まではそれぞれ5%以下となっており、市の廃棄物施策に対する関心が低いことがうかがえる。

	全体	計画の策定を知っていた	計画の策定を知らなかった	無回答
全体	624 (100.0%)	51 (8.2%)	551 (88.3%)	22 (3.5%)
10代	7 (100.0%)	-	7 (100.0%)	-
20代	36 (100.0%)	1 (2.8%)	35 (97.2%)	-
30代	77 (100.0%)	3 (3.9%)	73 (94.8%)	1 (1.3%)
40代	108 (100.0%)	5 (4.6%)	101 (93.5%)	2 (1.9%)
50代	98 (100.0%)	2 (2.0%)	94 (95.9%)	2 (2.0%)
60代	114 (100.0%)	8 (7.0%)	105 (92.1%)	1 (0.9%)
70代	130 (100.0%)	18 (13.8%)	101 (77.7%)	11 (8.5%)
80代以上	47 (100.0%)	14 (29.8%)	29 (61.7%)	4 (8.5%)
無回答	7 (100.0%)	-	6 (85.7%)	1 (14.3%)

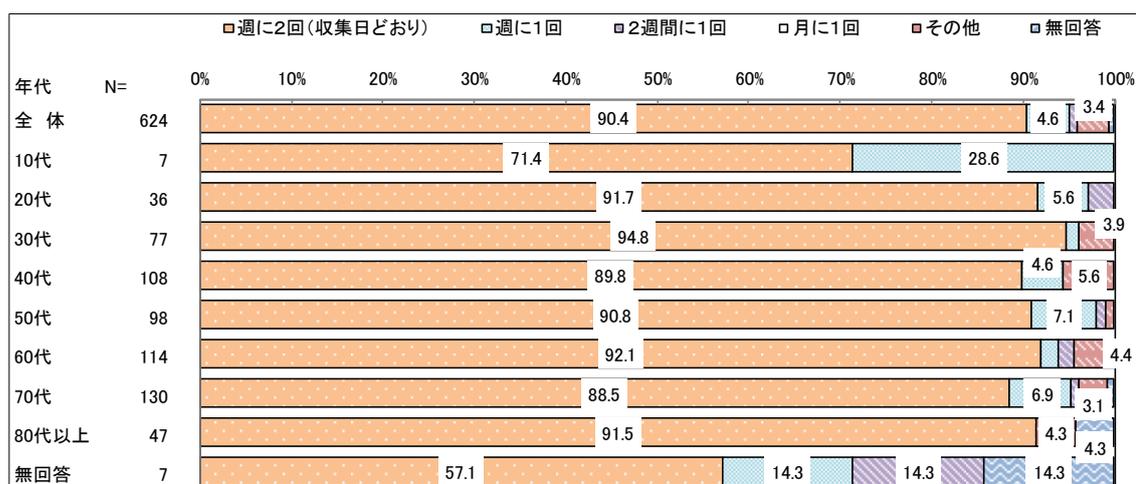


## (2) 「生活ごみ」について

### ①排出する頻度

- 生活ごみの排出頻度について、市全体でみると「週に2回(収集日どおり)」が90.4%を占めており、前回調査の90.5%とあまり変わらなかった。
- 年代別にみると、「週に2回(収集日どおり)」の割合は、10代が71.4%と他の年代に比べて低くなっており、排出する量が少なく、一定量のごみをためてから捨てていると考えられる。

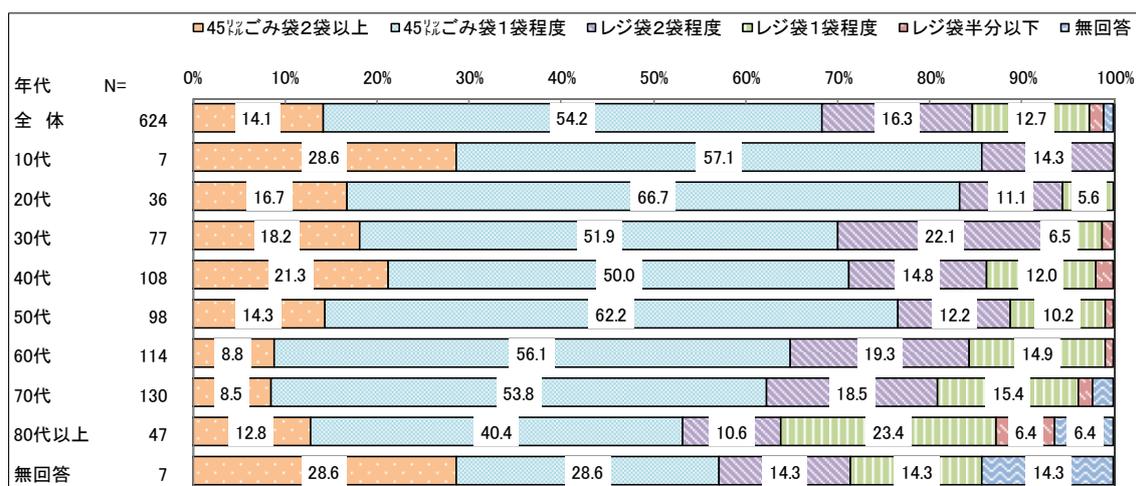
	全体	週に2回 (収集日 どおり)	週に1回	2週間に 1回	月に1回	その他	無回答
全体	624 (100.0%)	564 (90.4%)	29 (4.6%)	6 (1.0%)	-	21 (3.4%)	4 (0.6%)
10代	7 (100.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)	-	-	-	-
20代	36 (100.0%)	33 (91.7%)	2 (5.6%)	1 (2.8%)	-	-	-
30代	77 (100.0%)	73 (94.8%)	1 (1.3%)	-	-	3 (3.9%)	-
40代	108 (100.0%)	97 (89.8%)	5 (4.6%)	-	-	6 (5.6%)	-
50代	98 (100.0%)	89 (90.8%)	7 (7.1%)	1 (1.0%)	-	1 (1.0%)	-
60代	114 (100.0%)	105 (92.1%)	2 (1.8%)	2 (1.8%)	-	5 (4.4%)	-
70代	130 (100.0%)	115 (88.5%)	9 (6.9%)	1 (0.8%)	-	4 (3.1%)	1 (0.8%)
80代 以上	47 (100.0%)	43 (91.5%)	-	-	-	2 (4.3%)	2 (4.3%)
無回答	7 (100.0%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	-	-	1 (14.3%)



## ②排出する量

- 生活ごみを排出する量は、市全体でみると「45ℓゴミ袋1袋程度」が54.2%と最も高く、次いで「レジ袋2袋程度」が16.3%を占めている。なお、「45ℓゴミ袋1袋程度」は、前回調査の55.9%とあまり変わらなかった。
- 年代別にみると、「45ℓゴミ袋2袋以上」の割合は、30代、40代が20%程度と高く、60代、70代が10%以下と低くなっている。また、排出頻度の少ない10代が「45ℓゴミ袋2袋以上」が30%程度と高く、前述を踏まえ、一定量のごみをためてから排出していることがうかがえる。

	全体	45ℓゴミ袋 2袋以上	45ℓゴミ袋 1袋程度	レジ袋 2袋程度	レジ袋 1袋程度	レジ袋 半分以下	無回答
全体	624 (100.0%)	88 (14.1%)	338 (54.2%)	102 (16.3%)	79 (12.7%)	10 (1.6%)	7 (1.1%)
10代	7 (100.0%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	-	-	-
20代	36 (100.0%)	6 (16.7%)	24 (66.7%)	4 (11.1%)	2 (5.6%)	-	-
30代	77 (100.0%)	14 (18.2%)	40 (51.9%)	17 (22.1%)	5 (6.5%)	1 (1.3%)	-
40代	108 (100.0%)	23 (21.3%)	54 (50.0%)	16 (14.8%)	13 (12.0%)	2 (1.9%)	-
50代	98 (100.0%)	14 (14.3%)	61 (62.2%)	12 (12.2%)	10 (10.2%)	1 (1.0%)	-
60代	114 (100.0%)	10 (8.8%)	64 (56.1%)	22 (19.3%)	17 (14.9%)	1 (0.9%)	-
70代	130 (100.0%)	11 (8.5%)	70 (53.8%)	24 (18.5%)	20 (15.4%)	2 (1.5%)	3 (2.3%)
80代 以上	47 (100.0%)	6 (12.8%)	19 (40.4%)	5 (10.6%)	11 (23.4%)	3 (6.4%)	3 (6.4%)
無回答	7 (100.0%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	-	1 (14.3%)



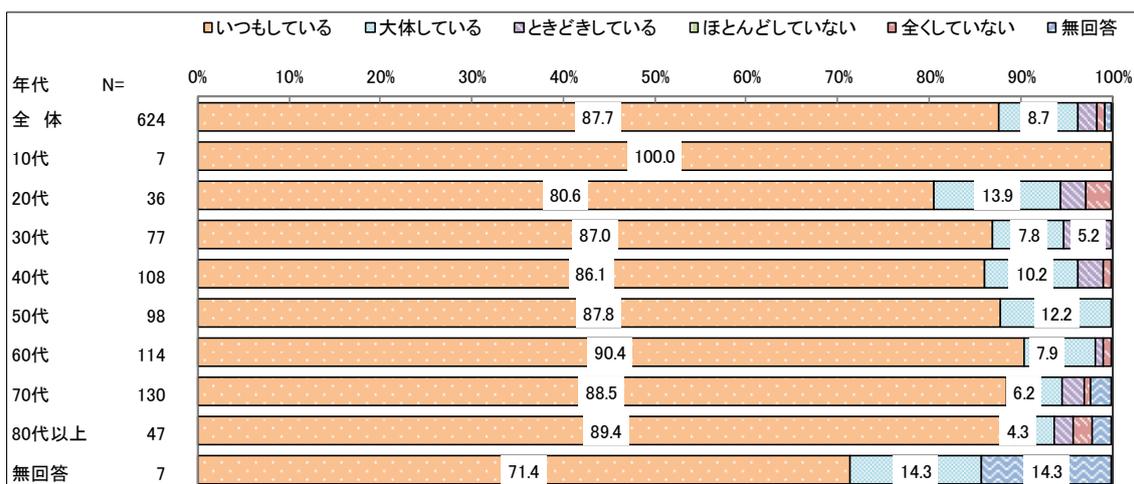
### (3) 資源物の分別について

#### ア. 「缶・びん」

##### ① 分別の程度

- 「缶・びん」の分別について、市全体でみると「いつもしている」が87.7%と最も高く、次いで「大体している」が8.7%となっている。なお、「いつもしている」は、前回調査（84.8%）よりもわずかに高くなっていた。
- 年代別にみると、20代の分別率が他の年代と比べて若干低い。

	全体	いつも している	大体 している	ときどき している	ほとんど していない	全く していない	無回答
全体	624 (100.0%)	547 (87.7%)	54 (8.7%)	13 (2.1%)	- -	5 (0.8%)	5 (0.8%)
10代	7 (100.0%)	7 (100.0%)	-	-	-	-	-
20代	36 (100.0%)	29 (80.6%)	5 (13.9%)	1 (2.8%)	-	1 (2.8%)	-
30代	77 (100.0%)	67 (87.0%)	6 (7.8%)	4 (5.2%)	-	-	-
40代	108 (100.0%)	93 (86.1%)	11 (10.2%)	3 (2.8%)	-	1 (0.9%)	-
50代	98 (100.0%)	86 (87.8%)	12 (12.2%)	-	-	-	-
60代	114 (100.0%)	103 (90.4%)	9 (7.9%)	1 (0.9%)	-	1 (0.9%)	-
70代	130 (100.0%)	115 (88.5%)	8 (6.2%)	3 (2.3%)	-	1 (0.8%)	3 (2.3%)
80代 以上	47 (100.0%)	42 (89.4%)	2 (4.3%)	1 (2.1%)	-	1 (2.1%)	1 (2.1%)
無回答	7 (100.0%)	5 (71.4%)	1 (14.3%)	-	-	-	1 (14.3%)



## ② 分別しない理由（複数回答）

- 「缶・びん」を分別しない理由について、市全体でみると「捨てたいときに捨てられない」が37.5%と最も高く、次いで「手間がかかる」が22.2%となっており、前回調査と同様、「捨てたいときに捨てられない」が最も高くなっていた。
- 年代別にみると、70代では「リサイクルの必要性がわからない」が41.7%、80代では「出し方・分け方がわからない」が50.0%と他の年代と比べて高くなっており、高齢者を対象としたリサイクルの必要性や分別方法などの理解を深める機会をつくることが望ましい。

	全体	分別があることを知らなかった	リサイクルの必要性がわからない	手間がかかる	出し方、分け方がわからない	収集曜日がわからない	洗うための水がもたない	捨てたいときに捨てられない	その他	無回答	合計回答数
全体	72	4 (5.6%)	9 (12.5%)	16 (22.2%)	10 (13.9%)	7 (9.7%)	13 (18.1%)	27 (37.5%)	9 (12.5%)	1 (1.4%)	96
10代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
20代	7	2 (28.6%)	-	2 (28.6%)	1 (14.3%)	-	-	2 (28.6%)	-	-	7
30代	10	-	1 (10.0%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	5 (50.0%)	1 (10.0%)	-	13
40代	15	-	3 (20.0%)	4 (26.7%)	1 (6.7%)	2 (13.3%)	2 (13.3%)	9 (60.0%)	3 (20.0%)	-	24
50代	12	1 (8.3%)	-	2 (16.7%)	2 (16.7%)	1 (8.3%)	2 (16.7%)	6 (50.0%)	-	-	14
60代	11	1 (9.1%)	-	4 (36.4%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	3 (27.3%)	4 (36.4%)	2 (18.2%)	-	16
70代	12	-	5 (41.7%)	3 (25.0%)	1 (8.3%)	2 (16.7%)	3 (25.0%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)	17
80代以上	4	-	-	-	2 (50.0%)	-	1 (25.0%)	-	1 (25.0%)	-	4
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	1 (100.0%)	-	1

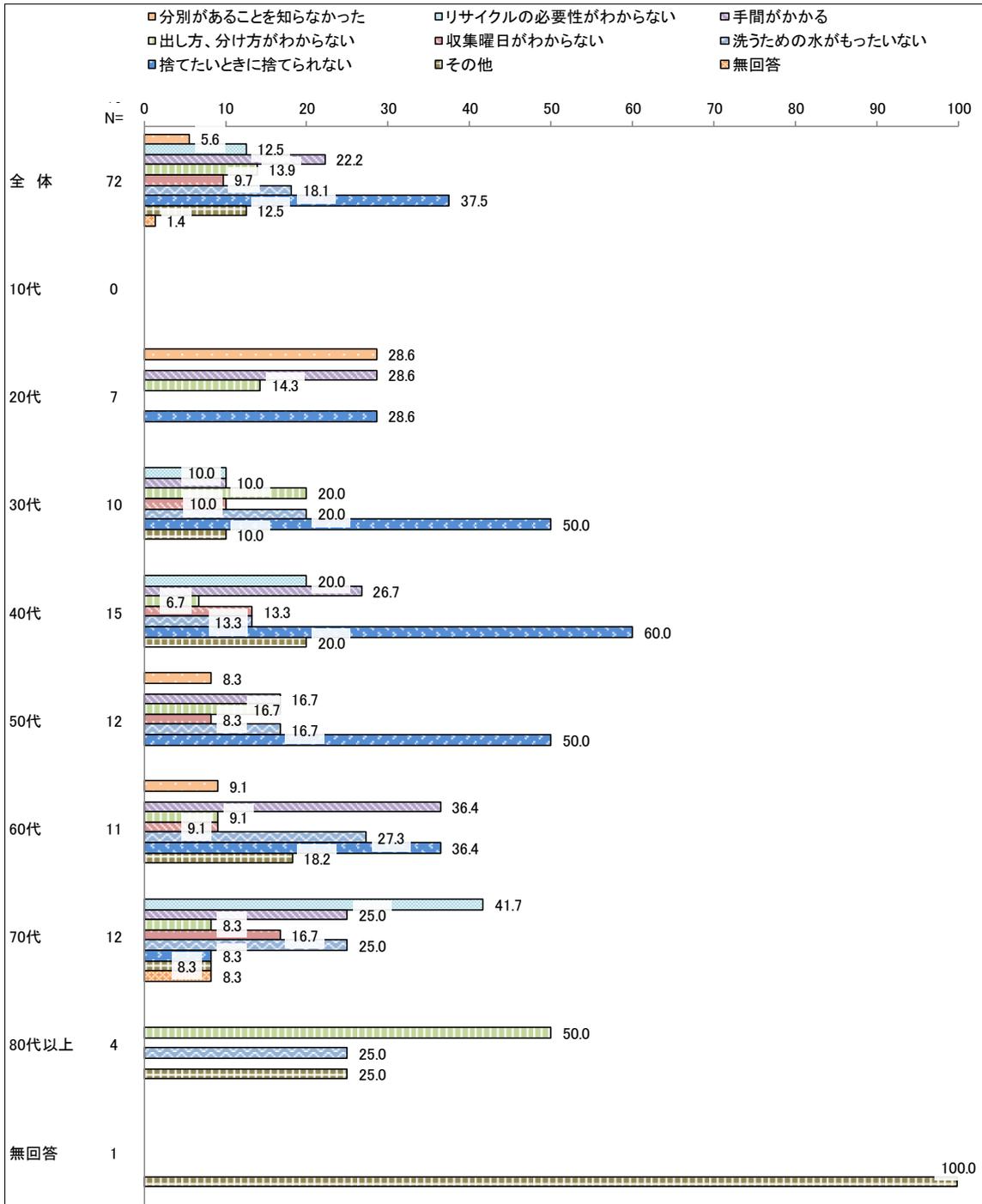


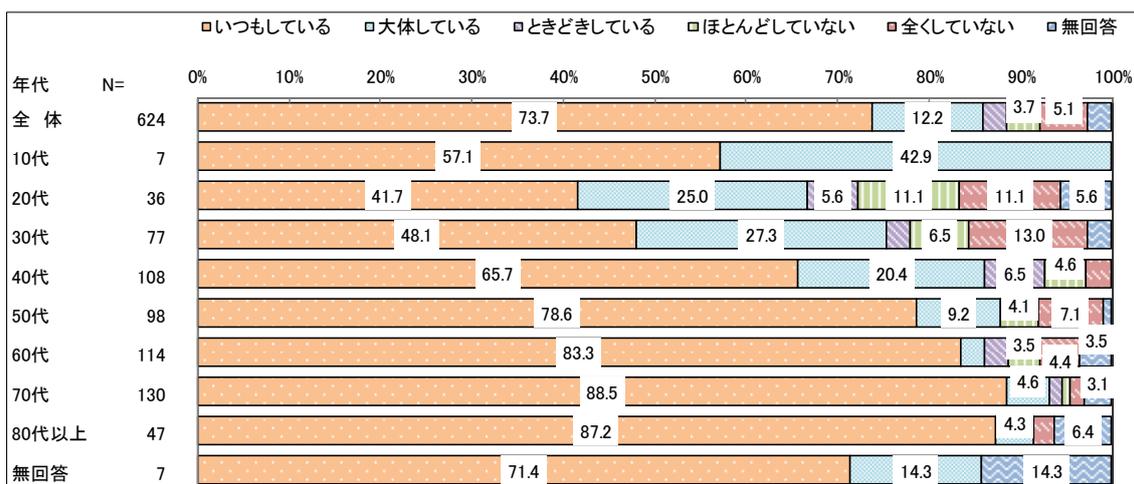
図 缶・びんを分別しない理由

## イ. 「プラスチック製容器包装」

### ① 分別の程度

- 「プラスチック製容器包装」の分別について、市全体でみると「いつもしている」が73.7%と最も高く、次いで「大体している」が12.2%となっている。なお、「いつもしている」は、前回調査（71.4%）よりもわずかに高くなっていた。
- 年代別にみると、「いつもしている」が20代で41.7%、30代で48.1%と、他の年代に比べて分別率が低くなっている。

	全体	いつも している	大体 している	ときどき している	ほとんど していない	全く していない	無回答
全体	624 (100.0%)	460 (73.7%)	76 (12.2%)	16 (2.6%)	23 (3.7%)	32 (5.1%)	17 (2.7%)
10代	7 (100.0%)	4 (57.1%)	3 (42.9%)	-	-	-	-
20代	36 (100.0%)	15 (41.7%)	9 (25.0%)	2 (5.6%)	4 (11.1%)	4 (11.1%)	2 (5.6%)
30代	77 (100.0%)	37 (48.1%)	21 (27.3%)	2 (2.6%)	5 (6.5%)	10 (13.0%)	2 (2.6%)
40代	108 (100.0%)	71 (65.7%)	22 (20.4%)	7 (6.5%)	5 (4.6%)	3 (2.8%)	-
50代	98 (100.0%)	77 (78.6%)	9 (9.2%)	-	4 (4.1%)	7 (7.1%)	1 (1.0%)
60代	114 (100.0%)	95 (83.3%)	3 (2.6%)	3 (2.6%)	4 (3.5%)	5 (4.4%)	4 (3.5%)
70代	130 (100.0%)	115 (88.5%)	6 (4.6%)	2 (1.5%)	1 (0.8%)	2 (1.5%)	4 (3.1%)
80代 以上	47 (100.0%)	41 (87.2%)	2 (4.3%)	-	-	1 (2.1%)	3 (6.4%)
無回答	7 (100.0%)	5 (71.4%)	1 (14.3%)	-	-	-	1 (14.3%)



## ② 分別しない理由（複数回答）

- 「プラスチック製容器包装」を分別しない理由について、市全体でみると「手間がかかる」が38.8%と最も高く、次いで「洗うための水がもったいない」が25.9%となっており、前回調査と同様、「手間がかかる」が最も高くなっていた。
- 年代別にみると、20代では分別しない理由として「分別があることを知らなかった」が21.1%と他の年代と比べて高くなっていることから、若い世代へのごみの分別に関する広報・啓発の強化を図ることが望ましい。

	全体	分別があることを知らなかった	リサイクルの必要性がわからない	手間がかかる	出し方、分け方がわからない	収集曜日がわからない	洗うための水がもったいない	捨てたいときに捨てられない	その他	無回答	合計回答数
全体	147	8 (5.4%)	17 (11.6%)	57 (38.8%)	30 (20.4%)	10 (6.8%)	38 (25.9%)	30 (20.4%)	23 (15.6%)	2 (1.4%)	215
10代	3	-	-	1 (33.3%)	-	-	2 (66.7%)	-	1 (33.3%)	-	4
20代	19	4 (21.1%)	1 (5.3%)	7 (36.8%)	5 (26.3%)	-	2 (10.5%)	3 (15.8%)	1 (5.3%)	-	23
30代	38	2 (5.3%)	2 (5.3%)	13 (34.2%)	10 (26.3%)	2 (5.3%)	11 (28.9%)	9 (23.7%)	3 (7.9%)	-	52
40代	37	-	7 (18.9%)	21 (56.8%)	4 (10.8%)	1 (2.7%)	11 (29.7%)	5 (13.5%)	8 (21.6%)	-	57
50代	20	1 (5.0%)	3 (15.0%)	6 (30.0%)	4 (20.0%)	2 (10.0%)	4 (20.0%)	7 (35.0%)	4 (20.0%)	1 (5.0%)	32
60代	15	1 (6.7%)	2 (13.3%)	6 (40.0%)	5 (33.3%)	3 (20.0%)	5 (33.3%)	2 (13.3%)	4 (26.7%)	-	28
70代	11	-	2 (18.2%)	3 (27.3%)	2 (18.2%)	2 (18.2%)	1 (9.1%)	2 (18.2%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	14
80代以上	3	-	-	-	-	-	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	-	3
無回答	1	-	-	-	-	-	1 (100.0%)	1 (100.0%)	-	-	2

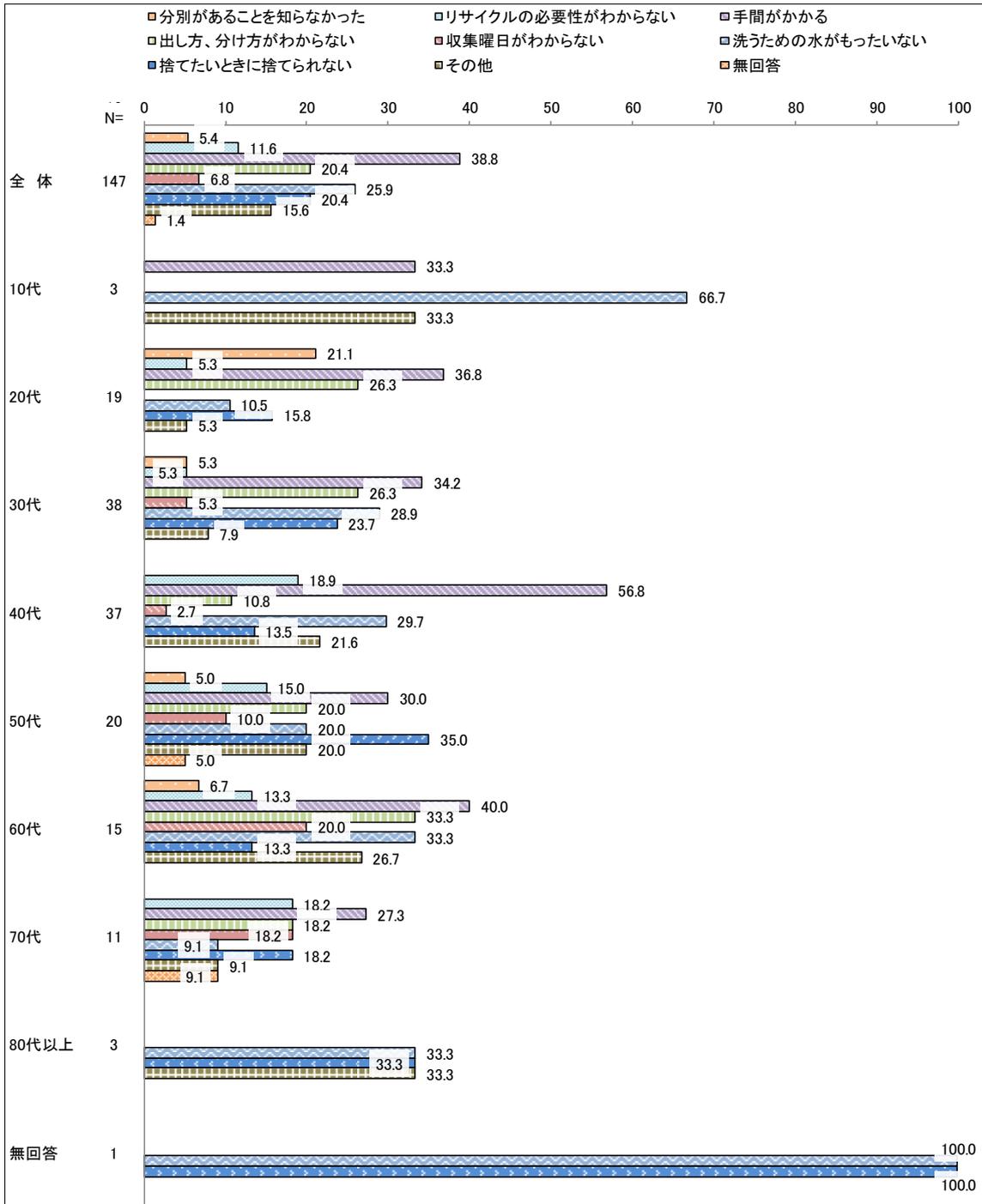


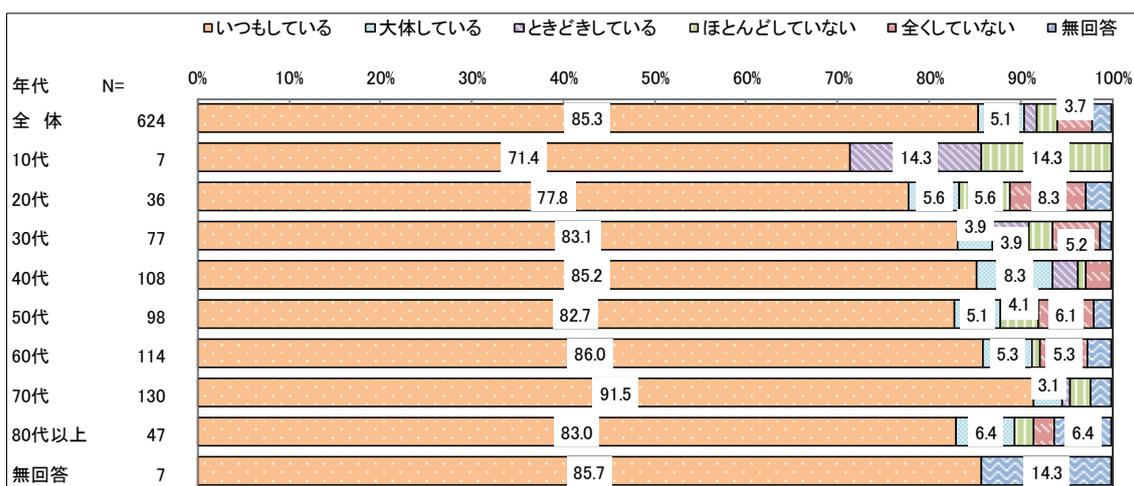
図 プラスチック製容器包装を分別しない理由

ウ. 「ペットボトル」

① 分別の程度

- 「ペットボトル」の分別について、市全体で見ると「いつもしている」が85.3%と最も高く、前回調査の84.3%よりもわずかに高くなっていた。
- 年代別にみると、年代が上がるにつれて分別を「いつもしている」が高くなる傾向がみられる。

	全体	いつも している	大体 している	ときどき している	ほとんど していない	全く していない	無回答
全体	624 (100.0%)	532 (85.3%)	32 (5.1%)	8 (1.3%)	15 (2.4%)	23 (3.7%)	14 (2.2%)
10代	7 (100.0%)	5 (71.4%)	-	1 (14.3%)	1 (14.3%)	-	-
20代	36 (100.0%)	28 (77.8%)	2 (5.6%)	-	2 (5.6%)	3 (8.3%)	1 (2.8%)
30代	77 (100.0%)	64 (83.1%)	3 (3.9%)	3 (3.9%)	2 (2.6%)	4 (5.2%)	1 (1.3%)
40代	108 (100.0%)	92 (85.2%)	9 (8.3%)	3 (2.8%)	1 (0.9%)	3 (2.8%)	-
50代	98 (100.0%)	81 (82.7%)	5 (5.1%)	-	4 (4.1%)	6 (6.1%)	2 (2.0%)
60代	114 (100.0%)	98 (86.0%)	6 (5.3%)	-	1 (0.9%)	6 (5.3%)	3 (2.6%)
70代	130 (100.0%)	119 (91.5%)	4 (3.1%)	1 (0.8%)	3 (2.3%)	-	3 (2.3%)
80代 以上	47 (100.0%)	39 (83.0%)	3 (6.4%)	-	1 (2.1%)	1 (2.1%)	3 (6.4%)
無回答	7 (100.0%)	6 (85.7%)	-	-	-	-	1 (14.3%)



## ② 分別しない理由

- 「ペットボトル」を分別しない理由について、市全体でみると「捨てたいときに捨てられない」が30.8%と最も高く、次いで「手間がかかる」が23.1%となっており、前回調査と同様、「捨てたいときに捨てられない」が最も高くなっていた。
- 年代別にみると、30代では「捨てたいときに捨てられない」が、70代では「手間がかかる」が高くなっていることから、分別の程度の割合が低い若い世代では分別における行政の対応を課題としているのに対し、分別の程度の割合が高い高齢な世代では分別行為について課題とするなどの差異がみられた。

	全体	分別があることを知らなかった	リサイクルの必要性がわからない	手間がかかる	出し方、分け方がわからない	収集曜日がわからない	洗うための水がもたない	捨てたいときに捨てられない	その他	無回答	合計回答数
全体	78	6 (7.7%)	7 (9.0%)	18 (23.1%)	5 (6.4%)	6 (7.7%)	10 (12.8%)	24 (30.8%)	21 (26.9%)	5 (6.4%)	102
10代	2	1 (50.0%)	-	-	-	-	-	-	1 (50.0%)	-	4
20代	7	2 (28.6%)	-	1 (14.3%)	-	-	1 (14.3%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	-	7
30代	12	1 (8.3%)	2 (16.7%)	5 (41.7%)	1 (8.3%)	2 (16.7%)	3 (25.0%)	8 (66.7%)	1 (8.3%)	-	23
40代	16	-	2 (12.5%)	5 (31.3%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)	2 (12.5%)	4 (25.0%)	3 (18.8%)	-	18
50代	15	1 (6.7%)	1 (6.7%)	2 (13.3%)	2 (13.3%)	1 (6.7%)	1 (6.7%)	6 (40.0%)	6 (40.0%)	1 (6.7%)	21
60代	13	-	1 (7.7%)	2 (15.4%)	1 (7.7%)	2 (15.4%)	2 (15.4%)	1 (7.7%)	6 (46.2%)	1 (7.7%)	16
70代	8	1 (12.5%)	1 (12.5%)	3 (37.5%)	-	-	-	1 (12.5%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	10
80代以上	5	-	-	-	-	-	1 (20.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	5
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

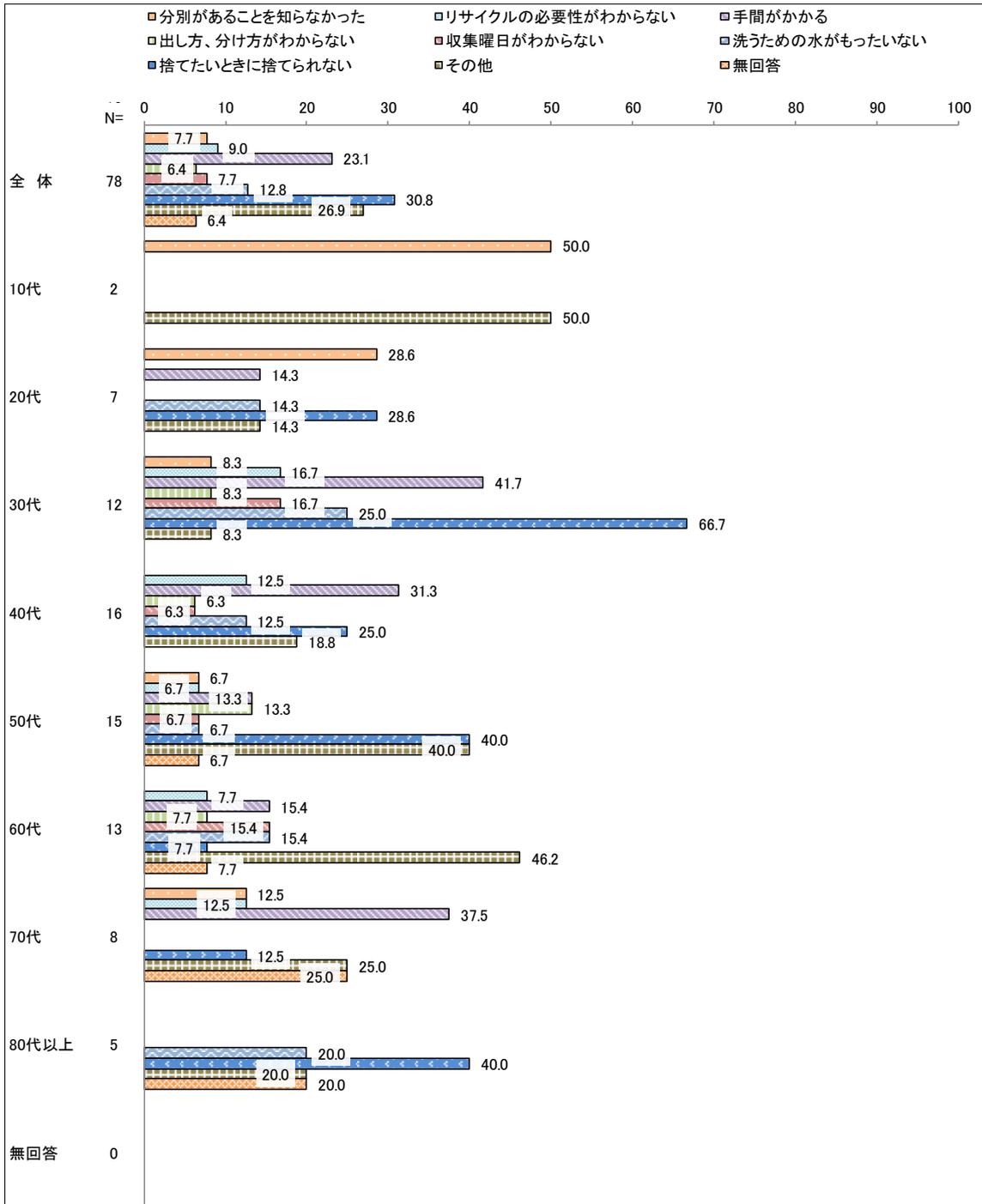


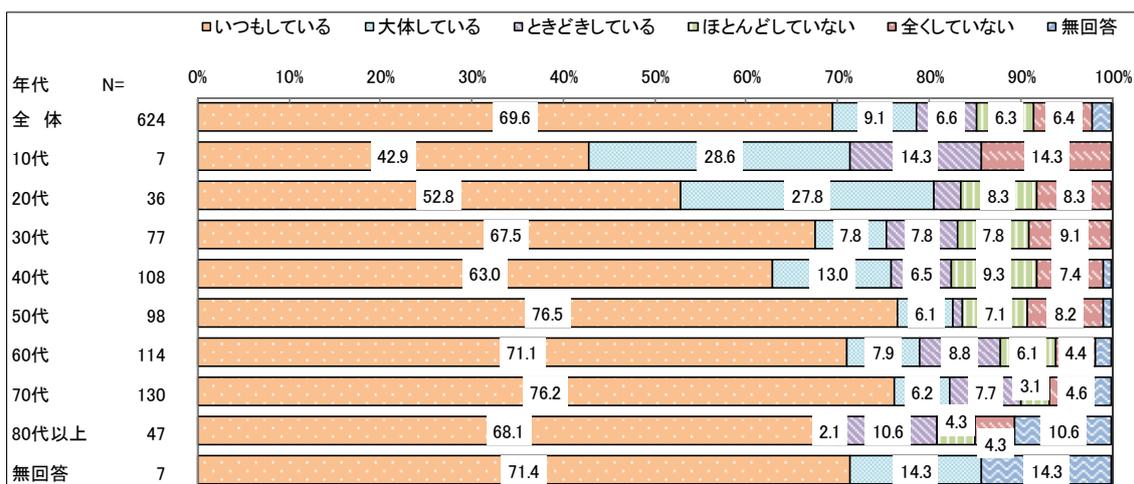
図 ペットボトルを分別しない理由

## エ. 小型金属

### ① 分別の程度

- 「小型金属」の分別について、市全体で見ると「いつもしている」が69.6%と最も高く、次いで「大体している」が9.1%と、他の資源物に比べて分別率が低くなっている。なお、「いつもしている」は、前回調査の65.2%よりも高くなっていた。
- 年代別にみると、年代が上がるにつれて分別を「いつもしている」が高くなる傾向がみられる。

	全体	いつも している	大体 している	ときどき している	ほとんど していない	全く していない	無回答
全体	624 (100.0%)	434 (69.6%)	57 (9.1%)	41 (6.6%)	39 (6.3%)	40 (6.4%)	13 (2.1%)
10代	7 (100.0%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	-	1 (14.3%)	-
20代	36 (100.0%)	19 (52.8%)	10 (27.8%)	1 (2.8%)	3 (8.3%)	3 (8.3%)	-
30代	77 (100.0%)	52 (67.5%)	6 (7.8%)	6 (7.8%)	6 (7.8%)	7 (9.1%)	-
40代	108 (100.0%)	68 (63.0%)	14 (13.0%)	7 (6.5%)	10 (9.3%)	8 (7.4%)	1 (0.9%)
50代	98 (100.0%)	75 (76.5%)	6 (6.1%)	1 (1.0%)	7 (7.1%)	8 (8.2%)	1 (1.0%)
60代	114 (100.0%)	81 (71.1%)	9 (7.9%)	10 (8.8%)	7 (6.1%)	5 (4.4%)	2 (1.8%)
70代	130 (100.0%)	99 (76.2%)	8 (6.2%)	10 (7.7%)	4 (3.1%)	6 (4.6%)	3 (2.3%)
80代 以上	47 (100.0%)	32 (68.1%)	1 (2.1%)	5 (10.6%)	2 (4.3%)	2 (4.3%)	5 (10.6%)
無回答	7 (100.0%)	5 (71.4%)	1 (14.3%)	-	-	-	1 (14.3%)



## ② 分別しない理由

- 「小型金属」を分別しない理由について、市全体で見ると「出し方、分け方がわからない」が42.4%と最も高く、次いで「捨てたいときに捨てられない」が37.9%となっており、前回調査と異なり、「出し方、分け方がわからない」が「捨てたいときに捨てられない」を上回っていた。
- 年代別にみると、「出し方、分け方がわからない」と答えている年代が多く、市民全体への周知が必要性和いえる。

	全体	分別があることを知らなかった	リサイクルの必要性がわからない	手間がかかる	出し方、分け方がわからない	収集曜日がわからない	捨てたいときに捨てられない	その他	無回答	合計回答数
全体	177	15 (8.5%)	1 (0.6%)	8 (4.5%)	75 (42.4%)	35 (19.8%)	67 (37.9%)	41 (23.2%)	6 (3.4%)	248
10代	4	-	-	-	3 (75.0%)	-	2 (50.0%)	-	-	5
20代	17	2 (11.8%)	-	2 (11.8%)	9 (52.9%)	2 (11.8%)	3 (17.6%)	2 (11.8%)	-	20
30代	25	2 (8.0%)	-	-	10 (40.0%)	6 (24.0%)	12 (48.0%)	3 (12.0%)	-	33
40代	39	4 (10.3%)	-	3 (7.7%)	18 (46.2%)	5 (12.8%)	14 (35.9%)	10 (25.6%)	1 (2.6%)	55
50代	22	2 (9.1%)	-	1 (4.5%)	12 (54.5%)	8 (36.4%)	13 (59.1%)	5 (22.7%)	-	41
60代	31	2 (6.5%)	-	1 (3.2%)	9 (29.0%)	8 (25.8%)	15 (48.4%)	9 (29.0%)	2 (6.5%)	46
70代	28	3 (10.7%)	1 (3.6%)	1 (3.6%)	10 (35.7%)	5 (17.9%)	7 (25.0%)	9 (32.1%)	1 (3.6%)	37
80代以上	10	-	-	-	4 (40.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	3 (30.0%)	1 (10.0%)	10
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	1 (100.0%)	1

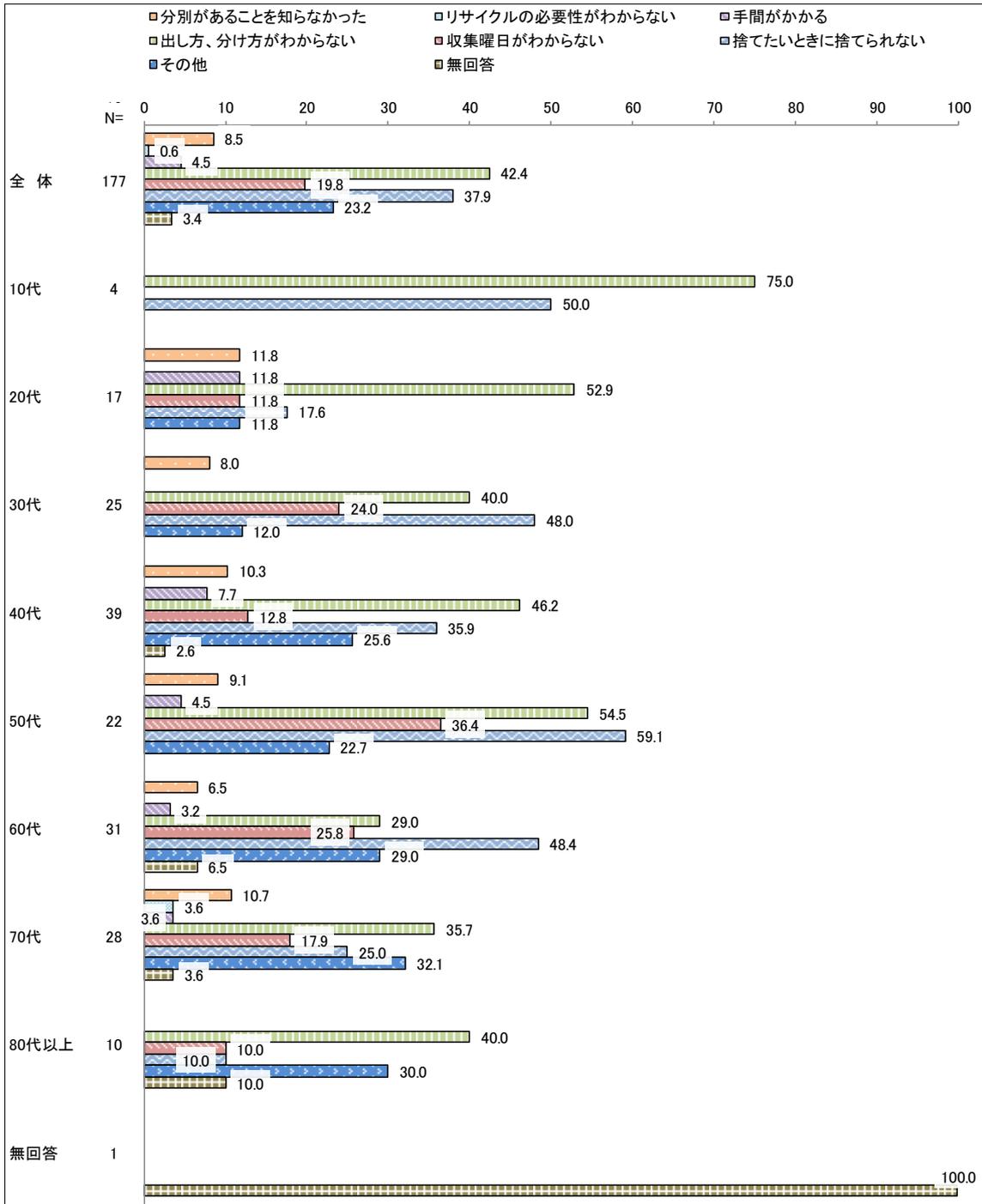


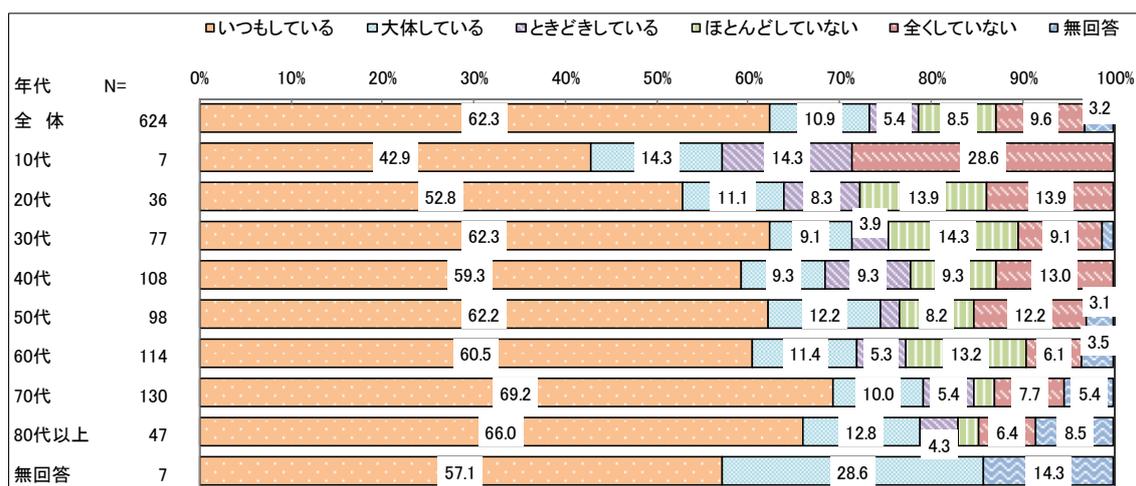
図 小型金属を分別しない理由

オ. 蛍光灯、乾電池、水銀体温計等

① 分別の程度

- 「蛍光灯、乾電池、水銀体温計等」の分別について、市全体でみると「いつもしている」が62.3%と最も高く、次いで「大体している」が10.9%となっている。
- 年代別にみると、年代が上がるにつれて分別を「いつもしている」が高くなる傾向がみられる。

	全体	いつも している	大体 している	ときどき している	ほとんど していない	全く していない	無回答
全体	624 (100.0%)	389 (62.3%)	68 (10.9%)	34 (5.4%)	53 (8.5%)	60 (9.6%)	20 (3.2%)
10代	7 (100.0%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	-	2 (28.6%)	-
20代	36 (100.0%)	19 (52.8%)	4 (11.1%)	3 (8.3%)	5 (13.9%)	5 (13.9%)	-
30代	77 (100.0%)	48 (62.3%)	7 (9.1%)	3 (3.9%)	11 (14.3%)	7 (9.1%)	1 (1.3%)
40代	108 (100.0%)	64 (59.3%)	10 (9.3%)	10 (9.3%)	10 (9.3%)	14 (13.0%)	-
50代	98 (100.0%)	61 (62.2%)	12 (12.2%)	2 (2.0%)	8 (8.2%)	12 (12.2%)	3 (3.1%)
60代	114 (100.0%)	69 (60.5%)	13 (11.4%)	6 (5.3%)	15 (13.2%)	7 (6.1%)	4 (3.5%)
70代	130 (100.0%)	90 (69.2%)	13 (10.0%)	7 (5.4%)	3 (2.3%)	10 (7.7%)	7 (5.4%)
80代 以上	47 (100.0%)	31 (66.0%)	6 (12.8%)	2 (4.3%)	1 (2.1%)	3 (6.4%)	4 (8.5%)
無回答	7 (100.0%)	4 (57.1%)	2 (28.6%)	-	-	-	1 (14.3%)



② 分別しない理由（複数回答）

- 「蛍光管、乾電池、水銀体温計等」を分別しない理由について、市全体でみると「捨てたいときに捨てられない」が35.8%、「出し方、分け方がわからない」が34.9%、「回収場所がわからない」が34.0%となっている。
- 「蛍光管、乾電池、水銀体温計等」の拠点回収は、平成29年11月から開始しており、開始後1年程度とのこともあり、市民全体の認知度が低く、今後更なる周知が必要となっている。

	全体	分別があることを知らなかった	分別の必要性がわからない	手間がかかる	出し方、分け方がわからない	回収場所がわからない	捨てたいときに捨てられない	その他	無回答	合計回答数
全体	215	41 (19.1%)	2 (0.9%)	12 (5.6%)	75 (34.9%)	73 (34.0%)	77 (35.8%)	36 (16.7%)	7 (3.3%)	323
10代	4	3 (75.0%)	-	-	3 (75.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	-	-	8
20代	17	2 (11.8%)	1 (5.9%)	2 (11.8%)	6 (35.3%)	5 (29.4%)	6 (35.3%)	-	-	22
30代	28	3 (10.7%)	-	1 (3.6%)	11 (39.3%)	11 (39.3%)	13 (46.4%)	-	1 (3.6%)	40
40代	44	8 (18.2%)	1 (2.3%)	3 (6.8%)	18 (40.9%)	15 (34.1%)	15 (34.1%)	8 (18.2%)	-	68
50代	34	8 (23.5%)	-	2 (5.9%)	12 (35.3%)	10 (29.4%)	13 (38.2%)	8 (23.5%)	-	53
60代	41	9 (22.0%)	-	3 (7.3%)	15 (36.6%)	16 (39.0%)	16 (39.0%)	8 (19.5%)	2 (4.9%)	69
70代	33	7 (21.2%)	-	-	8 (24.2%)	12 (36.4%)	10 (30.3%)	8 (24.2%)	2 (6.1%)	47
80代以上	12	1 (8.3%)	-	1 (8.3%)	1 (8.3%)	2 (16.7%)	3 (25.0%)	4 (33.3%)	1 (8.3%)	13
無回答	2	-	-	-	1 (50.0%)	1 (50.0%)	-	-	1 (50.0%)	3

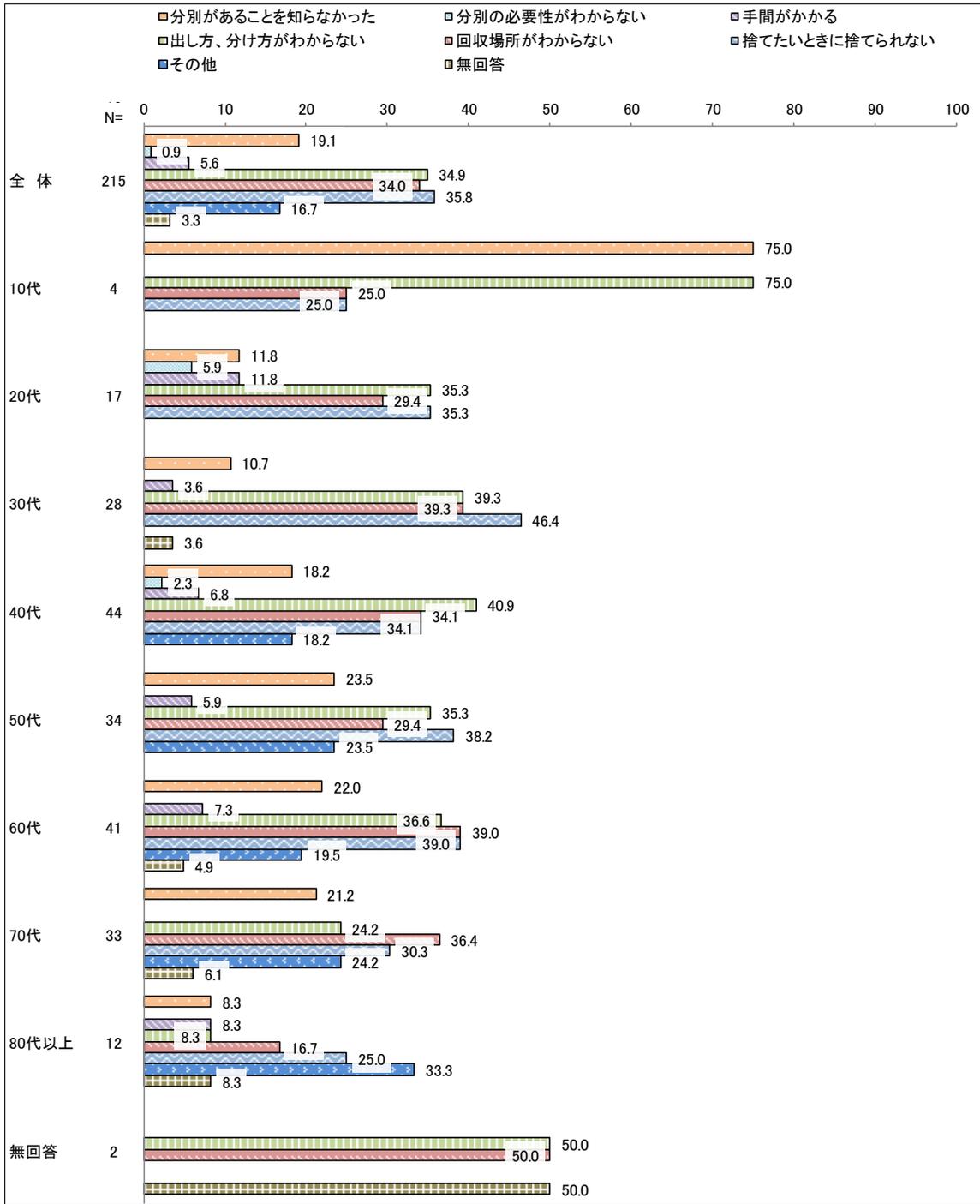


図 蛍光管、乾電池、水銀体温計等を分別しない理由

#### (4) 各種資源物の出し方と出す頻度

##### ア. 各種資源物の出し方（複数回答）

- 各種資源物の出し方について、「市の各資源物の収集」が『①空き缶』～『⑤小型金属』、『⑮食品トレー』、『⑯卵パック』で5割程度となっている。
- 『⑥古布・古紙』は「自治会等での集団回収」が55.3%と高く、前回調査（57.5%）とほとんど変わらなかった。
- 「市の拠点回収」を実施している『⑧小型家電』、『⑩乾電池』、『⑪ボタン電池』、『⑬蛍光管』、『⑭インクカートリッジ』については、それぞれ11%以下となっており、認知度が低いことがうかがえる。

	全体	市の「生活ごみ」収集	市の各資源物の収集	市の「粗大ごみ・不燃小物類」収集	市の拠点回収	自治会等での集団回収	廃品回収業者等の引き取り	スーパーや家電量販店等の店頭回収	その他（直接市の清掃工場へ持込）	無回答	合計回答数
① 空き缶	624	102 (16.3%)	447 (71.6%)	9 (1.4%)	18 (2.9%)	37 (5.9%)	11 (1.8%)	19 (3.0%)	4 (0.6%)	30 (4.8%)	677
② リターナブルびん	624	62 (9.9%)	307 (49.2%)	9 (1.4%)	14 (2.2%)	17 (2.7%)	6 (1.0%)	49 (7.9%)	14 (2.2%)	163 (26.1%)	641
③ 上記②以外のびん	624	90 (14.4%)	378 (60.6%)	22 (3.5%)	14 (2.2%)	15 (2.4%)	3 (0.5%)	16 (2.6%)	5 (0.8%)	98 (15.7%)	641
④ ペットボトル	624	103 (16.5%)	389 (62.3%)	6 (1.0%)	15 (2.4%)	17 (2.7%)	2 (0.3%)	107 (17.1%)	3 (0.5%)	39 (6.3%)	681
⑤ 小型金属	624	67 (10.7%)	320 (51.3%)	108 (17.3%)	12 (1.9%)	14 (2.2%)	32 (5.1%)	5 (0.8%)	24 (3.8%)	66 (10.6%)	648
⑥ 古布・古紙	624	139 (22.3%)	46 (7.4%)	2 (0.3%)	10 (1.6%)	345 (55.3%)	80 (12.8%)	8 (1.3%)	8 (1.3%)	29 (4.6%)	667
⑦ 牛乳パック	624	315 (50.5%)	23 (3.7%)	2 (0.3%)	6 (1.0%)	56 (9.0%)	12 (1.9%)	159 (25.5%)	5 (0.8%)	62 (9.9%)	640
⑧ 小型家電	624	16 (2.6%)	21 (3.4%)	117 (18.8%)	32 (5.1%)	8 (1.3%)	149 (23.9%)	152 (24.4%)	67 (10.7%)	114 (18.3%)	676
⑨ その他の家電	624	13 (2.1%)	10 (1.6%)	140 (22.4%)	15 (2.4%)	9 (1.4%)	151 (24.2%)	176 (28.2%)	79 (12.7%)	85 (13.6%)	678
⑩ 乾電池	624	125 (20.0%)	47 (7.5%)	43 (6.9%)	65 (10.4%)	8 (1.3%)	4 (0.6%)	273 (43.8%)	15 (2.4%)	68 (10.9%)	648
⑪ ボタン電池	624	113 (18.1%)	42 (6.7%)	36 (5.8%)	55 (8.8%)	8 (1.3%)	5 (0.8%)	274 (43.9%)	16 (2.6%)	92 (14.7%)	641
⑫ 充電式電池	624	85 (13.6%)	39 (6.3%)	42 (6.7%)	37 (5.9%)	8 (1.3%)	6 (1.0%)	247 (39.6%)	19 (3.0%)	154 (24.7%)	637
⑬ 蛍光管	624	73 (11.7%)	46 (7.4%)	76 (12.2%)	63 (10.1%)	9 (1.4%)	8 (1.3%)	236 (37.8%)	24 (3.8%)	101 (16.2%)	636
⑭ インクカートリッジ	624	125 (20.0%)	16 (2.6%)	14 (2.2%)	16 (2.6%)	14 (2.2%)	8 (1.3%)	265 (42.5%)	12 (1.9%)	161 (25.8%)	631
⑮ 食品トレー	624	159 (25.5%)	318 (51.0%)	12 (1.9%)	12 (1.9%)	7 (1.1%)	1 (0.2%)	96 (15.4%)	3 (0.5%)	47 (7.5%)	655
⑯ 卵パック	624	153 (24.5%)	349 (55.9%)	12 (1.9%)	13 (2.1%)	9 (1.4%)	2 (0.3%)	48 (7.7%)	8 (1.3%)	45 (7.2%)	639
⑰ てんぷら油	624	455 (72.9%)	15 (2.4%)	3 (0.5%)	7 (1.1%)	11 (1.8%)	2 (0.3%)	11 (1.8%)	6 (1.0%)	117 (18.8%)	627

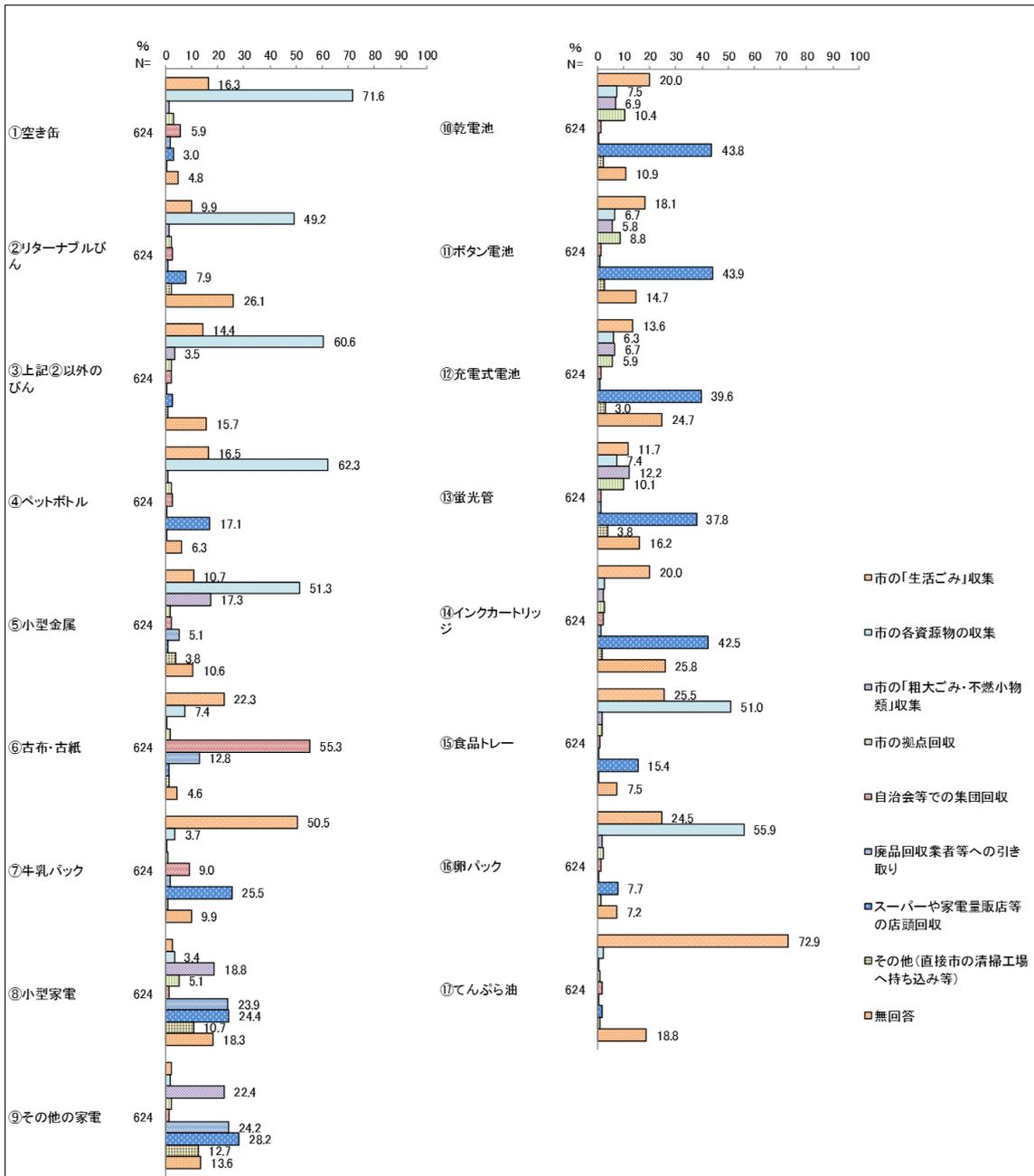


図 各種資源物の出し方

## イ. 各種資源物を出す頻度

- 各資源物を出す頻度について、『⑧小型家電』～『⑭インクカートリッジ』は「数か月に1回以下」が7割程度となっており、排出頻度も低く、ためてから出す傾向にあることがうかがえる。

	全体	週に1回以上	月に2回程度	月に1回程度	数か月に1回以下	無回答
① 空き缶	624 (100.0%)	68 (10.9%)	305 (48.9%)	150 (24.0%)	57 (9.1%)	44 (7.1%)
② リターナブルびん	624 (100.0%)	37 (5.9%)	133 (21.3%)	92 (14.7%)	203 (32.5%)	159 (25.5%)
③ 上記②以外のびん	624 (100.0%)	35 (5.6%)	195 (31.3%)	143 (22.9%)	132 (21.2%)	119 (19.1%)
④ ペットボトル	624 (100.0%)	104 (16.7%)	286 (45.8%)	127 (20.4%)	28 (4.5%)	79 (12.7%)
⑤ 小型金属	624 (100.0%)	12 (1.9%)	7 (1.1%)	105 (16.8%)	413 (66.2%)	87 (13.9%)
⑥ 古布・古紙	624 (100.0%)	42 (6.7%)	66 (10.6%)	345 (55.3%)	82 (13.1%)	89 (14.3%)
⑦ 牛乳パック	624 (100.0%)	206 (33.0%)	91 (14.6%)	130 (20.8%)	75 (12.0%)	122 (19.6%)
⑧ 小型家電	624 (100.0%)	2 (0.3%)	3 (0.5%)	13 (2.1%)	446 (71.5%)	160 (25.6%)
⑨ その他の家電	624 (100.0%)	2 (0.3%)	2 (0.3%)	3 (0.5%)	461 (73.9%)	156 (25.0%)
⑩ 乾電池	624 (100.0%)	5 (0.8%)	9 (1.4%)	41 (6.6%)	442 (70.8%)	127 (20.4%)
⑪ ボタン電池	624 (100.0%)	4 (0.6%)	6 (1.0%)	29 (4.6%)	436 (69.9%)	149 (23.9%)
⑫ 充電式電池	624 (100.0%)	4 (0.6%)	3 (0.5%)	16 (2.6%)	403 (64.6%)	198 (31.7%)
⑬ 蛍光管	624 (100.0%)	5 (0.8%)	3 (0.5%)	12 (1.9%)	441 (70.7%)	163 (26.1%)
⑭ インクカートリッジ	624 (100.0%)	9 (1.4%)	6 (1.0%)	10 (1.6%)	397 (63.6%)	202 (32.4%)
⑮ 食品トレイ	624 (100.0%)	284 (45.5%)	141 (22.6%)	46 (7.4%)	47 (7.5%)	106 (17.0%)
⑯ 卵パック	624 (100.0%)	274 (43.9%)	157 (25.2%)	54 (8.7%)	37 (5.9%)	102 (16.3%)
⑰ てんぷら油	624 (100.0%)	80 (12.8%)	63 (10.1%)	118 (18.9%)	217 (34.8%)	146 (23.4%)

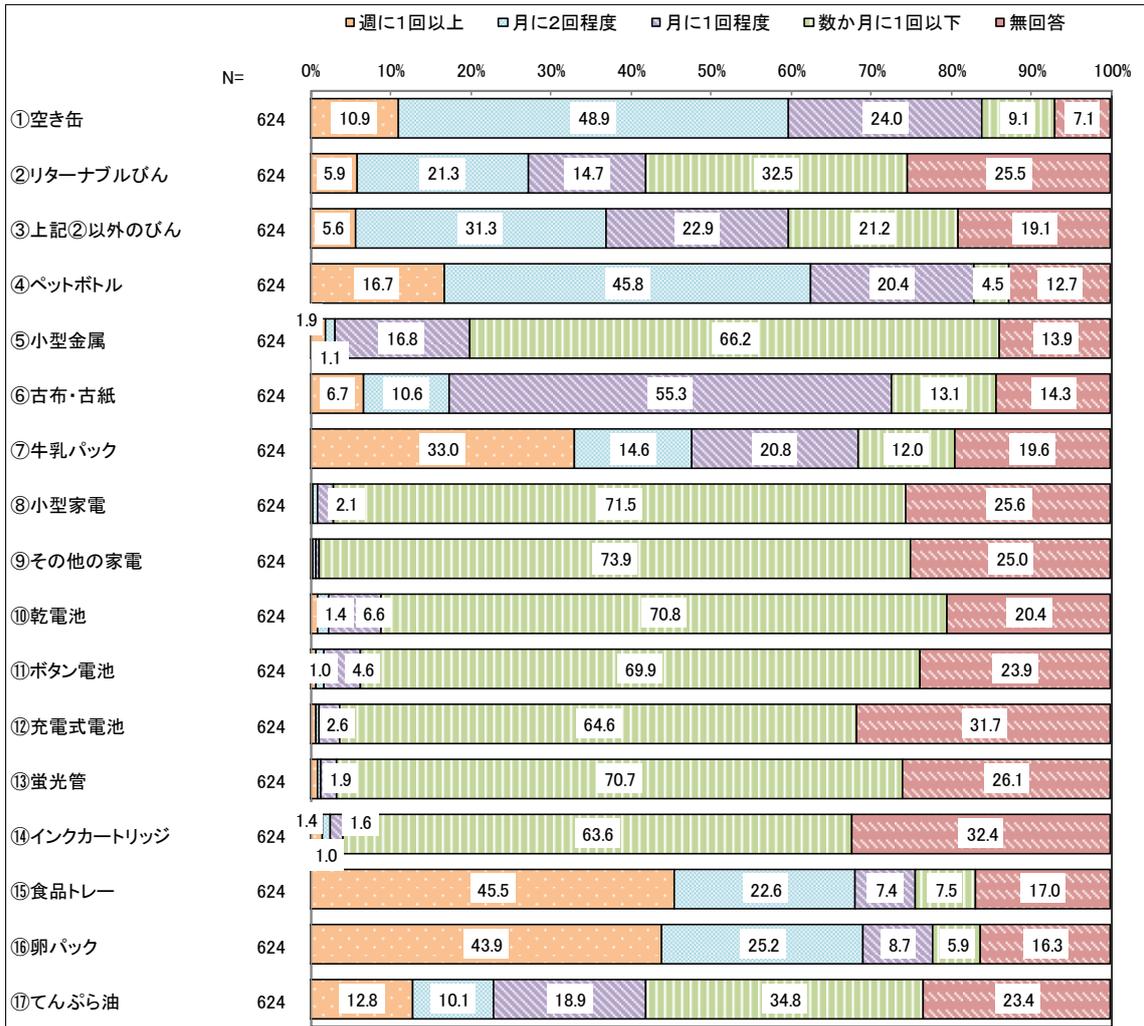


図 各種資源物を出す頻度

## (5) ごみ減量・リサイクルの取組（複数回答）

- ごみ減量・リサイクルの取組について、リサイクルとリフューズは「普段から行っている」の割合が高くなっている傾向なのに対し、リデュースとリユースは「新たに取り組もうと考えている」の割合が高くなっている傾向がある。
- 前回調査と比べると、『⑥パックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ』は「新たに取り組もうと考えている」が非常に高い割合となっている。
- 市民の中でリサイクルとリフューズの意識の定着が進んでおり、今後はリデュースとリユースに意識の定着を進めていく必要がある。

※グラフ内のリフューズ、リデュース、リユース、リサイクルの割合は、該当項目の回答数を足したものを総回答数で割って算出している。

	普段から 行っている	新たに取り組もう と考えている
全体	624	624
① コンビニなどで使い捨てのストローや割り箸などを断る	314 (50.3%)	224 (35.9%)
② マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る	377 (60.4%)	180 (28.8%)
③ 過剰包装を断る	429 (68.8%)	128 (20.5%)
④ 不要なダイレクトメールを断る	313 (50.2%)	217 (34.8%)
⑤ マイ箸やマイボトルを持ち歩くなど、お店で使い捨て製品を使わないようにする	140 (22.4%)	344 (55.1%)
⑥ パックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ	107 (17.1%)	339 (54.3%)
⑦ 外食時に食べ残しをしないようにする	523 (83.8%)	48 (7.7%)
⑧ 家庭で「買った食材を使いきる、残さず食べきる、生ごみを出す前に水を切る」などにより生ごみを減らす	484 (77.6%)	100 (16.0%)
⑨ 詰め替え商品を購入する	536 (85.9%)	50 (8.0%)
⑩ 不要になった物をフリーマーケットやリユース（リサイクル）ショップ、ネットオークション等で売る	165 (26.4%)	301 (48.2%)
⑪ フリーマーケットやリユース（リサイクル）ショップ、ネットオークション等で買い物をする	129 (20.7%)	295 (47.3%)
⑫ 家電製品などが故障したときは修理をして、長期間使う	377 (60.4%)	136 (21.8%)
⑬ 古紙や古布などを地域の集団回収等に出す	481 (77.1%)	88 (14.1%)
⑭ ごみ（資源物）を分別している	544 (87.2%)	43 (6.9%)
⑮ 食品トレー・紙パックなどをスーパーの店頭回収に出す	247 (39.6%)	235 (37.7%)
⑯ 再生紙でできたトイレトペーパーなど、再生品を買う	334 (53.5%)	172 (27.6%)
無回答	11 (1.8%)	96 (15.4%)
総回答数（無回答を除く）	5,511	2,996

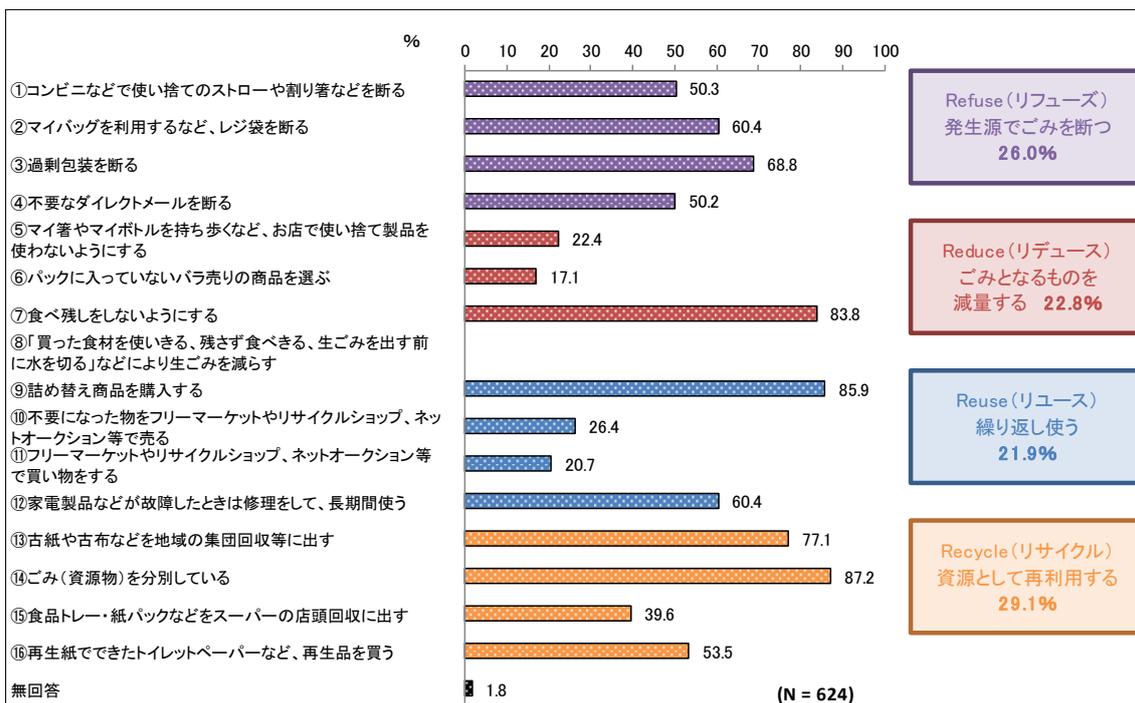


図 普段から行っている

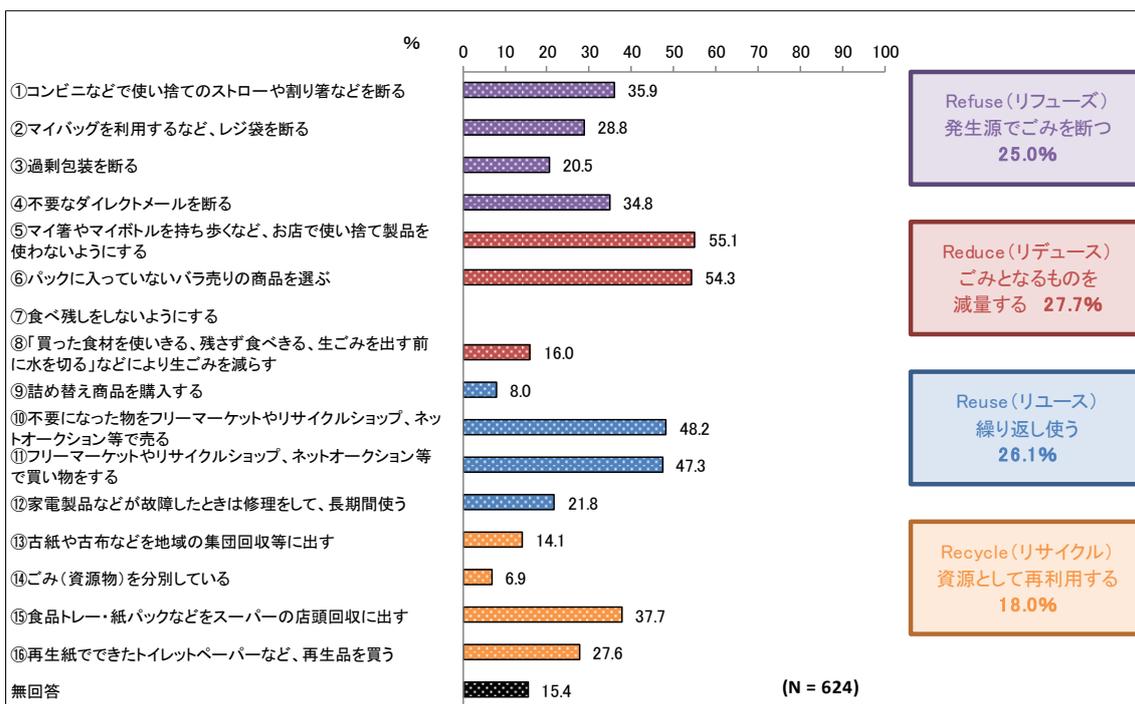


図 新たに取組もうと考えている

## (6) その他取り組んでいるごみ減量・リサイクル行動

- その他取り組んでいるごみ減量・リサイクル行動については、自由回答を分類したところ、「生ごみなどは、庭や畑に埋め肥料にする（コンポストを利用）」や「不要なものを買わない」、「日頃から減量化に心がけている」などが10件以上の回答があった。
- 前回調査同様、「生ごみなどは、庭や畑に埋め肥料にする（コンポストを利用）」や「不要なものを買わない」に一定の意見が集まったことから、取組として啓発することで、これらのごみ減量・リサイクル行動の一般化を図ることが可能と考えられる。

その他に取り組んでいるごみ減量・リサイクル行動	件数
生ごみは、庭や畑に埋め肥料にする（コンポストを利用）	14
不要なものを買わない	11
日ごろから減量化に心がけている	10
ペットボトルや紙箱など再利用している	4
過剰包装品を買わない、レジ袋を買わないなどの買い物行動	3
潰す・小さく切るなどして、小さくして出している	2
ペットボトルキャップの回収	1
ディスプレイを利用する	1
マイカップ、マイ箸運動	1
その他（要望など）	8

## (7) ごみ減量・リサイクルに関する情報を知る方法（複数回答）

- ごみ減量・リサイクルに関する情報を知る方法は、市全体でみると「広報さかい」が69.4%と最も高く、次いで「回覧板」が32.1%となっていた。なお、「広報さかい」は前回調査（67.7%）よりも高くなっていた。
- 年代別にみると、「ツイッターなどのSNS」が若い世代で利用されている。
- 電子媒体により情報を知る割合も前回調査から増えているものの、すべての世代で各戸配布される「広報さかい」により情報を得ているケースが多い。

	全体	広報さかい	市役所等で配布するパンフレットやチラシ	堺市ホームページ	回覧板	ツイッターなどのSNS	ごみ分別アプリ「さんあ〜る」
全体	624	433 (69.4%)	174 (27.9%)	78 (12.5%)	200 (32.1%)	16 (2.6%)	14 (2.2%)
10代	7	3 (42.9%)	1 (14.3%)	-	3 (42.9%)	1 (14.3%)	-
20代	36	21 (58.3%)	6 (16.7%)	5 (13.9%)	9 (25.0%)	7 (19.4%)	-
30代	77	47 (61.0%)	6 (7.8%)	11 (14.3%)	17 (22.1%)	5 (6.5%)	2 (2.6%)
40代	108	75 (69.4%)	25 (23.1%)	20 (18.5%)	21 (19.4%)	1 (0.9%)	6 (5.6%)
50代	98	71 (72.4%)	29 (29.6%)	11 (11.2%)	32 (32.7%)	1 (1.0%)	2 (2.0%)
60代	114	84 (73.7%)	40 (35.1%)	12 (10.5%)	44 (38.6%)	-	1 (0.9%)
70代	130	98 (75.4%)	53 (40.8%)	12 (9.2%)	51 (39.2%)	-	2 (1.5%)
80代以上	47	31 (66.0%)	14 (29.8%)	6 (12.8%)	21 (44.7%)	1 (2.1%)	1 (2.1%)
無回答	7	3 (42.9%)	-	1 (14.3%)	2 (28.6%)	-	-

	堺市ホームページ以外の関連サイト	廃品回収業者のチラシ	新聞、テレビ、ラジオなど	口コミ	その他	無回答	合計回答数
全体	21 (3.4%)	163 (26.1%)	177 (28.4%)	85 (13.6%)	13 (2.1%)	22 (3.5%)	1,396
10代	1 (14.3%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	-	-	16
20代	-	8 (22.2%)	10 (27.8%)	5 (13.9%)	-	1 (2.8%)	72
30代	7 (9.1%)	8 (10.4%)	18 (23.4%)	10 (13.0%)	2 (2.6%)	5 (6.5%)	138
40代	2 (1.9%)	27 (25.0%)	27 (25.0%)	12 (11.1%)	1 (0.9%)	2 (1.9%)	219
50代	4 (4.1%)	23 (23.5%)	31 (31.6%)	9 (9.2%)	3 (3.1%)	2 (2.0%)	218
60代	2 (1.8%)	37 (32.5%)	37 (32.5%)	19 (16.7%)	2 (1.8%)	1 (0.9%)	279
70代	4 (3.1%)	41 (31.5%)	36 (27.7%)	19 (14.6%)	3 (2.3%)	4 (3.1%)	323
80代以上	1 (2.1%)	17 (36.2%)	14 (29.8%)	7 (14.9%)	2 (4.3%)	4 (8.5%)	119
無回答	-	-	2 (28.6%)	1 (14.3%)	-	3 (42.9%)	12

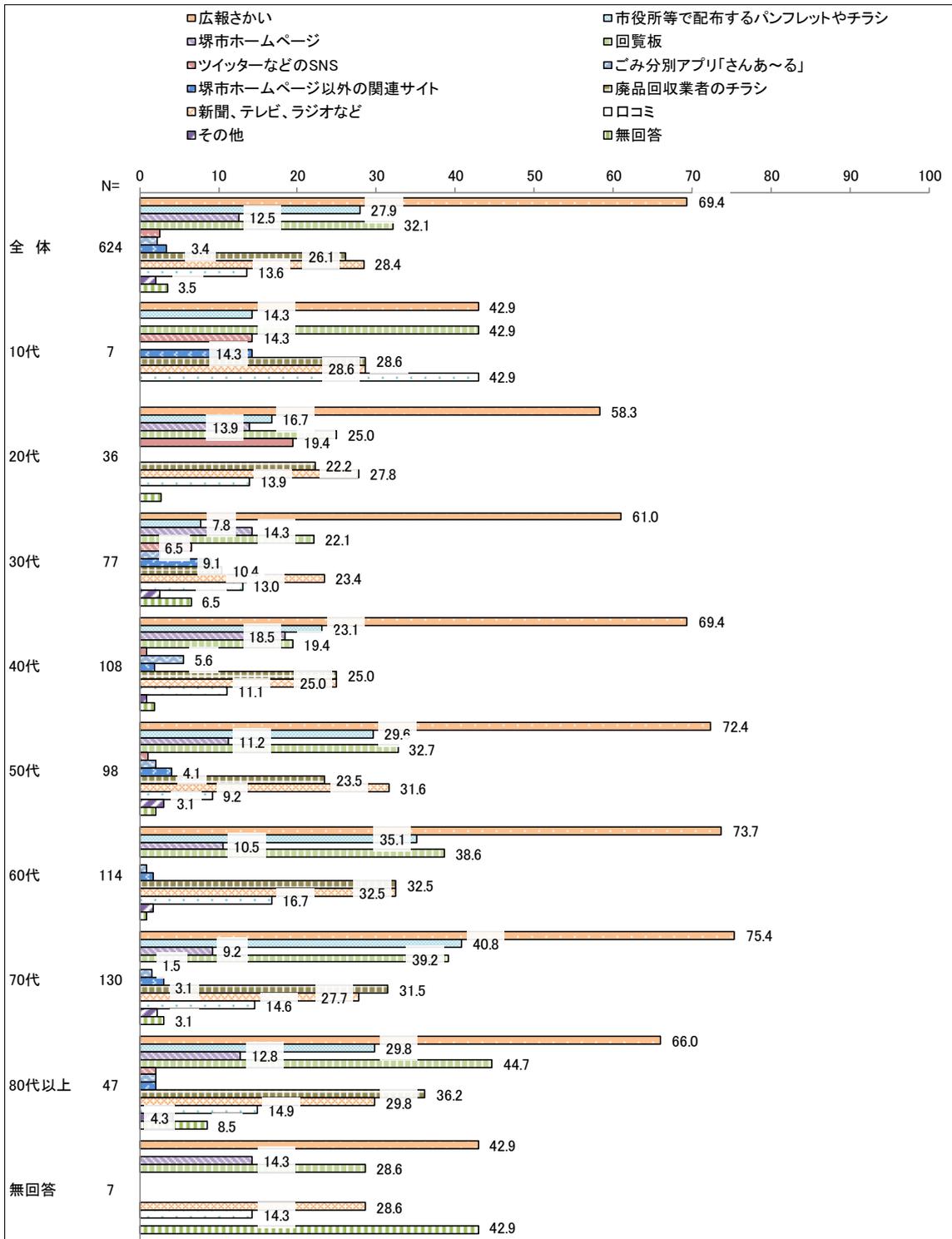


図 ごみ減量・リサイクルに関する情報を知る方法

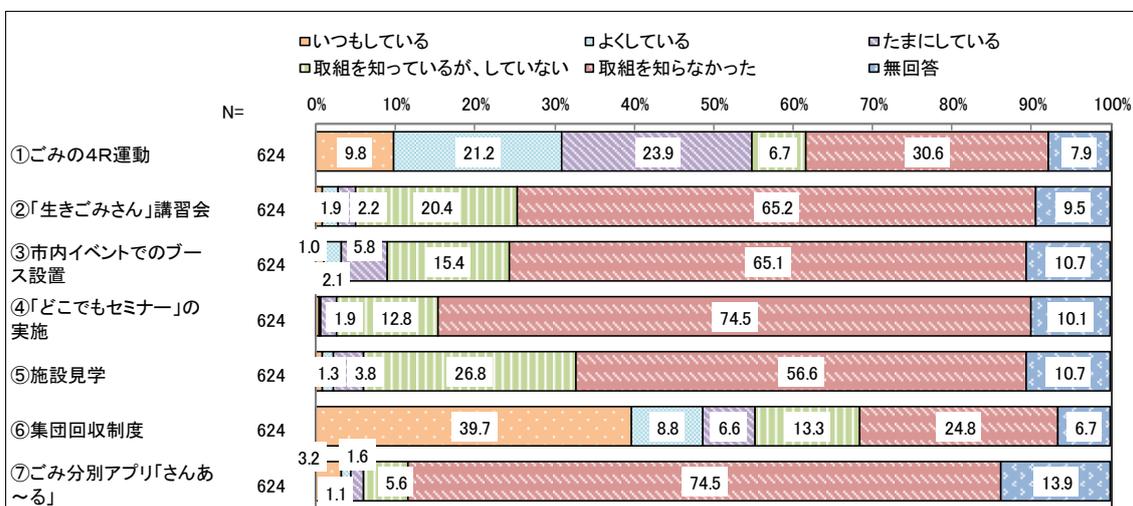
## 2. 現在の市の取組について

### (1) 市が行っている取組の実施・利用について

#### ア. 実施・利用の有無

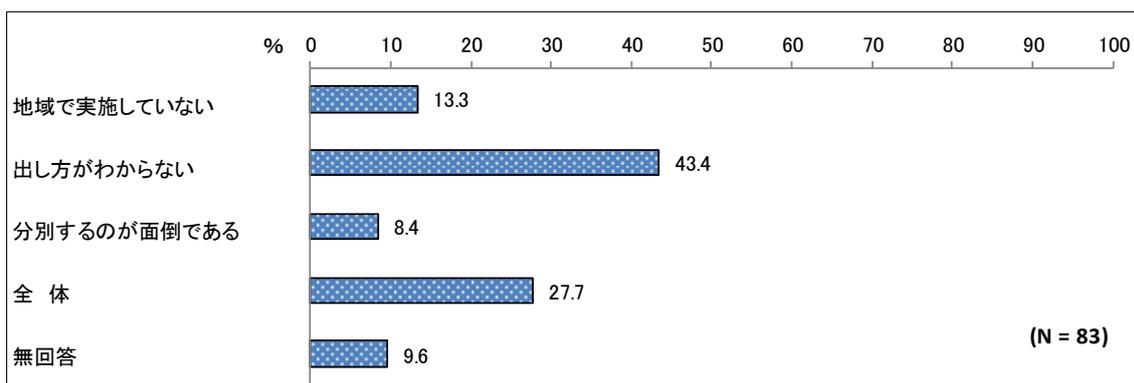
- 市が行っている取組の実施・利用の有無は、市全体でみると「いつもしている」は、『⑥集団回収制度』が39.7%と、前回調査と同様に最も高く、次いで『①ごみの4R運動』が9.8%となっている。一方、そのほかの取組については「取組を知らなかった」が5割以上と高く、認知度が低い現状がうかがえる。

	全体	いつも している	よく している	たまに している	取組を知っ ているが、 していない	取組を知ら なかった	無回答
① ごみの4R運動	624 (100.0%)	61 (9.8%)	132 (21.2%)	149 (23.9%)	42 (6.7%)	191 (30.6%)	49 (7.9%)
② 「生きごみさん」 講習会	624 (100.0%)	5 (0.8%)	12 (1.9%)	14 (2.2%)	127 (20.4%)	407 (65.2%)	59 (9.5%)
③ 市内イベント でのブース設置	624 (100.0%)	6 (1.0%)	13 (2.1%)	36 (5.8%)	96 (15.4%)	406 (65.1%)	67 (10.7%)
④ 「どこでもセミナー」 の実施	624 (100.0%)	2 (0.3%)	2 (0.3%)	12 (1.9%)	80 (12.8%)	465 (74.5%)	63 (10.1%)
⑤ 施設見学	624 (100.0%)	5 (0.8%)	8 (1.3%)	24 (3.8%)	167 (26.8%)	353 (56.6%)	67 (10.7%)
⑥ 集団回収制度	624 (100.0%)	248 (39.7%)	55 (8.8%)	41 (6.6%)	83 (13.3%)	155 (24.8%)	42 (6.7%)
⑦ ごみ分別アプリ「さんあ 〜る」	624 (100.0%)	20 (3.2%)	7 (1.1%)	10 (1.6%)	35 (5.6%)	465 (74.5%)	87 (13.9%)



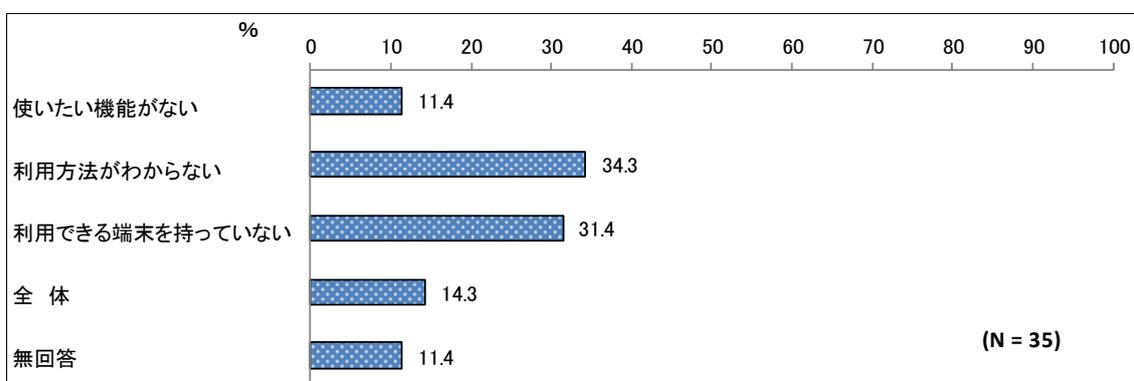
- また、集団回収制度を利用していない理由については「出し方がわからない」が43.4%と最も高く、次いで「地域で実施していない」が13.3%となっており、利用者増加の余地はあるものと考えられる。

全体	地域で実施していない	出し方がわからない	分別するのが面倒である	その他	無回答	合計回答数
83	11 (13.3%)	36 (43.4%)	7 (8.4%)	23 (27.7%)	8 (9.6%)	85



- また、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」を利用していない理由については「利用方法がわからない」が34.3%と最も高く、次いで「利用できる端末を持っていない」が31.4%となっており、アプリを利用できるスマートフォン等の普及が今後さらに進んでいくことで、利用者増加の余地はあるものと考えられる。

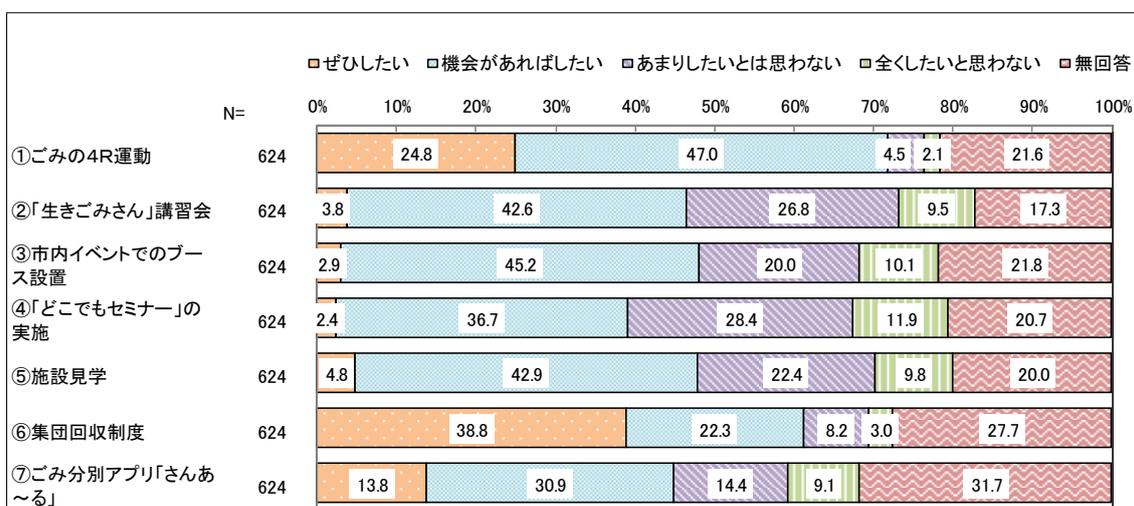
全体	使いたい機能がない	利用方法がわからない	利用できる端末を持っていない	その他	無回答	合計回答数
35	4 (11.4%)	12 (34.3%)	11 (31.4%)	5 (14.3%)	4 (11.4%)	36



## イ. 実施・利用の意向

○ 今後の実施・利用の意向については、市全体でみると「ぜひしたい」は、『⑥集団回収制度』が38.8%と最も高く、次いで『①ごみの4R運動』が24.8%となっている。一方で、『④「どこでもセミナー」の実施』は唯一、「ぜひしたい」と「機会があればほしい」を合わせた割合が4割以下となっており、実施・利用の意向が低い現状がうかがえる。

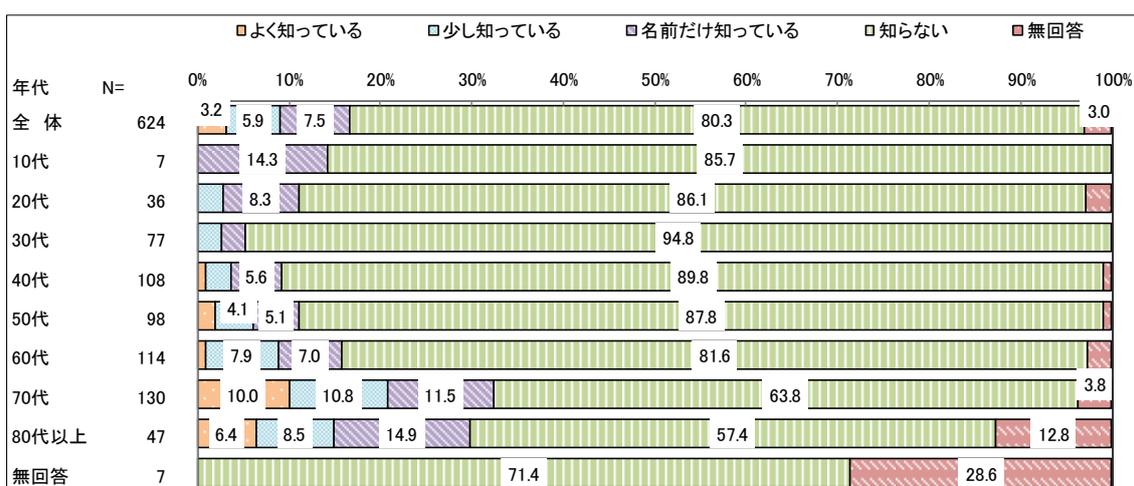
	全体	ぜひ したい	機会があれば ほしい	あまりしたい と思わない	全くしたいと 思わない	無回答
① ごみの4R運動	624 (100.0%)	155 (24.8%)	293 (47.0%)	28 (4.5%)	13 (2.1%)	135 (21.6%)
② 「生きごみさん」講習会	624 (100.0%)	24 (3.8%)	266 (42.6%)	167 (26.8%)	59 (9.5%)	108 (17.3%)
③ 市内イベントでのブース設置	624 (100.0%)	18 (2.9%)	282 (45.2%)	125 (20.0%)	63 (10.1%)	136 (21.8%)
④ 「どこでもセミナー」の実施	624 (100.0%)	15 (2.4%)	229 (36.7%)	177 (28.4%)	74 (11.9%)	129 (20.7%)
⑤ 施設見学	624 (100.0%)	30 (4.8%)	268 (42.9%)	140 (22.4%)	61 (9.8%)	125 (20.0%)
⑥ 集団回収	624 (100.0%)	242 (38.8%)	139 (22.3%)	51 (8.2%)	19 (3.0%)	173 (27.7%)
⑦ ごみ分別アプリ「さんあ〜る」	624 (100.0%)	86 (13.8%)	193 (30.9%)	90 (14.4%)	57 (9.1%)	198 (31.7%)



## (2) 「ごみ減量化推進員制度」の認知度について

- 「ごみ減量化推進員制度」の認知度について、市全体で見ると「知らない」が80.3%となっており、前回調査の82.9%より低くなっていた。
- 年代別にみると、「よく知っている」、「少し知っている」、「名前だけ知っている」を合わせた割合が、70代で32.3%、80代以上で29.8%と、他の年代に比べて認知されている。
- 高齢者ほど地域の情報についての情報感度が高く、広報さかいや回覧板等のアナログな情報手段が主要な情報発信手段である現状がうかがえる。

	全体	よく知っている	少し知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答
全体	624 (100.0%)	20 (3.2%)	37 (5.9%)	47 (7.5%)	501 (80.3%)	19 (3.0%)
10代	7 (100.0%)	-	-	1 (14.3%)	6 (85.7%)	-
20代	36 (100.0%)	-	1 (2.8%)	3 (8.3%)	31 (86.1%)	1 (2.8%)
30代	77 (100.0%)	-	2 (2.6%)	2 (2.6%)	73 (94.8%)	-
40代	108 (100.0%)	1 (0.9%)	3 (2.8%)	6 (5.6%)	97 (89.8%)	1 (0.9%)
50代	98 (100.0%)	2 (2.0%)	4 (4.1%)	5 (5.1%)	86 (87.8%)	1 (1.0%)
60代	114 (100.0%)	1 (0.9%)	9 (7.9%)	8 (7.0%)	93 (81.6%)	3 (2.6%)
70代	130 (100.0%)	13 (10.0%)	14 (10.8%)	15 (11.5%)	83 (63.8%)	5 (3.8%)
80代以上	47 (100.0%)	3 (6.4%)	4 (8.5%)	7 (14.9%)	27 (57.4%)	6 (12.8%)
無回答	7 (100.0%)	-	-	-	5 (71.4%)	2 (28.6%)

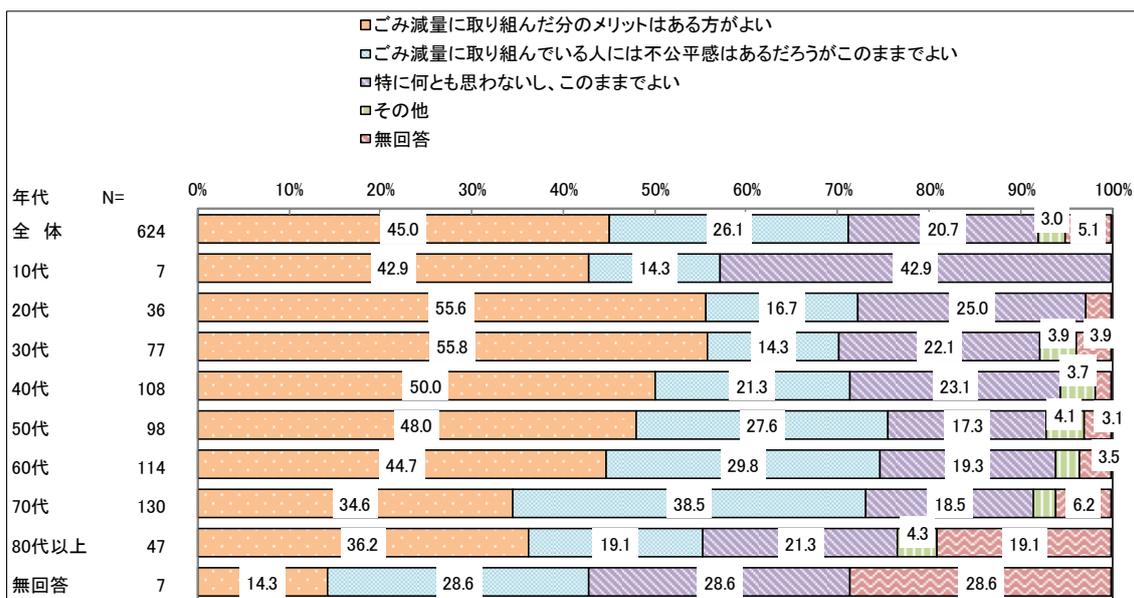


### 3. ごみ処理について

#### (1) ごみ処理の一律サービスについて

- ごみ減量に努めている人とそうでない人とが一律のごみ処理サービスを受けられる現状に対して、市全体でみると前回調査（49.4%）より少し低くなっていたが、「ごみ減量に取り組んだ分のメリットはある方がよい」が45.0%と最も高くなっていた。
- 年代別にみると、大きな違いはみられなかった。

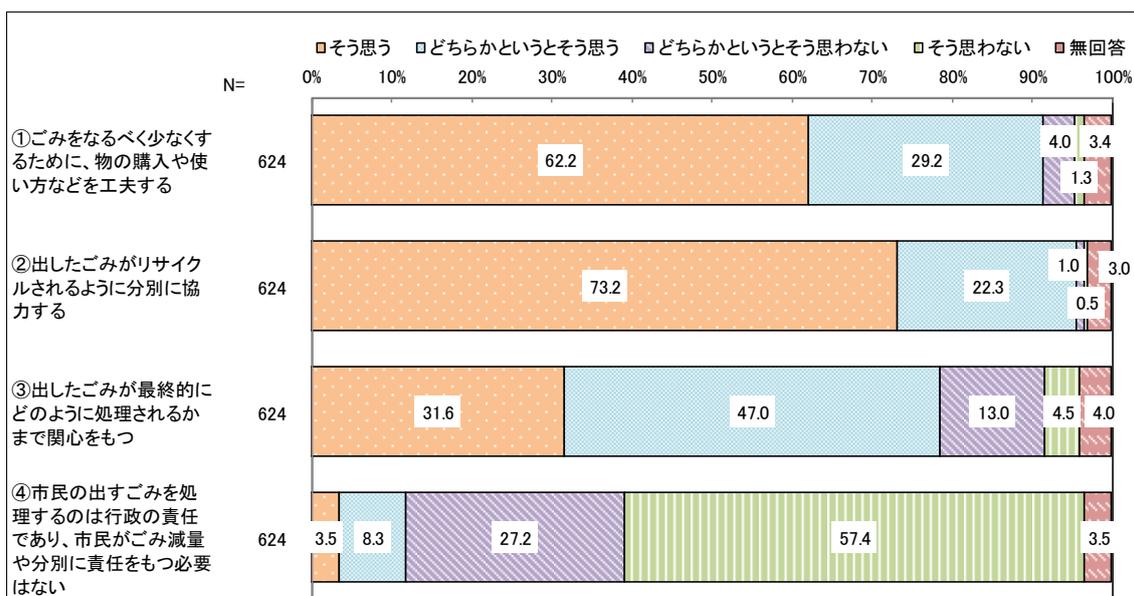
	全体	ごみ減量に取り組んだ分のメリットはある方がよい	ごみ減量に取り組んでいる人には不公平感はあるだろうがこのままでよい	特に何とも思わないし、このままでよい	その他	無回答
全体	624 (100.0%)	281 (45.0%)	163 (26.1%)	129 (20.7%)	19 (3.0%)	32 (5.1%)
10代	7 (100.0%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	3 (42.9%)	-	-
20代	36 (100.0%)	20 (55.6%)	6 (16.7%)	9 (25.0%)	-	1 (2.8%)
30代	77 (100.0%)	43 (55.8%)	11 (14.3%)	17 (22.1%)	3 (3.9%)	3 (3.9%)
40代	108 (100.0%)	54 (50.0%)	23 (21.3%)	25 (23.1%)	4 (3.7%)	2 (1.9%)
50代	98 (100.0%)	47 (48.0%)	27 (27.6%)	17 (17.3%)	4 (4.1%)	3 (3.1%)
60代	114 (100.0%)	51 (44.7%)	34 (29.8%)	22 (19.3%)	3 (2.6%)	4 (3.5%)
70代	130 (100.0%)	45 (34.6%)	50 (38.5%)	24 (18.5%)	3 (2.3%)	8 (6.2%)
80代以上	47 (100.0%)	17 (36.2%)	9 (19.1%)	10 (21.3%)	2 (4.3%)	9 (19.1%)
無回答	7 (100.0%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	-	2 (28.6%)



## (2) ごみ減量やリサイクルに対する姿勢について

- ごみ減量やリサイクルに対する姿勢について、市全体でみると「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、『①ごみをなるべく少なくするために、物の購入や使い方などを工夫する』、『②出したごみがリサイクルされるように分別に協力する』、『③出したごみが最終的にどのように処理されるかまで関心をもつ』では8割弱を超えており、ごみ減量化・リサイクルに協力的であることがうかがえる。
- 一方で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、『④市民の出すごみを処理するのは行政の責任であり、市民がごみ減量や分別に責任をもつ必要はない』で84.6%と、ごみ減量やリサイクルに対して市民一人ひとりが責任をもつべきだと考えている人の割合が高くなっている。
- 前回調査と比較すると、①、②、③で上回っており、市民のごみ減量化・リサイクルに対する姿勢の向上がうかがえる。

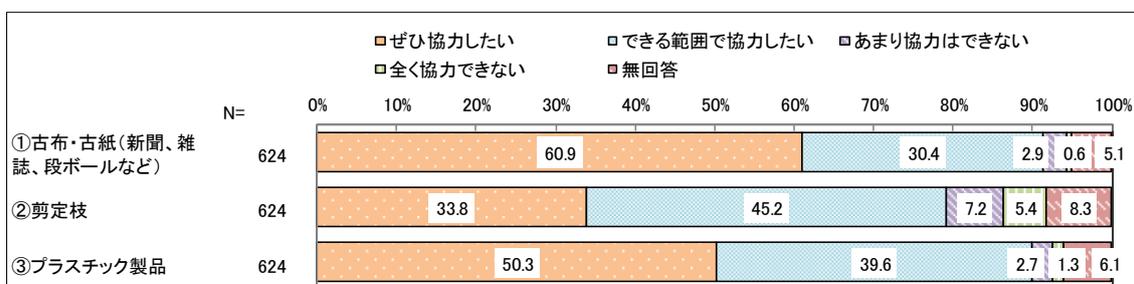
	全体	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答
① ごみをなるべく少なくするために、物の購入や使い方などを工夫する	624 (100.0%)	388 (62.2%)	182 (29.2%)	25 (4.0%)	8 (1.3%)	21 (3.4%)
② 出したごみがリサイクルされるように分別に協力する	624 (100.0%)	457 (73.2%)	139 (22.3%)	6 (1.0%)	3 (0.5%)	19 (3.0%)
③ 出したごみが最終的にどのように処理されるかまで関心をもつ	624 (100.0%)	197 (31.6%)	293 (47.0%)	81 (13.0%)	28 (4.5%)	25 (4.0%)
④ 市民の出すごみを処理するのは行政の責任であり、市民がごみ減量や分別に責任をもつ必要はない	624 (100.0%)	22 (3.5%)	52 (8.3%)	170 (27.2%)	358 (57.4%)	22 (3.5%)



### (3) 分別品目を増やした場合の対応について

- 分別品目を増やした場合の対応について、市全体でみると「ぜひ協力したい」と「できる範囲で協力したい」を合わせた割合は、すべての項目で8割弱を超えている。
- 『①古布・古紙』の「ぜひ協力したい」は、前回調査（56.4%）から、60.9%と高くなっており、分別品目として増やした場合、市民の協力が得られる可能性が比較的高いことがうかがえる。

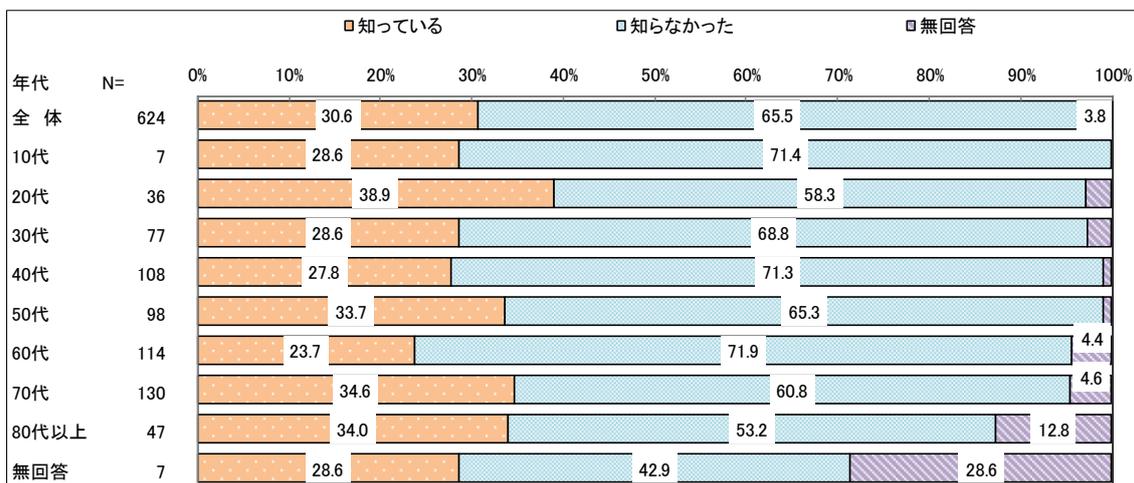
	全体	ぜひ協力したい	できる範囲で協力したい	あまり協力できない	全く協力できない	無回答
① 古布・古紙（新聞、雑誌、段ボールなど）	624 (100.0%)	380 (60.9%)	190 (30.4%)	18 (2.9%)	4 (0.6%)	32 (5.1%)
② 剪定枝	624 (100.0%)	211 (33.8%)	282 (45.2%)	45 (7.2%)	34 (5.4%)	52 (8.3%)
③ プラスチック製品	624 (100.0%)	314 (50.3%)	247 (39.6%)	17 (2.7%)	8 (1.3%)	38 (6.1%)



#### (4) 焼却灰は大阪湾フェニックスに埋め立てられていることを知っているか

- 焼却灰の大阪湾フェニックスへの埋め立てについて、市全体でみると「知っている」は30.6%で、「知らなかった」は65.5%となり、前回調査よりわずかに認知度が向上した。
- 年代別にみると、「知らなかった」の割合が高く、大きな違いは見られなかった。

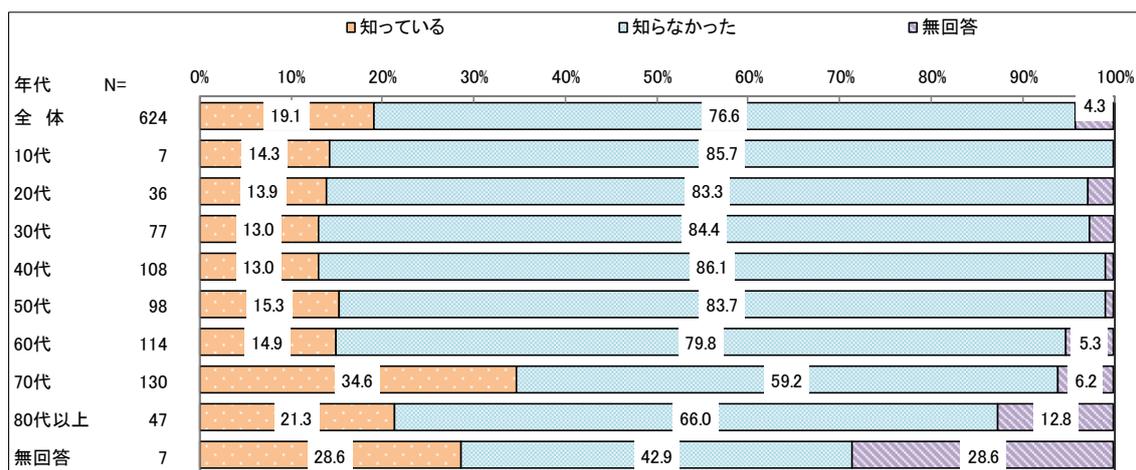
	全体	知っている	知らなかった	無回答
全体	624 (100.0%)	191 (30.6%)	409 (65.5%)	24 (3.8%)
10代	7 (100.0%)	2 (28.6%)	5 (71.4%)	-
20代	36 (100.0%)	14 (38.9%)	21 (58.3%)	1 (2.8%)
30代	77 (100.0%)	22 (28.6%)	53 (68.8%)	2 (2.6%)
40代	108 (100.0%)	30 (27.8%)	77 (71.3%)	1 (0.9%)
50代	98 (100.0%)	33 (33.7%)	64 (65.3%)	1 (1.0%)
60代	114 (100.0%)	27 (23.7%)	82 (71.9%)	5 (4.4%)
70代	130 (100.0%)	45 (34.6%)	79 (60.8%)	6 (4.6%)
80代以上	47 (100.0%)	16 (34.0%)	25 (53.2%)	6 (12.8%)
無回答	7 (100.0%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)



### (5) 堺市の施設の老朽化が進み整備が必要なことを知っていたか

- 市内クリーンセンターの整備の必要性について、市全体で見ると「知っている」は19.1%、「知らなかった」は76.6%となっており、前回調査より認知度が向上した。
- 年代別にみると、「知っている」が70代で34.6%、80代以上で21.3%と、特に高齢者層での関心が高いことがうかがえる。
- なお、ごみの分別方法、処理処分等と比べると認知度は低く、現在稼働している施設の老朽化についての危機意識が低いことがわかる。

	全体	知っている	知らなかった	無回答
全体	624 (100.0%)	119 (19.1%)	478 (76.6%)	27 (4.3%)
10代	7 (100.0%)	1 (14.3%)	6 (85.7%)	-
20代	36 (100.0%)	5 (13.9%)	30 (83.3%)	1 (2.8%)
30代	77 (100.0%)	10 (13.0%)	65 (84.4%)	2 (2.6%)
40代	108 (100.0%)	14 (13.0%)	93 (86.1%)	1 (0.9%)
50代	98 (100.0%)	15 (15.3%)	82 (83.7%)	1 (1.0%)
60代	114 (100.0%)	17 (14.9%)	91 (79.8%)	6 (5.3%)
70代	130 (100.0%)	45 (34.6%)	77 (59.2%)	8 (6.2%)
80代以上	47 (100.0%)	10 (21.3%)	31 (66.0%)	6 (12.8%)
無回答	7 (100.0%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)



#### 4. 今後のごみ処理行政について

##### (1) 今後、本市に希望する取組について

- ① 分別等の周知や情報提供の取組について希望するもの（複数回答）
- 分別等への周知や情報提供の取組への希望については、市全体でみると「詳細な分別品目表の配布」が70.5%と最も高く、前回調査と比べても非常に高くなっていることから、ごみの分別区分の把握を課題としている現状がうかがえる。
  - 年代別にみると、大きな違いは見られなかった。

	全体	詳細な分別品目表の配布	市内で開催されるフリーマーケットやリユース（リサイクル）ショップの取扱品目、日時や場所等の情報提供	家具や服飾品などのリフォームショップの情報提供	その他	無回答	合計回答数
全体	624	440 (70.5%)	253 (40.5%)	181 (29.0%)	36 (5.8%)	46 (7.4%)	956
10代	7	7 (100.0%)	3 (42.9%)	-	1 (14.3%)	-	11
20代	36	22 (61.1%)	13 (36.1%)	13 (36.1%)	3 (8.3%)	4 (11.1%)	55
30代	77	54 (70.1%)	34 (44.2%)	20 (26.0%)	5 (6.5%)	3 (3.9%)	116
40代	108	76 (70.4%)	41 (38.0%)	23 (21.3%)	7 (6.5%)	7 (6.5%)	154
50代	98	72 (73.5%)	36 (36.7%)	30 (30.6%)	5 (5.1%)	2 (2.0%)	145
60代	114	82 (71.9%)	48 (42.1%)	36 (31.6%)	5 (4.4%)	7 (6.1%)	178
70代	130	95 (73.1%)	55 (42.3%)	41 (31.5%)	8 (6.2%)	12 (9.2%)	211
80代以上	47	28 (59.6%)	20 (42.6%)	15 (31.9%)	2 (4.3%)	9 (19.1%)	74
無回答	7	4 (57.1%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	-	2 (28.6%)	12

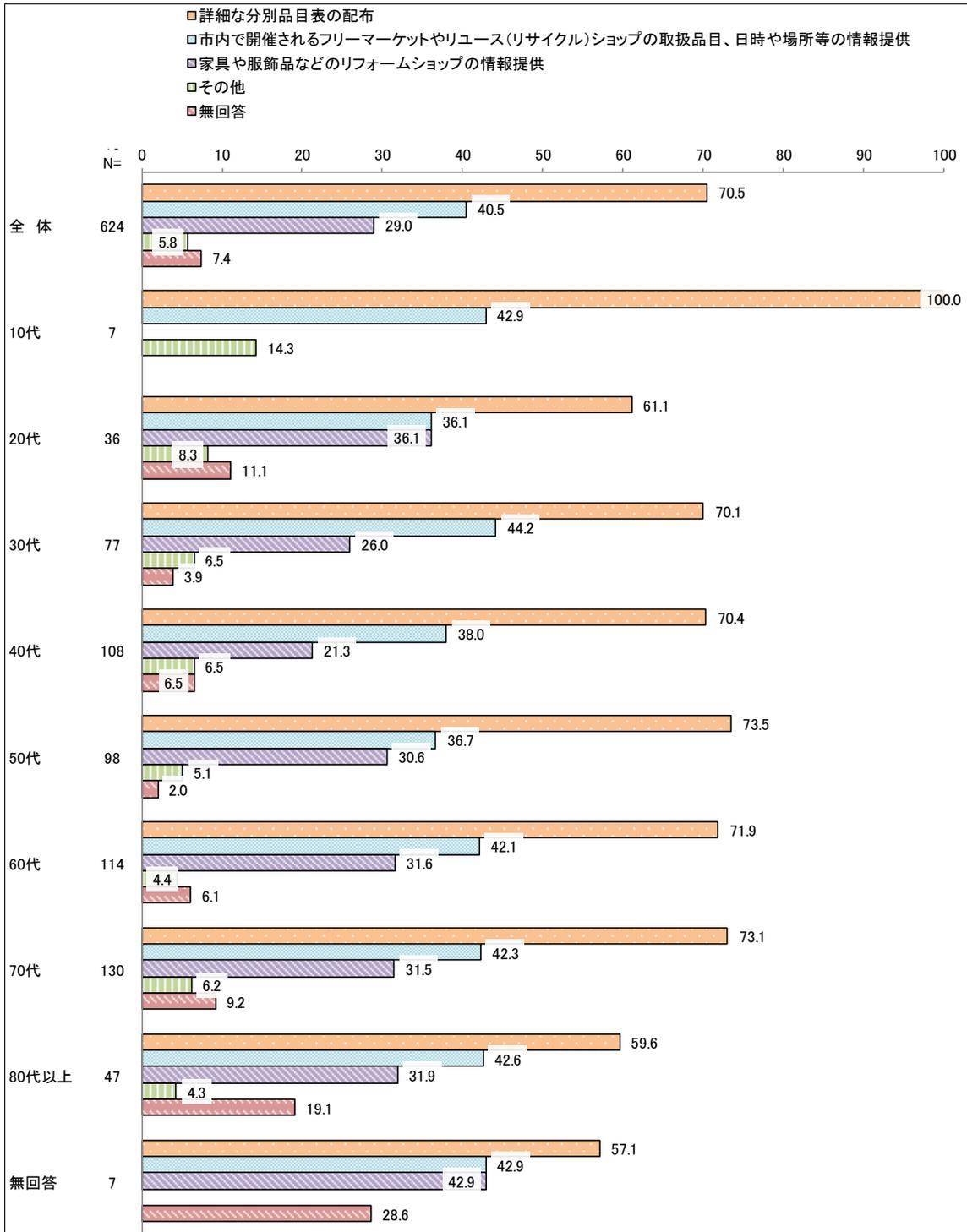


図 分別等の周知や情報提供の取組について希望するもの

② ごみ減量・リサイクルへの取組について希望するもの（複数回答）

- ごみ減量・リサイクルへの取組への希望については、市全体でみると「不要となった家具や服飾品などを市が引き取り、市民へ販売する事業」が 52.1%と最も高く、次いで「缶・びんなどを使用後、販売店に返却するとエコポイントが付く制度」が 47.6%となっている。
- 年代別にみると、30代のみ「缶・びんなどを使用後、販売店に返却するとエコポイントが付く制度」の割合が「不要となった家具や服飾品などを市が引き取り、市民へ販売する事業」の割合を上回っていた。

	全体	インターネットで家具や服飾品などのリユースを仲介する事業	不要となった家具や服飾品などを市が引き取り、市民へ販売する事業	缶・びんなどを使用後、販売店に返却するとエコポイントが付く制度	紙などの資源化可能なものを、市内の公共施設に持ち込める制度	その他	無回答	合計回答数
全体	624	101 (16.2%)	325 (52.1%)	297 (47.6%)	168 (26.9%)	19 (3.0%)	61 (9.8%)	971
10代	7	-	4 (57.1%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	-	10
20代	36	6 (16.7%)	21 (58.3%)	17 (47.2%)	9 (25.0%)	-	2 (5.6%)	55
30代	77	13 (16.9%)	31 (40.3%)	44 (57.1%)	25 (32.5%)	5 (6.5%)	5 (6.5%)	123
40代	108	24 (22.2%)	56 (51.9%)	47 (43.5%)	33 (30.6%)	2 (1.9%)	7 (6.5%)	169
50代	98	15 (15.3%)	60 (61.2%)	52 (53.1%)	19 (19.4%)	4 (4.1%)	4 (4.1%)	154
60代	114	22 (19.3%)	63 (55.3%)	58 (50.9%)	25 (21.9%)	1 (0.9%)	10 (8.8%)	179
70代	130	15 (11.5%)	64 (49.2%)	57 (43.8%)	39 (30.0%)	5 (3.8%)	19 (14.6%)	199
80代以上	47	5 (10.6%)	25 (53.2%)	18 (38.3%)	14 (29.8%)	1 (2.1%)	10 (21.3%)	73
無回答	7	1 (14.3%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	-	4 (57.1%)	9

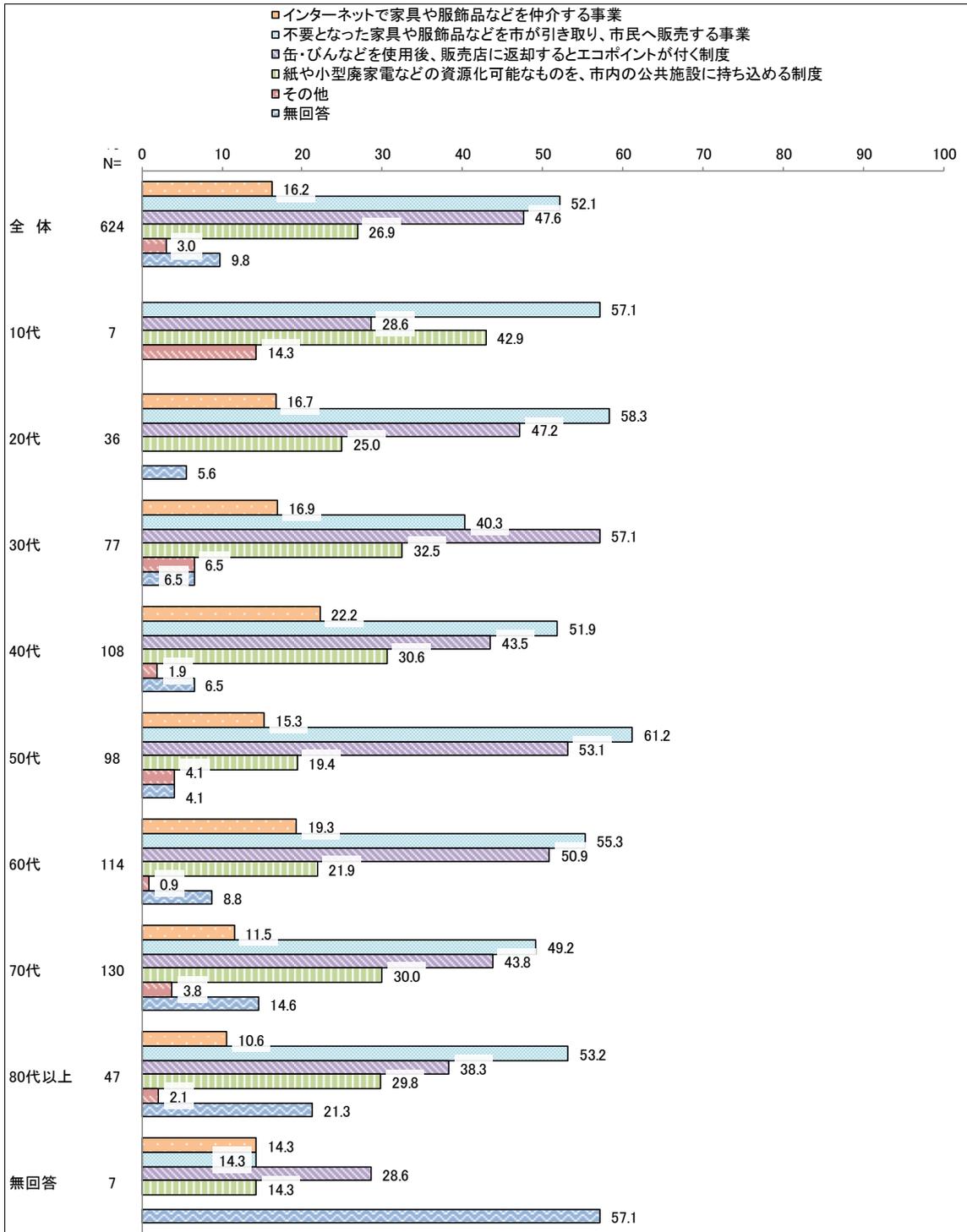


図 ごみ減量・リサイクルへの取組について希望するもの

③ ごみ処理施設の整備について希望するもの（複数回答）

- ごみ処理施設の整備への希望については、市全体でみると「市民の安全安心に配慮した施設整備」が53.7%と最も高く、次いで「災害時に発生する多量の廃棄物（家屋のガレキなど）への対応も可能な施設整備」が45.4%となっている。
- 年代別にみると、「ごみ減量等、市民の環境活動の拠点となる機能が充実した施設整備」が20代で41.7%と、他の年代に比べて高くなっている。
- 前回調査と比較すると、「災害時に発生する多量の廃棄物（家屋のガレキ）への対応も可能な施設整備」は、すべての年代で回答率が増加しており、災害時も想定した施設整備が望まれる。

	全体	市民の安全安心に配慮した施設整備	ごみ減量等、市民の環境活動の拠点となる機能が充実した施設整備	災害時に発生する多量の廃棄物（家屋のガレキなど）への対応も可能な施設整備	エネルギーや資源を多く回収できる先進的な施設整備	その他	無回答	合計回答数
全体	624	335 (53.7%)	148 (23.7%)	283 (45.4%)	208 (33.3%)	9 (1.4%)	46 (7.4%)	1029
10代	7	6 (85.7%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	-	-	11
20代	36	18 (50.0%)	15 (41.7%)	14 (38.9%)	11 (30.6%)	-	2 (5.6%)	60
30代	77	47 (61.0%)	17 (22.1%)	25 (32.5%)	32 (41.6%)	1 (1.3%)	4 (5.2%)	126
40代	108	67 (62.0%)	23 (21.3%)	47 (43.5%)	38 (35.2%)	3 (2.8%)	4 (3.7%)	182
50代	98	55 (56.1%)	23 (23.5%)	47 (48.0%)	28 (28.6%)	3 (3.1%)	3 (3.1%)	159
60代	114	56 (49.1%)	26 (22.8%)	56 (49.1%)	45 (39.5%)	-	8 (7.0%)	191
70代	130	63 (48.5%)	29 (22.3%)	67 (51.5%)	42 (32.3%)	2 (1.5%)	13 (10.0%)	216
80代以上	47	22 (46.8%)	12 (25.5%)	24 (51.1%)	6 (12.8%)	-	9 (19.1%)	73
無回答	7	1 (14.3%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	-	3 (42.9%)	11

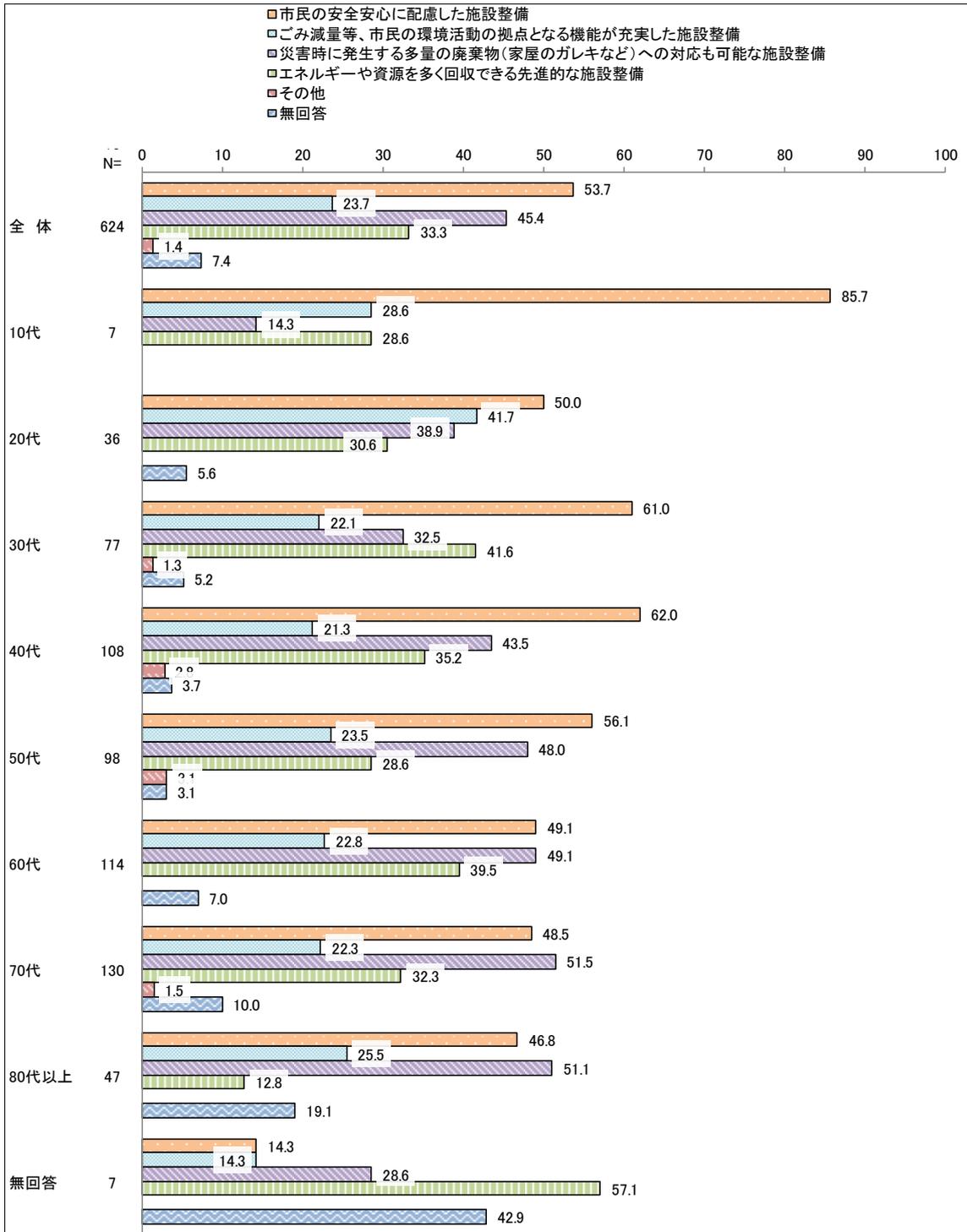


図 ごみ処理施設の整備について希望するもの

## (2) 取組を市が知らせる方法について希望するものは何か（複数回答）

- 希望する市からの情報発信の手段は、市全体でみると「広報さかい」が79.0%と最も高く、次いで「回覧板」が35.6%となっており、どちらも前回調査より高くなっている。
- 年代別にみると、「ツイッターなどのSNS」は10代、20代の割合が高く、「堺市ホームページ」は30代、40代の割合が高いことから、若年層で電子媒体による情報提供の必要性が高くなっていることがうかがえる。

	全体	広報さかい	市役所等で配布するパンフレットやチラシ	堺市ホームページ	回覧板	ツイッターなどのSNS
全体	624	493 (79.0%)	99 (15.9%)	109 (17.5%)	222 (35.6%)	31 (5.0%)
10代	7	3 (42.9%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	2 (28.6%)
20代	36	21 (58.3%)	2 (5.6%)	5 (13.9%)	8 (22.2%)	12 (33.3%)
30代	77	59 (76.6%)	6 (7.8%)	26 (33.8%)	16 (20.8%)	7 (9.1%)
40代	108	91 (84.3%)	13 (12.0%)	29 (26.9%)	27 (25.0%)	7 (6.5%)
50代	98	84 (85.7%)	15 (15.3%)	15 (15.3%)	32 (32.7%)	2 (2.0%)
60代	114	100 (87.7%)	21 (18.4%)	16 (14.0%)	50 (43.9%)	-
70代	130	105 (80.8%)	31 (23.8%)	10 (7.7%)	63 (48.5%)	1 (0.8%)
80代以上	47	27 (57.4%)	10 (21.3%)	3 (6.4%)	20 (42.6%)	-
無回答	7	3 (42.9%)	-	3 (42.9%)	2 (28.6%)	-

	ごみ分別アプリ「さんあ〜る」	新聞折り込み	その他	無回答	合計回答数
全体	34 (5.4%)	79 (12.7%)	13 (2.1%)	35 (5.6%)	1,115
10代	-	1 (14.3%)	-	-	13
20代	2 (5.6%)	6 (16.7%)	2 (5.6%)	2 (5.6%)	60
30代	7 (9.1%)	6 (7.8%)	3 (3.9%)	4 (5.2%)	134
40代	7 (6.5%)	14 (13.0%)	5 (4.6%)	3 (2.8%)	196
50代	8 (8.2%)	16 (16.3%)	1 (1.0%)	2 (2.0%)	175
60代	3 (2.6%)	16 (14.0%)	-	5 (4.4%)	211
70代	5 (3.8%)	12 (9.2%)	2 (1.5%)	8 (6.2%)	237
80代以上	2 (4.3%)	8 (17.0%)	-	8 (17.0%)	78
無回答	-	-	-	3 (42.9%)	11

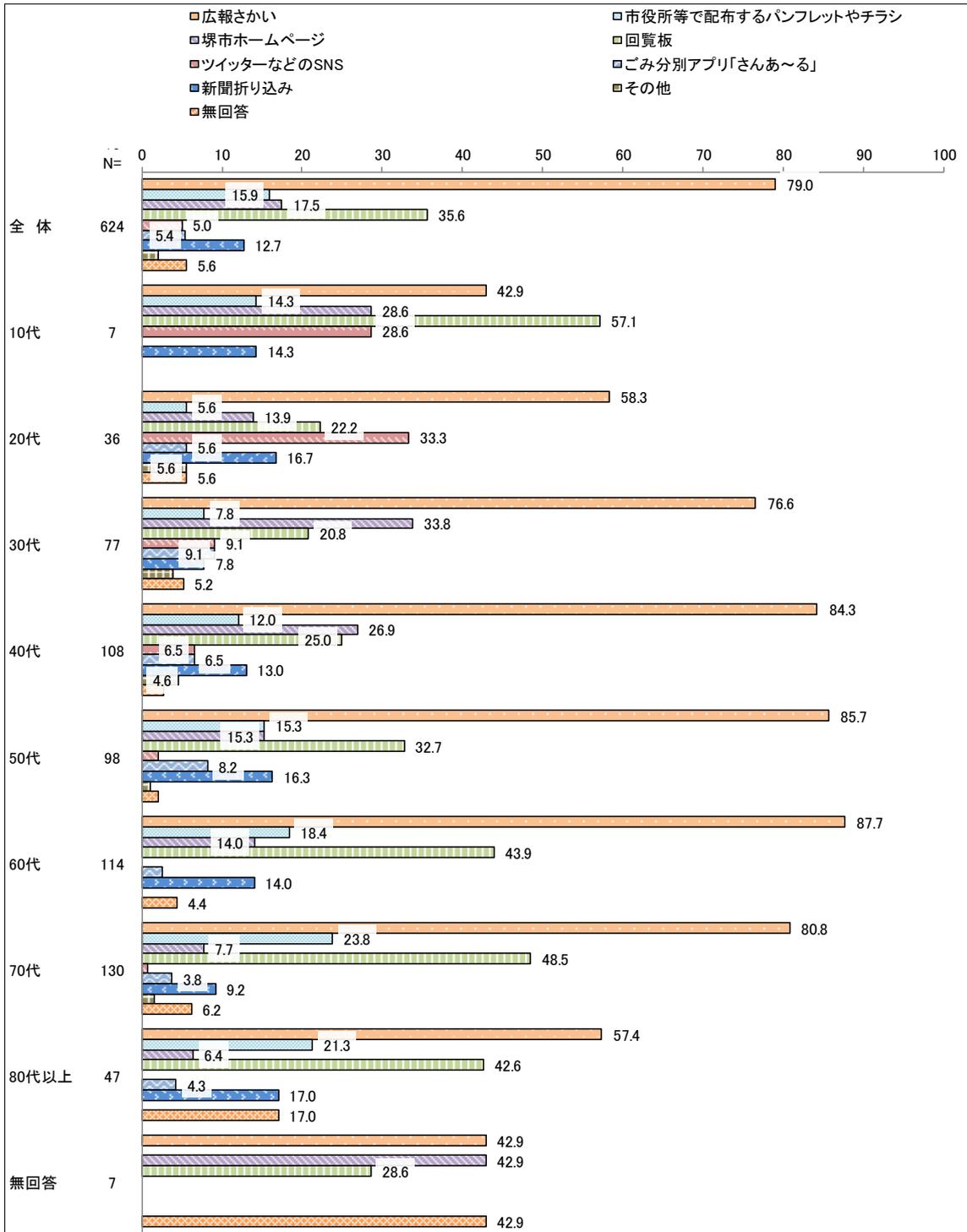


図 取組を市が知らせる方法について希望するものは何か

(3) 災害発生時にゴミ処理に関する重要な情報は何か（複数回答）

- 災害発生時にゴミ処理に関する重要な情報は、市全体でみると「災害で破損したもののやがれきの排出・分別方法」が55.0%と最も高く、次いで「災害ごみの仮置場の位置」が54.2%となっている。
- 年代別にみると、「生活ごみ等の収集再開予定日」が80代以上で44.7%と、他の年代に比べて高くなっている。
- その他を除くすべての選択肢で30%を超えており、順位はあるものの、災害時には全情報が必要となることがうかがえる。

	全体	生活ごみ等の収集再開予定日	災害で破損したもののやがれきの排出・分別方法	災害ごみの仮置場の位置	携帯トイレなどの生活ごみの排出方法	その他	無回答	合計回答数
全体	624	226 (36.2%)	343 (55.0%)	338 (54.2%)	218 (34.9%)	4 (0.6%)	30 (4.8%)	1,159
10代	7	1 (14.3%)	5 (71.4%)	4 (57.1%)	4 (57.1%)	-	-	14
20代	36	12 (33.3%)	16 (44.4%)	22 (61.1%)	16 (44.4%)	-	1 (2.8%)	67
30代	77	34 (44.2%)	44 (57.1%)	40 (51.9%)	25 (32.5%)	1 (1.3%)	1 (1.3%)	145
40代	108	32 (29.6%)	62 (57.4%)	69 (63.9%)	41 (38.0%)	1 (0.9%)	2 (1.9%)	207
50代	98	34 (34.7%)	57 (58.2%)	51 (52.0%)	41 (41.8%)	-	2 (2.0%)	185
60代	114	45 (39.5%)	67 (58.8%)	61 (53.5%)	38 (33.3%)	1 (0.9%)	4 (3.5%)	216
70代	130	46 (35.4%)	68 (52.3%)	70 (53.8%)	39 (30.0%)	1 (0.8%)	10 (7.7%)	234
80代以上	47	21 (44.7%)	21 (44.7%)	19 (40.4%)	12 (25.5%)	-	7 (14.9%)	80
無回答	7	1 (14.3%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	-	3 (42.9%)	11

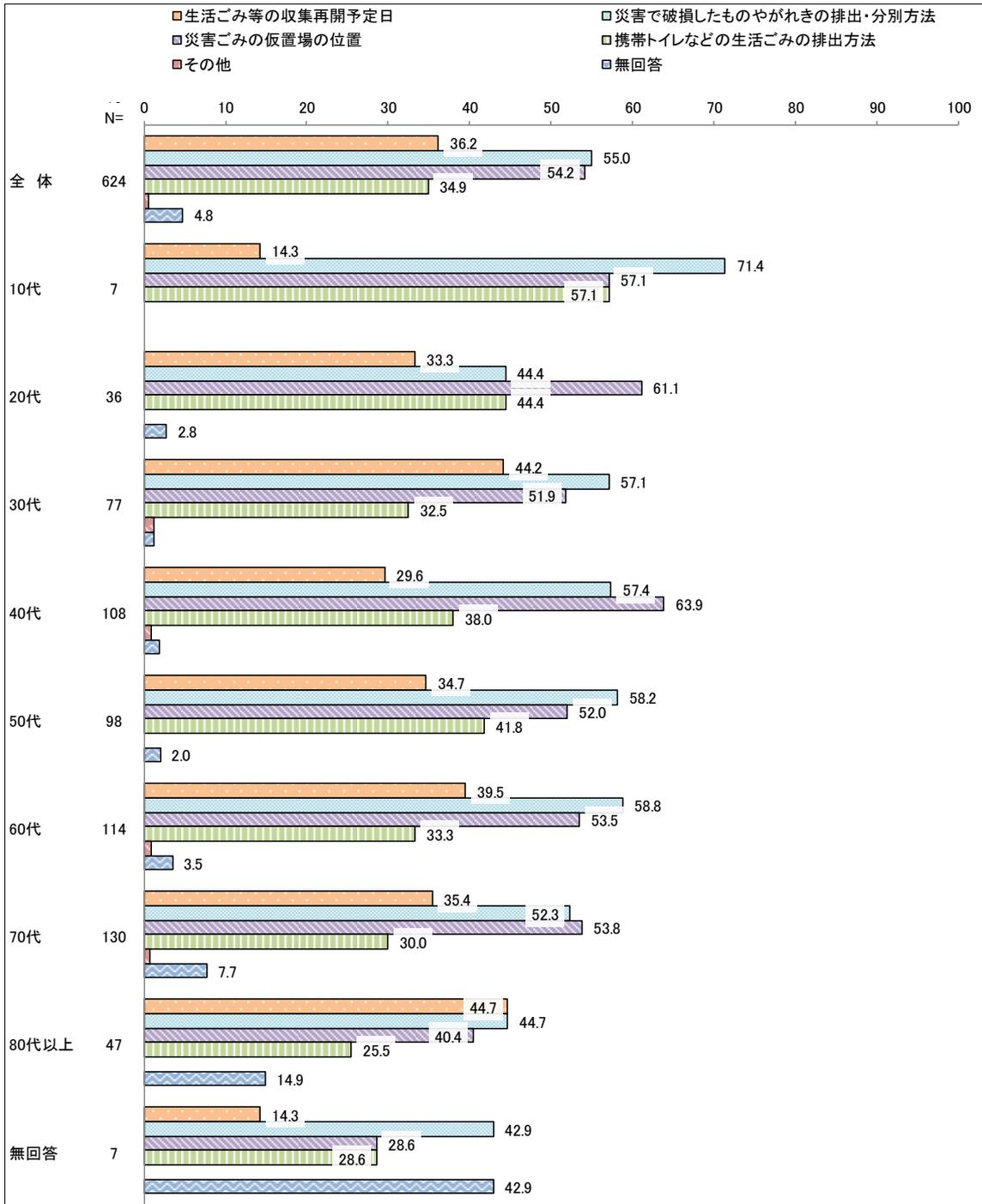


図 災害発生時にゴミ処理に関する重要な情報は何か

(4) 災害発生時に市が知らせる方法について希望するものは何か(複数回答)

- 災害発生時における希望する市からの情報発信の手段は、市全体でみると「テレビ、ラジオ、新聞など」が57.5%と最も高く、次いで「広報車」が34.9%となっている。
- 年代別にみると、「ツイッターなどのSNS」といったデジタルな情報発信の希望が若年層で高くなっている反面、「回覧板」といったアナログな情報発信の希望が高齢者層では高くなっている。

	全体	テレビ、ラジオ、新聞など	防災行政無線	堺市のホームページ	回覧板	ツイッターなどのSNS
全体	624	359 (57.5%)	106 (17.0%)	170 (27.2%)	174 (27.9%)	50 (8.0%)
10代	7	4 (57.1%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)
20代	36	22 (61.1%)	9 (25.0%)	7 (19.4%)	4 (11.1%)	15 (41.7%)
30代	77	37 (48.1%)	22 (28.6%)	33 (42.9%)	9 (11.7%)	11 (14.3%)
40代	108	60 (55.6%)	25 (23.1%)	32 (29.6%)	14 (13.0%)	14 (13.0%)
50代	98	56 (57.1%)	16 (16.3%)	32 (32.7%)	26 (26.5%)	6 (6.1%)
60代	114	66 (57.9%)	14 (12.3%)	32 (28.1%)	42 (36.8%)	2 (1.8%)
70代	130	82 (63.1%)	16 (12.3%)	22 (16.9%)	53 (40.8%)	1 (0.8%)
80代以上	47	29 (61.7%)	2 (4.3%)	9 (19.1%)	22 (46.8%)	-
無回答	7	3 (42.9%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	-

	ごみ分別アプリ「さんあ〜る」	広報車	その他	無回答	合計回答数
全体	30 (4.8%)	218 (34.9%)	12 (1.9%)	29 (4.6%)	1,148
10代	-	2 (28.6%)	-	-	13
20代	-	6 (16.7%)	-	2 (5.6%)	65
30代	5 (6.5%)	19 (24.7%)	1 (1.3%)	3 (3.9%)	140
40代	8 (7.4%)	45 (41.7%)	5 (4.6%)	2 (1.9%)	205
50代	6 (6.1%)	33 (33.7%)	2 (2.0%)	2 (2.0%)	179
60代	6 (5.3%)	44 (38.6%)	1 (0.9%)	4 (3.5%)	211
70代	3 (2.3%)	54 (41.5%)	3 (2.3%)	6 (4.6%)	240
80代以上	2 (4.3%)	13 (27.7%)	-	7 (14.9%)	84
無回答	-	2 (28.6%)	-	3 (42.9%)	11

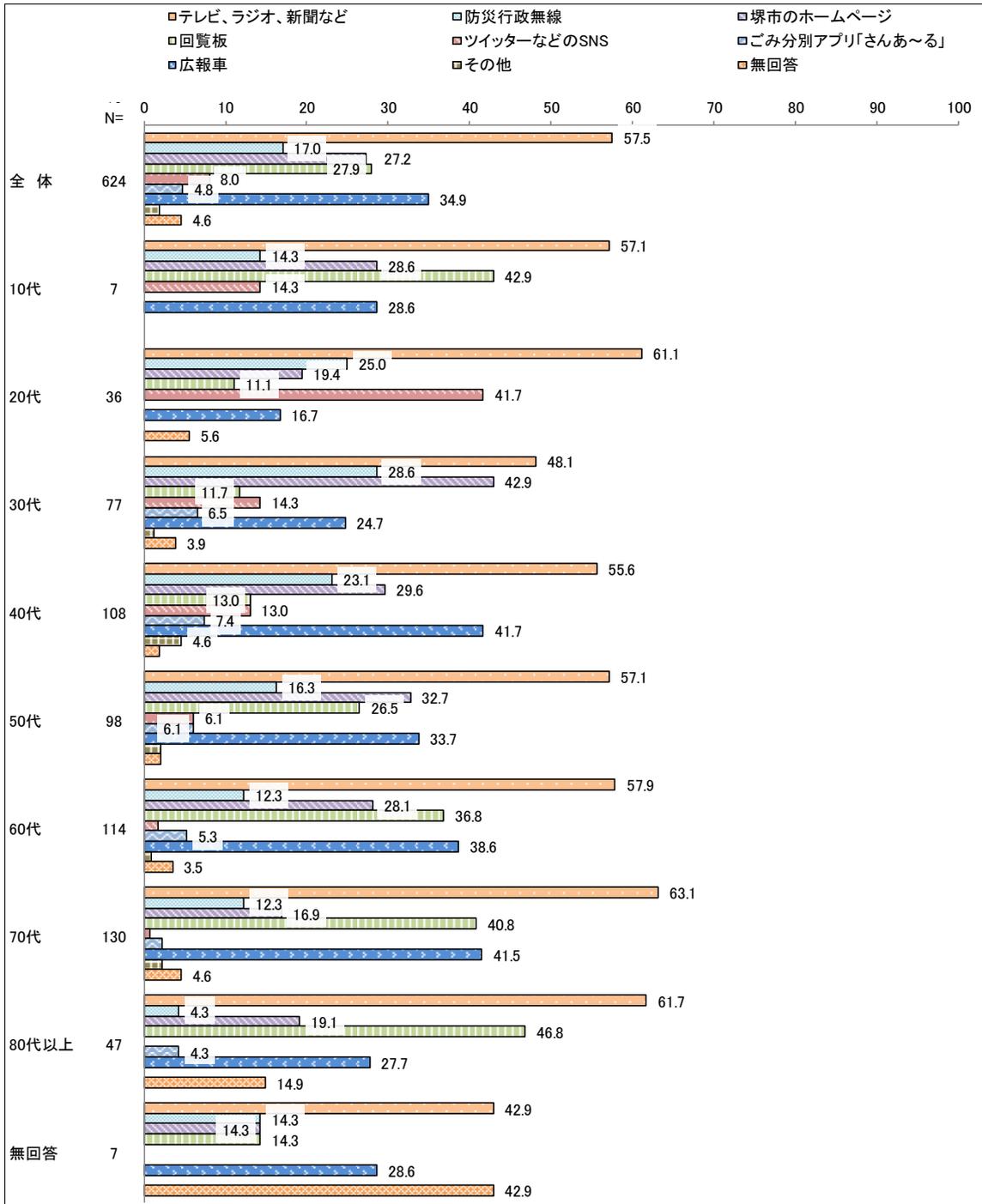


図 災害発生時に市が知らせる方法について希望するものは何か

(5) ごみ減量やリサイクル推進のために必要な取組（自由意見）

番号	意見
1	マンションなど、集団居住のごみ分別方法や日程の管理をきちんとしてほしいです。
2	不要となった使える家電、家具などを市が仲介して希望する人へ譲れる制度を作ってほしいです。
3	集合住宅に住んでいますが、若い人たちは関係なくごみを捨てます。もっと出す日を把握してほしいです。迷惑しています。
4	亀岡市は、全国で初めてレジ袋廃止を打ち出しました。縦割り行政の垣根を取り払い、見習うべき長所は前向きに取り入れて、将来はスウェーデンのような完成度の高いリサイクル社会を日本全国的な課題とする時代になってきているかと思います。
5	ごみ収集場所の設定(マンション等はあるが、アパート・個人宅には無い)やカラス対策。
6	リサイクルの結果を一般市民にもわかるようにするとより推進できるのではないのでしょうか。
7	ごみを減らすにはごみ袋にシールを貼り有料制にすれば、分別も進み生ごみも減らせると思います。ただ、その場合は無料シールも一定数欲しいです。家族3人以上でも週に45ℓ1袋に抑えるように努力します。
8	ごみ減量化を図るため、そろそろ堺市も生活ごみ等を有料化(ごみ袋と市の指定のものを使う等)を行えばよいと思います。そうすれば、ごみの排出減量にみんな関心をもつと思います。
9	ごみの分別を今以上細かく分け、市民に意識を強くもってもらおう。分別ごみの容器に分かりやすいイラストマークを多用し、子どものうちから教育すると、くせになって習慣化され、大人になっても持続可能になるかと思います。
10	今年は大災害の多い年でした。災害ごみに対する対応は、迅速に行ってほしいです。
11	古紙・古布の回収。プラスチック製品の回収。家具・家電のリユース推進。
12	制服、教科書、ノート、鉛筆等、学校で利用する物のリサイクルがあると助かる人が多いと思います。
13	分別やリサイクル方法等の変更があれば紙面で知りたいし、保管をしたいので、市から送ってほしいです。広報だとわかりにくいです。
14	なぜ必要か周知徹底することだと思います。
15	清掃工場の見学等を市民に多く参加してもらい、興味を高めることを今以上に実施してほしいです。
16	ごみやリサイクルだけのイベント行う。広報で大きく取り扱う。
17	今のままでいいです。
18	子どものときはプラスチック製品がなくても生活できていたので、新聞紙を使ったり、マイバッグを持っていき、これ以上汚染されない環境作りに協力します。
19	分別できないモラルの低い人に対して指導がいると思います。学校等でも指導をして頂き、分別して当たり前と教えてほしいです。
20	生ごみを土にもどす物を配ってほしいです。
21	不用品の回収を無料でしてほしいです。有料はおかしいです。

番号	意見
22	電池の処理が分からず、仕方なく生活ごみに入れていきます。ボタン電池は、以前ホームセンターにボックスがあったのですが、なくなっています。
23	以前住んでいた北九州市では、家具等の不用品について高齢者の家では、係員が一つあたり500円程度で家の中から運び出してくれていました。高齢化に伴い、本市でもこのような取組があってもよいのではないのでしょうか。
24	電気製品等の引き取りも市が取り扱ってほしいです。またその際の引き取り金額は業者より安くしてください。
25	「生きゴミさん」の作り方や育て方の講義を、町の集会場に来て、我々に指導してほしいです。
26	たき火ではだめですが市が許可を出した焼却炉等に限って、汚れた紙くず等を処理したらごみは減ると思います。
27	ごみ減量やリサイクルの必要性を、もっと周知したらいいと思います。
28	分別制度を他市町村のように厳しくしてほしいです。
29	スーパーの袋の色を半透明に統一するように行政から商店(組合)に伝えてほしいです。ごみを出すときに色付きの袋で出せないのでもスーパーの袋が使えず、結局ごみで出してしまうごみが増えてしまいます。
30	高齢家庭の増加により、分別収集等については理解を得にくいと思います。また、自治会離れが増えていると思います。特に、近年出来た分譲住宅や共同住宅等で自治会が未組織のことが多く見られます。市としては自治会だけに頼らずに、未組織の所も含め地域に出て説明会を開く等、直接訴えることも必要だと思います。現状の分別広報では高齢者からの理解は難しいと思います。
31	ペットボトルのキャップも家庭ごみとして回収してほしいです。また、スーパー等でも回収してほしいです。月1回だけの回収ごみをやめてほしいです。
32	民間資金やノウハウを活用すべきだと思います。
33	多分、企業側は金もうけに走りがち(最近ではマシになってきましたが…)なので、何年もリサイクルが進まない。市や企業が環境を良くすること、人間と地球を大事にすることに積極的になるようにしなければいけないと思います。
34	リサイクル料金がかかる家電の回収を行政がしてほしいです。
35	園や学校で授業を開く。行政でのごみの行方やリサイクルの手間(洗ったり仕分けしたり)を、みんなが知ることで自分の出すごみに責任をもってもらう。
36	ごみ袋を指定のものにする。リサイクル可能な家具・服などの無料回収。
37	取り組む人がメリットを感じる方策。小中学校への教育。(成人の意識改革は難しいと思います。)
38	チェックするのは面倒くさいと思いますが、分別していない生活ごみは収集しないほうがいいのではないのでしょうか。近所の人は何一つ分別をしていません。
39	古紙の収集をしてほしいです。
40	毎日、ごみの収集ありがとうございます。

番号	意見
41	堺市内のリサイクル業者の支援(設備購入補助等)。資源ごみの回収拠点への持ち込むと買い物に使えるポイント付与。
42	学校などでの不必要なプリント類が結構ごみになっています。
43	ごみ減量策について具体的に広報等で連絡してほしいです。
44	粗大ごみの収集が週1で、引っ越す時に日程を組むのに困りました。木曜でしかも2週間後等、その週に出せなかったこともあるので、もう少し充実させてほしいですし、リサイクルのできる物を増やしてほしいです。
45	もっとごみ問題を色んな機会に取り上げてPRすることが必要と思います。和泉市の彩生館のような所があったらいいのに。
46	以前、大学でごみの講演を聴講したことがありますが、大変有意義だったので小学校区単位で講演を定期的に行う等の取組をしてはどうでしょうか。既にされていたような気もしますが……。
47	リサイクルしたごみがどんな過程で、どんな形になり、世の中に出回っているか、小学校の授業等に多く取り入れることにより、家庭で発信され改善されることが期待できると考えます。
48	小売業者にごみ減量となるようなパッケージ、包装をするように働きかける。条例をつくるなど、生ごみを資源化することを市全体で取り組んでいただけたらありがたいです。
49	小中学校や子育てサークル、老人会等で講演・情報提供。
50	個人のモラル・マナーをより高めるような機会を設けて、リサイクルの必要を高める。
51	不法投棄の取り締まり強化。
52	缶・瓶分別で市の回収車来る前に20年以上も前から毎週アルミ缶が盗まれています。こういった状況では分別する気が萎えます。最近では小型金物も物色しているので、犯罪であることを知らせるなり、市として対策してほしいです。
53	事業者に対し過剰な包装を行わないよう周知するようにしてください。
54	粗大ごみを堺市のごみ処理場へ持ち込んだのですが、その時に他の方でまだ使えそうな物、新品のような物を持ち込まれて捨てている方がいました。すぐもったいないと感じたので、それを無料で譲れるような施設を併設してはどうかと思いました。あと、堺市だけでなく、全国でスーパーのレジ袋等有料化にし、金額をあげてはどうでしょうか。ごみの分別の徹底で、罰金など罰を与えればよいと思います。
55	クリーンセンターへの持ち込み制度を再考してほしいです。持ち込みは分類に悩まず、センターへの申し込みや処理券を買いに行く手間も無く、自分の都合の良い日に実行できるので便利です。
56	家庭用ごみ、事業所はごみを有料化。区役所で購入する市が指定したごみ袋でのみ回収すればいいと思います。近隣の市では有料としているのではないのでしょうか。
57	広報で年に何回かごみ袋の数や細かい数、出し方を知らせてほしいです。
58	電池や傘等、日常品の回収方法がわかる今よりもっと細かいリストが欲しい。また、回収場所を増やしてほしい。

番号	意見
59	錆で使えない花ばさみ、小型庭園灯等、処分方法がわからないものの相談場所があればいい。
60	ごみ処理施設のことや、ごみの分別方法、ごみが焼却された後にどうなるのか等を、テレビや広報さかい等で市民にもっと情報を知らせたほうがいいと思います。
61	収集回数を減らすこと、減らせばそれなりにごみを加減すると思います。
62	電池等も市で回収してほしいです。
63	缶ごみを無断で持っていく人が多くて困っています。市で集めた缶ごみが市の財政になっているのなら、缶を持っていかずにシールを配布して、そのシールを貼っている家から缶ごみを持っていったらだめだという条例を作ってくれませんか。分別してごみを出しても、誰かに持っていかれるというのが、リサイクル意識を落としている気がします。
64	個人のモラルの問題なので事実を知らせるだけでいいと思います。
65	プラごみとプラスチック製品を家族がよく間違えます。アルミホイルもプラごみに入れる人もいます。プラスチック製品も分別してほしいです。生活ごみと一緒にだと袋がすぐ破けたりします。
66	古紙の回収をしてください。
67	できるだけごみを少なくしたいと思っています。行政に携わっている皆様ありがとうございます。
68	リサイクルや分別を消費者に負担させすぎで、ごみ減量、スーパー等の食料品1人、2人家族では1回に使いきれないものが多いです。少量パックを増やしてほしいです。分別しにくいもの、例えば調味料やドレッシングの瓶とそそぎ口。分別可能ですが、お年寄りや手の力の弱い人、私も含めて可能であっても実際できないことが多く、メーカーは単にポーズをとっているだけのようだと思います。リサイクルしやすい製品でなければ、メーカーに罰金を払わせるくらいでないとだめです。
69	他の自治体のものまねをせず、独自の取組をしてほしいです。
70	もっとみんなが分別を心がけるようにしてほしいです。缶が混ざったごみ袋を見ると、嫌な気持ちになります。
71	ごみの減量目的をもっと広く市民に知ってもらいたいと思います。特に、子どもたちへ教える必要があると思います。子どもに言われたら親も頑張ります。遠方に子どもがいるお年寄りの家には、片づけたくても片づけられないほどの、長年の物があると思います。チラシに入っていますが、怪しくて電話できません。市からの情報や声掛けがあれば、リサイクルできると思います。
72	商品の過剰包装の件、消費者が手にする以前に商品に既に包装されているので、メーカー等も包装は簡易にすべきです。
73	再生不能な材料を使用する商品を、市として徐々に減らしていく取組が必要です。
74	子ども世代は学校で学んでいるので、ある程度分別に意識をもっていますが、親父世代は何も考えずに捨てるので意識改革が必要。
75	不法投棄に対して、ごみ収集場に防犯カメラを設置する。
76	スーパーでもプラスチックの容器を使わず、紙袋に入れるように。レジ袋は有料に。
77	分別の必要を知らない人が多いので、周知することが必要。リサイクル、分別をすることで、エコポイ

番号	意見
	ントやコツコツ何か得するポイントを貯めて、生活に還元できる制度づくり。
78	レジ袋を無くし、マイバックの推進。
79	回収拠点を増やしてほしいです。
80	ごみの減量とリサイクルに出す量と相反する気がしますが、着なくなった服等気持ちよく手放せたらいいと思います。具体的にはどうしたらと悩むところです。
81	マイクロプラスチックによる海洋汚染が問題となっている昨今、プラスチック製品の代替となる物の開発が急がれています。そういった開発や運動を行っている団体へ助成するのがいいと思います。
82	リサイクル商品、不用品は発展途上国へプレゼントする。
83	知らないことがいろいろあったので、周知の方法にもう少し改善の余地があると思います。ネット以外の周知の仕方もまだまだ必要なのではと思います。
84	必要が無くなった家具等の大きな物の回収を、数か月に一度程度の回収を地域の場所に決めてやっていただきたいと思います。
85	ごみを減らすことにより、メリットがどのようにあるのかを市民に分かってもらい、意識を変える努力が必要です。
86	ちょっとしたボトルや洗面器、大ぶりの洗剤入れ等、表記はプラスチックリサイクルと書いてあっても、実際は「これは回収できません」のシールを貼られて残していかれます。制限をもっと緩めてほしいです。
87	市民代表と話し合う。
88	プラスチックの回収が週1回から2回にしてほしい。
89	各区にリサイクル施設を作り、そこに持ち込める。乾電池や蛍光灯等も、持ち込む場所が一つになれば便利です。
90	特にありません。
91	生ごみ処理機を購入し、使用しています。他市では購入補助が出るのに堺では無理でした。大量の生ごみの体積がものすごく臭くなります。購入を推進してはどうでしょうか。
92	一人一人の意識、どれをどうみんなに理解してもらうか。
93	廃品回収の有料が負担です。マンションなので持ち出しに困ります。
94	アンケートはQRコード等でWeb回答にしたほうがエコです。
95	古着の処理。
96	空き缶の日に回収忘れが何度かあり、電話をかけて夕方こられた。これからよく注意してよろしくお願いたします。
97	不要な物の引き取り(買い取り)。
98	分別の徹底。
99	こみ減量のための分別は理解するが、生ごみを燃焼させるために別の熱源を使うなら、そのままプラスチック製品と燃やしている方がよっぽどマシだと思います。

番号	意見
100	ネットを掛けないでお勤めに出かけ、カラスが来て散らかされそれを私たちが片づけるので大変なときがあります。私のところで大きいネットを置いているので、5件位はそこに入れてくれるのですが、してくれないところもあり後が大変です。まとめる方々がいるといいと思います。
101	平日仕事をしている人のために、月に1回でもいいので日曜日に不燃物や粗大ごみの回収があればいい。
102	拠点回収先を増やしてほしいです。
103	定期的に月1回位、粗大ごみの収集をお願いしたいです。
104	子ども向けのフリマをもっと開催してほしいです。
105	紙資源の回収。回収した資源ごみが、どのように再生されているかについての情報提供。小学校への出前講座等により、子どものころからごみ減量の必要性を理解してもらうための活動。
106	分別を分かりやすくしてほしい。月に1回の物や隔週の物は忘れやすい。(年間カレンダーで、日によって色分けする等)
107	市民に行き渡るよう、広報頑張ってください。
108	このままではいけないということを、わかりやすく伝える取組を。
109	わかりやすいメリットがないと動かないという人は多いと思います。
110	スーパー等での商品中身より、残ったごみのほうが多いので、外のいれものをもう少し小さくしてほしいです。
111	子どものベビーカーやチャイルドシート等のリサイクル会があればいいと思います。子どもの物は使わなくなると捨てるだけなので、誰かが利用してくれると嬉しいです。
112	まだ使用可能な衣類、家具等のリサイクル店紹介の取組をしていただきたいです。悪徳業者がいるので、どこを信用していいか分からない。粗大ごみとして市の回収に家具を出したが、目の前で壊されていくのを見て、まだリサイクルできるのにととても残念だった。
113	自治会単位で何か目標を掲げて実行させるなど、小さなことからでもいいと思います。
114	役所でバザーを開き、家庭でいらなくなった物を必要な人に簡単に譲る方法があればいいと思います。例えば、月1回出品できそうな物をトラックで引き取りに来てくれる。(新品に近いもの、きれいなもの限定等)
115	まだ使える物を市が集めて、格安で売る。(リサイクル)いつも粗大ごみに出すとき、まだ使えるのにもったいないと思っていた。
116	間違ってお出されたごみは、もっと警告シールで教えてください。よそに貼られているシールを見て、改めてわかることもあったので遠慮なく、お手間でしようがよろしくお願いします。また、植木等、切った物の持ち込み代金を安くしてほしいです。
117	小中学校への講演の実施。(幼い頃からの意識づけ)
118	もう少し街中のごみ箱を増やしてほしいです。

(6) 市へのご意見、ご要望（自由意見）

番号	意見
1	粗大ごみの無料シールを配布してほしいです。
2	業者にもよるが、あまりきれいに回収してくれないところもあります。
3	昨年、町内会の役員をしてごみ収集に関する経験をしました。今まで何も知らなかったことを経験して、良い勉強をしたと思います。ありがとうございます。
4	一般市民が分別しても、本当にそのあと再利用されているか等、追跡結果の報告を広報等で継続的に流してほしいです。
5	ごみの出す場所ですが、道路や歩道に誰もが持ってきて出しています。個々の家の前に出すよう、指導できないのでしょうか。車の走行や児童の登校、夏場は悪臭で近くの人が困ります。車で捨てに来る人もいます。
6	ごみも大事だと思いますが、水道代を下げてください。
7	粗大ごみを他の市のようにシール制にして、年間に少しでも無料配布してほしいです。
8	災害の時の市の速やかな対応を望みます。
9	以前、庭の木や葉を家庭焼却炉で燃やし、灰にして土に再利用するため、堺市が勧めてくれた焼却炉を市から購入しましたが、今は環境悪化のために使用することができず、その焼却炉の処分に困ったことがありました。ずっと使用するつもりだったのに利用できず、土も作ることができなくてとても残念。その場しのぎではなく、先のことを考えた政策を考えてほしいです。
10	生ごみの収集時間が早朝すぎる。生ごみの猫対策で困っています。
11	今年は災害の多い年でした。災害ごみに対する対応は、迅速に行ってほしいです。
12	リサイクルの大切さ等、子どもを含め分かるイベントやごみ処理場見学ツアーをやってほしいです。
13	自身をはじめ、自治会に加入していない人もいると思うので、その辺を考慮して取り組んでほしい。
14	ペットボトル、プラの回収時間について生ごみと同じような時間帯に回収をお願いしたいです。
15	ごみの分別は細かく分けすぎると家の中のごみ箱の数が増えて困ります。できるだけまとめてくれると助かります。今みたいに、缶と瓶は一緒に OK のような感じでお願いします。
16	無記名回答だが、謝礼品の住所、氏名を書けば無記名回答にならないのではないのでしょうか。宛先ラベルに書いても、無記名回答として処理されるのか不安です。
17	「生きごみさん」を通してごみ減量に協力させていただいています。堺市の担当のご支援(ご指導)があるので続けられています。
18	レンタサイクルの場所を有料駐車場にしてほしいです。
19	選択項目にマンション内で捨てられる人用の答えを設けてほしいです。
20	いつもありがとうございます。
21	有機肥料の作り方を、家庭で取り組めるように家の近くで指導してほしいです。調理くずだけの回収もしてほしいです。
22	不燃小物類と粗大ごみの出し方が面倒くさい。いちいち電話するのが億劫。

番号	意見
23	美原区、南余部周囲以外と、きちんとできているように思います。
24	生活ごみの収集車、以前のように音楽を流していただけないでしょうか。最近、カラスのいたずらがひどくて困っています。音楽が聞こえてから出すと、カラスに荒らされることも少なくなると思います。
25	市のごみ処理施設が市域の北部に偏っており、南部にはありません。粗大ごみ等を持ち込みたい場合、大変不便しています。不法投棄の一因にもなっているのではと思います。ごみの処理は本来個人のモラルであると思います。今後とも、有効な広報活動をお願いします。
26	分別した後、「ペットボトル〇〇本で、こんな品物になってます」「スーパーのトレイは、このように運ばれ、土場で処理され、こんな品物になってます」といったちゃんとリサイクルされているか知ること、こちらが頑張る力になります。折角分別しても、結局一緒に焼いていたら誰もわからないです。
27	「ごみの分別方法」はよく案内しているが、それ以外のごみの情報をよく知らない。埋め立てのことや、どんなことに税金を使われているか等をわかりやすく説明することで、危機感や責任感をもつ人が増えると思う。
28	小型金属等の回収日を月2回へ増やしてほしいです。
29	粗大ごみの無料回収の日を定めてほしいです。
30	他市町村では、ごみの回収を有料化しているので堺市も同様にすべきです。(方法としては、有料ごみ袋や、シール、一律なら市民税への上乗せ等)ごみの回収を有料化し、得られた財源で省エネの処理施設へ建て替え、回収を行うべきです。
31	生活ごみの収集日を変えてほしいです。(もしくは時間)現在、水・土曜の7時頃。前日から出せない(猫、カラスに荒らされる)ので土曜日(せっかく休みの日に)の7時より前に出すのがつらいです。せめて8時以降にしてほしいです。以前は火・金でした。
32	分別のやり方が細かすぎて、ものすごく分かりにくいです。
33	不燃小物の定期回収化への移行をお願いします。(量の割に大変面倒)
34	粗大ごみの回収日を昔のように作ってほしいです。有料シールを貼ることはそのまま。回収日を月1回または2か月に1回でもいいので作ってほしいです。電話をして取りに来てもらうのは、なかなか面倒です。
35	パソコン、スマホ等を持っていない老人なので、分かりやすいチラシや広報で何回も載せてほしい。
36	ごみの分別はしているが、とにかく買い物をした際に断っても過剰包装で困ります。食品トレイ等について何かしらのリユースの仕方などあればと思います。
37	小型金属は月1回なので、市役所等への持ち込み可にしてほしいです。
38	このアンケートの大きな封筒こそ問題です。ごみ以外の何物でもない。こんなことに多額の税を使わないでください。
39	水道代が高いので下げてください。
40	大変お世話になりますが、今後ともよろしく願いいたします。
41	他市に比べて街灯が少ないのか、夜道が暗いところが多いと思います。街灯についてご検討ください。

番号	意見
	い。
42	クリーンセンターへの持ち込み処分費が、近隣市に比べ高いように思います。乗用車(ワンボックスとかではない車)では、そんなに多くは積めないなので、回数が増え費用がかさみます。
43	粗大ごみの収集日が定期的にあればうれしいです。いちいち電話で予約を取るのが面倒です。
44	自分たちが出したごみが収集車で収集された後、どこの処理施設で処理(どのように処理)されるのか、例えばトン当たりどれくらいの処理費用がかかっているのか、広報さかい等で情報を提供すべきと思います。
45	市もいろいろ大変だと思いますが、問題が起きたとき早めに解決することが、次のときに活かされると思います。
46	これからも頑張りましょう。
47	堺市では、動物(ペット等)の火葬場がなく、生活ごみと一緒に処分していると聞きました。考えられません。早急に動物葬場を作ってほしいです。
48	ガス、スプレー缶等の穴をあけずに小型金属としての廃棄する場合、月1回の回収では各家庭で保管している期間が長く、昨今の事故の件から考えるに穴をあけるか、回収日をもう少し増やしてほしいです。
49	傘の捨て方が分かりませんでした。金属で捨ててよかったのでしょうか。金属の回収日に出していますが、なかなか取りに来られなかったり、来られたことが全くわかりません。以前は放送(車から声掛け)して回っておられたように思いますが。
50	高齢者によっては、ごみの分別は複雑で分かりにくい、分かっても1人でできないことも多いです。認知症になればなおさらです。また、新しい情報も入りにくいです。リサイクルや減量に取り組む市の考えはとても重要ですが、情報弱者や分かってもできない方々への対応も、同時に市の責任で考えてもらいたいです。
51	本当にごみについてとか考えているのか。こんなアンケートを取るだけで、取り組んでいる気になっているのかと勝手に思います。今回のこのアンケートが活かされていると分かるくらいのことをしてほしいと思います。
52	使い捨てライターの処分の方法がよく分かりません。今回、北海道で缶スプレー缶の処分の件で大きな事故がありました。区役所で一括処分等、検討をお願いしたいと思います。
53	高齢者はあまりインターネットやアプリ等は見ないと思いますので、その点を加味した質問を考えていただければと思います。
54	一軒一軒家庭のごみを回収していただき、いつもありがたく思っています。
55	個人、法人、会社、全てで質素な習慣システムにする。ぎりぎりがよい、余分はやめる。
56	他市では既にも実施されているが、ごみ袋を市指定(有料)にすれば、市民もごみを「ただ」ではなく多くの税金が使われていることを意識するのではないかと思います。
57	古墳を世界遺産にする取組にお金をかけるよりも、環境改善、リサイクル推進に力を注いでいただ

番号	意見
	きたいです。環境が駄目になれば、人間は生きていけないです。古墳が世界遺産になっても経済効果はあまり見込まれませんし、今も注目されていません。ピラミッドのような建築物なら話は別ですが、横から見たらただの林や森です。観光スポットとしては魅力が弱いです。
58	南区の発展にご尽力ください。廃れています。
59	ごみを燃やすことで発生する熱のエネルギーを活かす方法を考えてください。発電、プール等市民に還元できるものを。
60	ごみの減量やリサイクル推進のため具体策を市民が受け入れやすい方法で指導されること、正しい情報提供がなされることを期待します。
61	SDGs等の目新しい物がもてはやされがちですが、目標をむやみやたらに立てるのではなく、実現可能な範囲で中身の伴った活動を行ってってください。堺市には堺市のやり方があると思いますので、流行に流されぬようお願いします。
62	各区役所にでも処分受付日を決めて収集する。高齢者のために家具類処分方法等を検討する。
63	空き缶の回収は毎週してほしいです。
64	粗大ごみの出し方が煩わしすぎます。何 cm までとか、～は駄目とか、家の不用品をどうやって出していいかわからなくなります。それで結局高いお金を払って業者に頼むことになってしまうのです。なんとかならないでしょうか。家の不用品を早く処分したいです。
65	生活ごみ回収については今のままでいいと思いますが、他市ではもっと細かい分別をされていると聞きます。細かくすると面倒ですが、減量につながると思います。
66	ごみの細分化をしすぎると、仕事をしているようで疲れてしまいます。
67	分別にあまり協力できていないという罪悪感があります、すみません。環境を考えると分別は必要ですが、分別リサイクルをするほうが費用はかかると聞きました。リサイクルにエネルギーがかかることもあると思います。プラ製品を買うことは減らしていますが、捨てるときはどちらがいいのでしょうか。臨海のように高温で燃やせば大丈夫なのでしょう。
68	堺市のよりよいまちづくり。
69	堺市の行政は、大阪市よりいいと思います。ありがとうございます。
70	アンケートが難しいです。
71	高齢の方が多くなってきたので、市で収集できない物というのをなしにしたほうがいいと思います。市に申し込んで手配をしてあげるサービスも必要。
72	以前、身内が働いていた堺市の事業所ではナイロンはナイロンでちゃんと分別していたのに、最後は普通ごみで大量に捨てられていたようです。他市のように分別で資源化されていると思っていましたが、堺市のごみ収集車に乗せられて普通ごみとして捨てられているようだとのことでした。それが本当だと残念です。合法的なことだとしても、資源として活かす取組を、ごみの量が多いところはなおさら考えて実行してほしいです。堺市として規制を強くしてほしいです。
73	現在、収集時間が昼 12 時を過ぎていますので、もう少し早めをお願いしたいです。(特にカラスに荒

番号	意見
	らされる場合があるので)
74	プラスチック製容器包装がわかりにくい。なぜラップが駄目なのか、その他にも駄目な物の理由がわかりにくいので、薄い物は再生しやすいのか、材質を選んでいるのか、メーカーからお金が入ってくる物に限っているのか、理由がわからないと判断が難しいです。理由がわからないと覚えられません。
75	同じ町内で引っ越しましたが、番地が違っただけでゴミの収集日が微妙に違うので戸惑いました。転入届を出したとき、一緒に新しく住む住所のゴミ収集日一覧表等がもらえるといいのにと思いました。
76	粗大ゴミで捨てられない物の処理方法が分からない。例えば太くて長い針金、大きな植木鉢、植木鉢の古い土等。
77	路上喫煙の禁止。
78	ゴミ回収時間が変わった(特に早くなったとき)ときは教えてほしいです。ゴミ回収の後、小さいゴミが道に散らばっていることがよくあります。以前は、回収業者の方がある程度(目につく物)は拾っていただいていたのですが、回収後もカラスが集まってくるのでできるだけ回収してほしいです。
79	ゴミ収集車がゴミを入れた状態で戸を閉めないで走ることはやめていただきたい。
80	アルミ缶等は市の財源になると思っているのですが、それはどうなのですか。また、缶を回収車の前に抜き取っていく方を見かけますが、その対処方法はあるのでしょうか。
81	今プラスチック問題がありますが、なるべく他の物に変えていくように少しでも考えることが大切だと思います。
82	最近ゴミ収集日の収集車の音楽が小さくてわかりません。もっと大きく鳴らしてほしいです。
83	資源とゴミの収集曜日の「字」、「絵」を大きくしてください。特に小型金属を。
84	いい気候になればカラスが出てきて、ゴミをまき散らします。カラスを何とかしてほしいです。
85	堺市はゴミの曜日もちんと守ってくださっています。
86	小型金属や缶・瓶の回収日に、少しでも市の役に立つようにと毎回出していますが、早朝(5時頃)から明らかに市とは関係のない人が袋をあけて売れそうな物を持っていきます。その方にも生活がかかっているのでは仕方ないかと思ったりしますが、何か良い対策はないものかと思います。毎回ゴミの回収に従事していただいている方々には感謝しております。ありがとうございます。
87	2か月に1度でもいいので、粗大ゴミ提出日を作ってほしいです。毎回出す時、電話をして紙を貼るようですが、1~2個では無理だと思います。
88	書類等の無駄遣いはないでしょうか。通知書の各証書は用紙に無駄があるのではないのでしょうか。所内の人間の動きが無駄に見えるときがあります。人員が過剰では。スリッパを履いての仕事とは。
89	クリーンセンターの情報をもっと知りたいです。(HPに載っているかもしれませんが)
90	粗大ゴミの出し方がよくわからず利用できないため、いつまでもゴミを処分できないで困っていま

番号	意見
	す。なんとなくはわかりますが、利用しにくいです。せめてごみ袋で出せる分は、回収日を設けてほしいです。
91	ごみの減量化は大切なことではありますが、あまりに細かく厳しい規制を設けられるのも生活しにくく面倒になり、結局不法投棄等が増える原因になると思います。
92	役所の自転車置き場を広くしてほしいです。
93	普通ごみの回収時間が 12 時前後と遅いので、夏は少しにおいも気になるしカラスもくるので、もう少し早くしてほしいです。
94	いつも収集車の人に頭がさがります。感謝の言葉やありがとうが言えてなくてすみません。外国の収集車の人に、ごみ箱をつぶされたのは困りましたが(知らんふりされました)今、まわってくださっている方にはありがとうを伝えたいです。蚊の駆除、下水のマスをつータルで掃除するシステムが欲しいです。定期的にこのようなアンケートをしてほしいです。庭の緑化に力を入れているところに補助してほしいです。クリーン(空気)堺の地価、世界遺産で環境アップしているのに。台風で一部損壊したところも補助してほしいです。(他市はできています)
95	分別に関する辞典などを特に配布してほしいです。
96	頑張ってください。
97	TV を処分しようと思っていますが、捨てる方が難しいです。自分もそうですし、周囲もそうですが、乾電池をわけて捨てるのが面倒で、生活ごみと一緒に捨てています。電車の駅やスーパー、家電店(設置しているならすみません)等、捨てるようにしてほしいです。(他のごみも)粗大ごみを定期的にクリーンセンターへ持ち込んでいますが、100kg、1700 円では達しないことがあるので、50kg でも(900～1,000 円でもいいので)持ち込める料金設定をしてほしいです。

### Ⅲ. 市民意識調査結果考察

#### 1. 現在のごみ排出、減量、リサイクルへの取組について

- 「第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の認知度は低く、堺市の現在のごみ排出、減量、リサイクルの取組を計画内容として認識している市民は少ないことが想定される。
- 生活ごみの排出頻度や量について、排出頻度は収集日どおりとする市民が9割を占め、現状の収集頻度は維持する必要がある。排出する量は「45ℓごみ1袋程度」での排出が高く、世帯人数の多い世代で排出する量がやや増加していることから、世帯人数が比較的多い中区や西区、美原区においてごみ減量の啓発を強化することも一考の余地がある。
- 資源物については、いずれもいつも分別をしている割合が6割を超え、特に「缶・びん」と「ペットボトル」は、8割以上がいつも分別となっている。分別しない理由は「缶・びん」や「ペットボトル」、「蛍光管、乾電池、水銀体温計等」では「捨てたいときに捨てられない」といった収集頻度や排出方法に言及する割合が高かったことから、分別協力率は、分別の分かりやすさだけでなく、収集頻度や排出方法も影響を及ぼしていることがあると思われる。なお、若年層では「分別があることを知らなかった」や「出し方、分け方がわからない」といった回答の割合が高かったことから、分別に関する若年層への積極的な情報発信が必要であると思われる。
- 各種資源物の出し方については、「空き缶」や「リターナブルびん」、「それ以外のびん」、「ペットボトル」、「小型金属」、「食品トレー」、「卵パック」では「市の各資源物の収集」で5割以上の市民が出しているが、その他の資源物については1割に満たない。
- 各種資源物の排出頻度については、日常的に消費排出されない「小型家電」や「その他の家電」、「乾電池」、「ボタン電池」、「充電式電池」、「蛍光管」、「インクカートリッジ」は「数か月に1回以下」が7割程度と、排出頻度が少なくなっているが、資源物ごとのごみが出る頻度を考えると排出頻度は概ね適当であると思われる。
- ごみ減量・リサイクルへの取組について、リサイクルとリフューズは「普段から行っている」の割合が多くなっているのに対し、リデュースとリユースは「新たに取組もうと考えている」の割合が多くなっていることから、市民の中でリサイクルとリフューズの意識の定着が進んでおり、次の段階としてリデュースとリユースに意識を向けていく必要があると考えられる。
- ごみ減量・リサイクルに関する情報を知る方法は様々な媒体があるものの、情報を知る方法として「広報さかい」の割合が最も高く、情報伝達手段として「広報さかい」を有効に活用することが重要であることを示唆されている。また、分別に関する基本的な知識が浅い若年層に向けては「ツイッターなどのSNS」を活用し、分別に関する基本情報の周知を図ることは効果的であると考えられる。

## 2. 現在の市の取組について

- 市が行っている取組の実施・利用状況について、ごみの4R運動と集団回収制度以外の項目では「取組を知らなかった」が5割以上を占めるなど認知度が非常に低い現状がうかがえる。ただし、実施・利用の意向についてはほとんどの項目で「ぜひしたい」と「機会があればしたい」を合わせた割合が5割以上であることから、取組の周知徹底を図ることで利用者数が増加する可能性が高いと思われる。
- 「ごみ減量化推進員制度」の認知について、「知らない」が8割以上を占めていることから、「広報さかい」などの情報伝達手段を活用して市民への周知徹底を図る必要があると思われる。

## 3. ごみ処理について

- ごみ処理のサービスについては、一律とするより、取組によってインセンティブをもたせて欲しいとの要望が比較的多く見られた。
- ごみの減量やリサイクルに対する姿勢については、市民一人ひとりが責任をもつべきと考えている人の割合が高く見られたことから、先の設問による取組によるインセンティブを付加することでより自主的なごみの減量やリサイクルへの取組が促進される可能性があると思われる。
- 分別品目を増やした場合の対応については、すべての項目で8割弱を超えるなど概ね協力意向が高く、行政コストとの関係を踏まえつつ品目拡充を行っていくことについては、一定の理解は得られるものと思われる。
- 施設の老朽化による整備の必要性については認知度が低く、行政による対応が必要に迫られた際に市民からの理解が得られるように周知を図っていくことが必要と思われる。

## 4. 今後のごみ処理行政について

- 今後の市に希望する取組については、「詳細な分別収集品目表の配布」が最も望まれており、より生活に密着した取組を市民が希望していることがわかる。
- 希望する市からの情報発信の手段は、現状と同様の「広報さかい」を希望する市民の割合が最も高く、今後も「広報さかい」による充実した情報の提供が求められている。
- 災害発生時におけるごみ処理に関する重要な情報については、「災害で破損したもののやがれきの排出・分別方法」や「災害ごみの仮置場の位置」の割合が高く、普段とは異なる排出について、早急な周知が求められていることがわかる。
- また、災害発生時に希望する市からの情報発信の手段として、若年層ではデジタルな情報発信が高くなっている反面、高齢者層ではアナログな情報発信が求められていることから、緊急時には両方の対応が行なえる体制を整える必要があると思われる。

### 第3章 事業所意識調査結果

#### I. 回答事業所の属性

##### 1. 業種

- 回答事業所の業種は、市全体でみると「医療、福祉」が20.6%と最も高く、次いで「製造業」が18.0%、「卸売業、小売業」が12.3%となっており、前回調査と比べて「医療、福祉」が「製造業」を抜き、最も回答率が高くなった。
- 所在区別にみると、美原区では「製造業」が43.1%、南区では「医療、福祉」が47.1%と他区に比べて高くなっている。

	全体	農業、 林業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報 通信業	運輸業、 郵便業	卸売業、 小売業	金融、 保険業	不動産業、 物品賃貸業
全体	593 (100.0%)	-	37 (6.2%)	107 (18.0%)	7 (1.2%)	-	29 (4.9%)	73 (12.3%)	8 (1.3%)	13 (2.2%)
堺区	147 (100.0%)	-	8 (5.4%)	27 (18.4%)	3 (2.0%)	-	7 (4.8%)	17 (11.6%)	3 (2.0%)	5 (3.4%)
中区	75 (100.0%)	-	7 (9.3%)	14 (18.7%)	2 (2.7%)	-	1 (1.3%)	13 (17.3%)	-	5 (6.7%)
東区	41 (100.0%)	-	3 (7.3%)	3 (7.3%)	1 (2.4%)	-	-	6 (14.6%)	1 (2.4%)	2 (4.9%)
西区	110 (100.0%)	-	10 (9.1%)	31 (28.2%)	1 (0.9%)	-	10 (9.1%)	7 (6.4%)	3 (2.7%)	-
南区	51 (100.0%)	-	1 (2.0%)	2 (3.9%)	-	-	1 (2.0%)	5 (9.8%)	-	-
北区	71 (100.0%)	-	2 (2.8%)	7 (9.9%)	-	-	3 (4.2%)	12 (16.9%)	-	-
美原区	51 (100.0%)	-	3 (5.9%)	22 (43.1%)	-	-	4 (7.8%)	7 (13.7%)	-	-
無回答	47 (100.0%)	-	3 (6.4%)	1 (2.1%)	-	-	3 (6.4%)	6 (12.8%)	1 (2.1%)	1 (2.1%)

	学術研究、 専門・技術 サービス業	宿泊業、 飲食サー ビス業	生活関連 サービス 業、娯楽業	教育、学 習支援 業	医療、 福祉	複合サ ービス 業	サービ ス業	その他	無回答
全体	9 (1.5%)	24 (4.0%)	3 (0.5%)	22 (3.7%)	122 (20.6%)	1 (0.2%)	49 (8.3%)	42 (7.1%)	47 (7.9%)
堺区	5 (3.4%)	9 (6.1%)	1 (0.7%)	2 (1.4%)	22 (15.0%)	1 (0.7%)	15 (10.2%)	14 (9.5%)	8 (5.4%)
中区	2 (2.7%)	4 (5.3%)	-	1 (1.3%)	12 (16.0%)	-	4 (5.3%)	6 (8.0%)	4 (5.3%)
東区	-	-	-	5 (12.2%)	11 (26.8%)	-	3 (7.3%)	4 (9.8%)	2 (4.9%)
西区	-	4 (3.6%)	-	6 (5.5%)	18 (16.4%)	-	9 (8.2%)	9 (8.2%)	2 (1.8%)
南区	1 (2.0%)	1 (2.0%)	-	3 (5.9%)	24 (47.1%)	-	4 (7.8%)	3 (5.9%)	6 (11.8%)
北区	-	3 (4.2%)	2 (2.8%)	2 (2.8%)	20 (28.2%)	-	10 (14.1%)	5 (7.0%)	5 (7.0%)
美原区	-	1 (2.0%)	-	1 (2.0%)	8 (15.7%)	-	1 (2.0%)	1 (2.0%)	3 (5.9%)
無回答	1 (2.1%)	2 (4.3%)	-	2 (4.3%)	7 (14.9%)	-	3 (6.4%)	-	17 (36.2%)

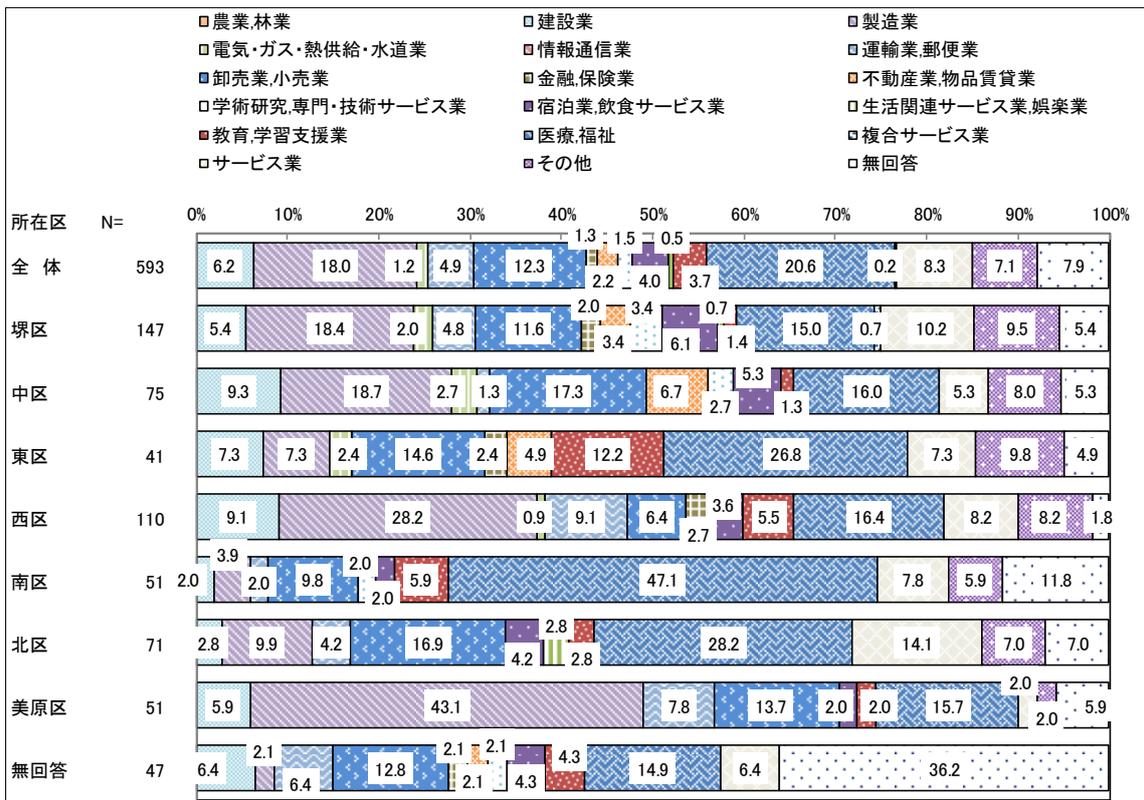


図 業種

## 2. 事業形態

- 回答事業所の事業形態は、市全体でみると「事務所・営業所」が14.5%と最も高く、次いで「工場・作業所」が14.3%となっており、回答率の上位の順位については前回調査と同様の結果となった。
- 所在区別にみると、美原区では「工場・作業所」が35.3%、南区では「学校・保育所」が13.7%と他区に比べて高くなっている。

	全体	飲食店・レストラン	食料品小売業	食料品以外の小売業	スーパー・百貨店・コンビニエンスストア	事務所・営業所	工場・作業所
全体	593 (100.0%)	23 (3.9%)	5 (0.8%)	15 (2.5%)	20 (3.4%)	86 (14.5%)	85 (14.3%)
堺区	147 (100.0%)	9 (6.1%)	3 (2.0%)	6 (4.1%)	3 (2.0%)	23 (15.6%)	20 (13.6%)
中区	75 (100.0%)	1 (1.3%)	2 (2.7%)	2 (2.7%)	2 (2.7%)	13 (17.3%)	14 (18.7%)
東区	41 (100.0%)	1 (2.4%)	-	1 (2.4%)	2 (4.9%)	6 (14.6%)	3 (7.3%)
西区	110 (100.0%)	4 (3.6%)	-	1 (0.9%)	2 (1.8%)	11 (10.0%)	17 (15.5%)
南区	51 (100.0%)	2 (3.9%)	-	1 (2.0%)	2 (3.9%)	6 (11.8%)	2 (3.9%)
北区	71 (100.0%)	3 (4.2%)	-	3 (4.2%)	4 (5.6%)	12 (16.9%)	8 (11.3%)
美原区	51 (100.0%)	2 (3.9%)	-	1 (2.0%)	3 (5.9%)	4 (7.8%)	18 (35.3%)
無回答	47 (100.0%)	1 (2.1%)	-	-	2 (4.3%)	11 (23.4%)	3 (6.4%)

	倉庫・配送センター	ホテル・旅館	学校・保育所	病院	会館・娯楽施設	その他	無回答
全体	14 (2.4%)	1 (0.2%)	28 (4.7%)	17 (2.9%)	3 (0.5%)	70 (11.8%)	226 (38.1%)
堺区	4 (2.7%)	1 (0.7%)	4 (2.7%)	6 (4.1%)	1 (0.7%)	17 (11.6%)	50 (34.0%)
中区	1 (1.3%)	-	3 (4.0%)	1 (1.3%)	-	10 (13.3%)	26 (34.7%)
東区	-	-	2 (4.9%)	2 (4.9%)	-	6 (14.6%)	18 (43.9%)
西区	2 (1.8%)	-	3 (2.7%)	1 (0.9%)	-	13 (11.8%)	56 (50.9%)
南区	-	-	7 (13.7%)	3 (5.9%)	1 (2.0%)	8 (15.7%)	19 (37.3%)
北区	1 (1.4%)	-	6 (8.5%)	3 (4.2%)	1 (1.4%)	11 (15.5%)	19 (26.8%)
美原区	4 (7.8%)	-	1 (2.0%)	1 (2.0%)	-	3 (5.9%)	14 (27.5%)
無回答	2 (4.3%)	-	2 (4.3%)	-	-	2 (4.3%)	24 (51.1%)

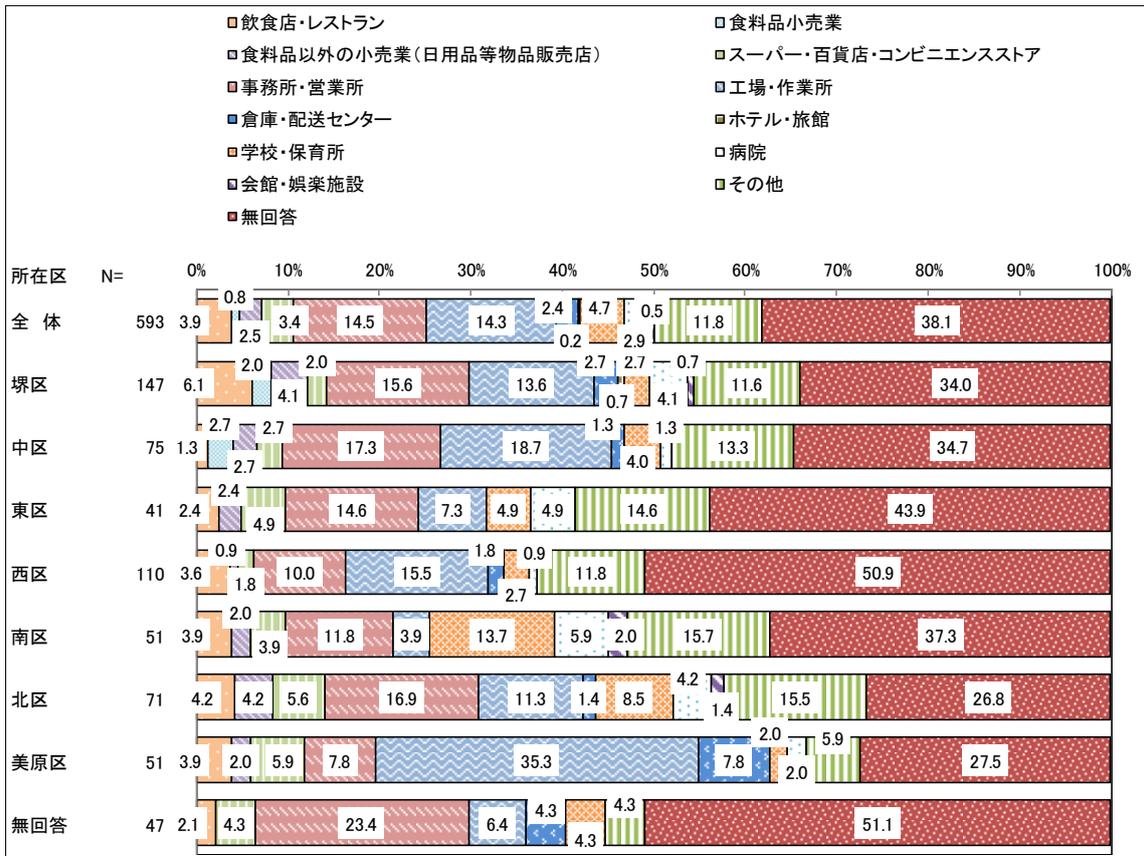
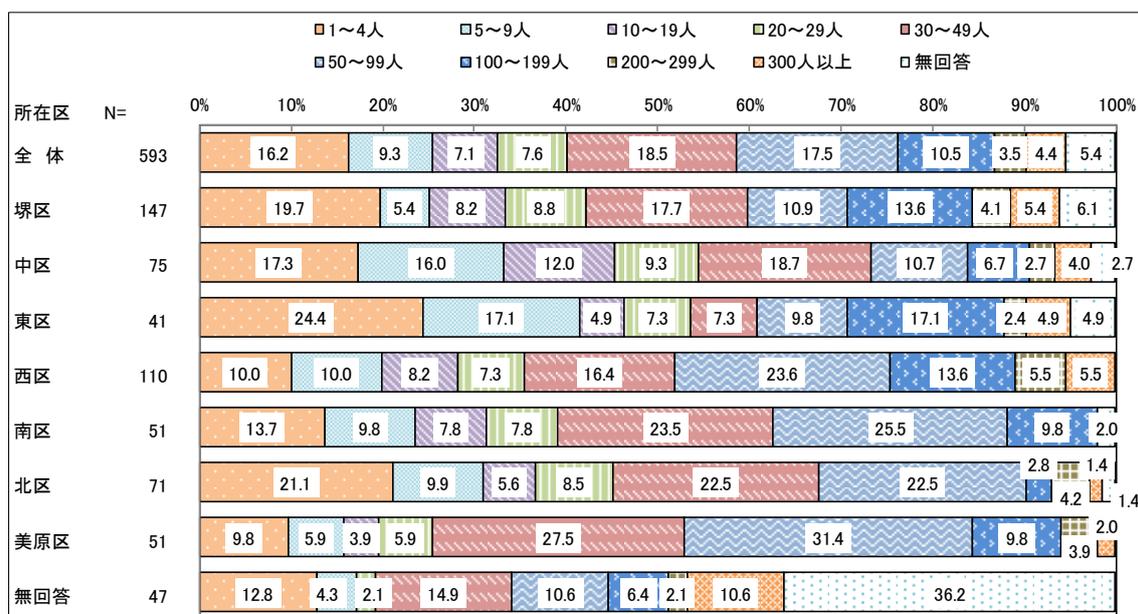


図 事業形態

### 3. 従業員数

- 従業員数は、市全体でみると「30～49人」が18.5%と最も高く、次いで「50～99人」が17.5%、「1～4人」が16.2%となっている。
- 所在区別にみると、東区では「1～4人」が24.4%、「5～9人」と「100～199人」がともに17.1%と他区に比べて高くなっている。
- 堺区、中区、東区、北区の従業員30人未満の事業所の割合が市全体の割合に比べて高い。

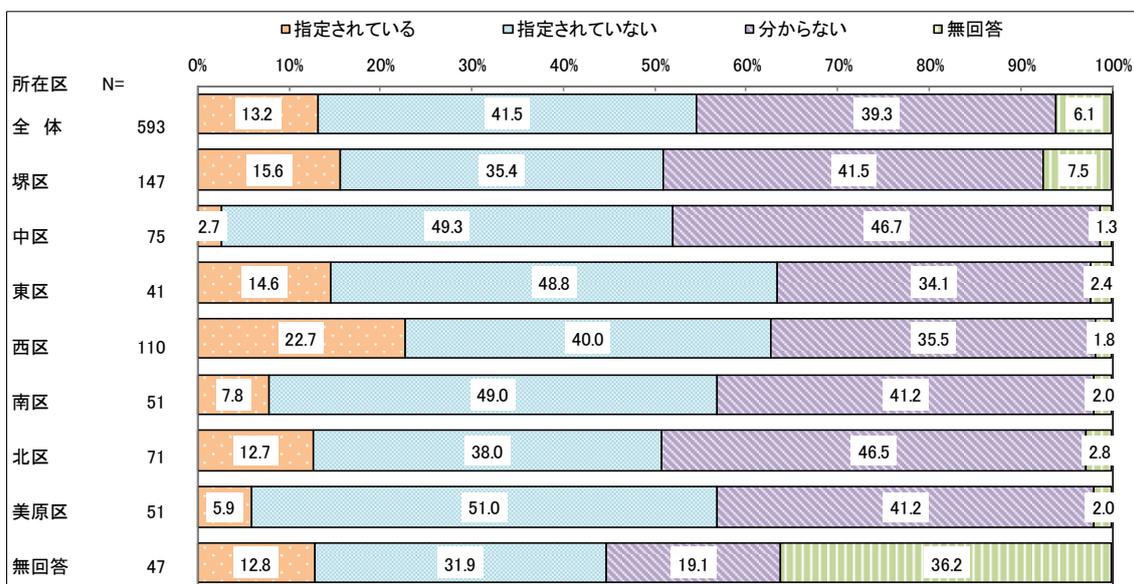
	全体	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100～199人	200～299人	300人以上	無回答
全体	593 (100.0%)	96 (16.2%)	55 (9.3%)	42 (7.1%)	45 (7.6%)	110 (18.5%)	104 (17.5%)	62 (10.5%)	21 (3.5%)	26 (4.4%)	32 (5.4%)
堺区	147 (100.0%)	29 (19.7%)	8 (5.4%)	12 (8.2%)	13 (8.8%)	26 (17.7%)	16 (10.9%)	20 (13.6%)	6 (4.1%)	8 (5.4%)	9 (6.1%)
中区	75 (100.0%)	13 (17.3%)	12 (16.0%)	9 (12.0%)	7 (9.3%)	14 (18.7%)	8 (10.7%)	5 (6.7%)	2 (2.7%)	3 (4.0%)	2 (2.7%)
東区	41 (100.0%)	10 (24.4%)	7 (17.1%)	2 (4.9%)	3 (7.3%)	3 (7.3%)	4 (9.8%)	7 (17.1%)	1 (2.4%)	2 (4.9%)	2 (4.9%)
西区	110 (100.0%)	11 (10.0%)	11 (10.0%)	9 (8.2%)	8 (7.3%)	18 (16.4%)	26 (23.6%)	15 (13.6%)	6 (5.5%)	6 (5.5%)	-
南区	51 (100.0%)	7 (13.7%)	5 (9.8%)	4 (7.8%)	4 (7.8%)	12 (23.5%)	13 (25.5%)	5 (9.8%)	-	-	1 (2.0%)
北区	71 (100.0%)	15 (21.1%)	7 (9.9%)	4 (5.6%)	6 (8.5%)	16 (22.5%)	16 (22.5%)	2 (2.8%)	3 (4.2%)	1 (1.4%)	1 (1.4%)
美原区	51 (100.0%)	5 (9.8%)	3 (5.9%)	2 (3.9%)	3 (5.9%)	14 (27.5%)	16 (31.4%)	5 (9.8%)	2 (3.9%)	1 (2.0%)	-
無回答	47 (100.0%)	6 (12.8%)	2 (4.3%)	-	1 (2.1%)	7 (14.9%)	5 (10.6%)	3 (6.4%)	1 (2.1%)	5 (10.6%)	17 (36.2%)



#### 4. 事業用大規模建築物の指定

- 事業用大規模建築物を所有する事業所は、市全体で見ると「指定されている」は13.2%であり、「指定されていない」は41.5%となっており、前回調査と比べてほとんど変わらない結果となった。
- 所在区別では、堺区（15.6%）、東区（14.6%）、西区（22.7%）で事業用大規模建築物を所有する事業所の指定されている割合が市全体での割合より高くなっている。

	全体	指定されている	指定されていない	分からない	無回答
全体	593 (100.0%)	78 (13.2%)	246 (41.5%)	233 (39.3%)	36 (6.1%)
堺区	147 (100.0%)	23 (15.6%)	52 (35.4%)	61 (41.5%)	11 (7.5%)
中区	75 (100.0%)	2 (2.7%)	37 (49.3%)	35 (46.7%)	1 (1.3%)
東区	41 (100.0%)	6 (14.6%)	20 (48.8%)	14 (34.1%)	1 (2.4%)
西区	110 (100.0%)	25 (22.7%)	44 (40.0%)	39 (35.5%)	2 (1.8%)
南区	51 (100.0%)	4 (7.8%)	25 (49.0%)	21 (41.2%)	1 (2.0%)
北区	71 (100.0%)	9 (12.7%)	27 (38.0%)	33 (46.5%)	2 (2.8%)
美原区	51 (100.0%)	3 (5.9%)	26 (51.0%)	21 (41.2%)	1 (2.0%)
無回答	47 (100.0%)	6 (12.8%)	15 (31.9%)	9 (19.1%)	17 (36.2%)



## II. アンケート回答集計結果

### 1. ごみの排出と処理・リサイクル状況について

#### (1) 「第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の策定を知っていたか

- 現行計画の認知について、市全体でみると「計画の策定を知っていた」は22.1%で、「計画の策定を知らなかった」は75.9%となっており、「第2次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の認知を聞いた前回調査の19.8%よりも認知度は高くなっていました。
- 業種別にみると、『医療、福祉』では「計画の策定を知っていた」が13.9%と最も低くなっている。
- 市民意識調査と比べて事業所意識調査のほうが認知度の高く、事業所においては市民と比べて、現行計画の内容によって事業の方針が変わる等の直接的な影響を受ける可能性が高いからだと考えられる。

	全体	計画の策定を知っていた	計画の策定を知らなかった	無回答
全体	593 (100.0%)	131 (22.1%)	450 (75.9%)	12 (2.0%)
農業、林業	-	-	-	-
建設業	37 (100.0%)	13 (35.1%)	24 (64.9%)	-
製造業	107 (100.0%)	32 (29.9%)	75 (70.1%)	-
電気・ガス・熱供給・水道業	7 (100.0%)	2 (28.6%)	5 (71.4%)	-
情報通信業	-	-	-	-
運輸業、郵便業	29 (100.0%)	7 (24.1%)	20 (69.0%)	2 (6.9%)
卸売業、小売業	73 (100.0%)	13 (17.8%)	60 (82.2%)	-
金融、保険業	8 (100.0%)	2 (25.0%)	6 (75.0%)	-
不動産業、物品賃貸業	13 (100.0%)	2 (15.4%)	11 (84.6%)	-
学術研究、専門・技術サービス業	9 (100.0%)	2 (22.2%)	7 (77.8%)	-
宿泊業、飲食サービス業	24 (100.0%)	5 (20.8%)	19 (79.2%)	-
生活関連サービス業、娯楽業	3 (100.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	-
教育、学習支援業	22 (100.0%)	5 (22.7%)	17 (77.3%)	-
医療、福祉	122 (100.0%)	17 (13.9%)	101 (82.8%)	4 (3.3%)
複合サービス業	1 (100.0%)	1 (100.0%)	-	-
サービス業	49 (100.0%)	9 (18.4%)	39 (79.6%)	1 (2.0%)
その他	42 (100.0%)	10 (23.8%)	32 (76.2%)	-
無回答	47 (100.0%)	9 (19.1%)	33 (70.2%)	5 (10.6%)

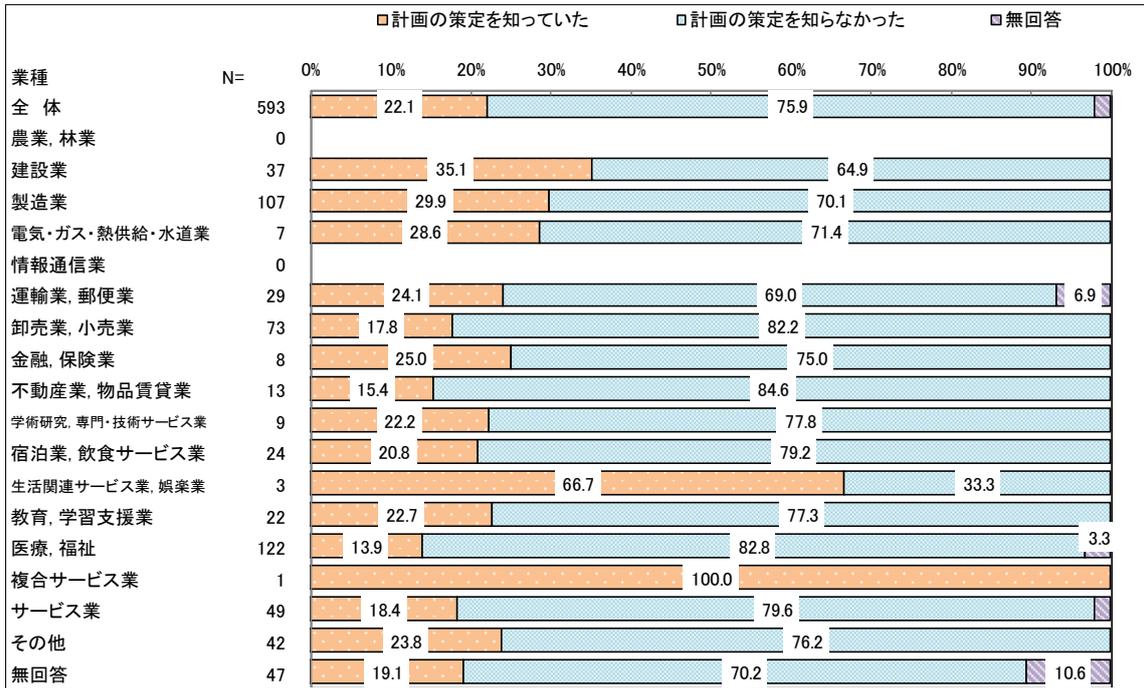
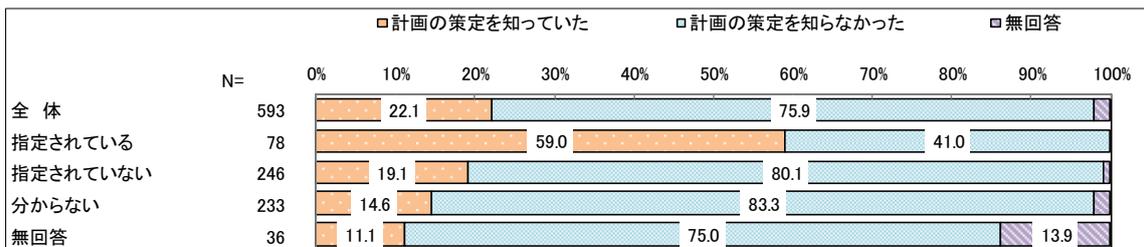


図 「第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の策定を知っていたか

- 事業用大規模建築物に指定されている事業所では「計画の策定を知っていた」が59.0%と高くなっており、「減量計画書」の作成等が義務づけられていることが影響していると考えられる。

	全体	計画の策定を知っていた	計画の策定を知らなかった	無回答
全体	593 (100.0%)	131 (22.1%)	450 (75.9%)	12 (2.0%)
事業用大規模建築物に指定されている	78 (100.0%)	46 (59.0%)	32 (41.0%)	-
事業用大規模建築物に指定されていない	246 (100.0%)	47 (19.1%)	197 (80.1%)	2 (0.8%)
分からない	233 (100.0%)	34 (14.6%)	194 (83.3%)	5 (2.1%)
無回答	36 (100.0%)	4 (11.1%)	27 (75.0%)	5 (13.9%)



## (2) ごみの排出量や分別、処理方法について

### ア. ごみの排出量について

- 排出量の把握について、市全体でみると「把握している」は58.2%で、「把握していない」は40.1%となっている。なお、「把握している」は前回調査（64.2%）よりも低くなっている。
- 業種別にみると、10件以上回答のあった業種で「把握している」が他業種に比べて高かったのは、『建設業』（75.7%）、『製造業』（75.7%）、『教育、学習支援業』（63.6%）、『運輸業、郵便業』（62.1%）、『サービス業』（59.2%）であった。

	全体	把握している	把握していない	無回答
全体	593 (100.0%)	345 (58.2%)	238 (40.1%)	10 (1.7%)
農業、林業	- -	- -	- -	- -
建設業	37 (100.0%)	28 (75.7%)	9 (24.3%)	- -
製造業	107 (100.0%)	81 (75.7%)	25 (23.4%)	1 (0.9%)
電気・ガス・ 熱供給・水道業	7 (100.0%)	4 (57.1%)	3 (42.9%)	- -
情報通信業	- -	- -	- -	- -
運輸業、 郵便業	29 (100.0%)	18 (62.1%)	10 (34.5%)	1 (3.4%)
卸売業、 小売業	73 (100.0%)	41 (56.2%)	32 (43.8%)	- -
金融、保険業	8 (100.0%)	3 (37.5%)	5 (62.5%)	- -
不動産業、 物品賃貸業	13 (100.0%)	5 (38.5%)	8 (61.5%)	- -
学術研究、専門・ 技術サービス業	9 (100.0%)	6 (66.7%)	3 (33.3%)	- -
宿泊業、飲食 サービス業	24 (100.0%)	11 (45.8%)	13 (54.2%)	- -
生活関連サービ ス業、娯楽業	3 (100.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	- -
教育、 学習支援業	22 (100.0%)	14 (63.6%)	8 (36.4%)	- -
医療、福祉	122 (100.0%)	55 (45.1%)	64 (52.5%)	3 (2.5%)
複合 サービス業	1 (100.0%)	1 (100.0%)	- -	- -
サービス業	49 (100.0%)	29 (59.2%)	20 (40.8%)	- -
その他	42 (100.0%)	24 (57.1%)	18 (42.9%)	- -
無回答	47 (100.0%)	24 (51.1%)	18 (38.3%)	5 (10.6%)

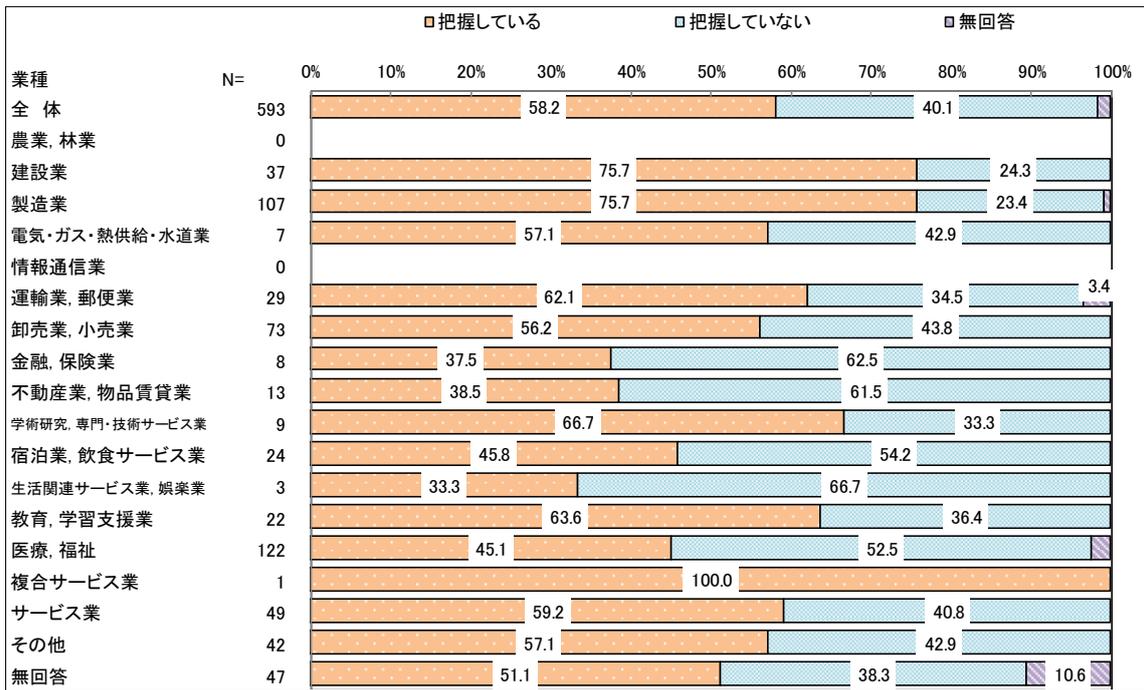
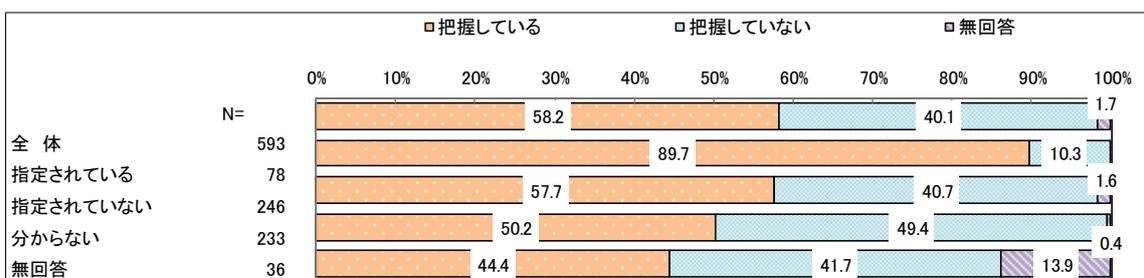


図 ごみの排出量について

○ 大規模指定事業所別にみると、指定されている事業所では「把握している」が89.7%と高くなっており、「減量計画書」の作成が義務づけられているため、必然的に排出量の把握も必要であることが結果に表れている。

	全体	把握している	把握していない	無回答
全体	593 (100.0%)	345 (58.2%)	238 (40.1%)	10 (1.7%)
事業用大規模建築物に 指定されている	78 (100.0%)	70 (89.7%)	8 (10.3%)	-
事業用大規模建築物に 指定されていない	246 (100.0%)	142 (57.7%)	100 (40.7%)	4 (1.6%)
分からない	233 (100.0%)	117 (50.2%)	115 (49.4%)	1 (0.4%)
無回答	36 (100.0%)	16 (44.4%)	15 (41.7%)	5 (13.9%)



## イ. ごみ処理費用について

### ① ごみ処理費用を把握しているか

- 処理費用の把握について、市全体でみると「把握している」は61.9%で、「把握していない」は34.2%となっており、「把握している」は前回調査の56.2%よりも高くなっている。
- 業種別にみると、10件以上回答のあった業種で「把握している」が他業種に比べて高かったのは、『製造業』（77.6%）と『建設業』（75.7%）、『運輸業，郵便業』（72.4%）、『医療，福祉』（62.3%）であった。
- ごみの排出量の把握状況と合わせてみると、昨今の厳しい経営環境からごみに対するコスト意識が高まっている現状がうかがえる。

	全体	把握している	把握していない	無回答
全体	593 (100.0%)	367 (61.9%)	203 (34.2%)	23 (3.9%)
農業，林業	- -	- -	- -	- -
建設業	37 (100.0%)	28 (75.7%)	8 (21.6%)	1 (2.7%)
製造業	107 (100.0%)	83 (77.6%)	22 (20.6%)	2 (1.9%)
電気・ガス・ 熱供給・水道業	7 (100.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)	- -
情報通信業	- -	- -	- -	- -
運輸業， 郵便業	29 (100.0%)	21 (72.4%)	7 (24.1%)	1 (3.4%)
卸売業， 小売業	73 (100.0%)	43 (58.9%)	30 (41.1%)	- -
金融，保険業	8 (100.0%)	3 (37.5%)	5 (62.5%)	- -
不動産業， 物品賃貸業	13 (100.0%)	5 (38.5%)	8 (61.5%)	- -
学術研究，専門・ 技術サービス業	9 (100.0%)	6 (66.7%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)
宿泊業，飲食 サービス業	24 (100.0%)	13 (54.2%)	10 (41.7%)	1 (4.2%)
生活関連サービ ス業，娯楽業	3 (100.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	- -
教育， 学習支援業	22 (100.0%)	13 (59.1%)	9 (40.9%)	- -
医療，福祉	122 (100.0%)	76 (62.3%)	39 (32.0%)	7 (5.7%)
複合 サービス業	1 (100.0%)	1 (100.0%)	- -	- -
サービス業	49 (100.0%)	27 (55.1%)	21 (42.9%)	1 (2.0%)
その他	42 (100.0%)	18 (42.9%)	21 (50.0%)	3 (7.1%)
無回答	47 (100.0%)	24 (51.1%)	17 (36.2%)	6 (12.8%)

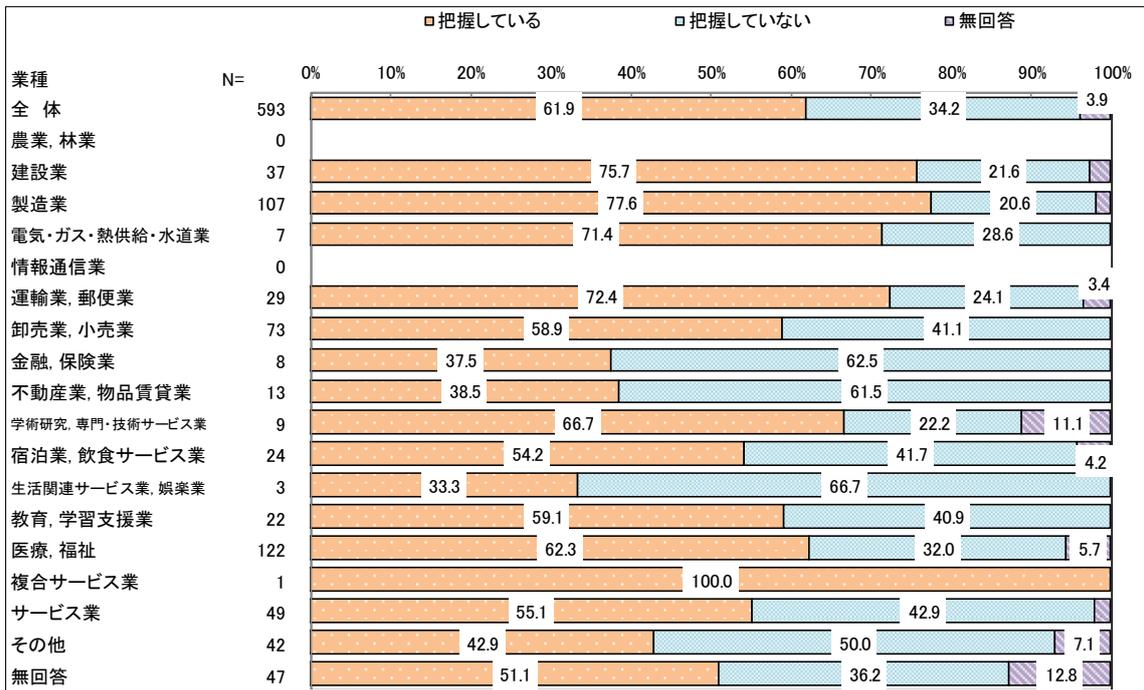
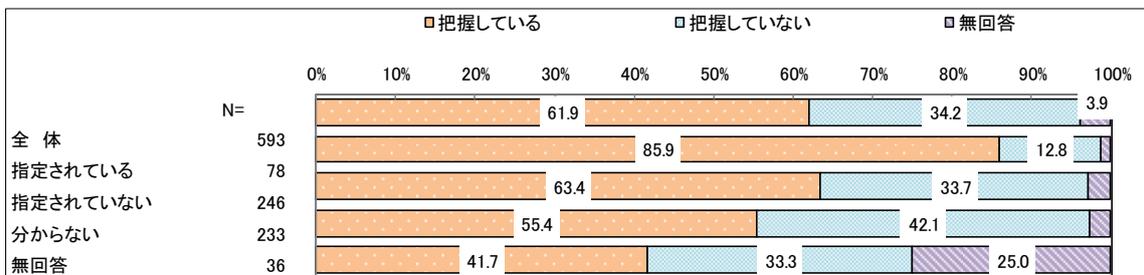


図 ごみ処理費用を把握しているか

○ 大規模指定事業所別にみると、指定されている事業所では「把握している」が85.9%と高くなっており、前回調査(80.7%)より高くなっている。

	全体	把握している	把握していない	無回答
全体	593 (100.0%)	367 (61.9%)	203 (34.2%)	23 (3.9%)
事業用大規模建築物に 指定されている	78 (100.0%)	67 (85.9%)	10 (12.8%)	1 (1.3%)
事業用大規模建築物に 指定されていない	246 (100.0%)	156 (63.4%)	83 (33.7%)	7 (2.8%)
分からない	233 (100.0%)	129 (55.4%)	98 (42.1%)	6 (2.6%)
無回答	36 (100.0%)	15 (41.7%)	12 (33.3%)	9 (25.0%)



② 処理費用はどのように算出しているか

- ごみ処理費用の算出方法は、市全体でみれば、「月極め（量や大きさによらない）」が50.7%と最も高く、次いで「重量ごと」が25.6%、「袋の数ごと」が21.5%となっている。なお、「月極め（量や大きさによらない）」は前回調査（60.6%）よりも低くなっている。
- 業種別にみると、「月極め（量や大きさによらない）」は、生ごみの排出が多い『宿泊業、飲食サービス業』で69.2%と、10件以上回答のあった業種のなかで最も高くなっている。
- ごみ処理費用の算出が重量や袋の数によらない場合が5割以上を占めており、ごみ減量意識が働きにくく、排出抑制が進まないことが考えられるため、前回調査より重量や袋の数によるごみの産出が増えていることは望ましいことと考えられる。

	全体	重量ごと	袋の数ごと	月極め（量や大き さによらない）	無回答
全体	367 (100.0%)	94 (25.6%)	79 (21.5%)	186 (50.7%)	8 (2.2%)
農業、林業	-	-	-	-	-
建設業	28 (100.0%)	11 (39.3%)	3 (10.7%)	13 (46.4%)	1 (3.6%)
製造業	83 (100.0%)	30 (36.1%)	15 (18.1%)	35 (42.2%)	3 (3.6%)
電気・ガス・ 熱供給・水道業	5 (100.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	3 (60.0%)	-
情報通信業	-	-	-	-	-
運輸業、 郵便業	21 (100.0%)	6 (28.6%)	2 (9.5%)	13 (61.9%)	-
卸売業、 小売業	43 (100.0%)	10 (23.3%)	10 (23.3%)	20 (46.5%)	3 (7.0%)
金融、保険業	3 (100.0%)	-	1 (33.3%)	2 (66.7%)	-
不動産業、 物品賃貸業	5 (100.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	3 (60.0%)	-
学術研究、専門・ 技術サービス業	6 (100.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	-
宿泊業、飲食 サービス業	13 (100.0%)	3 (23.1%)	1 (7.7%)	9 (69.2%)	-
生活関連サービ ス業、娯楽業	1 (100.0%)	-	-	1 (100.0%)	-
教育、 学習支援業	13 (100.0%)	4 (30.8%)	3 (23.1%)	6 (46.2%)	-
医療、福祉	76 (100.0%)	8 (10.5%)	24 (31.6%)	43 (56.6%)	1 (1.3%)
複合 サービス業	1 (100.0%)	-	-	1 (100.0%)	-
サービス業	27 (100.0%)	2 (7.4%)	7 (25.9%)	18 (66.7%)	-
その他	18 (100.0%)	9 (50.0%)	2 (11.1%)	7 (38.9%)	-
無回答	24 (100.0%)	8 (33.3%)	8 (33.3%)	8 (33.3%)	-

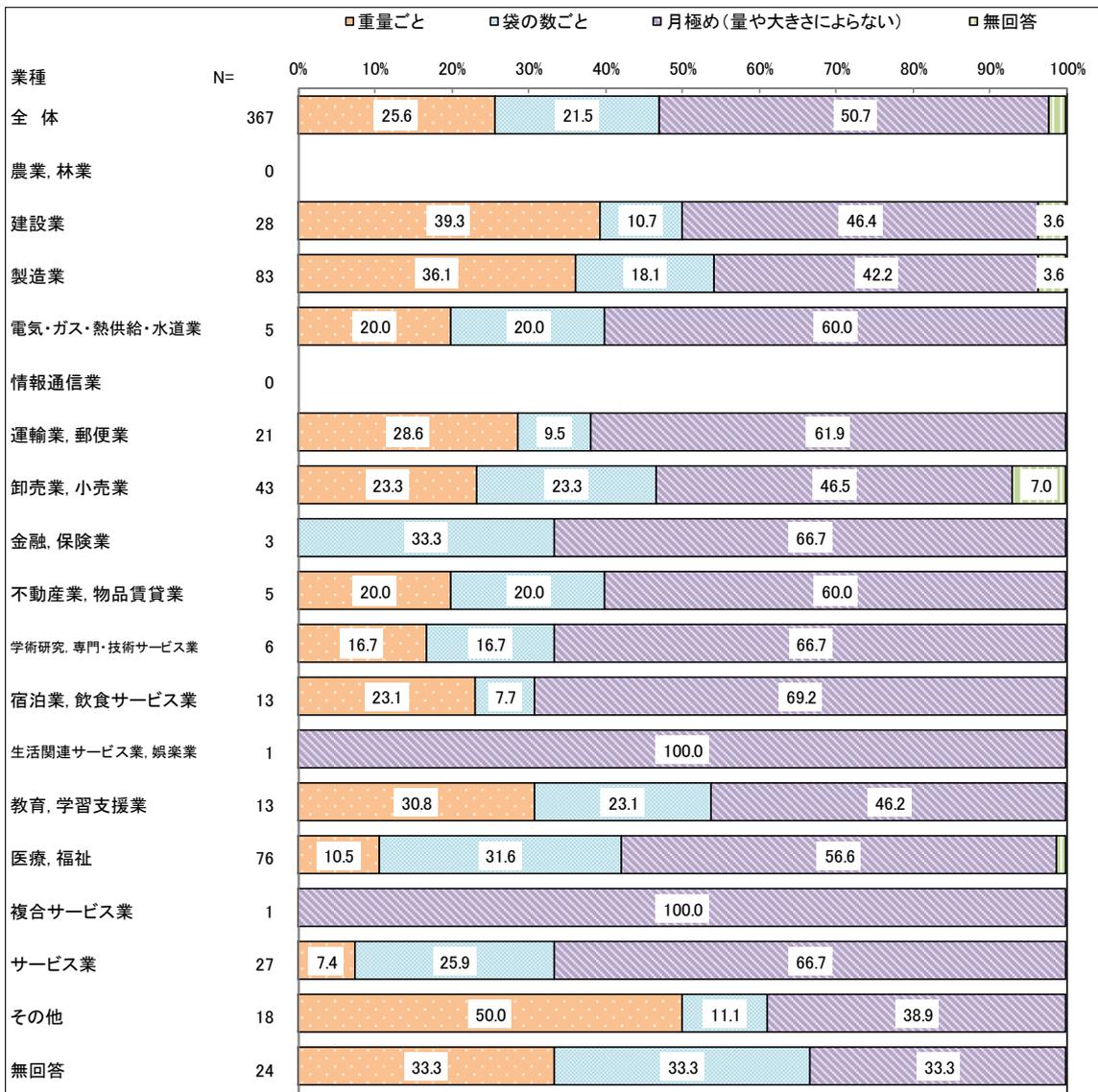


図 処理費用はどのように算出しているか

### ③ ごみ処理費用の負担感

- ごみ処理費用の負担感は、市全体で見れば、「妥当」が55.3%と最も高く、次いで「やや高い」が31.3%となっている。なお、「妥当」は前回調査の47.7%よりも高くなっている。
- 業種別にみると、「妥当」は10件以上回答のあった業種のうち、『運輸業、郵便業』で81.0%と最も高くなっている。

	全体	かなり高い	やや高い	妥当	やや安い	かなり安い	無回答
全体	367 (100.0%)	35 (9.5%)	115 (31.3%)	203 (55.3%)	6 (1.6%)	2 (0.5%)	6 (1.6%)
農業、林業	-	-	-	-	-	-	-
建設業	28 (100.0%)	4 (14.3%)	6 (21.4%)	16 (57.1%)	1 (3.6%)	-	1 (3.6%)
製造業	83 (100.0%)	6 (7.2%)	27 (32.5%)	48 (57.8%)	2 (2.4%)	-	-
電気・ガス・熱供給・水道業	5 (100.0%)	1 (20.0%)	-	3 (60.0%)	1 (20.0%)	-	-
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-
運輸業、郵便業	21 (100.0%)	1 (4.8%)	3 (14.3%)	17 (81.0%)	-	-	-
卸売業、小売業	43 (100.0%)	6 (14.0%)	10 (23.3%)	26 (60.5%)	-	-	1 (2.3%)
金融、保険業	3 (100.0%)	-	-	3 (100.0%)	-	-	-
不動産業、物品賃貸業	5 (100.0%)	-	1 (20.0%)	4 (80.0%)	-	-	-
学術研究、専門・技術サービス業	6 (100.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	-	-	-
宿泊業、飲食サービス業	13 (100.0%)	2 (15.4%)	7 (53.8%)	4 (30.8%)	-	-	-
生活関連サービス業、娯楽業	1 (100.0%)	-	-	1 (100.0%)	-	-	-
教育、学習支援業	13 (100.0%)	2 (15.4%)	2 (15.4%)	7 (53.8%)	-	-	2 (15.4%)
医療、福祉	76 (100.0%)	6 (7.9%)	28 (36.8%)	40 (52.6%)	-	1 (1.3%)	1 (1.3%)
複合サービス業	1 (100.0%)	-	-	1 (100.0%)	-	-	-
サービス業	27 (100.0%)	2 (7.4%)	9 (33.3%)	15 (55.6%)	1 (3.7%)	-	-
その他	18 (100.0%)	3 (16.7%)	6 (33.3%)	7 (38.9%)	1 (5.6%)	-	1 (5.6%)
無回答	24 (100.0%)	1 (4.2%)	15 (62.5%)	7 (29.2%)	-	1 (4.2%)	-

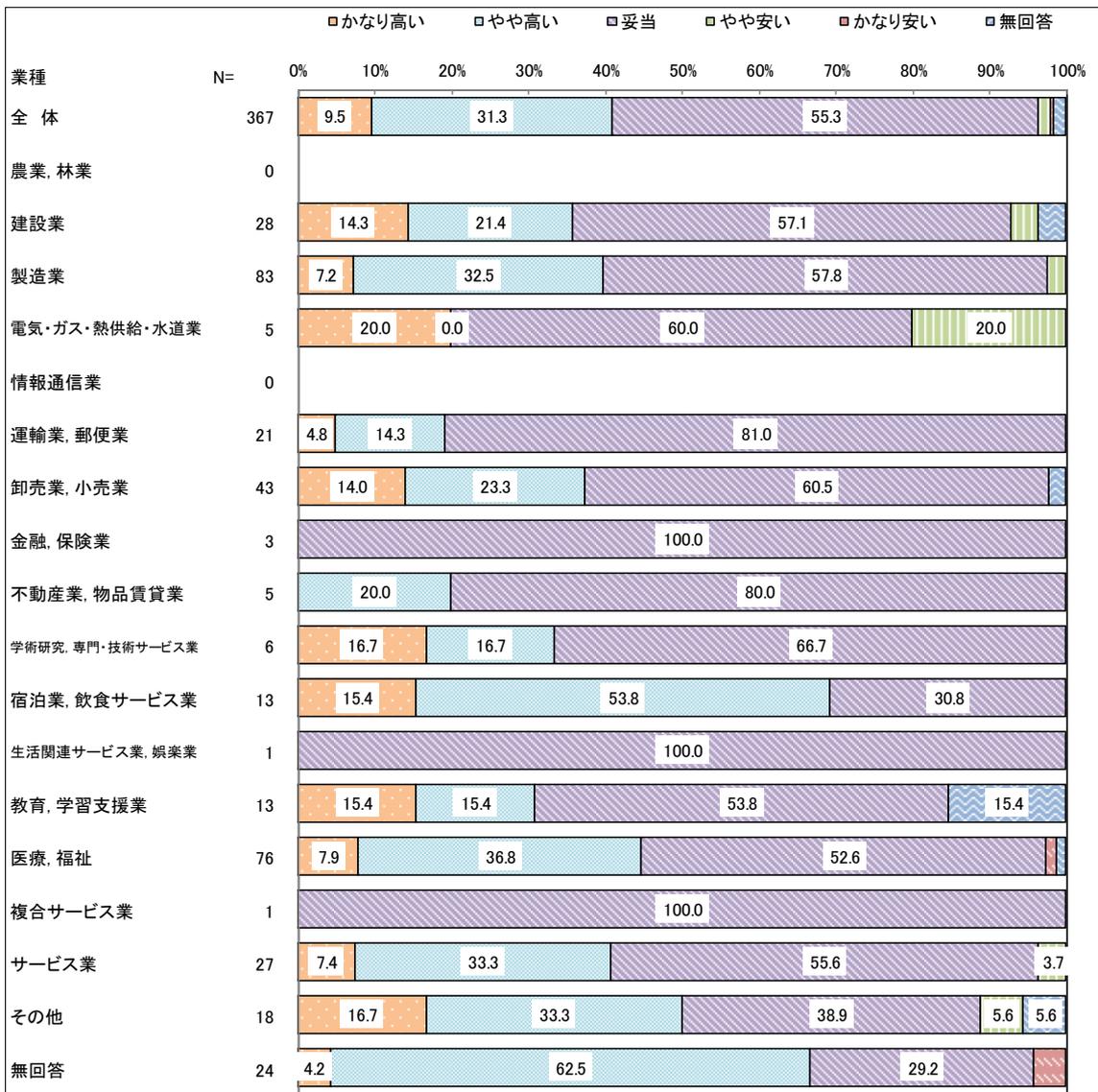


図 ごみ処理費用の負担感

## ウ. 排出するごみの種類（複数回答）

- 排出するごみの種類（1位から3位まで）について、「紙くず」が65.1%で最も高く、次いで「古紙」が62.9%、「生ごみ」が50.8%となっており、前回調査と上位の項目は変わらない結果となった。
- どの業種でも使用されている紙類が排出するごみとして多い反面、深刻な社会問題である食品ロスに関係する「生ごみ」も『宿泊業，飲食サービス業』で圧倒的に高い割合を示している。早ければ2019年4月にも食品ロス削減推進法案が成立する見込みであり、特に『宿泊業，飲食サービス業』へは排出するごみを削減するよう働きかける必要があると考えられる。

	全体	古紙	紙くず	生ごみ	プラスチック製容器包装	缶・びん、ペットボトル	木くず	古繊維	繊維くず	金属類	無回答	合計回答数
全体	593	373 (62.9%)	386 (65.1%)	301 (50.8%)	293 (49.4%)	158 (26.6%)	47 (7.9%)	14 (2.4%)	12 (2.0%)	49 (8.3%)	29 (4.9%)	1,662
農業，林業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	37	21 (56.8%)	23 (62.2%)	11 (29.7%)	23 (62.2%)	16 (43.2%)	6 (16.2%)	-	1 (2.7%)	6 (16.2%)	1 (2.7%)	108
製造業	107	74 (69.2%)	54 (50.5%)	35 (32.7%)	54 (50.5%)	20 (18.7%)	23 (21.5%)	10 (9.3%)	4 (3.7%)	21 (19.6%)	5 (4.7%)	300
電気・ガス・熱供給・水道業	7	5 (71.4%)	4 (57.1%)	3 (42.9%)	5 (71.4%)	1 (14.3%)	-	-	1 (14.3%)	2 (28.6%)	-	21
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業，郵便業	29	18 (62.1%)	21 (72.4%)	17 (58.6%)	10 (34.5%)	12 (41.4%)	2 (6.9%)	-	1 (3.4%)	2 (6.9%)	1 (3.4%)	84
卸売業，小売業	73	46 (63.0%)	43 (58.9%)	40 (54.8%)	35 (47.9%)	23 (31.5%)	4 (5.5%)	-	-	8 (11.0%)	2 (2.7%)	201
金融，保険業	8	4 (50.0%)	5 (62.5%)	4 (50.0%)	2 (25.0%)	3 (37.5%)	-	-	-	-	2 (25.0%)	20
不動産業，物品賃貸業	13	12 (92.3%)	11 (84.6%)	8 (61.5%)	2 (15.4%)	3 (23.1%)	1 (7.7%)	-	1 (7.7%)	-	-	38
学術研究，専門・技術サービス業	9	5 (55.6%)	7 (77.8%)	4 (44.4%)	5 (55.6%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	-	1 (11.1%)	2 (22.2%)	-	26
宿泊業，飲食サービス業	24	13 (54.2%)	13 (54.2%)	22 (91.7%)	10 (41.7%)	4 (16.7%)	-	-	-	-	2 (8.3%)	64
生活関連サービス業，娯楽業	3	3 (100.0%)	-	2 (66.7%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	-	-	-	1 (33.3%)	-	9
教育，学習支援業	22	17 (77.3%)	20 (90.9%)	15 (68.2%)	8 (36.4%)	4 (18.2%)	2 (9.1%)	-	-	-	-	66
医療，福祉	122	78 (63.9%)	99 (81.1%)	75 (61.5%)	65 (53.3%)	29 (23.8%)	2 (1.6%)	2 (1.6%)	1 (0.8%)	-	1 (0.8%)	352
複合サービス業	1	-	1 (100.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	-	-	-	-	-	-	3
サービス業	49	32 (65.3%)	32 (65.3%)	22 (44.9%)	27 (55.1%)	18 (36.7%)	1 (2.0%)	1 (2.0%)	2 (4.1%)	3 (6.1%)	1 (2.0%)	139
その他	42	23 (54.8%)	23 (54.8%)	18 (42.9%)	24 (57.1%)	14 (33.3%)	2 (4.8%)	1 (2.4%)	-	2 (4.8%)	5 (11.9%)	112
無回答	47	22 (46.8%)	30 (63.8%)	24 (51.1%)	20 (42.6%)	9 (19.1%)	3 (6.4%)	-	-	2 (4.3%)	9 (19.1%)	119

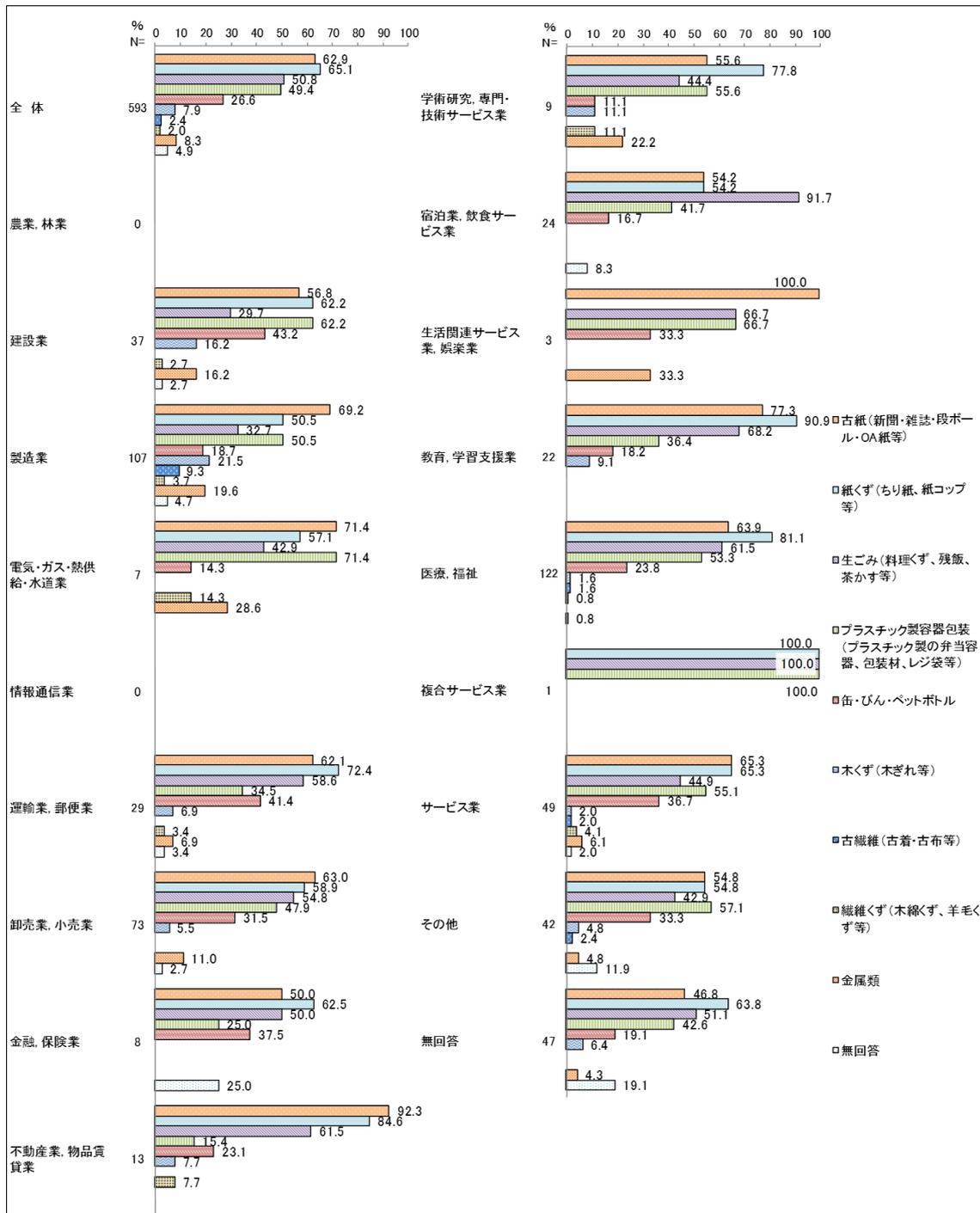


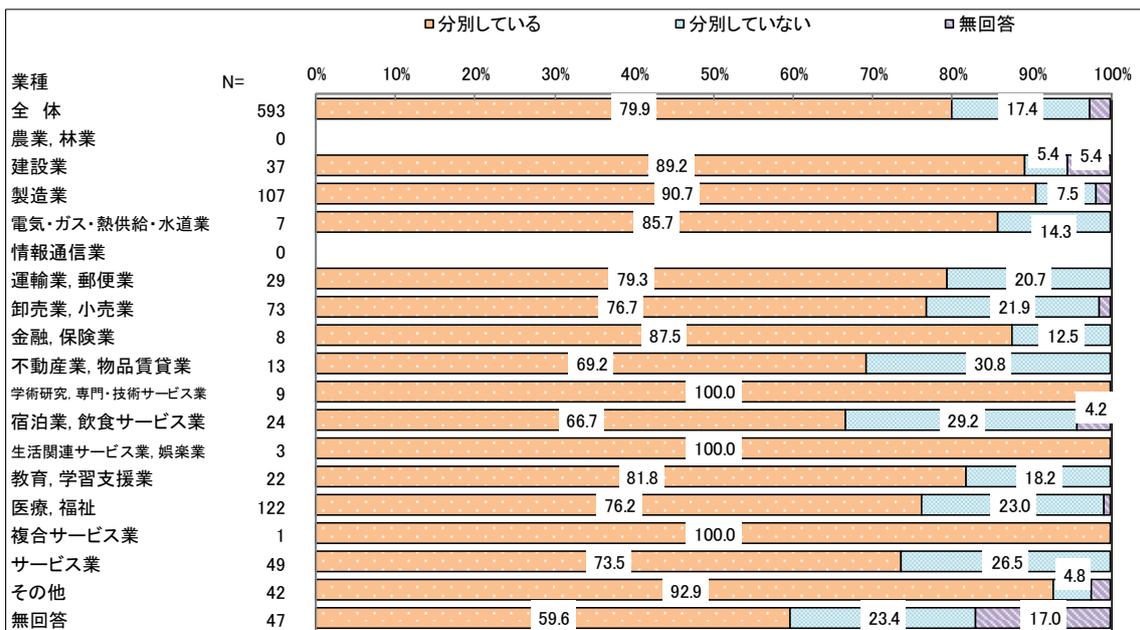
図 ごみ処理費用の負担感

## エ. ごみの分別について

- ごみの分別について、市全体でみると「分別している」は79.9%で、前回調査(67.8%)から約10ポイント程度上昇しており、事業所によるリサイクル意識が進んでいることがうかがえる。
- 業種別にみると、『不動産業、物品賃貸業』のみ、「分別していない」の割合が3割を超えている。

	全体	分別している	分別していない	無回答
全体	593 (100.0%)	474 (79.9%)	103 (17.4%)	16 (2.7%)
農業, 林業	-	-	-	-
建設業	37 (100.0%)	33 (89.2%)	2 (5.4%)	2 (5.4%)
製造業	107 (100.0%)	97 (90.7%)	8 (7.5%)	2 (1.9%)
電気・ガス・熱供給・水道業	7 (100.0%)	6 (85.7%)	1 (14.3%)	-
情報通信業	-	-	-	-
運輸業, 郵便業	29 (100.0%)	23 (79.3%)	6 (20.7%)	-
卸売業, 小売業	73 (100.0%)	56 (76.7%)	16 (21.9%)	1 (1.4%)
金融, 保険業	8 (100.0%)	7 (87.5%)	1 (12.5%)	-
不動産業, 物品賃貸業	13 (100.0%)	9 (69.2%)	4 (30.8%)	-

	全体	分別している	分別していない	無回答
学術研究, 専門・技術サービス業	9 (100.0%)	9 (100.0%)	-	-
宿泊業, 飲食サービス業	24 (100.0%)	16 (66.7%)	7 (29.2%)	1 (4.2%)
生活関連サービス業, 娯楽業	3 (100.0%)	3 (100.0%)	-	-
教育, 学習支援業	22 (100.0%)	18 (81.8%)	4 (18.2%)	-
医療, 福祉	122 (100.0%)	93 (76.2%)	28 (23.0%)	1 (0.8%)
複合サービス業	1 (100.0%)	1 (100.0%)	-	-
サービス業	49 (100.0%)	36 (73.5%)	13 (26.5%)	-
その他	42 (100.0%)	39 (92.9%)	2 (4.8%)	1 (2.4%)
無回答	47 (100.0%)	28 (59.6%)	11 (23.4%)	8 (17.0%)



## オ. 分別の有無及び処理方法について

### ① 焼却ごみ

＜焼却ごみの処理方法＞

- 焼却ごみの処理方法は、市全体で見ると「民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託」が73.0%と最も高くなっており、前回調査（65.7%）よりも高くなっている。
- 業種別にみると、『金融、保険業』、『不動産業、物品賃貸業』が「継続ごみとして市に収集を依頼」の割合が、前回調査より高くなっている。

	全体	民間ごみ 収集業者 （許可業 者）へ収 集を委託	貴事業所 自らが市 の清掃工 場へ搬入	貴事業所 の処理施 設で処理	継続ごみ として市 に収集を 依頼	産業廃棄 物として 処理して いる	その他	無回答
全体	474 (100.0%)	346 (73.0%)	22 (4.6%)	5 (1.1%)	27 (5.7%)	34 (7.2%)	21 (4.4%)	19 (4.0%)
農業、林業	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	33 (100.0%)	21 (63.6%)	1 (3.0%)	1 (3.0%)	1 (3.0%)	6 (18.2%)	-	3 (9.1%)
製造業	97 (100.0%)	68 (70.1%)	3 (3.1%)	1 (1.0%)	4 (4.1%)	15 (15.5%)	3 (3.1%)	3 (3.1%)
電気・ガス・ 熱供給・水道業	6 (100.0%)	6 (100.0%)	-	-	-	-	-	-
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業、 郵便業	23 (100.0%)	16 (69.6%)	2 (8.7%)	-	-	4 (17.4%)	1 (4.3%)	-
卸売業、 小売業	56 (100.0%)	45 (80.4%)	2 (3.6%)	-	3 (5.4%)	3 (5.4%)	2 (3.6%)	1 (1.8%)
金融、保険業	7 (100.0%)	4 (57.1%)	-	-	1 (14.3%)	-	2 (28.6%)	-
不動産業、 物品賃貸業	9 (100.0%)	7 (77.8%)	-	-	2 (22.2%)	-	-	-
学術研究、専門・ 技術サービス業	9 (100.0%)	6 (66.7%)	-	-	-	2 (22.2%)	-	1 (11.1%)
宿泊業、飲食 サービス業	16 (100.0%)	11 (68.8%)	1 (6.3%)	-	1 (6.3%)	-	2 (12.5%)	1 (6.3%)
生活関連サービ ス業、娯楽業	3 (100.0%)	2 (66.7%)	-	-	-	-	-	1 (33.3%)
教育、 学習支援業	18 (100.0%)	12 (66.7%)	2 (11.1%)	-	1 (5.6%)	-	3 (16.7%)	-
医療、福祉	93 (100.0%)	75 (80.6%)	-	2 (2.2%)	9 (9.7%)	2 (2.2%)	4 (4.3%)	1 (1.1%)
複合 サービス業	1 (100.0%)	-	1 (100.0%)	-	-	-	-	-
サービス業	36 (100.0%)	24 (66.7%)	5 (13.9%)	-	-	2 (5.6%)	2 (5.6%)	3 (8.3%)
その他	39 (100.0%)	27 (69.2%)	3 (7.7%)	1 (2.6%)	3 (7.7%)	-	2 (5.1%)	3 (7.7%)
無回答	28 (100.0%)	22 (78.6%)	2 (7.1%)	-	2 (7.1%)	-	-	2 (7.1%)

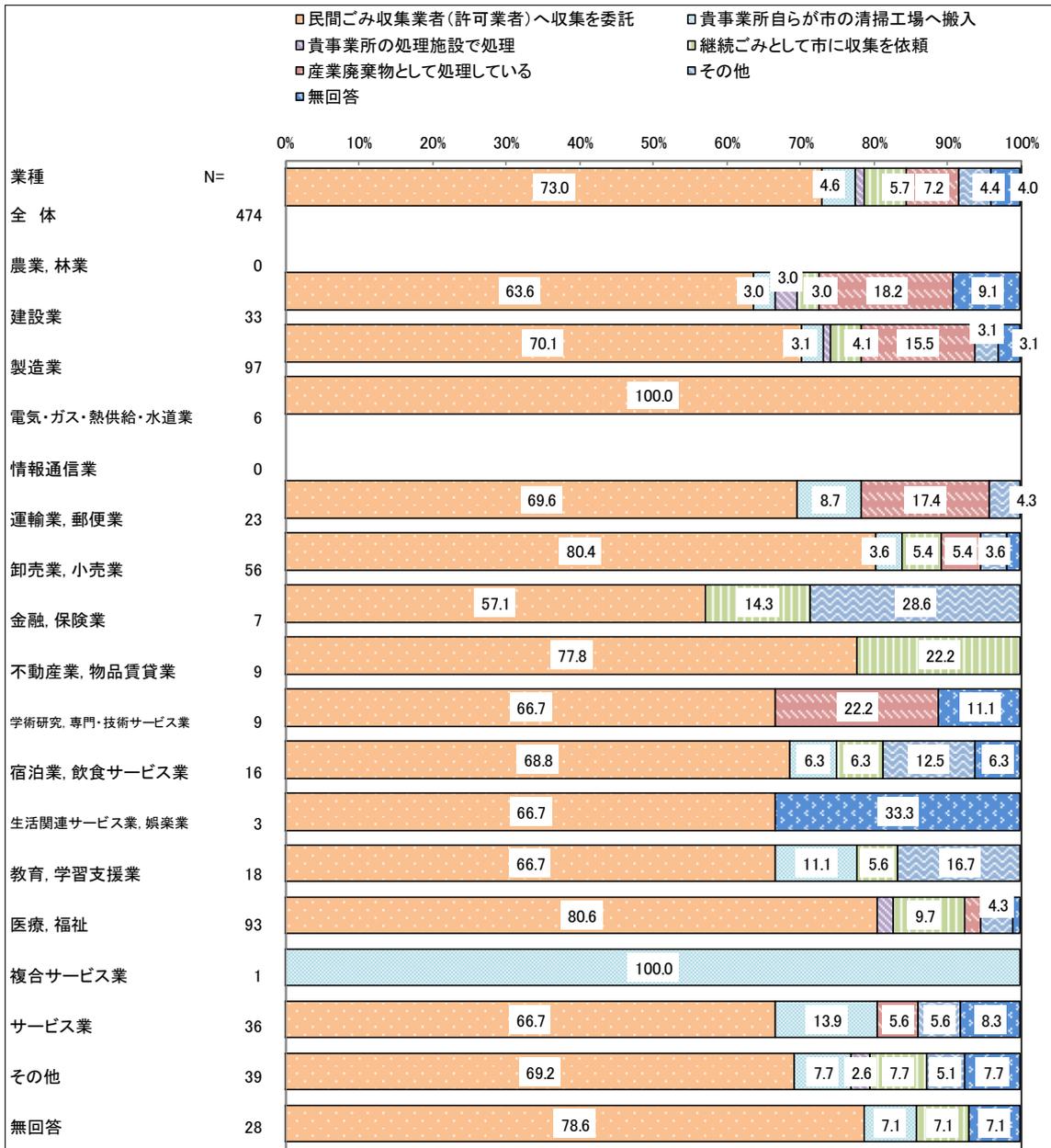


図 焼却ごみの処理方法

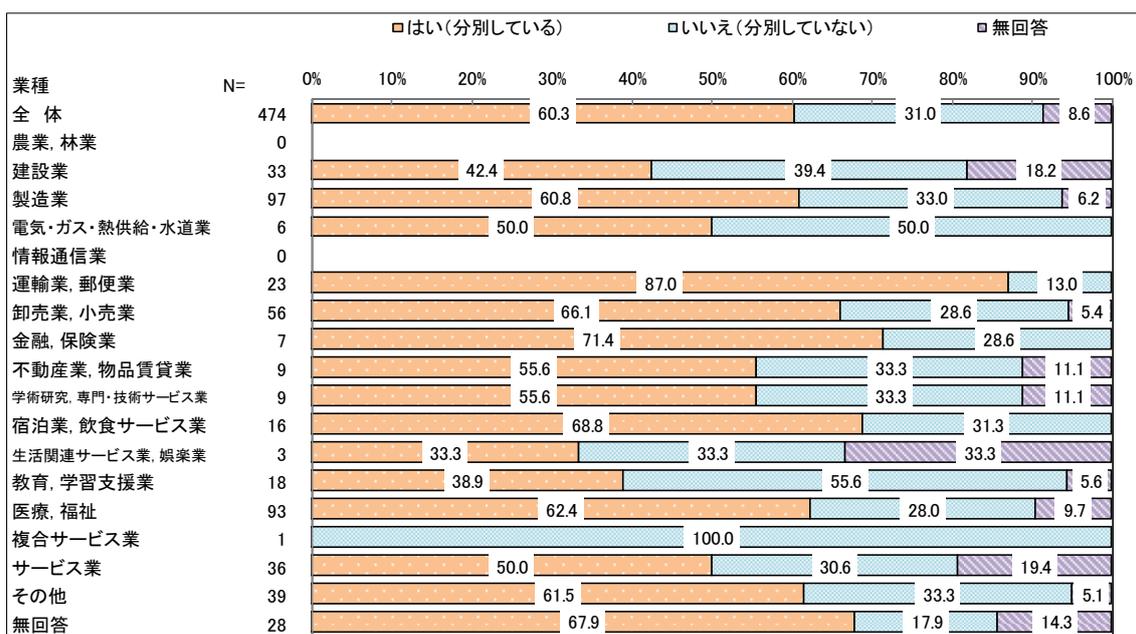
## ② 生ごみ類

<分別の有無>

- 生ごみ類について、市全体でみると「はい（分別している）」が60.3%、「いいえ（分別していない）」が31.0%となっており、「はい（分別している）」は、前回調査（54.6%）よりも高くなっている。全体の分別傾向と同様、生ごみ類についても事業所におけるリサイクル意識が進んでいることがうかがえる。
- 業種別にみると、『教育，学習支援業』のみ、「いいえ（分別していない）」が5割を超えている。

	全体	はい(分別している)	いいえ(分別していない)	無回答
全体	474 (100.0%)	286 (60.3%)	147 (31.0%)	41 (8.6%)
農業，林業	-	-	-	-
建設業	33 (100.0%)	14 (42.4%)	13 (39.4%)	6 (18.2%)
製造業	97 (100.0%)	59 (60.8%)	32 (33.0%)	6 (6.2%)
電気・ガス・熱供給・水道業	6 (100.0%)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	-
情報通信業	-	-	-	-
運輸業，郵便業	23 (100.0%)	20 (87.0%)	3 (13.0%)	-
卸売業，小売業	56 (100.0%)	37 (66.1%)	16 (28.6%)	3 (5.4%)
金融，保険業	7 (100.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)	-
不動産業，物品賃貸業	9 (100.0%)	5 (55.6%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)

	全体	はい(分別している)	いいえ(分別していない)	無回答
学術研究，専門・技術サービス業	9 (100.0%)	5 (55.6%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)
宿泊業，飲食サービス業	16 (100.0%)	11 (68.8%)	5 (31.3%)	-
生活関連サービス業，娯楽業	3 (100.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)
教育，学習支援業	18 (100.0%)	7 (38.9%)	10 (55.6%)	1 (5.6%)
医療，福祉	93 (100.0%)	58 (62.4%)	26 (28.0%)	9 (9.7%)
複合サービス業	1 (100.0%)	-	1 (100.0%)	-
サービス業	36 (100.0%)	18 (50.0%)	11 (30.6%)	7 (19.4%)
その他	39 (100.0%)	24 (61.5%)	13 (33.3%)	2 (5.1%)
無回答	28 (100.0%)	19 (67.9%)	5 (17.9%)	4 (14.3%)



<処理方法>

- 生ごみ類の処理方法について、市全体でみると「民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託」が64.8%と最も高くなっており、前回調査（55.2%）よりも高くなっている。
- 業種別にみると、大きな違いはみられなかった。

	全体	民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託	貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入	貴事業所の処理施設で処理	民間のリサイクル業者でリサイクル	継続ごみとして市に収集を依頼	産業廃棄物として処理している	その他	無回答
全体	474 (100.0%)	307 (64.8%)	13 (2.7%)	2 (0.4%)	7 (1.5%)	33 (7.0%)	20 (4.2%)	28 (5.9%)	64 (13.5%)
農業、林業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	33 (100.0%)	20 (60.6%)	1 (3.0%)	-	2 (6.1%)	1 (3.0%)	5 (15.2%)	1 (3.0%)	3 (9.1%)
製造業	97 (100.0%)	57 (58.8%)	-	-	1 (1.0%)	7 (7.2%)	11 (11.3%)	5 (5.2%)	16 (16.5%)
電気・ガス・熱供給・水道業	6 (100.0%)	5 (83.3%)	-	-	-	-	-	-	1 (16.7%)
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業、郵便業	23 (100.0%)	17 (73.9%)	2 (8.7%)	-	1 (4.3%)	-	-	2 (8.7%)	1 (4.3%)
卸売業、小売業	56 (100.0%)	38 (67.9%)	1 (1.8%)	-	-	4 (7.1%)	-	2 (3.6%)	11 (19.6%)
金融、保険業	7 (100.0%)	4 (57.1%)	-	-	-	1 (14.3%)	-	2 (28.6%)	-
不動産業、物品賃貸業	9 (100.0%)	5 (55.6%)	-	1 (11.1%)	-	2 (22.2%)	-	-	1 (11.1%)
学術研究、専門・技術サービス業	9 (100.0%)	8 (88.9%)	-	-	-	-	-	-	1 (11.1%)
宿泊業、飲食サービス業	16 (100.0%)	10 (62.5%)	-	-	-	2 (12.5%)	-	-	4 (25.0%)
生活関連サービス業、娯楽業	3 (100.0%)	2 (66.7%)	-	-	-	-	-	-	1 (33.3%)
教育、学習支援業	18 (100.0%)	10 (55.6%)	1 (5.6%)	-	-	1 (5.6%)	-	3 (16.7%)	3 (16.7%)
医療、福祉	93 (100.0%)	69 (74.2%)	1 (1.1%)	-	2 (2.2%)	10 (10.8%)	1 (1.1%)	3 (3.2%)	7 (7.5%)
複合サービス業	1 (100.0%)	-	1 (100.0%)	-	-	-	-	-	-
サービス業	36 (100.0%)	21 (58.3%)	3 (8.3%)	-	-	-	2 (5.6%)	5 (13.9%)	5 (13.9%)
その他	39 (100.0%)	21 (53.8%)	2 (5.1%)	-	1 (2.6%)	3 (7.7%)	1 (2.6%)	4 (10.3%)	7 (17.9%)
無回答	28 (100.0%)	20 (71.4%)	1 (3.6%)	1 (3.6%)	-	2 (7.1%)	-	1 (3.6%)	3 (10.7%)

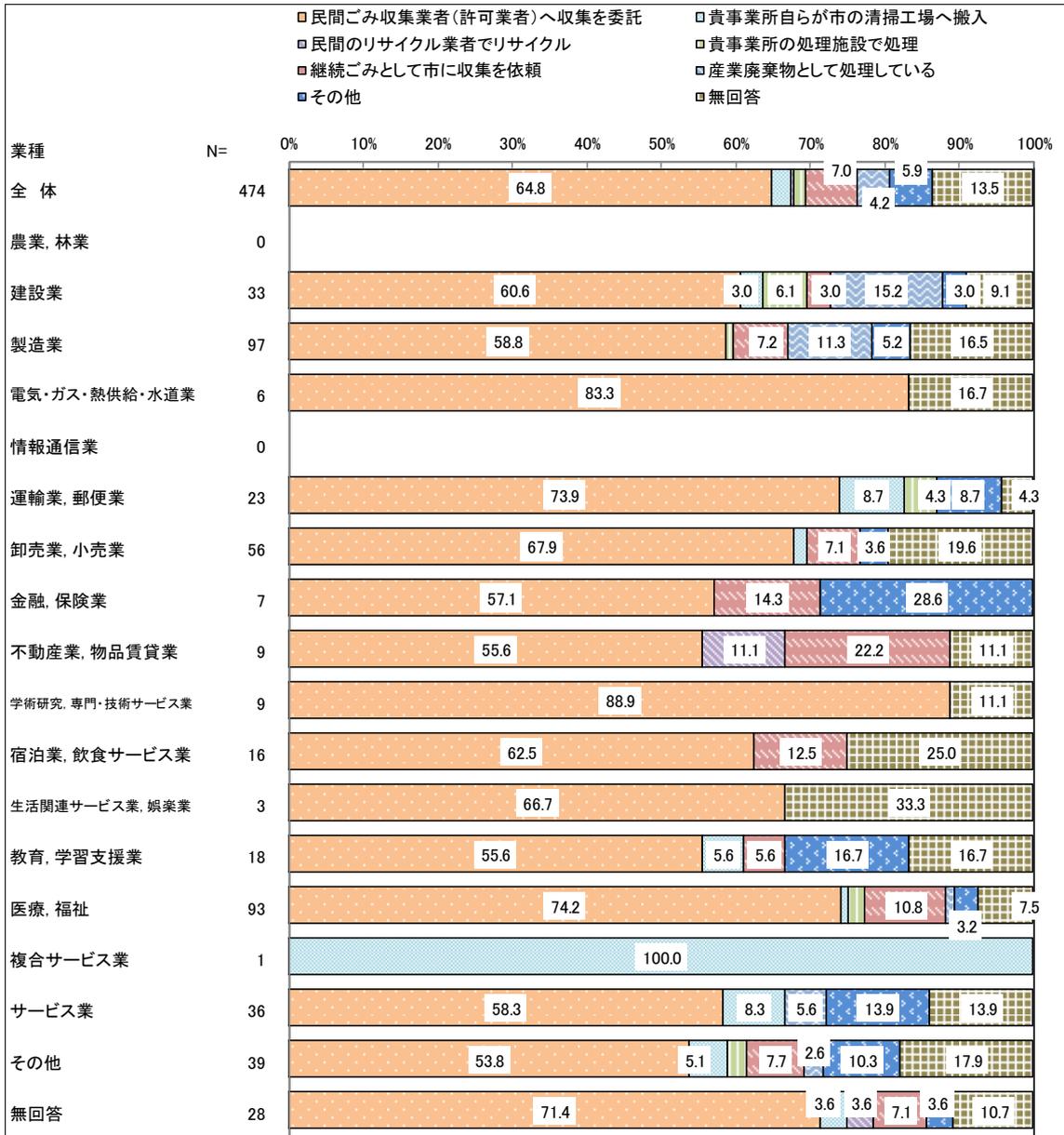


図 生ごみの処理方法

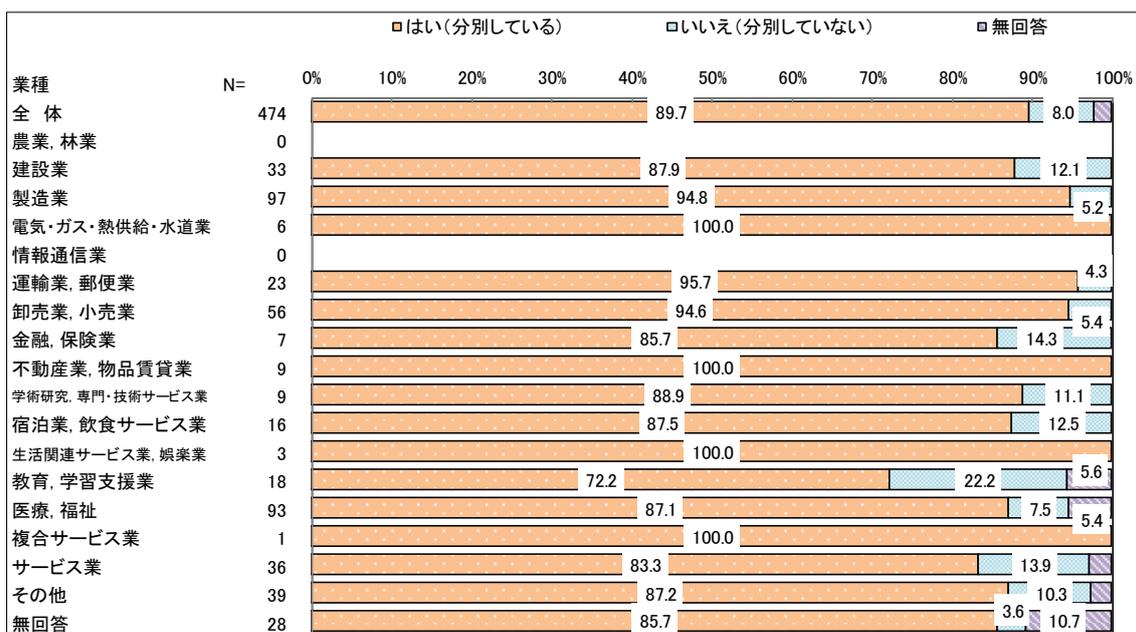
### ③ 紙類（新聞、雑誌、段ボール、OA紙など）

<分別の有無>

- 紙類について、市全体で見ると「はい(分別している)」が89.7%と、前回調査(81.5%)よりも高くなっており、全体の分別傾向と同様、紙類についても事業所におけるリサイクル意識が進んでいることがうかがえる。
- 業種別にみると、『教育, 学習支援業』の「いいえ(分別していない)」が22.2%と、他の業種と比べて高くなっている。

	全体	はい(分別している)	いいえ(分別していない)	無回答
全体	474 (100.0%)	425 (89.7%)	38 (8.0%)	11 (2.3%)
農業, 林業	-	-	-	-
建設業	33 (100.0%)	29 (87.9%)	4 (12.1%)	-
製造業	97 (100.0%)	92 (94.8%)	5 (5.2%)	-
電気・ガス・熱供給・水道業	6 (100.0%)	6 (100.0%)	-	-
情報通信業	-	-	-	-
運輸業, 郵便業	23 (100.0%)	22 (95.7%)	1 (4.3%)	-
卸売業, 小売業	56 (100.0%)	53 (94.6%)	3 (5.4%)	-
金融, 保険業	7 (100.0%)	6 (85.7%)	1 (14.3%)	-
不動産業, 物品賃貸業	9 (100.0%)	9 (100.0%)	-	-

	全体	はい(分別している)	いいえ(分別していない)	無回答
学術研究, 専門・技術サービス業	9 (100.0%)	8 (88.9%)	1 (11.1%)	-
宿泊業, 飲食サービス業	16 (100.0%)	14 (87.5%)	2 (12.5%)	-
生活関連サービス業, 娯楽業	3 (100.0%)	3 (100.0%)	-	-
教育, 学習支援業	18 (100.0%)	13 (72.2%)	4 (22.2%)	1 (5.6%)
医療, 福祉	93 (100.0%)	81 (87.1%)	7 (7.5%)	5 (5.4%)
複合サービス業	1 (100.0%)	1 (100.0%)	-	-
サービス業	36 (100.0%)	30 (83.3%)	5 (13.9%)	1 (2.8%)
その他	39 (100.0%)	34 (87.2%)	4 (10.3%)	1 (2.6%)
無回答	28 (100.0%)	24 (85.7%)	1 (3.6%)	3 (10.7%)



<処理方法>

- 紙類の処理方法について、市全体でみると「民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託」が48.9%と最も高く、次いで「民間のリサイクル業者でリサイクル」が29.7%となっている。なお、「民間ごみ収集業者（許可業者）への収集を委託」は、前回調査（44.1%）よりも高くなっている。
- 業種別にみると、『製造業』は、10件以上回答のあった業種のなかで唯一「民間のリサイクル業者でリサイクル」の方が「民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託」よりも高くなっている。

	全体	民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託	貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入	民間のリサイクル業者でリサイクル	貴事業所の処理施設で処理	継続ごみとして市に収集を依頼	産業廃棄物として処理している	その他	無回答
全体	474 (100.0%)	232 (48.9%)	12 (2.5%)	141 (29.7%)	7 (1.5%)	16 (3.4%)	17 (3.6%)	27 (5.7%)	22 (4.6%)
農業、林業	-	-	-	-	-	-	-	-	1 (6.7%)
建設業	33 (100.0%)	16 (48.5%)	-	7 (21.2%)	1 (3.0%)	1 (3.0%)	6 (18.2%)	-	-
製造業	97 (100.0%)	38 (39.2%)	1 (1.0%)	44 (45.4%)	2 (2.1%)	1 (1.0%)	4 (4.1%)	3 (3.1%)	-
電気・ガス・熱供給・水道業	6 (100.0%)	2 (33.3%)	-	4 (66.7%)	-	-	-	-	1 (5.0%)
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-	2 (3.1%)
運輸業、郵便業	23 (100.0%)	10 (43.5%)	1 (4.3%)	10 (43.5%)	-	-	1 (4.3%)	1 (4.3%)	4 (5.3%)
卸売業、小売業	56 (100.0%)	28 (50.0%)	1 (1.8%)	17 (30.4%)	2 (3.6%)	2 (3.6%)	1 (1.8%)	4 (7.1%)	-
金融、保険業	7 (100.0%)	3 (42.9%)	-	-	-	1 (14.3%)	-	3 (42.9%)	-
不動産業、物品賃貸業	9 (100.0%)	4 (44.4%)	-	2 (22.2%)	-	3 (33.3%)	-	-	1 (4.2%)
学術研究、専門・技術サービス業	9 (100.0%)	4 (44.4%)	-	3 (33.3%)	-	-	1 (11.1%)	1 (11.1%)	1 (6.7%)
宿泊業、飲食サービス業	16 (100.0%)	9 (56.3%)	1 (6.3%)	2 (12.5%)	-	1 (6.3%)	-	1 (6.3%)	-
生活関連サービス業、娯楽業	3 (100.0%)	2 (66.7%)	-	1 (33.3%)	-	-	-	-	4 (7.1%)
教育、学習支援業	18 (100.0%)	8 (44.4%)	1 (5.6%)	7 (38.9%)	-	-	-	1 (5.6%)	8 (4.5%)
医療、福祉	93 (100.0%)	54 (58.1%)	1 (1.1%)	22 (23.7%)	1 (1.1%)	4 (4.3%)	2 (2.2%)	5 (5.4%)	22 (4.6%)
複合サービス業	1 (100.0%)	-	-	1 (100.0%)	-	-	-	-	1 (6.7%)
サービス業	36 (100.0%)	23 (63.9%)	2 (5.6%)	4 (11.1%)	-	-	2 (5.6%)	4 (11.1%)	-
その他	39 (100.0%)	18 (46.2%)	3 (7.7%)	10 (25.6%)	1 (2.6%)	1 (2.6%)	-	2 (5.1%)	-
無回答	28 (100.0%)	13 (46.4%)	1 (3.6%)	7 (25.0%)	-	2 (7.1%)	-	2 (7.1%)	1 (5.0%)

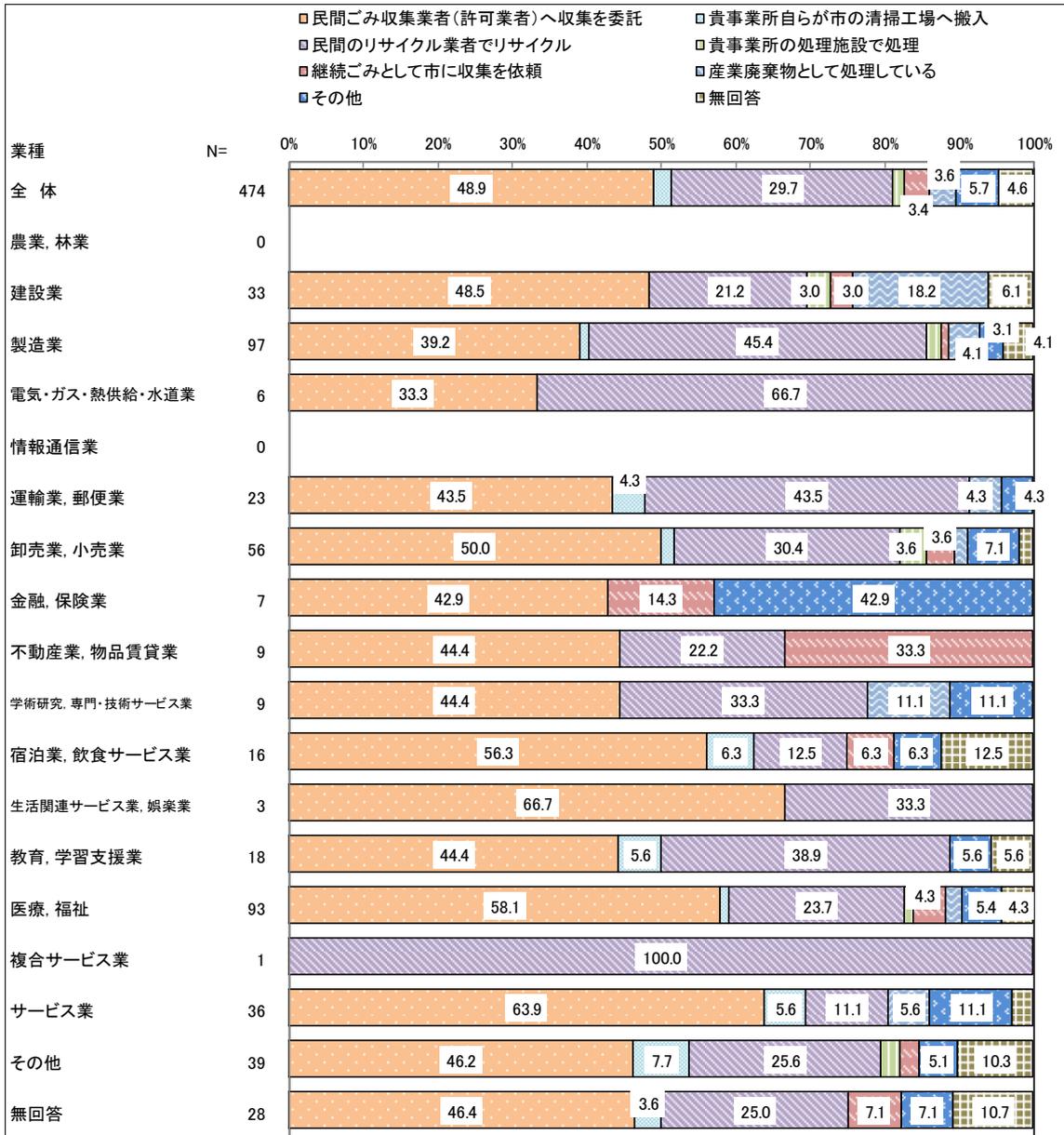


図 紙類の処理方法

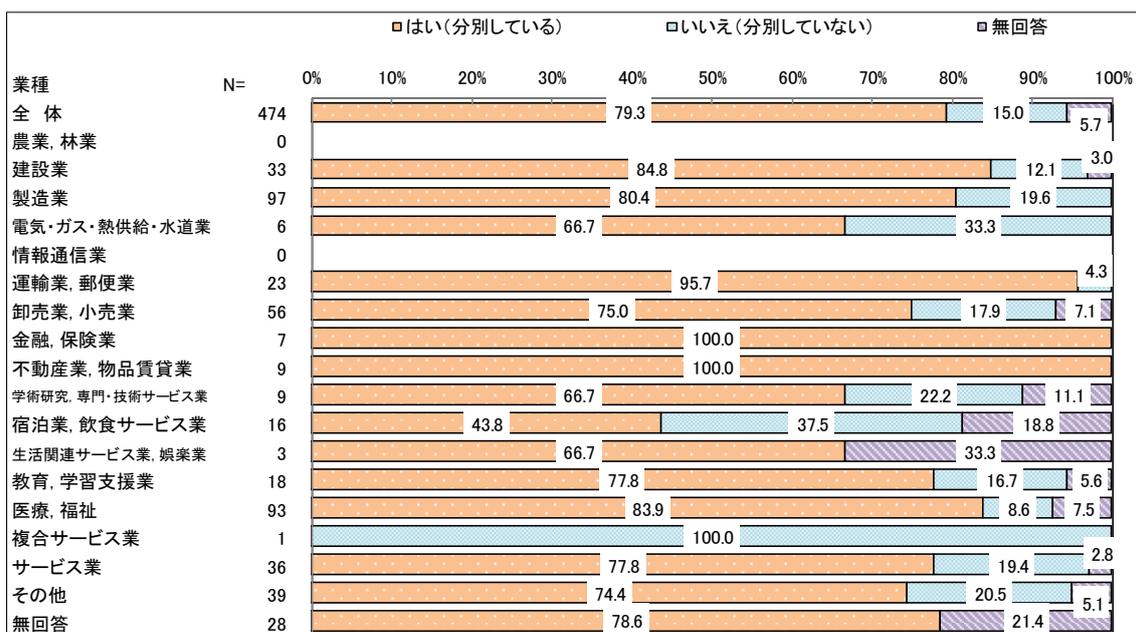
#### ④ 機密書類

<分別の有無>

- 機密書類の分別の有無について、市全体でみると「はい（分別している）」が79.3%と、前回調査（63.7%）よりも高くなっており、全体の分別傾向と同様、機密書類についても事業所によるリサイクル意識が進んでいることがうかがえる。
- 業種別にみると、『宿泊業，飲食サービス業』は、「はい（分別している）」が43.8%と最も低くなっている。

	全体	はい(分別している)	いいえ(分別していない)	無回答
全体	474 (100.0%)	376 (79.3%)	71 (15.0%)	27 (5.7%)
農業，林業	-	-	-	-
建設業	33 (100.0%)	28 (84.8%)	4 (12.1%)	1 (3.0%)
製造業	97 (100.0%)	78 (80.4%)	19 (19.6%)	-
電気・ガス・熱供給・水道業	6 (100.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	-
情報通信業	-	-	-	-
運輸業，郵便業	23 (100.0%)	22 (95.7%)	1 (4.3%)	-
卸売業，小売業	56 (100.0%)	42 (75.0%)	10 (17.9%)	4 (7.1%)
金融，保険業	7 (100.0%)	7 (100.0%)	-	-
不動産業，物品賃貸業	9 (100.0%)	9 (100.0%)	-	-

	全体	はい(分別している)	いいえ(分別していない)	無回答
学術研究，専門・技術サービス業	9 (100.0%)	6 (66.7%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)
宿泊業，飲食サービス業	16 (100.0%)	7 (43.8%)	6 (37.5%)	3 (18.8%)
生活関連サービス業，娯楽業	3 (100.0%)	2 (66.7%)	-	1 (33.3%)
教育，学習支援業	18 (100.0%)	14 (77.8%)	3 (16.7%)	1 (5.6%)
医療，福祉	93 (100.0%)	78 (83.9%)	8 (8.6%)	7 (7.5%)
複合サービス業	1 (100.0%)	-	1 (100.0%)	-
サービス業	36 (100.0%)	28 (77.8%)	7 (19.4%)	1 (2.8%)
その他	39 (100.0%)	29 (74.4%)	8 (20.5%)	2 (5.1%)
無回答	28 (100.0%)	22 (78.6%)	-	6 (21.4%)



<処理方法>

- 機密書類の処理方法について、市全体でみると「民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託」が40.7%と最も高くなっており、前回調査（40.3%）とほぼ変わらない結果となった。
- 業種別にみると、『教育，学習支援業』は、「民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託」が27.8%と最も低くなっている。
- 他の分別品目と比較すると、機密書類の特性から「貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入」が12.2%と高くなっている。

	全体	民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託	貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入	民間のリサイクル業者でリサイクル	貴事業所の処理施設で処理	継続ごみとして市に収集を依頼	産業廃棄物として処理している	その他	無回答
全体	474 (100.0%)	193 (40.7%)	58 (12.2%)	62 (13.1%)	29 (6.1%)	18 (3.8%)	24 (5.1%)	39 (8.2%)	51 (10.8%)
農業，林業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	33 (100.0%)	13 (39.4%)	5 (15.2%)	6 (18.2%)	2 (6.1%)	-	1 (3.0%)	3 (9.1%)	3 (9.1%)
製造業	97 (100.0%)	39 (40.2%)	11 (11.3%)	22 (22.7%)	3 (3.1%)	3 (3.1%)	9 (9.3%)	4 (4.1%)	6 (6.2%)
電気・ガス・熱供給・水道業	6 (100.0%)	2 (33.3%)	-	1 (16.7%)	1 (16.7%)	-	-	1 (16.7%)	1 (16.7%)
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業，郵便業	23 (100.0%)	16 (69.6%)	-	3 (13.0%)	1 (4.3%)	-	1 (4.3%)	2 (8.7%)	-
卸売業，小売業	56 (100.0%)	18 (32.1%)	5 (8.9%)	9 (16.1%)	5 (8.9%)	2 (3.6%)	1 (1.8%)	5 (8.9%)	11 (19.6%)
金融，保険業	7 (100.0%)	3 (42.9%)	-	1 (14.3%)	1 (14.3%)	-	-	2 (28.6%)	-
不動産業，物品賃貸業	9 (100.0%)	4 (44.4%)	-	-	2 (22.2%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	-	-
学術研究，専門・技術サービス業	9 (100.0%)	6 (66.7%)	-	-	1 (11.1%)	-	1 (11.1%)	1 (11.1%)	-
宿泊業，飲食サービス業	16 (100.0%)	8 (50.0%)	1 (6.3%)	-	1 (6.3%)	-	-	1 (6.3%)	5 (31.3%)
生活関連サービス業，娯楽業	3 (100.0%)	-	-	-	1 (33.3%)	-	-	2 (66.7%)	-
教育，学習支援業	18 (100.0%)	5 (27.8%)	3 (16.7%)	2 (11.1%)	2 (11.1%)	-	-	5 (27.8%)	1 (5.6%)
医療，福祉	93 (100.0%)	37 (39.8%)	17 (18.3%)	8 (8.6%)	6 (6.5%)	6 (6.5%)	6 (6.5%)	7 (7.5%)	6 (6.5%)
複合サービス業	1 (100.0%)	-	1 (100.0%)	-	-	-	-	-	-
サービス業	36 (100.0%)	13 (36.1%)	6 (16.7%)	4 (11.1%)	-	1 (2.8%)	4 (11.1%)	3 (8.3%)	5 (13.9%)
その他	39 (100.0%)	19 (48.7%)	4 (10.3%)	4 (10.3%)	1 (2.6%)	3 (7.7%)	-	1 (2.6%)	7 (17.9%)
無回答	28 (100.0%)	10 (35.7%)	5 (17.9%)	2 (7.1%)	2 (7.1%)	1 (3.6%)	-	2 (7.1%)	6 (21.4%)

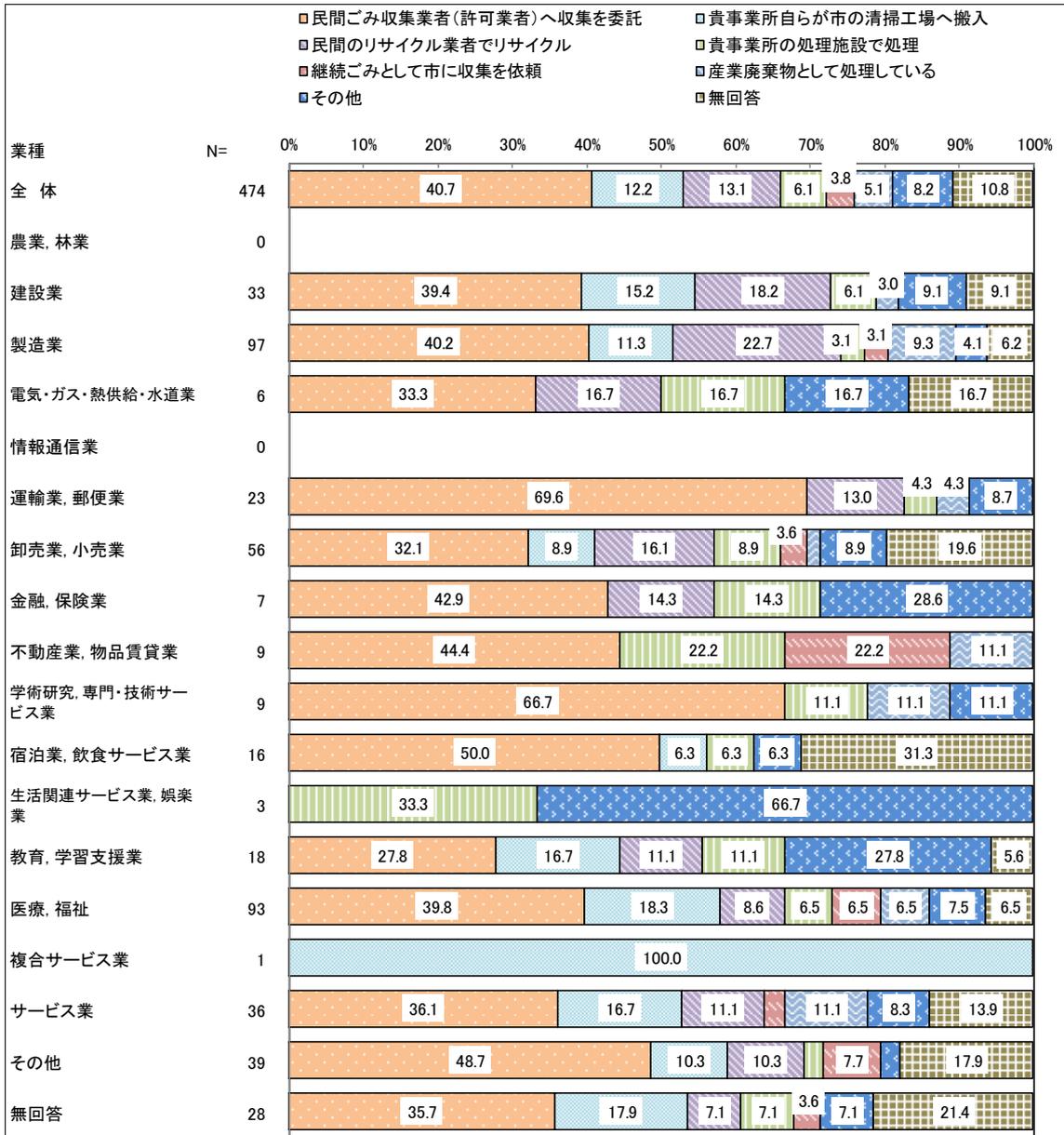


図 機密書類の処理方法

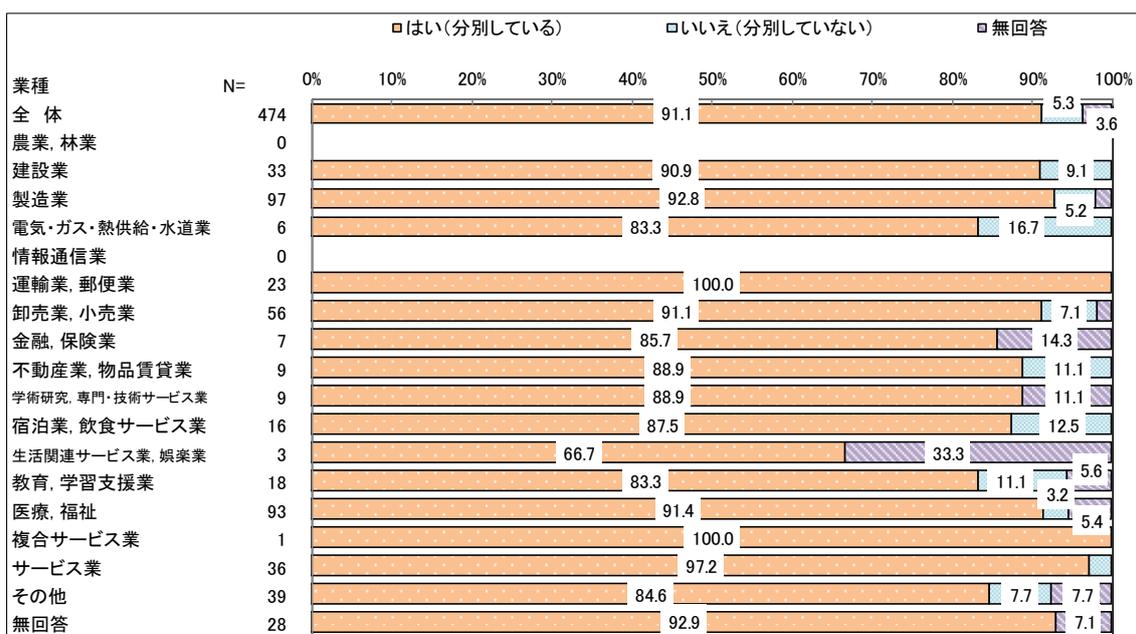
## ⑤ 缶・びん

<分別の有無>

- 缶・びんの分別の有無について、市全体でみると「はい（分別している）」が91.1%と、前回調査（85.7%）よりも高くなっており、全体の分別傾向と同様、缶・びんについても事業所によるリサイクル意識が進んでいることがうかがえる。
- 業種別にみると、あまり違いは見られなかった。

	全体	はい(分別している)	いいえ(分別していない)	無回答
全体	474 (100.0%)	432 (91.1%)	25 (5.3%)	17 (3.6%)
農業, 林業	-	-	-	-
建設業	33 (100.0%)	30 (90.9%)	3 (9.1%)	-
製造業	97 (100.0%)	90 (92.8%)	5 (5.2%)	2 (2.1%)
電気・ガス・熱供給・水道業	6 (100.0%)	5 (83.3%)	1 (16.7%)	-
情報通信業	-	-	-	-
運輸業, 郵便業	23 (100.0%)	23 (100.0%)	-	-
卸売業, 小売業	56 (100.0%)	51 (91.1%)	4 (7.1%)	1 (1.8%)
金融, 保険業	7 (100.0%)	6 (85.7%)	-	1 (14.3%)
不動産業, 物品賃貸業	9 (100.0%)	8 (88.9%)	1 (11.1%)	-

	全体	はい(分別している)	いいえ(分別していない)	無回答
学術研究, 専門・技術サービス業	9 (100.0%)	8 (88.9%)	-	1 (11.1%)
宿泊業, 飲食サービス業	16 (100.0%)	14 (87.5%)	2 (12.5%)	-
生活関連サービス業, 娯楽業	3 (100.0%)	2 (66.7%)	-	1 (33.3%)
教育, 学習支援業	18 (100.0%)	15 (83.3%)	2 (11.1%)	1 (5.6%)
医療, 福祉	93 (100.0%)	85 (91.4%)	3 (3.2%)	5 (5.4%)
複合サービス業	1 (100.0%)	1 (100.0%)	-	-
サービス業	36 (100.0%)	35 (97.2%)	1 (2.8%)	-
その他	39 (100.0%)	33 (84.6%)	3 (7.7%)	3 (7.7%)
無回答	28 (100.0%)	26 (92.9%)	-	2 (7.1%)



<処理方法>

- 缶・びんの処理方法について、市全体でみると「民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託」が48.5%と最も高くなっており、前回調査（40.3%）よりも高くなっている。
- 業種別にみると、『製造業』は、「民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託」が29.9%と最も低くなっている。

	全体	民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託	貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入	民間のリサイクル業者でリサイクル	スーパーなどの店頭回収を利用している	継続ごみとして市に収集を依頼	産業廃棄物として処理している	その他	無回答
全体	474 (100.0%)	230 (48.5%)	9 (1.9%)	51 (10.8%)	20 (4.2%)	27 (5.7%)	30 (6.3%)	77 (16.2%)	30 (6.3%)
農業、林業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	33 (100.0%)	14 (42.4%)	1 (3.0%)	3 (9.1%)	1 (3.0%)	1 (3.0%)	6 (18.2%)	5 (15.2%)	2 (6.1%)
製造業	97 (100.0%)	29 (29.9%)	1 (1.0%)	20 (20.6%)	1 (1.0%)	3 (3.1%)	9 (9.3%)	30 (30.9%)	4 (4.1%)
電気・ガス・熱供給・水道業	6 (100.0%)	3 (50.0%)	-	1 (16.7%)	-	-	-	1 (16.7%)	1 (16.7%)
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業、郵便業	23 (100.0%)	13 (56.5%)	1 (4.3%)	-	2 (8.7%)	-	-	7 (30.4%)	-
卸売業、小売業	56 (100.0%)	30 (53.6%)	1 (1.8%)	7 (12.5%)	4 (7.1%)	3 (5.4%)	2 (3.6%)	8 (14.3%)	1 (1.8%)
金融、保険業	7 (100.0%)	4 (57.1%)	-	-	-	-	-	3 (42.9%)	-
不動産業、物品賃貸業	9 (100.0%)	5 (55.6%)	1 (11.1%)	-	-	2 (22.2%)	-	-	1 (11.1%)
学術研究、専門・技術サービス業	9 (100.0%)	7 (77.8%)	-	-	-	-	-	1 (11.1%)	1 (11.1%)
宿泊業、飲食サービス業	16 (100.0%)	9 (56.3%)	-	-	1 (6.3%)	3 (18.8%)	-	1 (6.3%)	2 (12.5%)
生活関連サービス業、娯楽業	3 (100.0%)	1 (33.3%)	-	1 (33.3%)	-	-	1 (33.3%)	-	-
教育、学習支援業	18 (100.0%)	9 (50.0%)	2 (11.1%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	2 (11.1%)	1 (5.6%)
医療、福祉	93 (100.0%)	59 (63.4%)	-	5 (5.4%)	5 (5.4%)	8 (8.6%)	3 (3.2%)	8 (8.6%)	5 (5.4%)
複合サービス業	1 (100.0%)	-	-	1 (100.0%)	-	-	-	-	-
サービス業	36 (100.0%)	16 (44.4%)	1 (2.8%)	7 (19.4%)	1 (2.8%)	-	4 (11.1%)	4 (11.1%)	3 (8.3%)
その他	39 (100.0%)	16 (41.0%)	1 (2.6%)	-	3 (7.7%)	4 (10.3%)	4 (10.3%)	6 (15.4%)	5 (12.8%)
無回答	28 (100.0%)	15 (53.6%)	-	5 (17.9%)	1 (3.6%)	2 (7.1%)	-	1 (3.6%)	4 (14.3%)

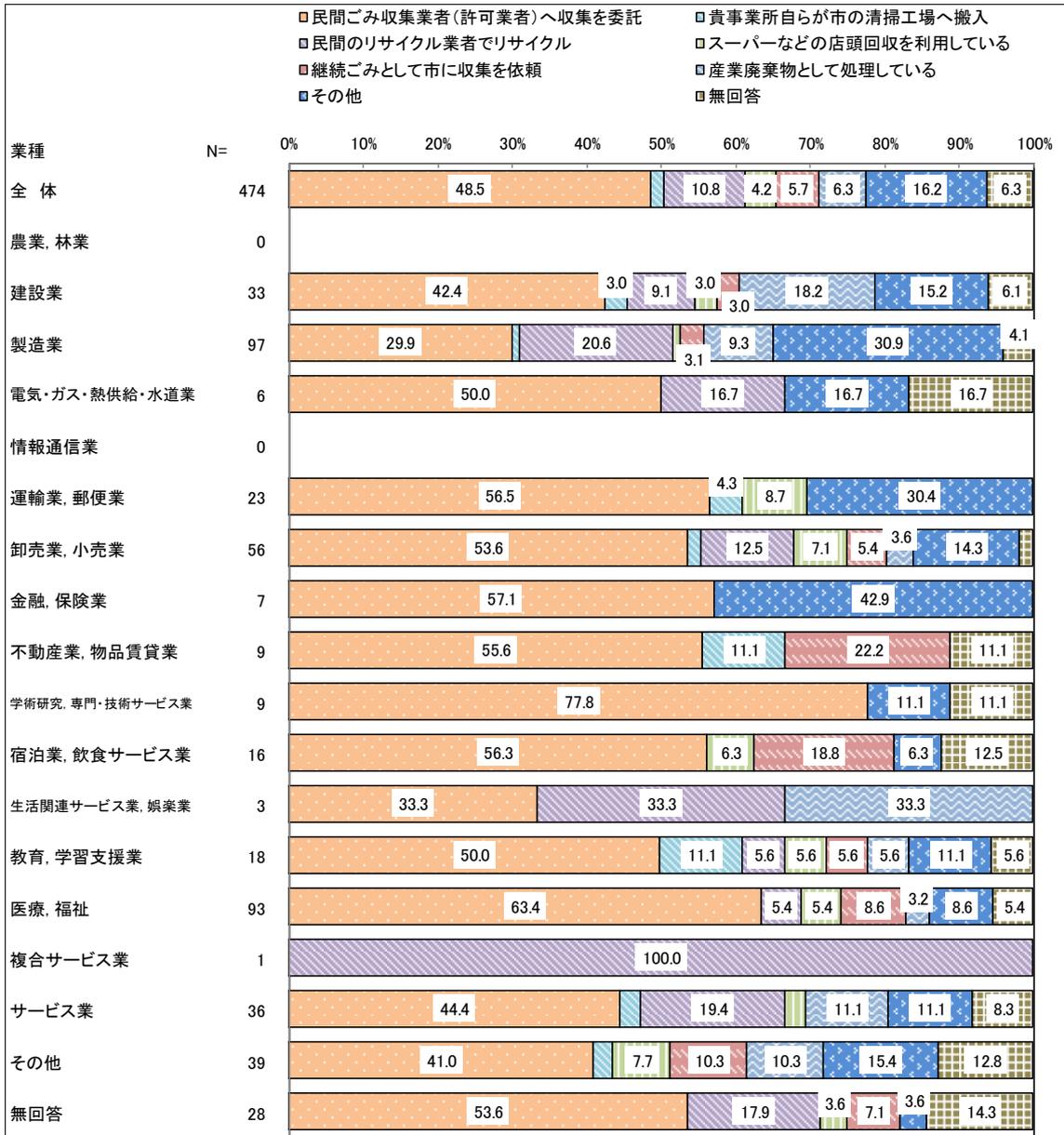


図 缶・びんの処理方法

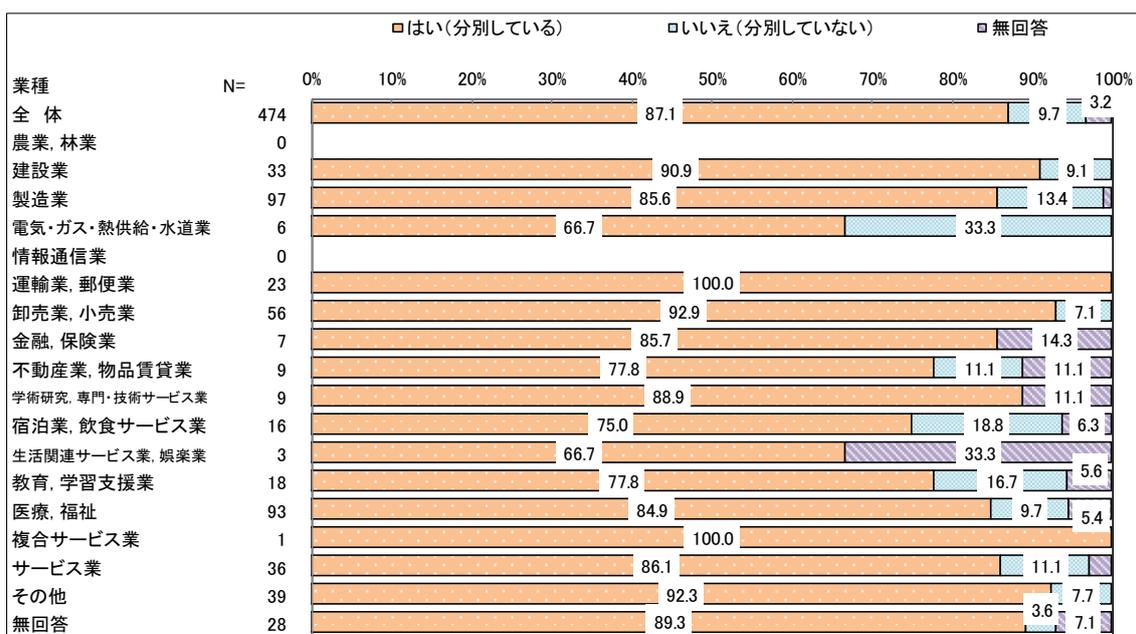
## ⑥ ペットボトル

<分別の有無>

- ペットボトルについて、市全体でみると「はい（分別している）」が87.1%と、前回調査（75.7%）よりも高くなっており、全体の分別傾向と同様、ペットボトルについても事業所によるリサイクル意識が進んでいることがうかがえる。
- 業種別にみると、大きな違いは見られなかった。

	全体	はい(分別している)	いいえ(分別していない)	無回答
全体	474 (100.0%)	413 (87.1%)	46 (9.7%)	15 (3.2%)
農業, 林業	-	-	-	-
建設業	33 (100.0%)	30 (90.9%)	3 (9.1%)	-
製造業	97 (100.0%)	83 (85.6%)	13 (13.4%)	1 (1.0%)
電気・ガス・熱供給・水道業	6 (100.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	-
情報通信業	-	-	-	-
運輸業, 郵便業	23 (100.0%)	23 (100.0%)	-	-
卸売業, 小売業	56 (100.0%)	52 (92.9%)	4 (7.1%)	-
金融, 保険業	7 (100.0%)	6 (85.7%)	-	1 (14.3%)
不動産業, 物品賃貸業	9 (100.0%)	7 (77.8%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)

	全体	はい(分別している)	いいえ(分別していない)	無回答
学術研究, 専門・技術サービス業	9 (100.0%)	8 (88.9%)	-	1 (11.1%)
宿泊業, 飲食サービス業	16 (100.0%)	12 (75.0%)	3 (18.8%)	1 (6.3%)
生活関連サービス業, 娯楽業	3 (100.0%)	2 (66.7%)	-	1 (33.3%)
教育, 学習支援業	18 (100.0%)	14 (77.8%)	3 (16.7%)	1 (5.6%)
医療, 福祉	93 (100.0%)	79 (84.9%)	9 (9.7%)	5 (5.4%)
複合サービス業	1 (100.0%)	1 (100.0%)	-	-
サービス業	36 (100.0%)	31 (86.1%)	4 (11.1%)	1 (2.8%)
その他	39 (100.0%)	36 (92.3%)	3 (7.7%)	-
無回答	28 (100.0%)	25 (89.3%)	1 (3.6%)	2 (7.1%)



<処理方法>

- ペットボトルの処理方法について、市全体でみると「民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託」が46.4%と最も高くなっており、前回調査（40.8%）よりも高くなっている。
- 業種別にみると、『製造業』は、「民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託」が22.7%と最も低くなっている。

	全体	民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託	貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入	民間のリサイクル業者でリサイクル	スーパーなどの店頭回収を利用している	継続ごみとして市に収集を依頼	産業廃棄物として処理している	その他	無回答
全体	474 (100.0%)	220 (46.4%)	10 (2.1%)	44 (9.3%)	28 (5.9%)	26 (5.5%)	31 (6.5%)	84 (17.7%)	31 (6.5%)
農業、林業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	33 (100.0%)	16 (48.5%)	1 (3.0%)	3 (9.1%)	1 (3.0%)	1 (3.0%)	6 (18.2%)	3 (9.1%)	2 (6.1%)
製造業	97 (100.0%)	22 (22.7%)	2 (2.1%)	19 (19.6%)	2 (2.1%)	3 (3.1%)	8 (8.2%)	33 (34.0%)	8 (8.2%)
電気・ガス・熱供給・水道業	6 (100.0%)	3 (50.0%)	-	1 (16.7%)	-	-	-	1 (16.7%)	1 (16.7%)
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業、郵便業	23 (100.0%)	13 (56.5%)	1 (4.3%)	-	2 (8.7%)	-	-	7 (30.4%)	-
卸売業、小売業	56 (100.0%)	26 (46.4%)	1 (1.8%)	6 (10.7%)	7 (12.5%)	3 (5.4%)	3 (5.4%)	8 (14.3%)	2 (3.6%)
金融、保険業	7 (100.0%)	3 (42.9%)	-	-	-	-	-	3 (42.9%)	1 (14.3%)
不動産業、物品賃貸業	9 (100.0%)	5 (55.6%)	2 (22.2%)	-	-	2 (22.2%)	-	-	-
学術研究、専門・技術サービス業	9 (100.0%)	7 (77.8%)	-	-	-	-	-	1 (11.1%)	1 (11.1%)
宿泊業、飲食サービス業	16 (100.0%)	10 (62.5%)	1 (6.3%)	-	1 (6.3%)	2 (12.5%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)	-
生活関連サービス業、娯楽業	3 (100.0%)	2 (66.7%)	-	-	-	-	-	-	1 (33.3%)
教育、学習支援業	18 (100.0%)	9 (50.0%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	2 (11.1%)	1 (5.6%)	-	3 (16.7%)	1 (5.6%)
医療、福祉	93 (100.0%)	59 (63.4%)	-	4 (4.3%)	5 (5.4%)	7 (7.5%)	4 (4.3%)	10 (10.8%)	4 (4.3%)
複合サービス業	1 (100.0%)	-	-	-	-	-	1 (100.0%)	-	-
サービス業	36 (100.0%)	15 (41.7%)	-	6 (16.7%)	3 (8.3%)	-	5 (13.9%)	5 (13.9%)	2 (5.6%)
その他	39 (100.0%)	14 (35.9%)	1 (2.6%)	2 (5.1%)	3 (7.7%)	4 (10.3%)	2 (5.1%)	8 (20.5%)	5 (12.8%)
無回答	28 (100.0%)	16 (57.1%)	-	2 (7.1%)	2 (7.1%)	3 (10.7%)	1 (3.6%)	1 (3.6%)	3 (10.7%)

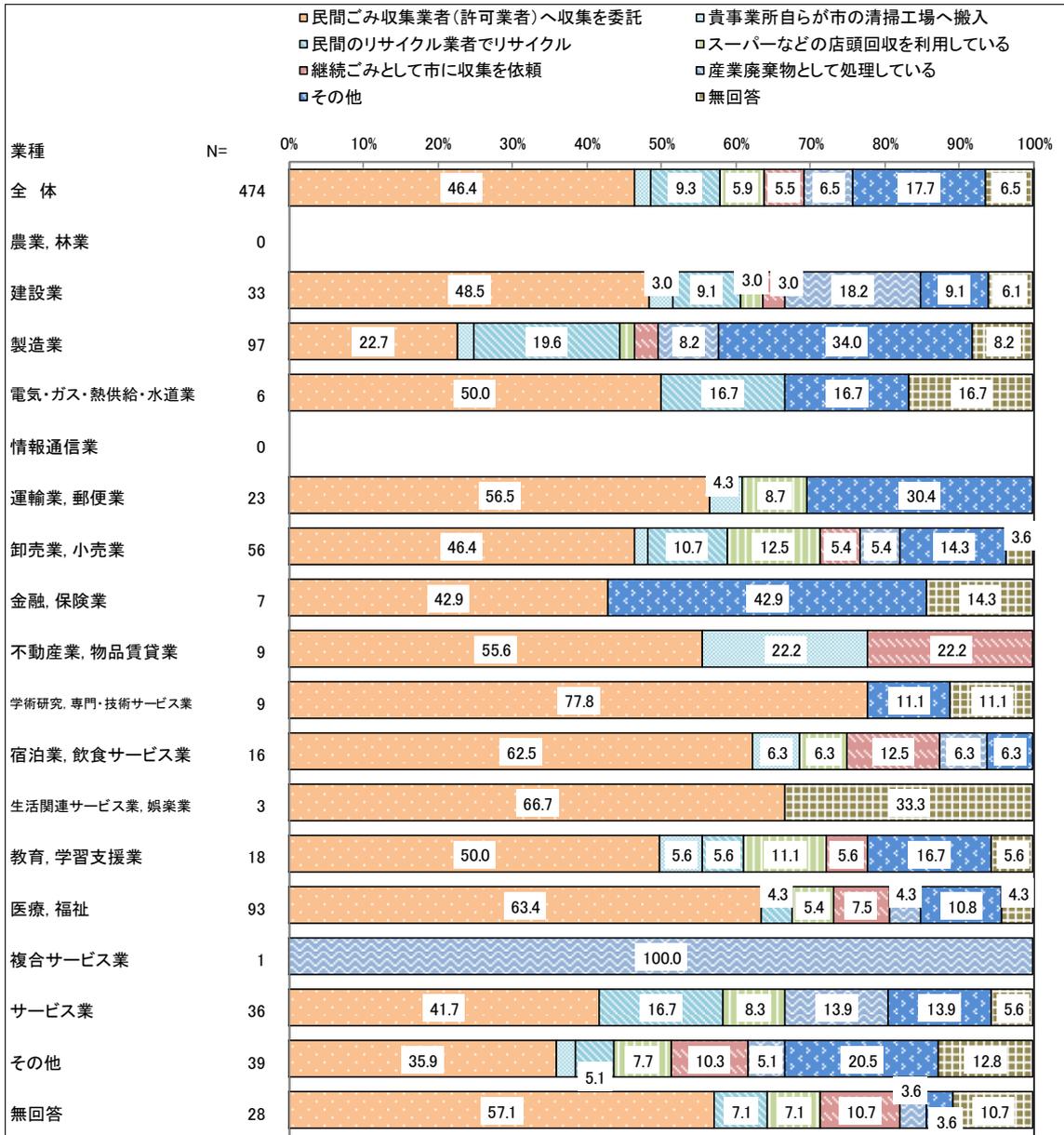


図 ペットボトルの処理方法

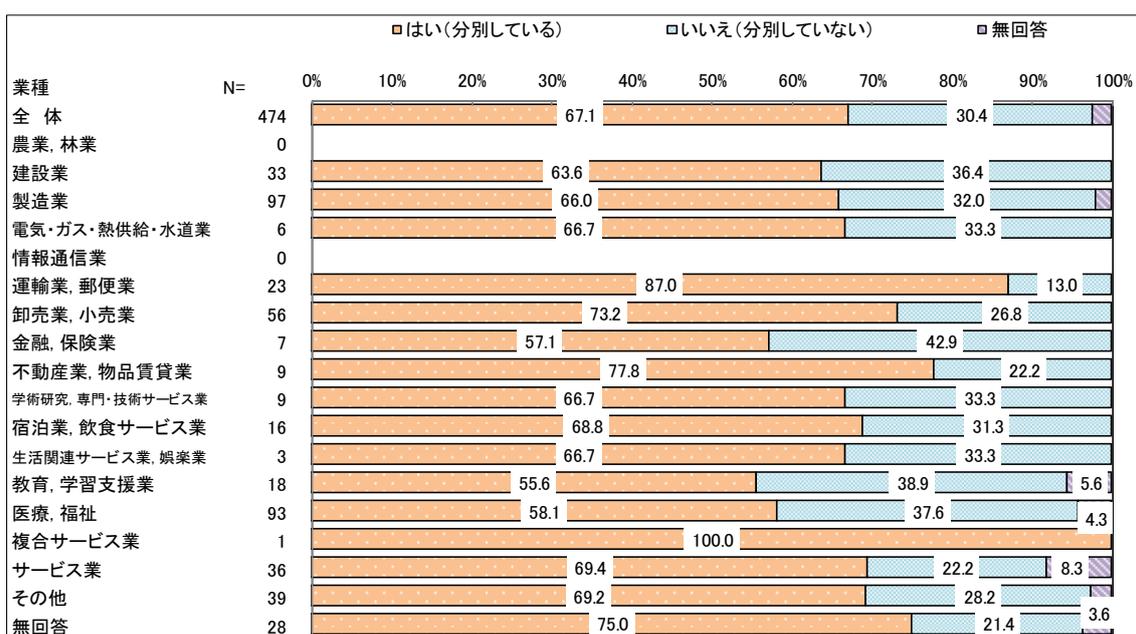
## ⑦ プラスチック製容器包装

<分別の有無>

- プラスチック製容器包装の分別の有無について、市全体でみると「はい（分別している）」が67.1%と、前回調査（54.6%）よりも高くなっており、全体の分別傾向と同様、プラスチック製容器包装についても事業所によるリサイクル意識が進んでいることがうかがえる。
- 業種別に大きな違いは見られないが、他の分別品目と比較すると、「はい（分別している）」の割合が低い。

	全体	はい(分別している)	いいえ(分別していない)	無回答
全体	474 (100.0%)	318 (67.1%)	144 (30.4%)	12 (2.5%)
農業, 林業	-	-	-	-
建設業	33 (100.0%)	21 (63.6%)	12 (36.4%)	-
製造業	97 (100.0%)	64 (66.0%)	31 (32.0%)	2 (2.1%)
電気・ガス・熱供給・水道業	6 (100.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	-
情報通信業	-	-	-	-
運輸業, 郵便業	23 (100.0%)	20 (87.0%)	3 (13.0%)	-
卸売業, 小売業	56 (100.0%)	41 (73.2%)	15 (26.8%)	-
金融, 保険業	7 (100.0%)	4 (57.1%)	3 (42.9%)	-
不動産業, 物品賃貸業	9 (100.0%)	7 (77.8%)	2 (22.2%)	-

	全体	はい(分別している)	いいえ(分別していない)	無回答
学術研究, 専門・技術サービス業	9 (100.0%)	6 (66.7%)	3 (33.3%)	-
宿泊業, 飲食サービス業	16 (100.0%)	11 (68.8%)	5 (31.3%)	-
生活関連サービス業, 娯楽業	3 (100.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	-
教育, 学習支援業	18 (100.0%)	10 (55.6%)	7 (38.9%)	1 (5.6%)
医療, 福祉	93 (100.0%)	54 (58.1%)	35 (37.6%)	4 (4.3%)
複合サービス業	1 (100.0%)	1 (100.0%)	-	-
サービス業	36 (100.0%)	25 (69.4%)	8 (22.2%)	3 (8.3%)
その他	39 (100.0%)	27 (69.2%)	11 (28.2%)	1 (2.6%)
無回答	28 (100.0%)	21 (75.0%)	6 (21.4%)	1 (3.6%)



<処理方法>

- プラスチック製容器包装の処理方法について、市全体でみると「民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託」が62.0%と最も高くなっており、前回調査（54.1%）よりも高くなっている。

	全体	民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託	貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入	民間のリサイクル業者でリサイクル	スーパーなどの店頭回収を利用している	継続ごみとして市に収集を依頼	産業廃棄物として処理している	その他	無回答
全体	474 (100.0%)	294 (62.0%)	8 (1.7%)	17 (3.6%)	15 (3.2%)	27 (5.7%)	47 (9.9%)	24 (5.1%)	42 (8.9%)
農業、林業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	33 (100.0%)	18 (54.5%)	1 (3.0%)	1 (3.0%)	1 (3.0%)	1 (3.0%)	8 (24.2%)	1 (3.0%)	2 (6.1%)
製造業	97 (100.0%)	50 (51.5%)	1 (1.0%)	8 (8.2%)	1 (1.0%)	4 (4.1%)	21 (21.6%)	2 (2.1%)	10 (10.3%)
電気・ガス・熱供給・水道業	6 (100.0%)	5 (83.3%)	-	-	-	-	-	1 (16.7%)	-
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業、郵便業	23 (100.0%)	17 (73.9%)	1 (4.3%)	-	2 (8.7%)	-	1 (4.3%)	2 (8.7%)	-
卸売業、小売業	56 (100.0%)	35 (62.5%)	1 (1.8%)	4 (7.1%)	4 (7.1%)	3 (5.4%)	5 (8.9%)	1 (1.8%)	3 (5.4%)
金融、保険業	7 (100.0%)	4 (57.1%)	-	-	-	1 (14.3%)	-	2 (28.6%)	-
不動産業、物品賃貸業	9 (100.0%)	5 (55.6%)	1 (11.1%)	-	-	2 (22.2%)	-	-	1 (11.1%)
学術研究、専門・技術サービス業	9 (100.0%)	7 (77.8%)	-	1 (11.1%)	1 (11.1%)	-	-	-	-
宿泊業、飲食サービス業	16 (100.0%)	10 (62.5%)	-	-	2 (12.5%)	1 (6.3%)	-	1 (6.3%)	2 (12.5%)
生活関連サービス業、娯楽業	3 (100.0%)	2 (66.7%)	-	-	-	1 (33.3%)	-	-	-
教育、学習支援業	18 (100.0%)	10 (55.6%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	-	1 (5.6%)	-	1 (5.6%)	4 (22.2%)
医療、福祉	93 (100.0%)	71 (76.3%)	-	-	1 (1.1%)	8 (8.6%)	3 (3.2%)	5 (5.4%)	5 (5.4%)
複合サービス業	1 (100.0%)	-	-	-	-	-	1 (100.0%)	-	-
サービス業	36 (100.0%)	20 (55.6%)	-	1 (2.8%)	-	-	6 (16.7%)	3 (8.3%)	6 (16.7%)
その他	39 (100.0%)	22 (56.4%)	2 (5.1%)	-	2 (5.1%)	4 (10.3%)	1 (2.6%)	3 (7.7%)	5 (12.8%)
無回答	28 (100.0%)	18 (64.3%)	-	1 (3.6%)	1 (3.6%)	1 (3.6%)	1 (3.6%)	2 (7.1%)	4 (14.3%)

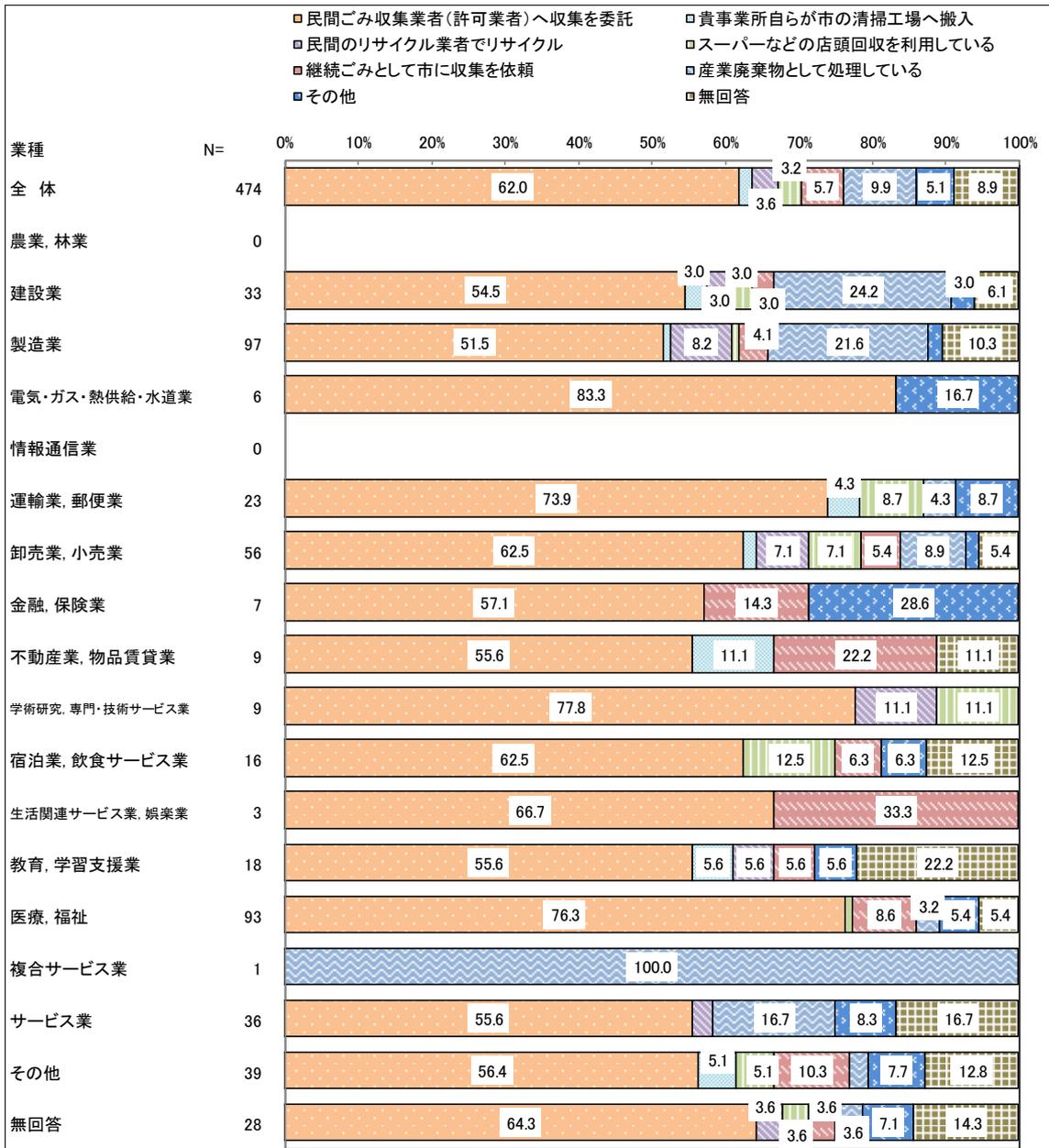


図 プラスチック製容器包装の処理方法

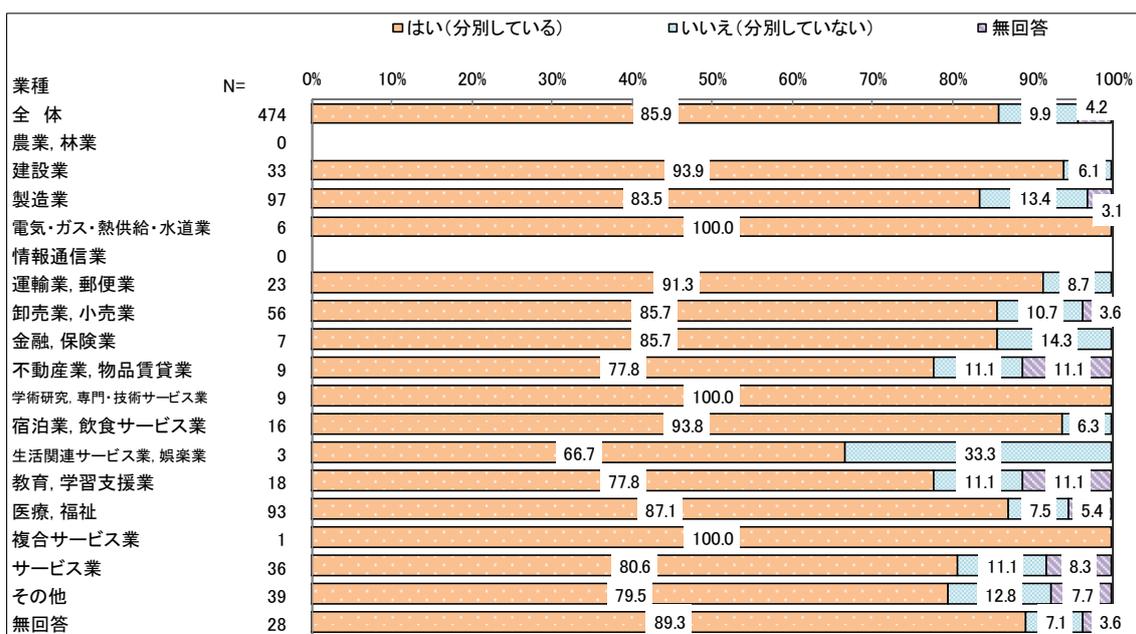
### ⑧ 不燃ごみ

<分別の有無>

- 不燃ごみの分別の有無について、市全体でみると「はい（分別している）」が85.9%と、前回調査（71.0%）よりも高くなっており、全体の分別傾向と同様、不燃ごみについても事業所によるリサイクル意識が進んでいることがうかがえる。
- 業種別にみると、大きな違いは見られなかった。

	全体	はい(分別している)	いいえ(分別していない)	無回答
全体	474 (100.0%)	407 (85.9%)	47 (9.9%)	20 (4.2%)
農業, 林業	-	-	-	-
建設業	33 (100.0%)	31 (93.9%)	2 (6.1%)	-
製造業	97 (100.0%)	81 (83.5%)	13 (13.4%)	3 (3.1%)
電気・ガス・熱供給・水道業	6 (100.0%)	6 (100.0%)	-	-
情報通信業	-	-	-	-
運輸業, 郵便業	23 (100.0%)	21 (91.3%)	2 (8.7%)	-
卸売業, 小売業	56 (100.0%)	48 (85.7%)	6 (10.7%)	2 (3.6%)
金融, 保険業	7 (100.0%)	6 (85.7%)	1 (14.3%)	-
不動産業, 物品賃貸業	9 (100.0%)	7 (77.8%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)

	全体	はい(分別している)	いいえ(分別していない)	無回答
学術研究, 専門・技術サービス業	9 (100.0%)	9 (100.0%)	-	-
宿泊業, 飲食サービス業	16 (100.0%)	15 (93.8%)	1 (6.3%)	-
生活関連サービス業, 娯楽業	3 (100.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	-
教育, 学習支援業	18 (100.0%)	14 (77.8%)	2 (11.1%)	2 (11.1%)
医療, 福祉	93 (100.0%)	81 (87.1%)	7 (7.5%)	5 (5.4%)
複合サービス業	1 (100.0%)	1 (100.0%)	-	-
サービス業	36 (100.0%)	29 (80.6%)	4 (11.1%)	3 (8.3%)
その他	39 (100.0%)	31 (79.5%)	5 (12.8%)	3 (7.7%)
無回答	28 (100.0%)	25 (89.3%)	2 (7.1%)	1 (3.6%)



<処理方法>

- 不燃ごみの処理方法について、市全体でみると「民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託」が48.5%と最も高く、次いで「産業廃棄物として処理している」が24.9%となっている。なお、「民間ごみ収集業者（許可業者）への収集を委託」は、前回調査（51.5%）よりも低くなっている。

	全体	民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託	貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入	民間のリサイクル業者でリサイクル	貴事業所の処理施設で処理	継続ごみとして市に収集を依頼	産業廃棄物として処理している	その他	無回答
全体	474 (100.0%)	230 (48.5%)	21 (4.4%)	27 (5.7%)	5 (1.1%)	18 (3.8%)	118 (24.9%)	17 (3.6%)	38 (8.0%)
農業, 林業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	33 (100.0%)	14 (42.4%)	1 (3.0%)	1 (3.0%)	2 (6.1%)	-	12 (36.4%)	1 (3.0%)	2 (6.1%)
製造業	97 (100.0%)	37 (38.1%)	-	5 (5.2%)	-	3 (3.1%)	45 (46.4%)	3 (3.1%)	4 (4.1%)
電気・ガス・熱供給・水道業	6 (100.0%)	2 (33.3%)	-	-	-	-	4 (66.7%)	-	-
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業, 郵便業	23 (100.0%)	14 (60.9%)	4 (17.4%)	-	-	-	4 (17.4%)	1 (4.3%)	-
卸売業, 小売業	56 (100.0%)	34 (60.7%)	2 (3.6%)	2 (3.6%)	1 (1.8%)	3 (5.4%)	9 (16.1%)	1 (1.8%)	4 (7.1%)
金融, 保険業	7 (100.0%)	4 (57.1%)	-	-	-	-	1 (14.3%)	2 (28.6%)	-
不動産業, 物品賃貸業	9 (100.0%)	4 (44.4%)	1 (11.1%)	-	-	3 (33.3%)	-	-	1 (11.1%)
学術研究, 専門・技術サービス業	9 (100.0%)	5 (55.6%)	-	2 (22.2%)	-	-	2 (22.2%)	-	-
宿泊業, 飲食サービス業	16 (100.0%)	10 (62.5%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)	-	-	-	2 (12.5%)	2 (12.5%)
生活関連サービス業, 娯楽業	3 (100.0%)	1 (33.3%)	-	1 (33.3%)	-	-	1 (33.3%)	-	-
教育, 学習支援業	18 (100.0%)	5 (27.8%)	4 (22.2%)	1 (5.6%)	-	-	3 (16.7%)	-	5 (27.8%)
医療, 福祉	93 (100.0%)	55 (59.1%)	4 (4.3%)	5 (5.4%)	1 (1.1%)	4 (4.3%)	16 (17.2%)	3 (3.2%)	5 (5.4%)
複合サービス業	1 (100.0%)	-	-	-	-	-	1 (100.0%)	-	-
サービス業	36 (100.0%)	18 (50.0%)	1 (2.8%)	2 (5.6%)	-	-	8 (22.2%)	3 (8.3%)	4 (11.1%)
その他	39 (100.0%)	15 (38.5%)	3 (7.7%)	4 (10.3%)	1 (2.6%)	4 (10.3%)	6 (15.4%)	-	6 (15.4%)
無回答	28 (100.0%)	12 (42.9%)	-	3 (10.7%)	-	1 (3.6%)	6 (21.4%)	1 (3.6%)	5 (17.9%)

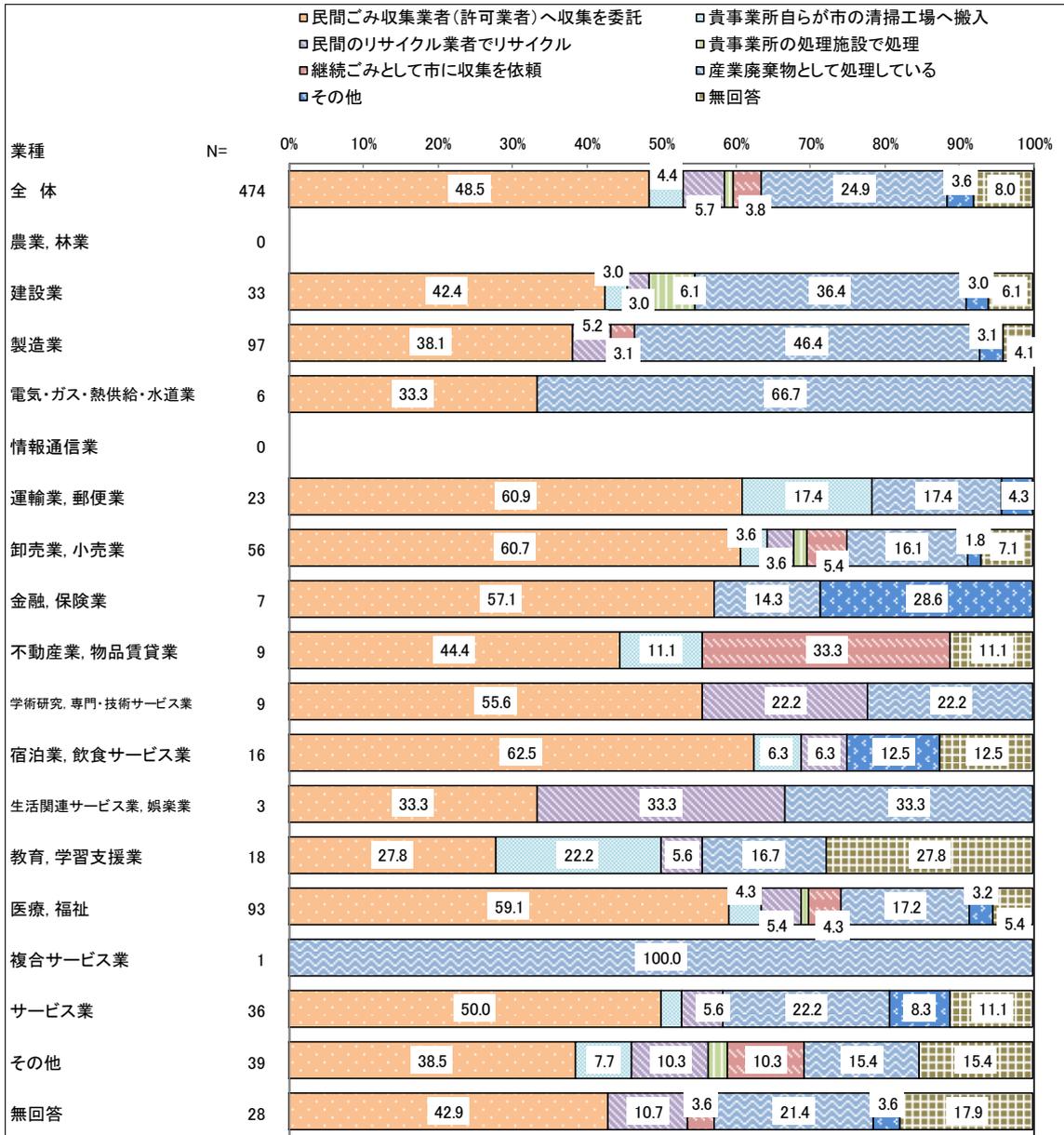


図 不燃ごみの処理方法

### (3) 分別していない理由（複数回答）

- 事業系一般廃棄物の分別をしていない理由は、市全体でみると「分別しなくても収集してくれる」が33.2%と最も高く、次いで「資源物の発生量が少ない」が24.2%、「分別が手間」が11.5%となっている。
- 「分別しなくても収集してくれる」と回答した事業所が多いことから、市の清掃工場に搬入される事業系一般廃棄物の中に資源化可能物が含まれている可能性がある。
- 前回調査と比較すると、上位は同じであるが、「分別してもごみ処理費用が安くない、もしくは高くなる」が8.5%と、前回調査（6.6%）から上昇しており、事業所として処理費用に苦慮していることがうかがえる。

	全体	資源物の発生量が少ない	何が資源化できるのかわからない	分別が手間	分別ボックスを購入するなど費用がかかる	分別しなくても収集してくれる	分けた資源を置く場所がない	社員への分別の浸透が難しい	リサイクルを依頼する業者がわからない	分別してもごみ処理費用が安くない、もしくは高くなる	その他	無回答	合計回答数
全体	331	80 (24.2%)	20 (6.0%)	38 (11.5%)	12 (3.6%)	110 (33.2%)	23 (6.9%)	18 (5.4%)	7 (2.1%)	28 (8.5%)	29 (8.8%)	120 (36.3%)	485
農業、林業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	20	5 (25.0%)	1 (5.0%)	4 (20.0%)	1 (5.0%)	2 (10.0%)	1 (5.0%)	3 (15.0%)	1 (5.0%)	4 (20.0%)	2 (10.0%)	7 (35.0%)	31
製造業	58	17 (29.3%)	3 (5.2%)	6 (10.3%)	1 (1.7%)	16 (27.6%)	7 (12.1%)	5 (8.6%)	3 (5.2%)	6 (10.3%)	6 (10.3%)	21 (36.2%)	91
電気・ガス・熱供給・水道業	5	1 (20.0%)	-	-	-	1 (20.0%)	-	-	-	-	1 (20.0%)	2 (40.0%)	5
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業、郵便業	11	1 (9.1%)	-	1 (9.1%)	2 (18.2%)	5 (45.5%)	1 (9.1%)	-	-	-	1 (9.1%)	4 (36.4%)	15
卸売業、小売業	45	13 (28.9%)	1 (2.2%)	4 (8.9%)	-	19 (42.2%)	-	3 (6.7%)	-	3 (6.7%)	3 (6.7%)	14 (31.1%)	60
金融、保険業	4	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	-	2 (50.0%)	1 (25.0%)	-	-	-	-	1 (25.0%)	8
不動産業、物品賃貸業	7	3 (42.9%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	-	2 (28.6%)	1 (14.3%)	-	-	-	-	2 (28.6%)	10
学術研究、専門・技術サービス業	5	1 (20.0%)	1 (20.0%)	-	-	1 (20.0%)	1 (20.0%)	-	-	-	-	4 (80.0%)	8
宿泊業、飲食サービス業	17	-	1 (5.9%)	2 (11.8%)	1 (5.9%)	6 (35.3%)	1 (5.9%)	-	1 (5.9%)	2 (11.8%)	-	9 (52.9%)	23
生活関連サービス業、娯楽業	1	1 (100.0%)	-	-	-	1 (100.0%)	-	-	-	-	1 (100.0%)	-	3
教育、学習支援業	15	1 (6.7%)	-	3 (20.0%)	1 (6.7%)	6 (40.0%)	-	-	-	1 (6.7%)	3 (20.0%)	5 (33.3%)	20
医療、福祉	72	19 (26.4%)	9 (12.5%)	7 (9.7%)	4 (5.6%)	26 (36.1%)	6 (8.3%)	5 (6.9%)	2 (2.8%)	5 (6.9%)	7 (9.7%)	22 (30.6%)	112
複合サービス業	1	-	-	1 (100.0%)	-	-	-	-	-	1 (100.0%)	-	-	2
サービス業	29	11 (37.9%)	1 (3.4%)	2 (6.9%)	2 (6.9%)	11 (37.9%)	3 (10.3%)	2 (6.9%)	-	2 (6.9%)	1 (3.4%)	8 (27.6%)	43
その他	21	2 (9.5%)	-	2 (9.5%)	-	4 (19.0%)	-	-	-	1 (4.8%)	3 (14.3%)	13 (61.9%)	25
無回答	20	4 (20.0%)	1 (5.0%)	3 (15.0%)	-	8 (40.0%)	1 (5.0%)	-	-	3 (15.0%)	1 (5.0%)	8 (40.0%)	29

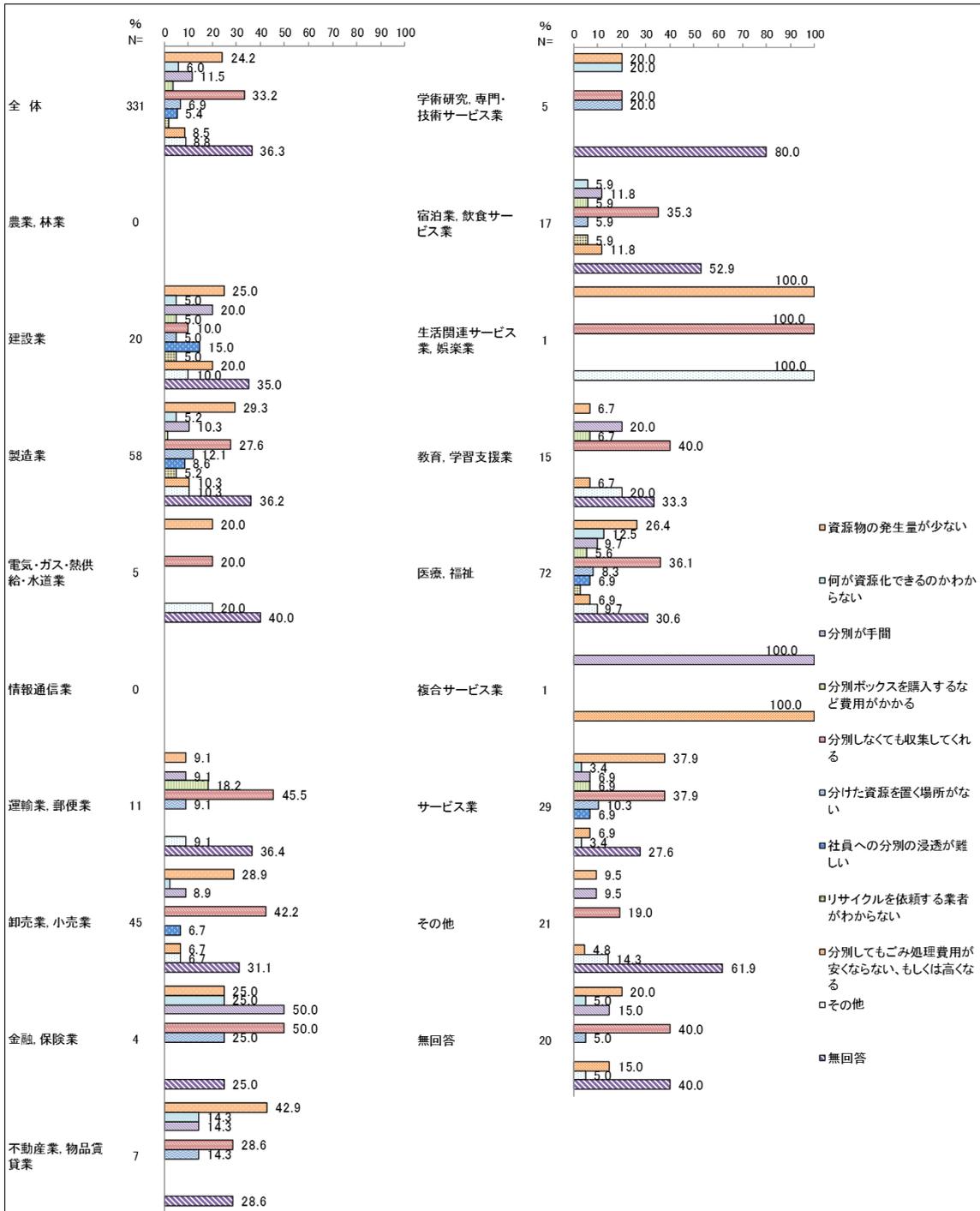


図 分別していない理由

#### (4) 5年前と比べたごみ排出量の変化

- 5年前と比べたごみ排出量の変化について、市全体でみると「変わらない」と回答した事業所が43.3%と最も高く、次いで「やや増えた」が17.7%となっている。
- 業種別にみると、10件以上回答のあった業種の中で「かなり増えた」と「やや増えた」を合わせた割合が、「やや減った」と「かなり減った」を合わせた割合より高かった業種は『不動産業, 物品賃貸業』、『教育, 学習支援業』、『医療, 福祉』の3業種及び『無回答』となっている。
- 前回調査と比較すると、構成比はほぼ同じで、ごみ排出量としては増加傾向であることがうかがえる。要因としては前回調査時期から景気が拡張期に入り、活発な事業活動が行なわれていたことの証左とも考えられる。

	全体	かなり増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	かなり減った	わからない	事業所ができてからまだ5年経っていない	無回答
全体	593 (100.0%)	13 (2.2%)	105 (17.7%)	257 (43.3%)	98 (16.5%)	38 (6.4%)	29 (4.9%)	15 (2.5%)	38 (6.4%)
農業, 林業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	37 (100.0%)	-	6 (16.2%)	19 (51.4%)	5 (13.5%)	3 (8.1%)	1 (2.7%)	-	3 (8.1%)
製造業	107 (100.0%)	3 (2.8%)	28 (26.2%)	36 (33.6%)	25 (23.4%)	8 (7.5%)	4 (3.7%)	1 (0.9%)	2 (1.9%)
電気・ガス・熱供給・水道業	7 (100.0%)	-	2 (28.6%)	4 (57.1%)	-	1 (14.3%)	-	-	-
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業, 郵便業	29 (100.0%)	-	5 (17.2%)	11 (37.9%)	5 (17.2%)	3 (10.3%)	1 (3.4%)	2 (6.9%)	2 (6.9%)
卸売業, 小売業	73 (100.0%)	1 (1.4%)	7 (9.6%)	32 (43.8%)	19 (26.0%)	4 (5.5%)	3 (4.1%)	2 (2.7%)	5 (6.8%)
金融, 保険業	8 (100.0%)	-	1 (12.5%)	3 (37.5%)	-	-	4 (50.0%)	-	-
不動産業, 物品賃貸業	13 (100.0%)	-	3 (23.1%)	6 (46.2%)	2 (15.4%)	-	2 (15.4%)	-	-
学術研究, 専門・技術サービス業	9 (100.0%)	-	1 (11.1%)	5 (55.6%)	2 (22.2%)	-	-	-	1 (11.1%)
宿泊業, 飲食サービス業	24 (100.0%)	1 (4.2%)	-	11 (45.8%)	5 (20.8%)	1 (4.2%)	4 (16.7%)	-	2 (8.3%)
生活関連サービス業, 娯楽業	3 (100.0%)	-	-	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	-	-	-
教育, 学習支援業	22 (100.0%)	1 (4.5%)	3 (13.6%)	14 (63.6%)	1 (4.5%)	-	2 (9.1%)	1 (4.5%)	-
医療, 福祉	122 (100.0%)	7 (5.7%)	31 (25.4%)	58 (47.5%)	11 (9.0%)	3 (2.5%)	2 (1.6%)	5 (4.1%)	5 (4.1%)
複合サービス業	1 (100.0%)	-	-	1 (100.0%)	-	-	-	-	-
サービス業	49 (100.0%)	-	5 (10.2%)	17 (34.7%)	14 (28.6%)	7 (14.3%)	2 (4.1%)	2 (4.1%)	2 (4.1%)
その他	42 (100.0%)	-	6 (14.3%)	18 (42.9%)	3 (7.1%)	6 (14.3%)	3 (7.1%)	2 (4.8%)	4 (9.5%)
無回答	47 (100.0%)	-	7 (14.9%)	21 (44.7%)	5 (10.6%)	1 (2.1%)	1 (2.1%)	-	12 (25.5%)

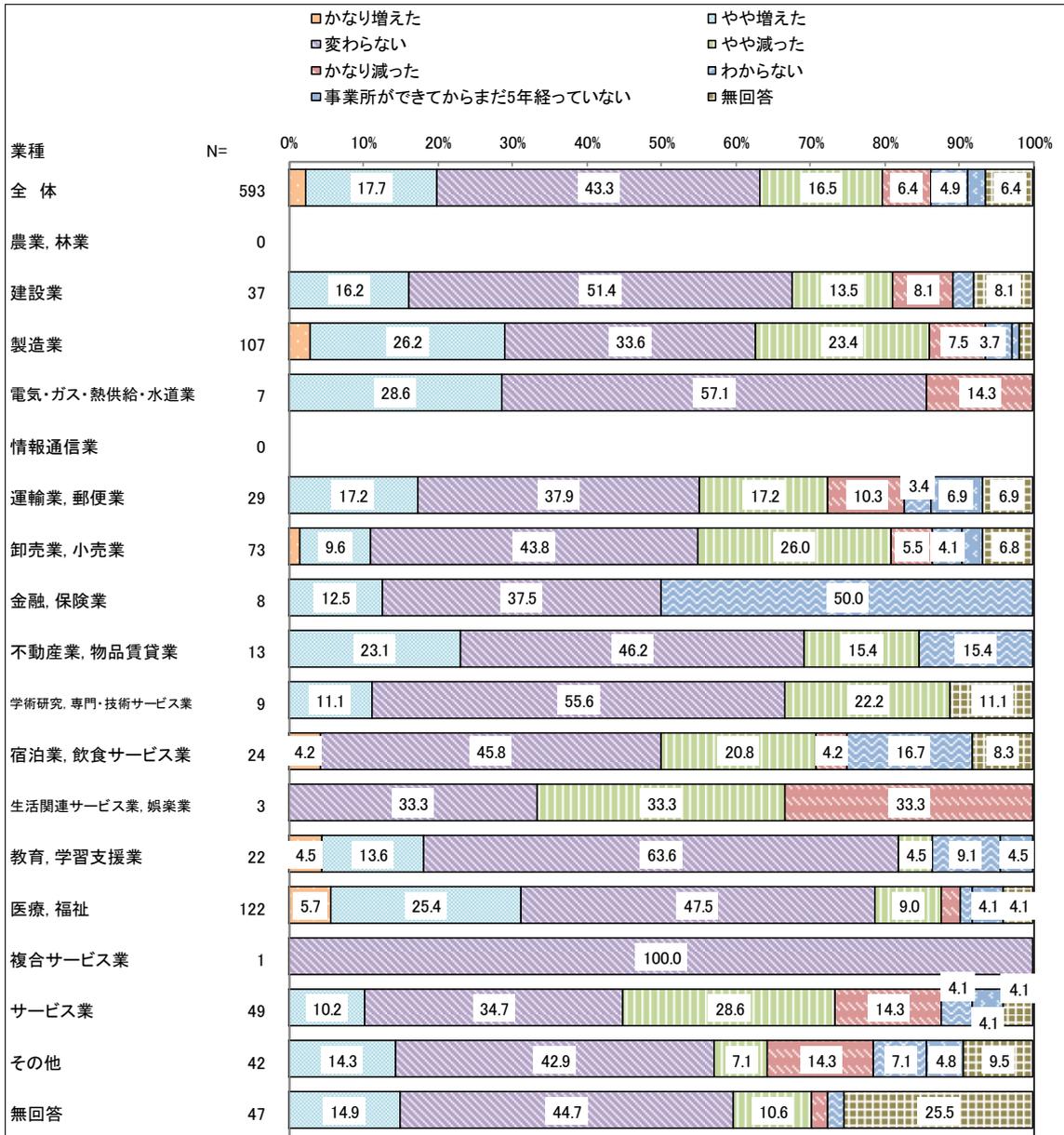


図 5年前と比べたごみ排出量の変化

## (5) 今後のごみ排出量の変化予測

- 今後のごみ排出量の変化予測について、市全体でみると「現在の量から変わらないと思う」と回答した事業所が 56.7%と最も高く、次いで「1 割程度（若干）は減らせる」が 26.0%となっている。
- 業種別にみると、『製造業』が、10 件以上回答のあった業種のなかで唯一「現在の量より増えると思う」が 12.1%と二桁となっている。
- 『減らせる』と答えた割合（30.9%）が前回調査（41.9%）より少なくなっているが、「現在の量より増えると思う」と回答した事業所は 4.4%と低く、今後のごみ排出量としては減少傾向であることがうかがえる。

	全体	半分以上減らせる	3 割程度は減らせる	1 割程度（若干）は減らせる	現在の量から変わらないと思う	現在の量より増えると思う	その他	無回答
全体	593 (100.0%)	3 (0.5%)	26 (4.4%)	154 (26.0%)	336 (56.7%)	26 (4.4%)	6 (1.0%)	42 (7.1%)
農業、林業	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	37 (100.0%)	-	2 (5.4%)	13 (35.1%)	19 (51.4%)	-	-	3 (8.1%)
製造業	107 (100.0%)	-	4 (3.7%)	32 (29.9%)	54 (50.5%)	13 (12.1%)	1 (0.9%)	3 (2.8%)
電気・ガス・熱供給・水道業	7 (100.0%)	-	-	2 (28.6%)	5 (71.4%)	-	-	-
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業、郵便業	29 (100.0%)	-	1 (3.4%)	7 (24.1%)	18 (62.1%)	1 (3.4%)	-	2 (6.9%)
卸売業、小売業	73 (100.0%)	-	5 (6.8%)	23 (31.5%)	40 (54.8%)	-	-	5 (6.8%)
金融、保険業	8 (100.0%)	-	1 (12.5%)	1 (12.5%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)
不動産業、物品賃貸業	13 (100.0%)	1 (7.7%)	-	2 (15.4%)	9 (69.2%)	1 (7.7%)	-	-
学術研究、専門・技術サービス業	9 (100.0%)	-	-	3 (33.3%)	4 (44.4%)	1 (11.1%)	-	1 (11.1%)
宿泊業、飲食サービス業	24 (100.0%)	-	1 (4.2%)	5 (20.8%)	16 (66.7%)	-	-	2 (8.3%)
生活関連サービス業、娯楽業	3 (100.0%)	-	-	2 (66.7%)	1 (33.3%)	-	-	-
教育、学習支援業	22 (100.0%)	-	-	4 (18.2%)	17 (77.3%)	1 (4.5%)	-	-
医療、福祉	122 (100.0%)	1 (0.8%)	3 (2.5%)	27 (22.1%)	81 (66.4%)	4 (3.3%)	-	6 (4.9%)
複合サービス業	1 (100.0%)	-	-	-	1 (100.0%)	-	-	-
サービス業	49 (100.0%)	1 (2.0%)	5 (10.2%)	13 (26.5%)	25 (51.0%)	2 (4.1%)	-	3 (6.1%)
その他	42 (100.0%)	-	1 (2.4%)	12 (28.6%)	23 (54.8%)	-	2 (4.8%)	4 (9.5%)
無回答	47 (100.0%)	-	3 (6.4%)	8 (17.0%)	20 (42.6%)	2 (4.3%)	2 (4.3%)	12 (25.5%)

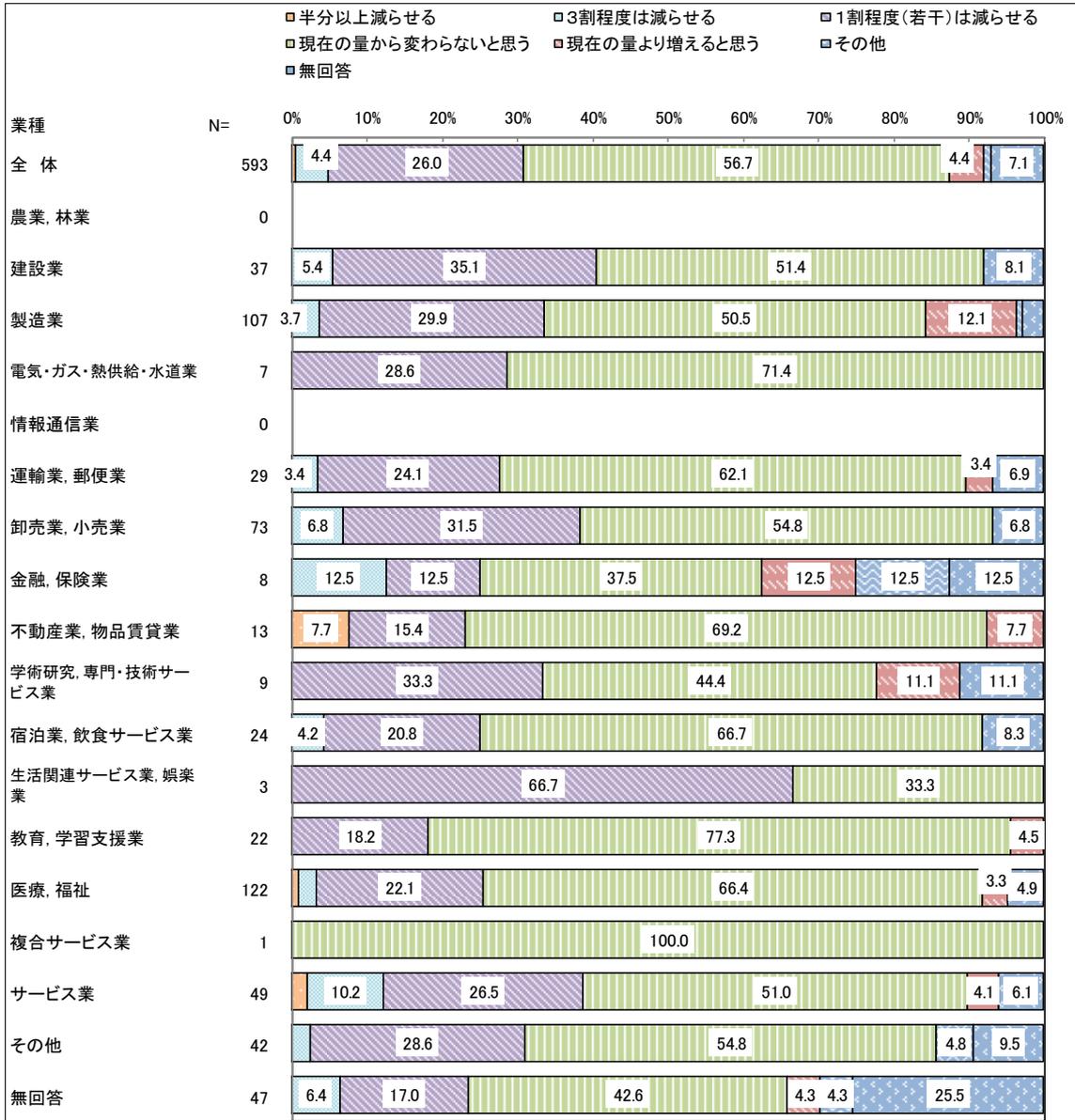


図 今後のごみ排出量の変化予測

## 2. ごみ減量・リサイクルについて

### (1) ごみ減量・リサイクルに関する方針を定めているか（複数回答）

- ごみ減量・リサイクルに関する方針について、市全体でみると「定めていない」が65.9%と最も高くなっており、前回調査（57.2%）より高くなっている。
- 業種別にみると、『製造業』は10件以上回答のあった業種のなかで唯一「定めていない」が42.1%と5割を下回っている。

	全体	「ISO14001」の認証を取得している	「エコアクション21」の認証を取得している	運輸事業者を対象とした「グリーン経営認証」を取得している	その他のごみに関するマネジメントシステムの認証を取得している	独自の方針を定めている	定めていない	無回答
全体	593 (100.0%)	72 (12.1%)	10 (1.7%)	2 (0.3%)	5 (0.8%)	81 (13.7%)	391 (65.9%)	40 (6.7%)
農業、林業	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	37 (100.0%)	10 (27.0%)	1 (2.7%)	-	-	2 (5.4%)	24 (64.9%)	-
製造業	107 (100.0%)	38 (35.5%)	5 (4.7%)	-	2 (1.9%)	15 (14.0%)	45 (42.1%)	5 (4.7%)
電気・ガス・熱供給・水道業	7 (100.0%)	3 (42.9%)	-	-	-	1 (14.3%)	4 (57.1%)	-
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業、郵便業	29 (100.0%)	2 (6.9%)	-	2 (6.9%)	1 (3.4%)	3 (10.3%)	20 (69.0%)	1 (3.4%)
卸売業、小売業	73 (100.0%)	4 (5.5%)	-	-	-	17 (23.3%)	50 (68.5%)	2 (2.7%)
金融、保険業	8 (100.0%)	3 (37.5%)	-	-	-	3 (37.5%)	2 (25.0%)	-
不動産業、物品賃貸業	13 (100.0%)	-	-	-	-	2 (15.4%)	11 (84.6%)	-
学術研究、専門・技術サービス業	9 (100.0%)	-	-	-	-	3 (33.3%)	6 (66.7%)	-
宿泊業、飲食サービス業	24 (100.0%)	1 (4.2%)	-	-	-	4 (16.7%)	14 (58.3%)	5 (20.8%)
生活関連サービス業、娯楽業	3 (100.0%)	-	-	-	-	2 (66.7%)	1 (33.3%)	-
教育、学習支援業	22 (100.0%)	-	-	-	-	3 (13.6%)	19 (86.4%)	-
医療、福祉	122 (100.0%)	1 (0.8%)	-	-	-	11 (9.0%)	108 (88.5%)	2 (1.6%)
複合サービス業	1 (100.0%)	1 (100.0%)	-	-	1 (100.0%)	-	-	-
サービス業	49 (100.0%)	2 (4.1%)	4 (8.2%)	-	-	5 (10.2%)	33 (67.3%)	6 (12.2%)
その他	42 (100.0%)	6 (14.3%)	-	-	-	5 (11.9%)	28 (66.7%)	5 (11.9%)
無回答	47 (100.0%)	1 (2.1%)	-	-	1 (2.1%)	5 (10.6%)	26 (55.3%)	14 (29.8%)

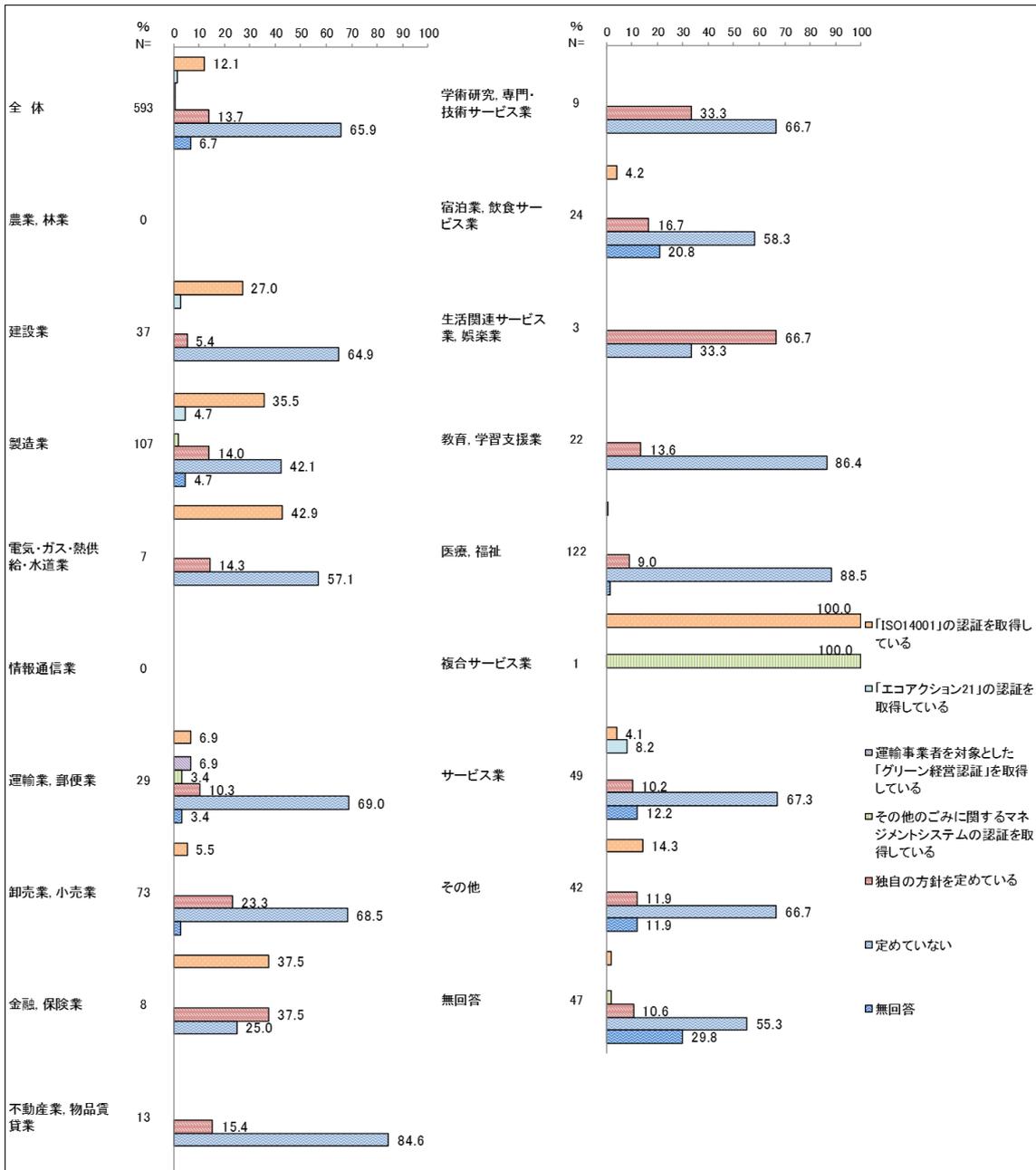
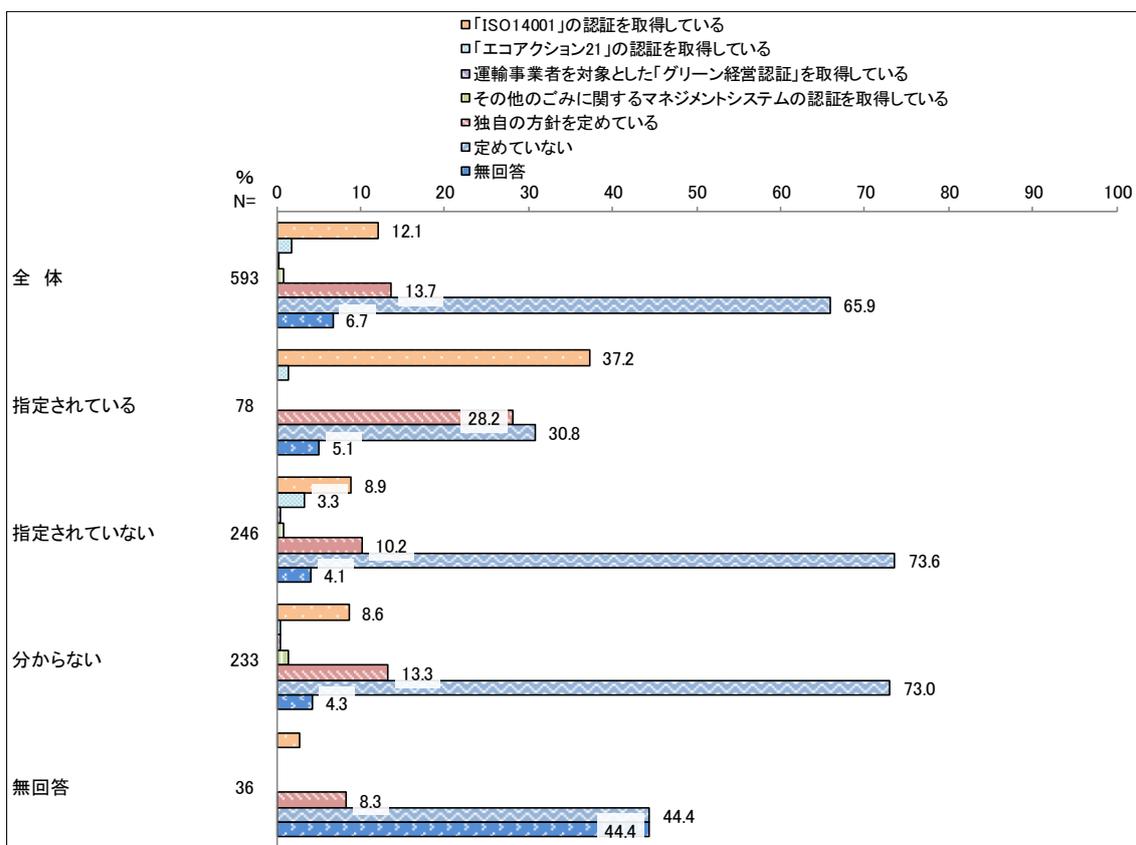


図 ごみ減量・リサイクルに関する方針を定めているか

- 大規模指定事業所別にみると、指定されている事業所では「定めていない」が30.8%と低く、「「ISO14001」の認証を取得している」の37.2%を下回っている。
- 大規模指定事業所は、「減量計画書」の作成が義務付けられているため、ごみ減量・リサイクルに関する方針についても7割近くが定めており、ごみ減量・リサイクルに関する取組が進んでいることがうかがえる。

	全体	「ISO14001」の認証を取得している	「エコアクション21」の認証を取得している	運輸事業者を対象とした「グリーン経営認証」を取得している	その他のごみに関するマネジメントシステムの認証を取得している	独自の方針を定めている	定めていない	無回答
全体	593 (100.0%)	72 (12.1%)	10 (1.7%)	2 (0.3%)	5 (0.8%)	81 (13.7%)	391 (65.9%)	40 (6.7%)
事業用大規模建築物に指定されている	78 (100.0%)	29 (37.2%)	1 (1.3%)	-	-	22 (28.2%)	24 (30.8%)	4 (5.1%)
事業用大規模建築物に指定されていない	246 (100.0%)	22 (8.9%)	8 (3.3%)	1 (0.4%)	2 (0.8%)	25 (10.2%)	181 (73.6%)	10 (4.1%)
分からない	233 (100.0%)	20 (8.6%)	1 (0.4%)	1 (0.4%)	3 (1.3%)	31 (13.3%)	170 (73.0%)	10 (4.3%)
無回答	36 (100.0%)	1 (2.8%)	-	-	-	3 (8.3%)	16 (44.4%)	16 (44.4%)



## (2) ごみ減量・リサイクルに関する方針等の作成・公表の有無

- ごみ減量・リサイクルに関する方針等の作成・公表の有無について、市全体でみると「わからない」が52.8%と最も高く、次いで「今後も作成する予定はない」が26.1%となっており、「今後も作成する予定はない」は前回調査（30.9%）よりも低くなっているものの、「わからない」は前回調査（45.1%）より高くなっている。
- 業種別にみると、10件以上回答のあった業種のなかで「作成し公表している」が1割を上回ったのは『製造業』と『運輸業、郵便業』、『サービス業』の3業種である。
- 「今後作成する予定である」は3.0%と低く、ごみ減量・リサイクルに関する方針等の作成について検討していないことがうかがえる。

	全体	作成し公表している	作成しているが公表していない	今後作成する予定である	今後も作成する予定はない	わからない	無回答
全体	593 (100.0%)	49 (8.3%)	26 (4.4%)	18 (3.0%)	155 (26.1%)	313 (52.8%)	32 (5.4%)
農業、林業	-	-	-	-	-	-	-
建設業	37 (100.0%)	2 (5.4%)	6 (16.2%)	1 (2.7%)	10 (27.0%)	17 (45.9%)	1 (2.7%)
製造業	107 (100.0%)	14 (13.1%)	11 (10.3%)	6 (5.6%)	34 (31.8%)	40 (37.4%)	2 (1.9%)
電気・ガス・熱供給・水道業	7 (100.0%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	-	2 (28.6%)	2 (28.6%)	-
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-
運輸業、郵便業	29 (100.0%)	7 (24.1%)	2 (6.9%)	-	4 (13.8%)	16 (55.2%)	-
卸売業、小売業	73 (100.0%)	6 (8.2%)	2 (2.7%)	2 (2.7%)	16 (21.9%)	45 (61.6%)	2 (2.7%)
金融、保険業	8 (100.0%)	3 (37.5%)	-	-	2 (25.0%)	3 (37.5%)	-
不動産業、物品賃貸業	13 (100.0%)	-	-	-	6 (46.2%)	7 (53.8%)	-
学術研究、専門・技術サービス業	9 (100.0%)	-	-	1 (11.1%)	5 (55.6%)	3 (33.3%)	-
宿泊業、飲食サービス業	24 (100.0%)	1 (4.2%)	-	-	5 (20.8%)	14 (58.3%)	4 (16.7%)
生活関連サービス業、娯楽業	3 (100.0%)	-	-	-	1 (33.3%)	2 (66.7%)	-
教育、学習支援業	22 (100.0%)	-	1 (4.5%)	1 (4.5%)	6 (27.3%)	14 (63.6%)	-
医療、福祉	122 (100.0%)	1 (0.8%)	2 (1.6%)	3 (2.5%)	31 (25.4%)	83 (68.0%)	2 (1.6%)
複合サービス業	1 (100.0%)	-	-	-	-	1 (100.0%)	-
サービス業	49 (100.0%)	7 (14.3%)	-	-	11 (22.4%)	26 (53.1%)	5 (10.2%)
その他	42 (100.0%)	4 (9.5%)	1 (2.4%)	2 (4.8%)	10 (23.8%)	20 (47.6%)	5 (11.9%)
無回答	47 (100.0%)	2 (4.3%)	-	2 (4.3%)	12 (25.5%)	20 (42.6%)	11 (23.4%)

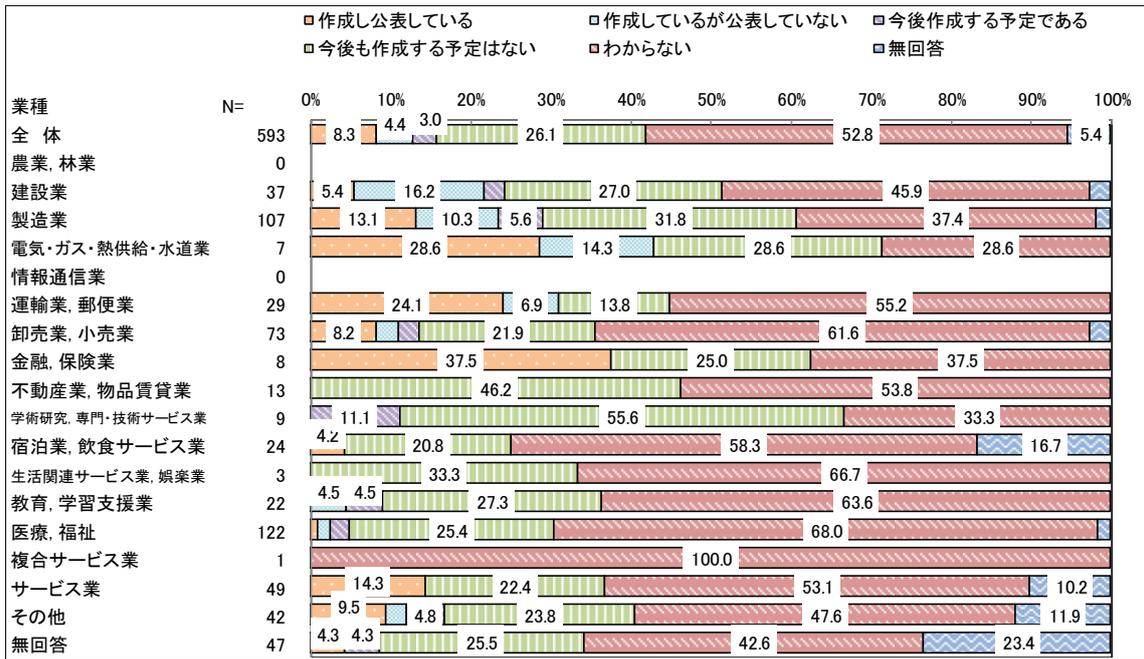
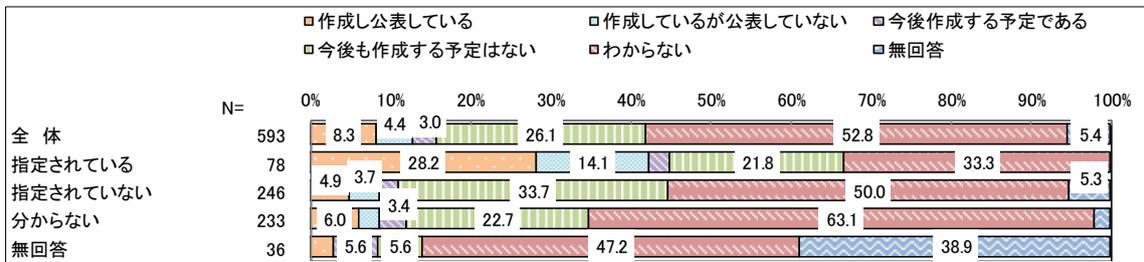


図 ごみ減量・リサイクルに関する方針等の作成・公表の有無

○ 大規模指定事業所別にみると、指定されている事業所では「作成し公表している」が28.2%と高く、「今後も作成する予定はない」の21.8%を上回っている。

	全体	作成し公表している	作成しているが公表していない	今後作成する予定である	今後作成する予定はない	わからない	無回答
全体	593 (100.0%)	49 (8.3%)	26 (4.4%)	18 (3.0%)	155 (26.1%)	313 (52.8%)	32 (5.4%)
事業用大規模建築物に指定されている	78 (100.0%)	22 (28.2%)	11 (14.1%)	2 (2.6%)	17 (21.8%)	26 (33.3%)	-
事業用大規模建築物に指定されていない	246 (100.0%)	12 (4.9%)	9 (3.7%)	6 (2.4%)	83 (33.7%)	123 (50.0%)	13 (5.3%)
分からない	233 (100.0%)	14 (6.0%)	6 (2.6%)	8 (3.4%)	53 (22.7%)	147 (63.1%)	5 (2.1%)
無回答	36 (100.0%)	1 (2.8%)	-	2 (5.6%)	2 (5.6%)	17 (47.2%)	14 (38.9%)



### (3) ごみ減量に取り組む責任者設置の有無

- ごみ減量に取り組む責任者の設置の有無について、市全体でみると兼務を含めて責任者がいる事業所は28.7%であり、前回調査(30.7%)よりも低くなっている。
- 業種別にみると、『製造業』は唯一、兼務を含めて責任者がいる割合が、「定めていない」割合を上回っている。

	全体	専任の責任者を定めている	他の役割(総務など)との兼務としている	定めていない	無回答
全体	593 (100.0%)	45 (7.6%)	125 (21.1%)	398 (67.1%)	25 (4.2%)
農業, 林業	-	-	-	-	-
建設業	37 (100.0%)	3 (8.1%)	10 (27.0%)	24 (64.9%)	-
製造業	107 (100.0%)	13 (12.1%)	46 (43.0%)	46 (43.0%)	2 (1.9%)
電気・ガス・熱供給・水道業	7 (100.0%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	4 (57.1%)	-
情報通信業	-	-	-	-	-
運輸業, 郵便業	29 (100.0%)	1 (3.4%)	10 (34.5%)	18 (62.1%)	-
卸売業, 小売業	73 (100.0%)	11 (15.1%)	14 (19.2%)	45 (61.6%)	3 (4.1%)
金融, 保険業	8 (100.0%)	-	-	8 (100.0%)	-
不動産業, 物品賃貸業	13 (100.0%)	-	-	13 (100.0%)	-
学術研究, 専門・技術サービス業	9 (100.0%)	1 (11.1%)	3 (33.3%)	5 (55.6%)	-
宿泊業, 飲食サービス業	24 (100.0%)	2 (8.3%)	4 (16.7%)	16 (66.7%)	2 (8.3%)
生活関連サービス業, 娯楽業	3 (100.0%)	-	1 (33.3%)	2 (66.7%)	-
教育, 学習支援業	22 (100.0%)	1 (4.5%)	6 (27.3%)	15 (68.2%)	-
医療, 福祉	122 (100.0%)	5 (4.1%)	13 (10.7%)	104 (85.2%)	-
複合サービス業	1 (100.0%)	-	-	1 (100.0%)	-
サービス業	49 (100.0%)	3 (6.1%)	6 (12.2%)	38 (77.6%)	2 (4.1%)
その他	42 (100.0%)	-	7 (16.7%)	30 (71.4%)	5 (11.9%)
無回答	47 (100.0%)	3 (6.4%)	4 (8.5%)	29 (61.7%)	11 (23.4%)

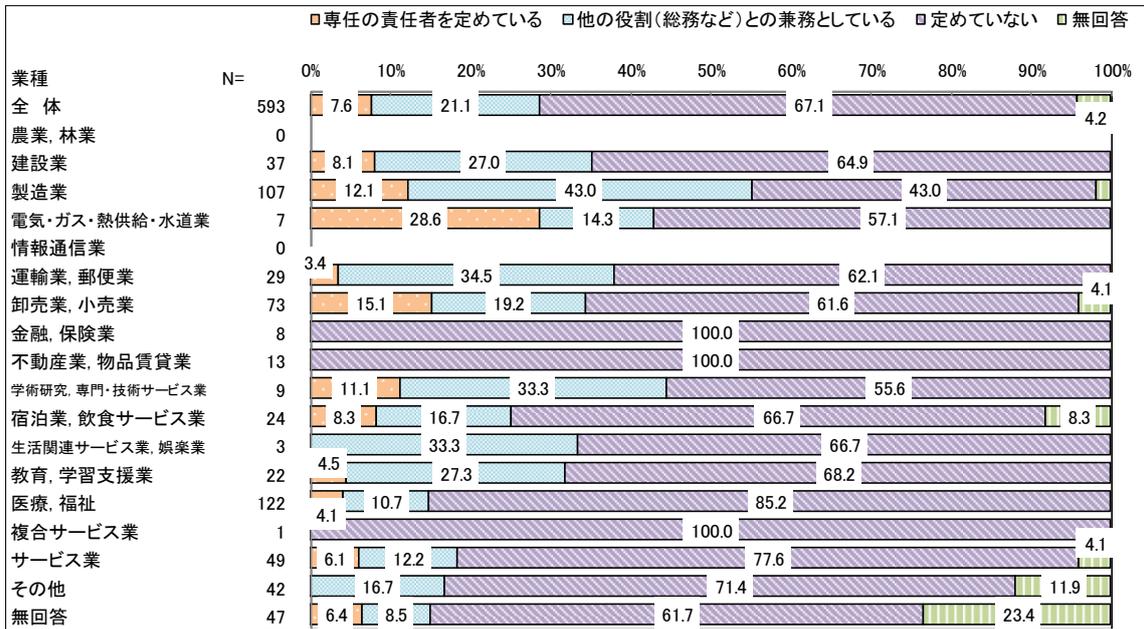
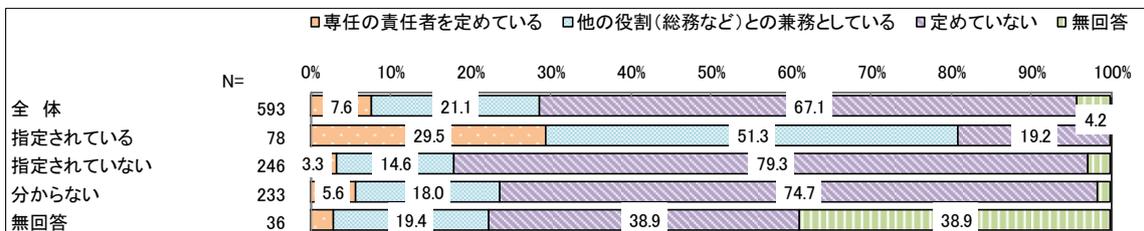


図 ごみ減量に取り組む責任者設置の有無

- 大規模指定事業所別にみると、指定されている事業所では兼務を含めて責任者がいる割合が80.8%と非常に高くなっている。

	全体	専任の責任者を定めている	他の役割(総務など)との兼務としている	定めていない	無回答
全体	593 (100.0%)	45 (7.6%)	125 (21.1%)	398 (67.1%)	25 (4.2%)
事業用大規模建築物に指定されている	78 (100.0%)	23 (29.5%)	40 (51.3%)	15 (19.2%)	-
事業用大規模建築物に指定されていない	246 (100.0%)	8 (3.3%)	36 (14.6%)	195 (79.3%)	7 (2.8%)
分からない	233 (100.0%)	13 (5.6%)	42 (18.0%)	174 (74.7%)	4 (1.7%)
無回答	36 (100.0%)	1 (2.8%)	7 (19.4%)	14 (38.9%)	14 (38.9%)



#### (4) ごみ減量・リサイクルに関する情報の入手先（複数回答）

- ごみ減量・リサイクルに関する情報の入手先について、市全体でみると「堺市ホームページ、広報紙、パンフレットなど」が49.9%で最も高く、次いで「収集業者からのお知らせ」が28.8%、「特に参考としているものはない」が26.5%となっている。
- 業種別にみると、『宿泊業、飲食サービス業』は「特に参考としているものはない」が最も高くなっている。
- 前回調査と比較すると、「新聞、テレビ、ラジオなどの放送番組」や「堺市ホームページ以外の関連サイト」など電子媒体等による入手先の割合が高くなっている。

	全体	堺市ホームページ、広報紙、パンフレットなど	ビル管理会社などからのお知らせ	収集業者からのお知らせ	同業種の組合、業界団体等からのお知らせや研修会	新聞、テレビ、ラジオなどの放送番組	堺市ホームページ以外の関連サイト	ロコミ	その他	特に参考としているものはない	無回答	合計回答数
全体	593	296 (49.9%)	29 (4.9%)	171 (28.8%)	41 (6.9%)	67 (11.3%)	33 (5.6%)	14 (2.4%)	13 (2.2%)	157 (26.5%)	26 (4.4%)	847
農業、林業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	37	22 (59.5%)	1 (2.7%)	13 (35.1%)	5 (13.5%)	2 (5.4%)	3 (8.1%)	2 (5.4%)	1 (2.7%)	6 (16.2%)	-	55
製造業	107	59 (55.1%)	2 (1.9%)	43 (40.2%)	18 (16.8%)	17 (15.9%)	13 (12.1%)	3 (2.8%)	1 (0.9%)	20 (18.7%)	3 (2.8%)	179
電気・ガス・熱供給・水道業	7	4 (57.1%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	-	1 (14.3%)	-	-	-	2 (28.6%)	-	10
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業、郵便業	29	13 (44.8%)	1 (3.4%)	9 (31.0%)	2 (6.9%)	4 (13.8%)	3 (10.3%)	-	-	9 (31.0%)	-	41
卸売業、小売業	73	24 (32.9%)	7 (9.6%)	21 (28.8%)	6 (8.2%)	9 (12.3%)	1 (1.4%)	2 (2.7%)	4 (5.5%)	23 (31.5%)	3 (4.1%)	100
金融、保険業	8	3 (37.5%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	-	-	-	-	2 (25.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	11
不動産業、物品賃貸業	13	9 (69.2%)	-	5 (38.5%)	-	2 (15.4%)	-	2 (15.4%)	-	3 (23.1%)	-	21
学術研究、専門・技術サービス業	9	2 (22.2%)	-	3 (33.3%)	-	3 (33.3%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	2 (22.2%)	-	13
宿泊業、飲食サービス業	24	8 (33.3%)	2 (8.3%)	5 (20.8%)	1 (4.2%)	3 (12.5%)	2 (8.3%)	1 (4.2%)	1 (4.2%)	10 (41.7%)	2 (8.3%)	35
生活関連サービス業、娯楽業	3	3 (100.0%)	-	-	-	-	1 (33.3%)	-	-	-	-	4
教育、学習支援業	22	14 (63.6%)	1 (4.5%)	3 (13.6%)	1 (4.5%)	3 (13.6%)	1 (4.5%)	-	-	6 (27.3%)	-	29
医療、福祉	122	73 (59.8%)	6 (4.9%)	34 (27.9%)	4 (3.3%)	16 (13.1%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	35 (28.7%)	1 (0.8%)	172
複合サービス業	1	1 (100.0%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
サービス業	49	23 (46.9%)	2 (4.1%)	8 (16.3%)	1 (2.0%)	2 (4.1%)	4 (8.2%)	1 (2.0%)	-	18 (36.7%)	2 (4.1%)	61
その他	42	16 (38.1%)	3 (7.1%)	9 (21.4%)	1 (2.4%)	1 (2.4%)	2 (4.8%)	1 (2.4%)	1 (2.4%)	14 (33.3%)	2 (4.8%)	50
無回答	47	22 (46.8%)	1 (2.1%)	14 (29.8%)	2 (4.3%)	4 (8.5%)	1 (2.1%)	-	1 (2.1%)	8 (17.0%)	12 (25.5%)	65

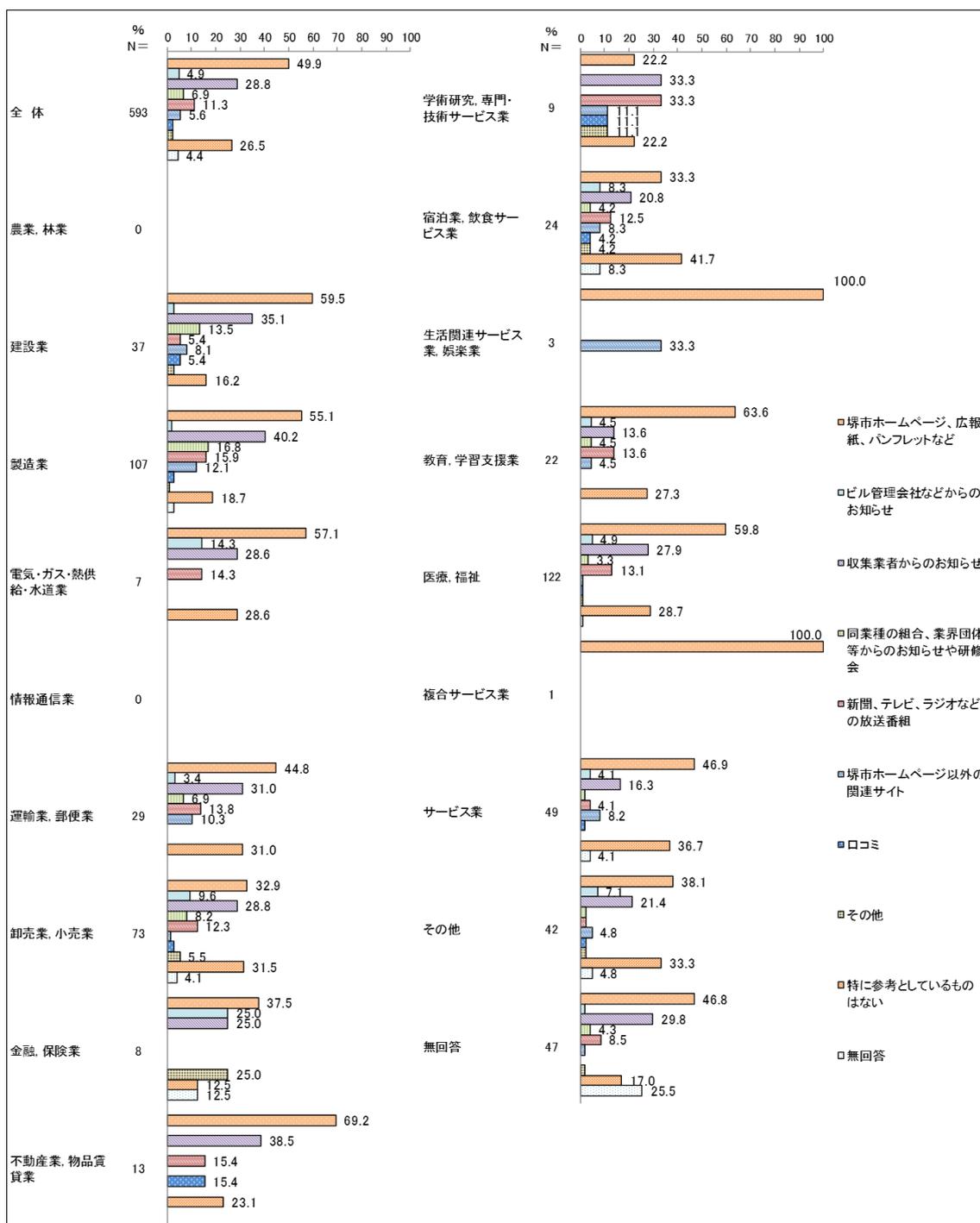
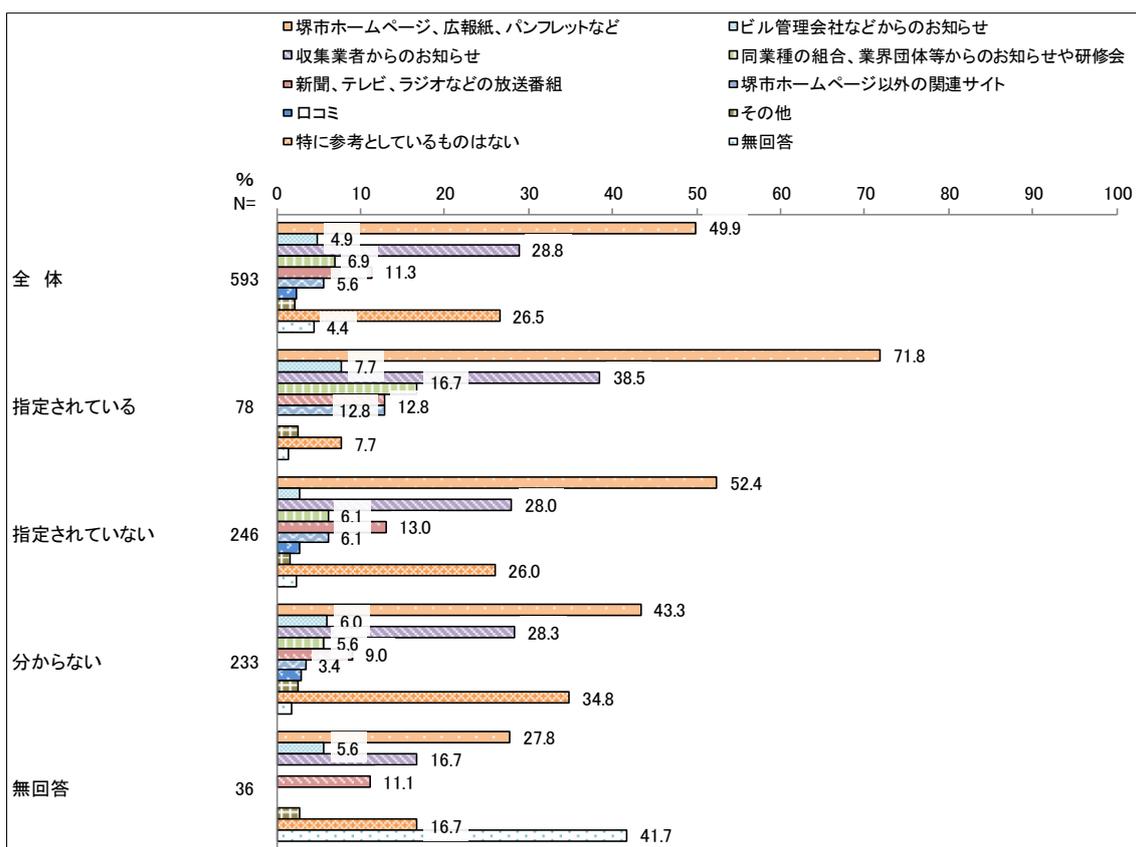


図 ごみ減量・リサイクルに関する情報の入手先

○ 大規模指定事業所別にみると、指定されている事業所では「堺市ホームページ、広報紙、パンフレットなど」が71.8%と非常に高くなっている。

	全体	堺市ホームページ、広報紙、パンフレットなど	ビル管理会社などからのお知らせ	収集業者からのお知らせ	同業種の組合、業界団体等からのお知らせや研修会	新聞、テレビ、ラジオなどの放送番組	堺市ホームページ以外の関連サイト	口コミ	その他	特に参考としているものはない	無回答	合計回答数
全体	593	296 (49.9%)	29 (4.9%)	171 (28.8%)	41 (6.9%)	67 (11.3%)	33 (5.6%)	14 (2.4%)	13 (2.2%)	157 (26.5%)	26 (4.4%)	847
事業用大規模建築物に指定されている	78	56 (71.8%)	6 (7.7%)	30 (38.5%)	13 (16.7%)	10 (12.8%)	10 (12.8%)	-	2 (2.6%)	6 (7.7%)	1 (1.3%)	134
事業用大規模建築物に指定されていない	246	129 (52.4%)	7 (2.8%)	69 (28.0%)	15 (6.1%)	32 (13.0%)	15 (6.1%)	7 (2.8%)	4 (1.6%)	64 (26.0%)	6 (2.4%)	348
分からない	233	101 (43.3%)	14 (6.0%)	66 (28.3%)	13 (5.6%)	21 (9.0%)	8 (3.4%)	7 (3.0%)	6 (2.6%)	81 (34.8%)	4 (1.7%)	321
無回答	36	10 (27.8%)	2 (5.6%)	6 (16.7%)	-	4 (11.1%)	-	-	1 (2.8%)	6 (16.7%)	15 (41.7%)	44



(5) ごみ減量・リサイクルに関する研修会等の実施について（複数回答）

- ごみ減量・リサイクルに関する研修会等の実施について、市全体でみると「何もしていない」が66.4%と最も高く、前回調査（63.0%）よりわずかに高くなっている。
- 業種別にみると、『製造業』は唯一「何もしていない」が47.7%と5割を下回っている。

	全体	自社で定期的 的に実施し ている	自社で必要 に応じて(不 定期に)実施 している	外部の研修 会やシンポ ジウム等に 参加させて いる	その他	何もして いない	無回答	合計 回答数
全体	593	22 (3.7%)	109 (18.4%)	18 (3.0%)	29 (4.9%)	394 (66.4%)	27 (4.6%)	599
農業, 林業	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	37	1 (2.7%)	9 (24.3%)	1 (2.7%)	-	25 (67.6%)	1 (2.7%)	37
製造業	107	11 (10.3%)	32 (29.9%)	9 (8.4%)	7 (6.5%)	51 (47.7%)	1 (0.9%)	111
電気・ガス・ 熱供給・水道業	7	2 (28.6%)	1 (14.3%)	-	-	4 (57.1%)	-	7
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業, 郵便業	29	1 (3.4%)	7 (24.1%)	1 (3.4%)	1 (3.4%)	19 (65.5%)	-	29
卸売業, 小売業	73	-	16 (21.9%)	1 (1.4%)	4 (5.5%)	49 (67.1%)	3 (4.1%)	73
金融, 保険業	8	-	3 (37.5%)	-	-	5 (62.5%)	-	8
不動産業, 物品賃貸業	13	-	2 (15.4%)	-	1 (7.7%)	10 (76.9%)	-	13
学術研究, 専門・ 技術サービス業	9	-	2 (22.2%)	-	-	6 (66.7%)	1 (11.1%)	9
宿泊業, 飲食 サービス業	24	2 (8.3%)	3 (12.5%)	2 (8.3%)	1 (4.2%)	17 (70.8%)	1 (4.2%)	26
生活関連サービ ス業, 娯楽業	3	-	-	1 (33.3%)	-	2 (66.7%)	-	3
教育, 学習支援業	22	-	4 (18.2%)	-	2 (9.1%)	16 (72.7%)	-	22
医療, 福祉	122	2 (1.6%)	11 (9.0%)	1 (0.8%)	6 (4.9%)	101 (82.8%)	1 (0.8%)	122
複合 サービス業	1	-	1 (100.0%)	-	-	-	-	1
サービス業	49	2 (4.1%)	8 (16.3%)	1 (2.0%)	1 (2.0%)	32 (65.3%)	5 (10.2%)	49
その他	42	-	5 (11.9%)	1 (2.4%)	4 (9.5%)	28 (66.7%)	4 (9.5%)	42
無回答	47	1 (2.1%)	5 (10.6%)	-	2 (4.3%)	29 (61.7%)	10 (21.3%)	47

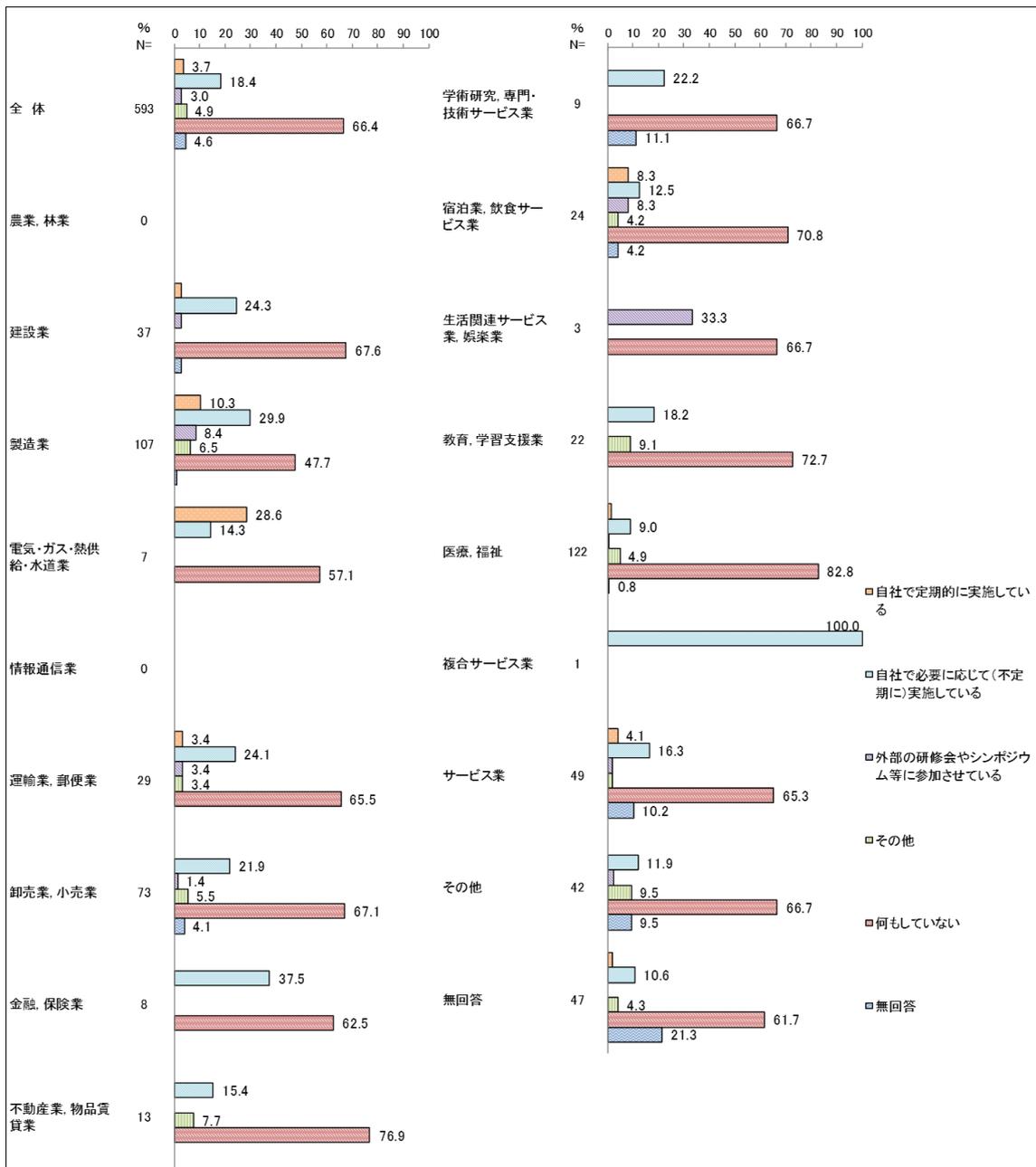
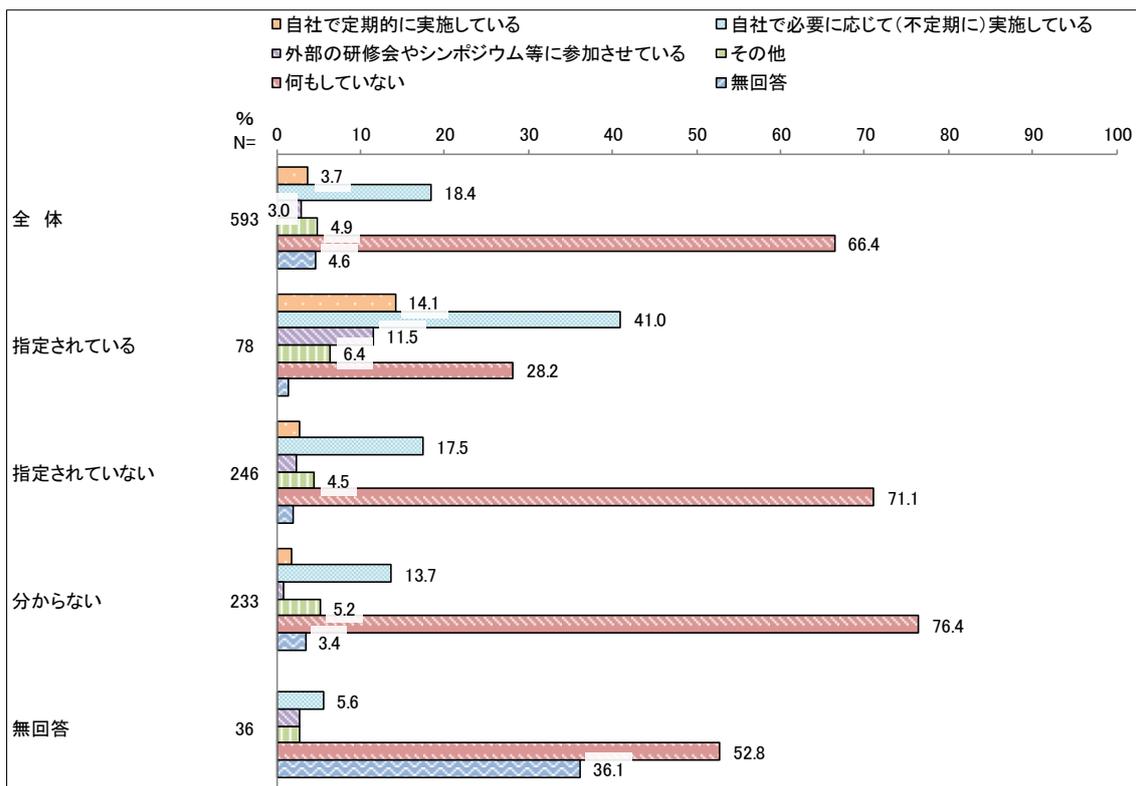


図 ごみ減量・リサイクルに関する研修会等の実施について

- 大規模指定事業所別にみると、指定されている事業所では「自社で必要に応じて（不定期に）実施している」が「何もしていない」を上回っている。
- 従業員教育において、大規模事業所の指定の有無による違いが明確であり、ごみ減量・リサイクルに関する意識の差が従業員教育にも現れていることがうかがえる。

	全体	自社で定期的 に実施し ている	自社で必要 に応じて (不定期 に)実施し ている	外部の研修 会やシンポ ジウム等に 参加させて いる	その他	何もして いない	無回答	合計 回答数
全体	593	22 (3.7%)	109 (18.4%)	18 (3.0%)	29 (4.9%)	394 (66.4%)	27 (4.6%)	599
事業用大規模建築物に 指定されている	78	11 (14.1%)	32 (41.0%)	9 (11.5%)	5 (6.4%)	22 (28.2%)	1 (1.3%)	80
事業用大規模建築物に 指定されていない	246	7 (2.8%)	43 (17.5%)	6 (2.4%)	11 (4.5%)	175 (71.1%)	5 (2.0%)	247
分からない	233	4 (1.7%)	32 (13.7%)	2 (0.9%)	12 (5.2%)	178 (76.4%)	8 (3.4%)	236
無回答	36	-	2 (5.6%)	1 (2.8%)	1 (2.8%)	19 (52.8%)	13 (36.1%)	36



(6) ごみ減量・リサイクルに関する具体的な取組（複数回答）

- ごみ減量・リサイクルに関する具体的な取組について、市全体でみると「特に取り組んでいない」が42.8%と最も高く、多くの事業者がごみ減量・リサイクルに関する具体的な取組を実施するに至っていないことがうかがえる。
- 業種別にみると、10件以上回答のあった業種のなかで『建設業』と『製造業』は「ごみ減量・リサイクルを事業所内に呼びかけている」と「ペーパーレス化を推進している」が「特に取り組んでいない」を上回っている。
- 前回調査と比較すると、全体的に同様の結果となっている。

	全体	ごみ減量・リサイクルを事業所内に呼びかけている	ごみ減量・リサイクルのマニュアルを作成している	ごみ問題について検討する組織を設置している	取引先や納入業者に簡易包装や通い箱（繰り返し使用できる箱）の使用を依頼している	ペーパーレス化を推進している	その他	特に取り組んでいない	無回答	合計回答数
全体	593	140 (23.6%)	25 (4.2%)	13 (2.2%)	66 (11.1%)	176 (29.7%)	28 (4.7%)	254 (42.8%)	26 (4.4%)	728
農業、林業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	37	14 (37.8%)	-	1 (2.7%)	5 (13.5%)	17 (45.9%)	1 (2.7%)	10 (27.0%)	1 (2.7%)	49
製造業	107	50 (46.7%)	6 (5.6%)	5 (4.7%)	30 (28.0%)	39 (36.4%)	4 (3.7%)	22 (20.6%)	1 (0.9%)	157
電気・ガス・熱供給・水道業	7	2 (28.6%)	-	1 (14.3%)	-	3 (42.9%)	-	3 (42.9%)	-	9
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業、郵便業	29	6 (20.7%)	1 (3.4%)	-	3 (10.3%)	12 (41.4%)	1 (3.4%)	14 (48.3%)	-	37
卸売業、小売業	73	13 (17.8%)	7 (9.6%)	1 (1.4%)	10 (13.7%)	18 (24.7%)	1 (1.4%)	33 (45.2%)	3 (4.1%)	86
金融、保険業	8	-	-	-	-	5 (62.5%)	-	3 (37.5%)	-	8
不動産業、物品賃貸業	13	1 (7.7%)	-	-	1 (7.7%)	3 (23.1%)	-	9 (69.2%)	-	14
学術研究、専門・技術サービス業	9	2 (22.2%)	-	1 (11.1%)	1 (11.1%)	-	1 (11.1%)	5 (55.6%)	1 (11.1%)	11
宿泊業、飲食サービス業	24	3 (12.5%)	2 (8.3%)	2 (8.3%)	3 (12.5%)	6 (25.0%)	2 (8.3%)	14 (58.3%)	1 (4.2%)	33
生活関連サービス業、娯楽業	3	2 (66.7%)	-	-	-	1 (33.3%)	-	1 (33.3%)	-	4
教育、学習支援業	22	6 (27.3%)	-	-	-	8 (36.4%)	1 (4.5%)	8 (36.4%)	-	23
医療、福祉	122	18 (14.8%)	2 (1.6%)	-	5 (4.1%)	33 (27.0%)	8 (6.6%)	67 (54.9%)	1 (0.8%)	134
複合サービス業	1	-	-	-	-	1 (100.0%)	-	-	-	1
サービス業	49	13 (26.5%)	3 (6.1%)	2 (4.1%)	2 (4.1%)	13 (26.5%)	4 (8.2%)	20 (40.8%)	4 (8.2%)	61
その他	42	5 (11.9%)	2 (4.8%)	-	1 (2.4%)	10 (23.8%)	4 (9.5%)	21 (50.0%)	4 (9.5%)	47
無回答	47	5 (10.6%)	2 (4.3%)	-	5 (10.6%)	7 (14.9%)	1 (2.1%)	24 (51.1%)	10 (21.3%)	54

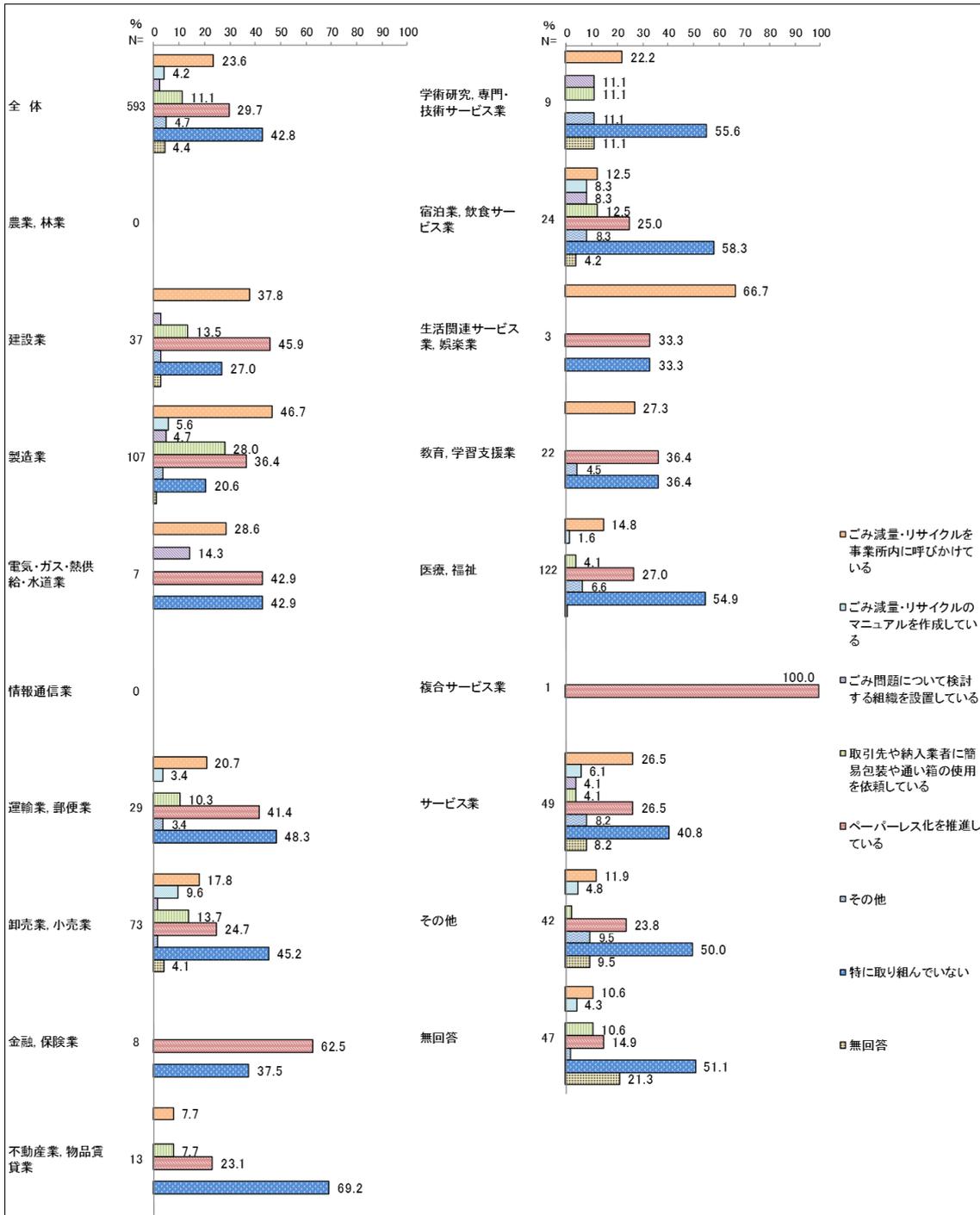
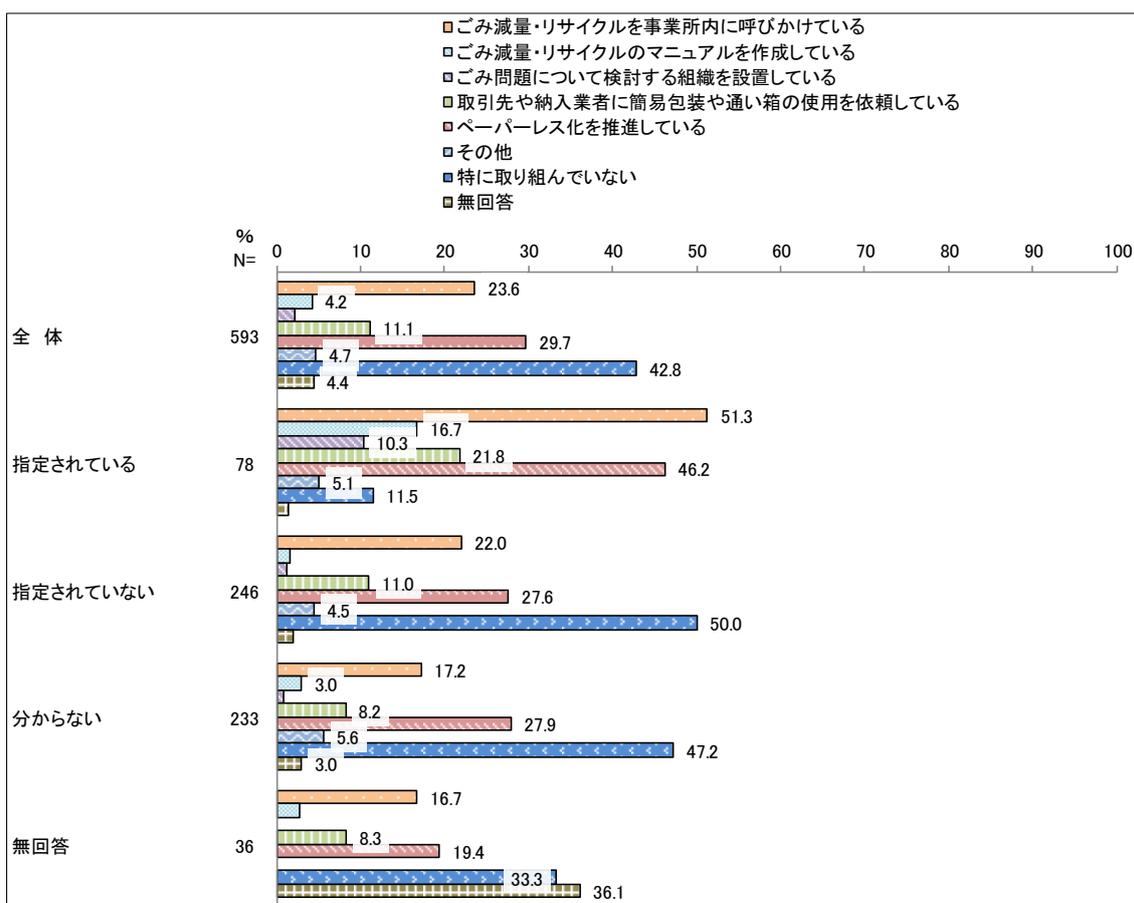


図 ごみ減量・リサイクルに関する具体的な取組

○ 大規模指定事業所別にみると、指定されている事業所では「ごみ減量・リサイクルを事業所内に呼びかけている」が51.3%と非常に高くなっている。

	全体	ごみ減量・リサイクルを事業所内に呼びかけている	ごみ減量・リサイクルのマニュアルを作成している	ごみ問題について検討する組織を設置している	取引先や納入業者に簡易包装や通い箱（繰り返し使用できる箱）の使用を依頼している	ペーパーレス化を推進している	その他	特に取り組んでいない	無回答	合計回答数
全体	593	140 (23.6%)	25 (4.2%)	13 (2.2%)	66 (11.1%)	176 (29.7%)	28 (4.7%)	254 (42.8%)	26 (4.4%)	728
事業用大規模建築物に指定されている	78	40 (51.3%)	13 (16.7%)	8 (10.3%)	17 (21.8%)	36 (46.2%)	4 (5.1%)	9 (11.5%)	1 (1.3%)	128
事業用大規模建築物に指定されていない	246	54 (22.0%)	4 (1.6%)	3 (1.2%)	27 (11.0%)	68 (27.6%)	11 (4.5%)	123 (50.0%)	5 (2.0%)	295
分からない	233	40 (17.2%)	7 (3.0%)	2 (0.9%)	19 (8.2%)	65 (27.9%)	13 (5.6%)	110 (47.2%)	7 (3.0%)	263
無回答	36	6 (16.7%)	1 (2.8%)	—	3 (8.3%)	7 (19.4%)	—	12 (33.3%)	13 (36.1%)	42



## (7) 周辺事業所と共同での効率的な収集について

- 事業所間のネットワークなど周辺事業所と共同での効率的な収集について、市全体でみると「共同での効率的な収集方法自体を知らない」が72.0%と最も高く、そもそも方法自体がわからない現状がうかがえる。
- また、「共同での効率的な収集方法自体を知らない」は前回調査（69.9%）より高くなっており、事業組合を主体として周辺事業所と共同でのごみ収集を行うことのメリットを広報・周知することでより効率的な収集が可能になる余地があると考えられる。
- 業種別にみると、大きな違いは見られなかった。

	全体	共同での効率的な収集方法に取り組んでいる	共同での効率的な収集方法に取り組む準備をしている	共同での効率的な収集方法を知っているが取り組んでいない	共同での効率的な収集方法自体を知らない	無回答
全体	593 (100.0%)	56 (9.4%)	8 (1.3%)	57 (9.6%)	427 (72.0%)	45 (7.6%)
農業、林業	- -	- -	- -	- -	- -	- -
建設業	37 (100.0%)	3 (8.1%)	1 (2.7%)	3 (8.1%)	28 (75.7%)	2 (5.4%)
製造業	107 (100.0%)	8 (7.5%)	2 (1.9%)	16 (15.0%)	79 (73.8%)	2 (1.9%)
電気・ガス・熱供給・水道業	7 (100.0%)	2 (28.6%)	- -	- -	5 (71.4%)	- -
情報通信業	- -	- -	- -	- -	- -	- -
運輸業、郵便業	29 (100.0%)	2 (6.9%)	- -	6 (20.7%)	21 (72.4%)	- -
卸売業、小売業	73 (100.0%)	7 (9.6%)	2 (2.7%)	7 (9.6%)	52 (71.2%)	5 (6.8%)
金融、保険業	8 (100.0%)	2 (25.0%)	- -	1 (12.5%)	5 (62.5%)	- -
不動産業、物品賃貸業	13 (100.0%)	- -	- -	- -	12 (92.3%)	1 (7.7%)
学術研究、専門・技術サービス業	9 (100.0%)	1 (11.1%)	- -	- -	7 (77.8%)	1 (11.1%)
宿泊業、飲食サービス業	24 (100.0%)	4 (16.7%)	2 (8.3%)	2 (8.3%)	13 (54.2%)	3 (12.5%)
生活関連サービス業、娯楽業	3 (100.0%)	- -	- -	1 (33.3%)	2 (66.7%)	- -
教育、学習支援業	22 (100.0%)	2 (9.1%)	- -	2 (9.1%)	17 (77.3%)	1 (4.5%)
医療、福祉	122 (100.0%)	11 (9.0%)	- -	9 (7.4%)	94 (77.0%)	8 (6.6%)
複合サービス業	1 (100.0%)	1 (100.0%)	- -	- -	- -	- -
サービス業	49 (100.0%)	7 (14.3%)	- -	5 (10.2%)	33 (67.3%)	4 (8.2%)
その他	42 (100.0%)	3 (7.1%)	- -	2 (4.8%)	30 (71.4%)	7 (16.7%)
無回答	47 (100.0%)	3 (6.4%)	1 (2.1%)	3 (6.4%)	29 (61.7%)	11 (23.4%)

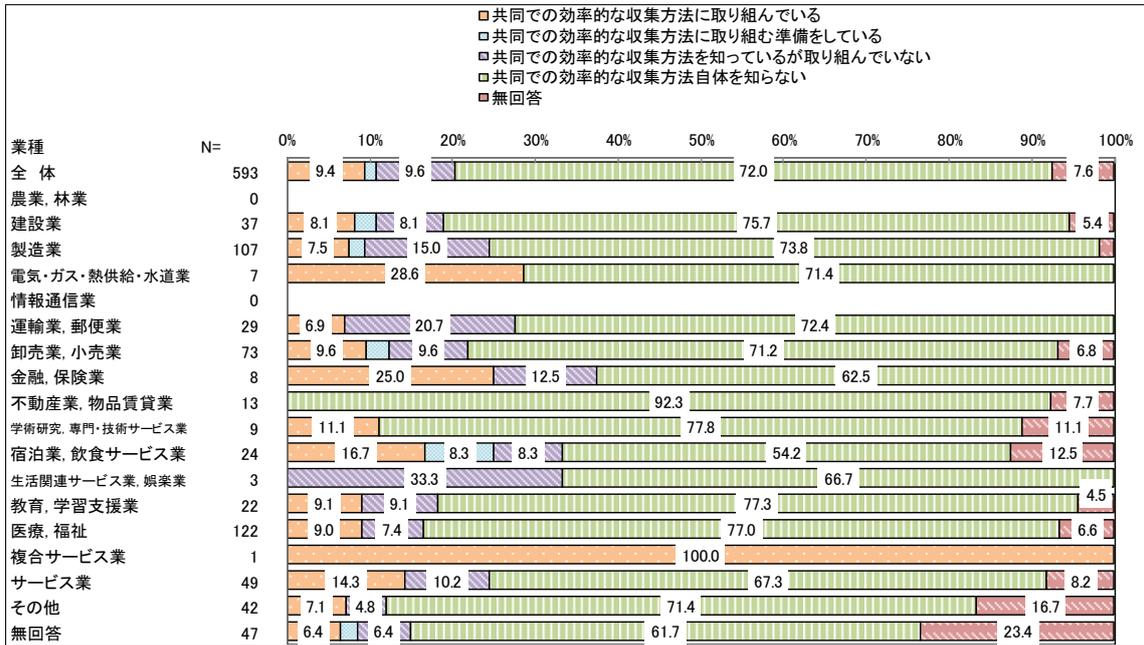
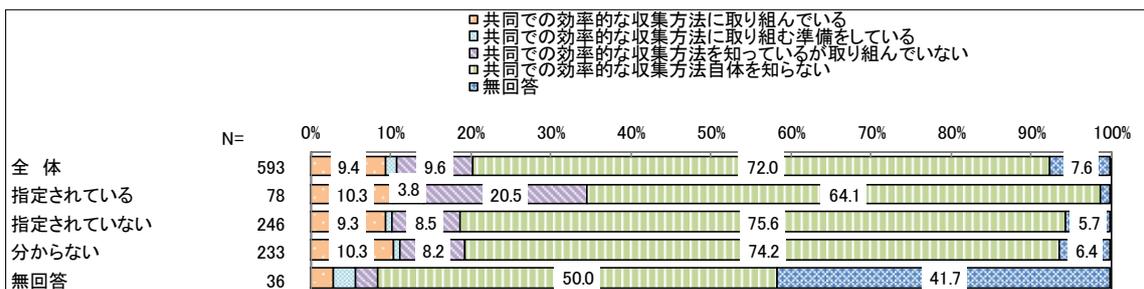


図 周辺事業所と共同での効率的な収集について

- 大規模指定事業所別にみると、指定されている事業所でも「共同での効率的な収集方法自体を知らない」が64.1%で最も高く、全体と同様の傾向がみられる。
- 廃棄物管理意識の高い大規模指定事業所においてもシステムを知らないという割合が多いことから、共同での効率的な収集方法について更なる周知を図る必要性がある。

	全体	共同での効率的な収集方法に取り組んでいる	共同での効率的な収集方法に取り組む準備をしている	共同での効率的な収集方法を知っているが取り組んでいない	共同での効率的な収集方法自体を知らない	無回答
全体	593 (100.0%)	56 (9.4%)	8 (1.3%)	57 (9.6%)	427 (72.0%)	45 (7.6%)
事業用大規模建築物に指定されている	78 (100.0%)	8 (10.3%)	3 (3.8%)	16 (20.5%)	50 (64.1%)	1 (1.3%)
事業用大規模建築物に指定されていない	246 (100.0%)	23 (9.3%)	2 (0.8%)	21 (8.5%)	186 (75.6%)	14 (5.7%)
分からない	233 (100.0%)	24 (10.3%)	2 (0.9%)	19 (8.2%)	173 (74.2%)	15 (6.4%)
無回答	36 (100.0%)	1 (2.8%)	1 (2.8%)	1 (2.8%)	18 (50.0%)	15 (41.7%)



## (8) 地域におけるまちの美化活動・ごみ減量活動への取組

- 地域におけるまちの美化活動やごみ減量活動への取組について、市全体でみると「できる範囲で取り組んでいる」と「わからない」がともに37.3%と最も高くなっている。
- 業種別にみると、『不動産業、物品賃貸業』は唯一「わからない」が61.5%と6割を上回っている。
- 前回調査と比較すると、全体的に同様の結果となっている。

	全体	積極的に取り組んでいる	できる範囲で取り組んでいる	今後、取り組むつもりである	今後も取り組むつもりはない	わからない	無回答
全体	593 (100.0%)	51 (8.6%)	221 (37.3%)	59 (9.9%)	17 (2.9%)	221 (37.3%)	24 (4.0%)
農業、林業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
建設業	37 (100.0%)	1 (2.7%)	19 (51.4%)	4 (10.8%)	1 (2.7%)	11 (29.7%)	1 (2.7%)
製造業	107 (100.0%)	17 (15.9%)	41 (38.3%)	7 (6.5%)	6 (5.6%)	35 (32.7%)	1 (0.9%)
電気・ガス・熱供給・水道業	7 (100.0%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	-	-	-
情報通信業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
運輸業、郵便業	29 (100.0%)	4 (13.8%)	10 (34.5%)	2 (6.9%)	-	13 (44.8%)	-
卸売業、小売業	73 (100.0%)	3 (4.1%)	23 (31.5%)	9 (12.3%)	1 (1.4%)	35 (47.9%)	2 (2.7%)
金融、保険業	8 (100.0%)	2 (25.0%)	4 (50.0%)	-	-	2 (25.0%)	-
不動産業、物品賃貸業	13 (100.0%)	-	2 (15.4%)	3 (23.1%)	-	8 (61.5%)	-
学術研究、専門・技術サービス業	9 (100.0%)	1 (11.1%)	5 (55.6%)	-	1 (11.1%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)
宿泊業、飲食サービス業	24 (100.0%)	1 (4.2%)	10 (41.7%)	4 (16.7%)	-	9 (37.5%)	-
生活関連サービス業、娯楽業	3 (100.0%)	-	2 (66.7%)	1 (33.3%)	-	-	-
教育、学習支援業	22 (100.0%)	2 (9.1%)	13 (59.1%)	2 (9.1%)	-	5 (22.7%)	-
医療、福祉	122 (100.0%)	7 (5.7%)	48 (39.3%)	13 (10.7%)	2 (1.6%)	51 (41.8%)	1 (0.8%)
複合サービス業	1 (100.0%)	-	1 (100.0%)	-	-	-	-
サービス業	49 (100.0%)	6 (12.2%)	11 (22.4%)	4 (8.2%)	2 (4.1%)	22 (44.9%)	4 (8.2%)
その他	42 (100.0%)	4 (9.5%)	14 (33.3%)	2 (4.8%)	2 (4.8%)	16 (38.1%)	4 (9.5%)
無回答	47 (100.0%)	-	15 (31.9%)	7 (14.9%)	2 (4.3%)	13 (27.7%)	10 (21.3%)

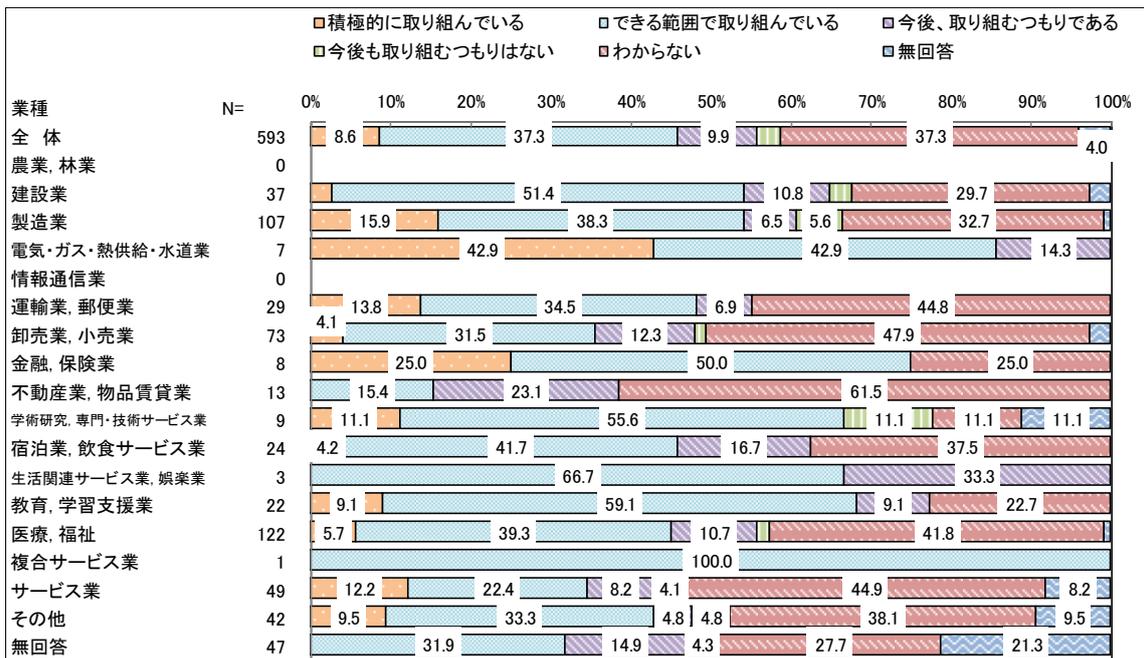
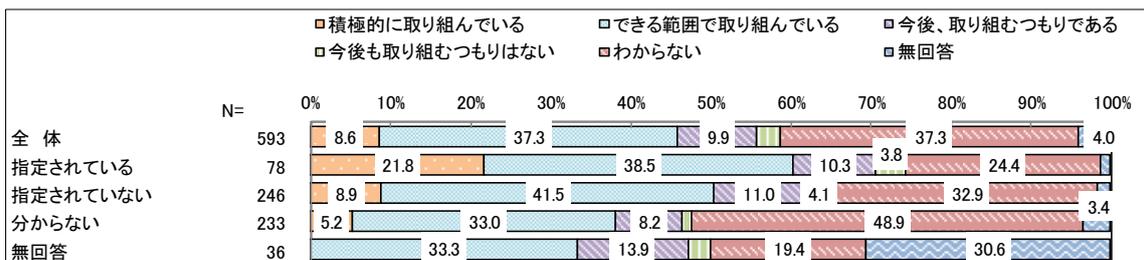


図 地域におけるまちの美化活動・ごみ減量活動への取組

- 大規模指定事業所別にみると、指定されている事業所では「積極的に取り組んでいる」が21.8%と高くなっている。
- 大規模指定事業所においては、地域におけるまちの美化活動やごみ減量活動に積極的に取り組む意向が強く、企業の社会的責任を果たすという意識が強いことが示唆された。

	全体	積極的に取り組んでいる	できる範囲で取り組んでいる	今後、取り組むつもりである	今後もし取り組むつもりはない	わからない	無回答
全体	593 (100.0%)	51 (8.6%)	221 (37.3%)	59 (9.9%)	17 (2.9%)	221 (37.3%)	24 (4.0%)
事業用大規模建築物に指定されている	78 (100.0%)	17 (21.8%)	30 (38.5%)	8 (10.3%)	3 (3.8%)	19 (24.4%)	1 (1.3%)
事業用大規模建築物に指定されていない	246 (100.0%)	22 (8.9%)	102 (41.5%)	27 (11.0%)	10 (4.1%)	81 (32.9%)	4 (1.6%)
分からない	233 (100.0%)	12 (5.2%)	77 (33.0%)	19 (8.2%)	3 (1.3%)	114 (48.9%)	8 (3.4%)
無回答	36 (100.0%)	-	12 (33.3%)	5 (13.9%)	1 (2.8%)	7 (19.4%)	11 (30.6%)



### 3. 市のごみ行政について

#### (1) 3種類の排出方法があるのを知っているか（複数回答）

- 3種類の事業系一般廃棄物の排出方法があることへの認知について、市全体でみると「許可業者への委託」が73.0%と最も高く、次いで「直接搬入」が49.2%、「継続ごみ」が41.8%となっている。
- 業種別にみると、『宿泊業、飲食サービス業』は、10件以上回答のあった業種のなかで「いずれも知らなかった」が29.2%と最も高くなっている。
- 前回調査と比較すると、全体的に同様の結果となっている。

	全体	継続ごみ	許可業者への委託	直接搬入	いずれも知らなかった	無回答	合計回答数
全体	593	248 (41.8%)	433 (73.0%)	292 (49.2%)	92 (15.5%)	26 (4.4%)	1,091
農業、林業	-	-	-	-	-	-	-
建設業	37	20 (54.1%)	33 (89.2%)	25 (67.6%)	2 (5.4%)	-	80
製造業	107	45 (42.1%)	89 (83.2%)	61 (57.0%)	13 (12.1%)	1 (0.9%)	209
電気・ガス・熱供給・水道業	7	2 (28.6%)	5 (71.4%)	4 (57.1%)	2 (28.6%)	-	13
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-
運輸業、郵便業	29	11 (37.9%)	24 (82.8%)	19 (65.5%)	2 (6.9%)	-	56
卸売業、小売業	73	25 (34.2%)	46 (63.0%)	30 (41.1%)	17 (23.3%)	2 (2.7%)	120
金融、保険業	8	2 (25.0%)	4 (50.0%)	4 (50.0%)	3 (37.5%)	-	13
不動産業、物品賃貸業	13	7 (53.8%)	9 (69.2%)	5 (38.5%)	1 (7.7%)	-	22
学術研究、専門・技術サービス業	9	1 (11.1%)	7 (77.8%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	12
宿泊業、飲食サービス業	24	8 (33.3%)	16 (66.7%)	6 (25.0%)	7 (29.2%)	1 (4.2%)	38
生活関連サービス業、娯楽業	3	2 (66.7%)	2 (66.7%)	2 (66.7%)	-	-	6
教育、学習支援業	22	13 (59.1%)	17 (77.3%)	15 (68.2%)	3 (13.6%)	-	48
医療、福祉	122	65 (53.3%)	94 (77.0%)	67 (54.9%)	19 (15.6%)	1 (0.8%)	246
複合サービス業	1	1 (100.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	-	-	3
サービス業	49	17 (34.7%)	34 (69.4%)	21 (42.9%)	7 (14.3%)	4 (8.2%)	83
その他	42	14 (33.3%)	29 (69.0%)	18 (42.9%)	6 (14.3%)	6 (14.3%)	73
無回答	47	15 (31.9%)	23 (48.9%)	12 (25.5%)	9 (19.1%)	10 (21.3%)	69

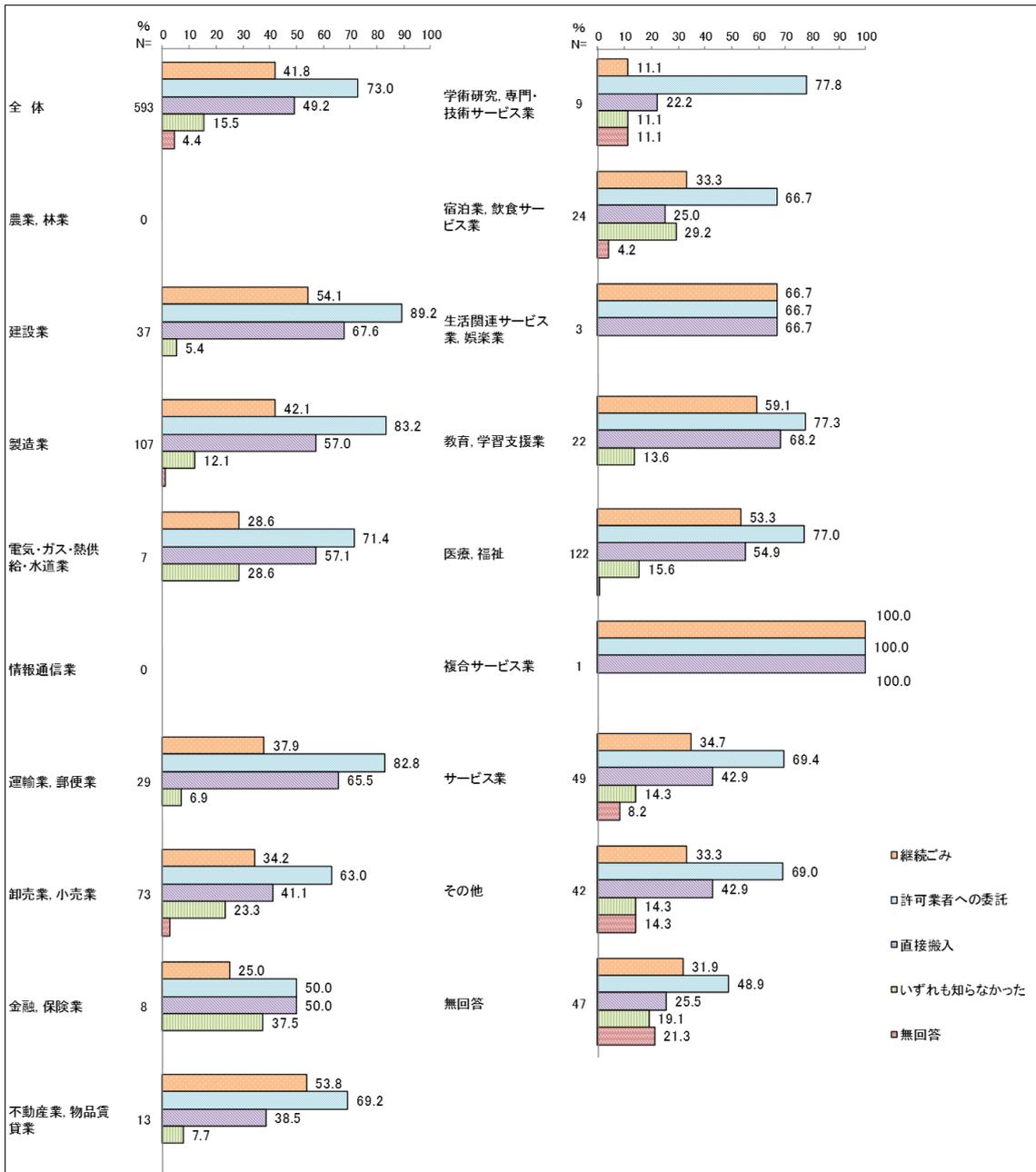
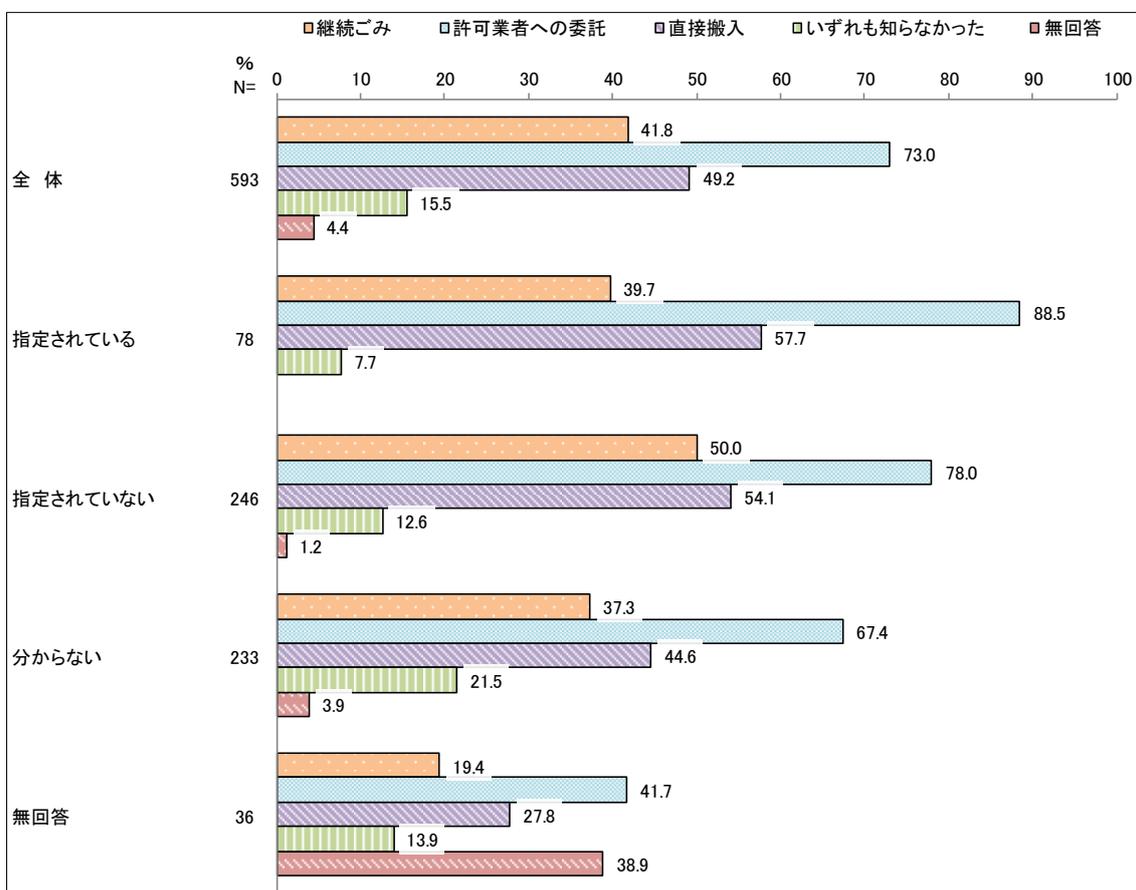


図 3 種類の排出方法があるのを知っているか

- 大規模指定事業所別にみると、指定されている事業所では「いずれも知らなかった」が7.7%と低くなっている。

	全体	継続ごみ	許可業者への委託	直接搬入	いずれも知らなかった	無回答	合計回答数
全体	593	248 (41.8%)	433 (73.0%)	292 (49.2%)	92 (15.5%)	26 (4.4%)	1,091
事業用大規模建築物に指定されている	78	31 (39.7%)	69 (88.5%)	45 (57.7%)	6 (7.7%)	-	151
事業用大規模建築物に指定されていない	246	123 (50.0%)	192 (78.0%)	133 (54.1%)	31 (12.6%)	3 (1.2%)	482
分からない	233	87 (37.3%)	157 (67.4%)	104 (44.6%)	50 (21.5%)	9 (3.9%)	407
無回答	36	7 (19.4%)	15 (41.7%)	10 (27.8%)	5 (13.9%)	14 (38.9%)	51



(2) 許可業者の費用に市に支払う処理手数料が含まれることを知っているか

- 許可業者に支払う委託費用に市の処理施設での処理手数料が含まれていることについて、市全体でみると「知らなかった」が58.7%で「知っている」が37.4%となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。
- 業種別にみると、『建設業』は10件以上回答のあった業種のなかで唯一、「知っている」が「知らなかった」を上回っている。

	全体	知っている	知らなかった	無回答
全体	593 (100.0%)	222 (37.4%)	348 (58.7%)	23 (3.9%)
農業, 林業	- -	- -	- -	- -
建設業	37 (100.0%)	22 (59.5%)	15 (40.5%)	- -
製造業	107 (100.0%)	42 (39.3%)	64 (59.8%)	1 (0.9%)
電気・ガス・ 熱供給・水道業	7 (100.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)	- -
情報通信業	- -	- -	- -	- -
運輸業, 郵便業	29 (100.0%)	10 (34.5%)	19 (65.5%)	- -
卸売業, 小売業	73 (100.0%)	25 (34.2%)	45 (61.6%)	3 (4.1%)
金融, 保険業	8 (100.0%)	4 (50.0%)	4 (50.0%)	- -
不動産業, 物品賃貸業	13 (100.0%)	6 (46.2%)	7 (53.8%)	- -
学術研究, 専門・ 技術サービス業	9 (100.0%)	2 (22.2%)	6 (66.7%)	1 (11.1%)
宿泊業, 飲食 サービス業	24 (100.0%)	8 (33.3%)	16 (66.7%)	- -
生活関連サービ ス業, 娯楽業	3 (100.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	- -
教育, 学習支援業	22 (100.0%)	6 (27.3%)	16 (72.7%)	- -
医療, 福祉	122 (100.0%)	46 (37.7%)	76 (62.3%)	- -
複合 サービス業	1 (100.0%)	1 (100.0%)	- -	- -
サービス業	49 (100.0%)	18 (36.7%)	27 (55.1%)	4 (8.2%)
その他	42 (100.0%)	13 (31.0%)	26 (61.9%)	3 (7.1%)
無回答	47 (100.0%)	13 (27.7%)	23 (48.9%)	11 (23.4%)

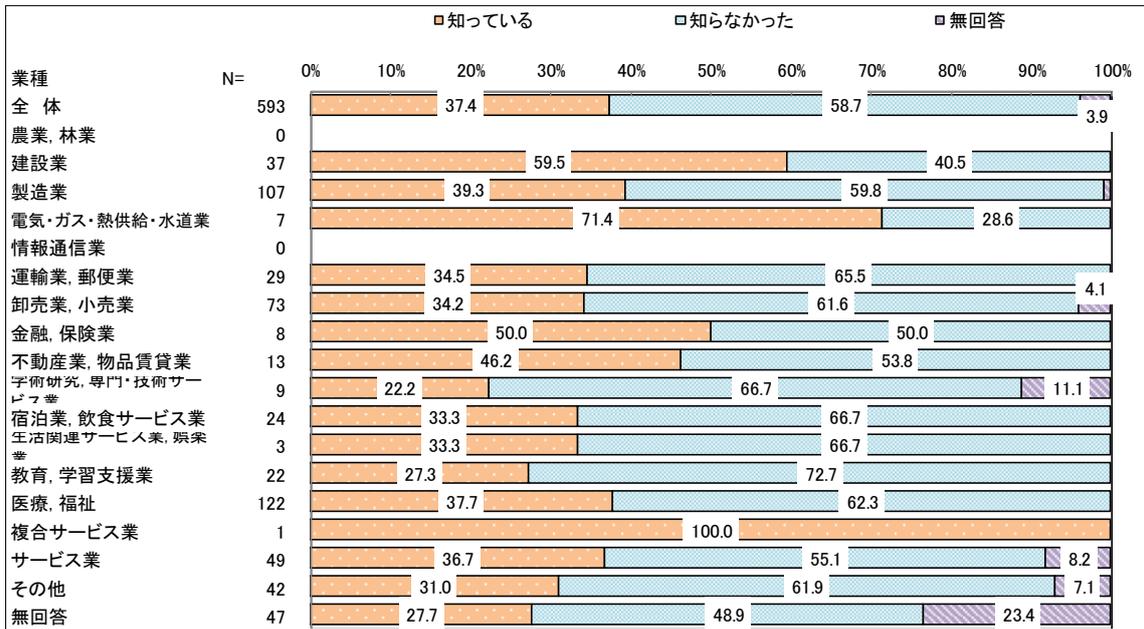
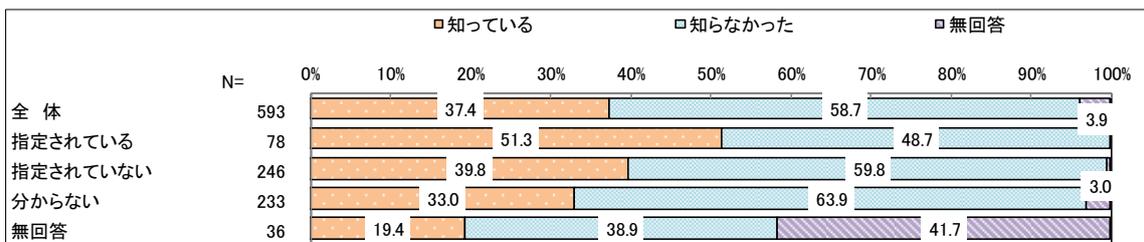


図 許可業者の費用に市に支払う処理手数料が含まれることを知っているか

- 大規模指定事業所別にみると、指定されている事業所のみ「知っている」が「知らなかった」を上回っている。
- 処理手数料に関する認知が低い要因として、処理手数料は許可業者から市へ直接支払われるためであると考えられる。

	全体	知っている	知らなかった	無回答
全体	593 (100.0%)	222 (37.4%)	348 (58.7%)	23 (3.9%)
事業用大規模建築物に指定されている	78 (100.0%)	40 (51.3%)	38 (48.7%)	-
事業用大規模建築物に指定されていない	246 (100.0%)	98 (39.8%)	147 (59.8%)	1 (0.4%)
分からない	233 (100.0%)	77 (33.0%)	149 (63.9%)	7 (3.0%)
無回答	36 (100.0%)	7 (19.4%)	14 (38.9%)	15 (41.7%)



(3) 「事業系古紙回収協力事業所制度」を知っているか

- 「事業系古紙回収協力事業所制度」について、市全体でみると「知らなかった」が83.3%、「知っている」が13.0%となっている。
- 業種別にみると、大きな違いは見られなかった。
- 平成30年4月に開始した制度であり、「知らなかった」が8割を超えており、今後更なる周知の必要があると考えられる。

	全体	知っている	知らなかった	無回答
全体	593 (100.0%)	77 (13.0%)	494 (83.3%)	22 (3.7%)
農業, 林業	- -	- -	- -	- -
建設業	37 (100.0%)	6 (16.2%)	31 (83.8%)	- -
製造業	107 (100.0%)	22 (20.6%)	83 (77.6%)	2 (1.9%)
電気・ガス・ 熱供給・水道業	7 (100.0%)	1 (14.3%)	5 (71.4%)	1 (14.3%)
情報通信業	- -	- -	- -	- -
運輸業, 郵便業	29 (100.0%)	6 (20.7%)	23 (79.3%)	- -
卸売業, 小売業	73 (100.0%)	10 (13.7%)	61 (83.6%)	2 (2.7%)
金融, 保険業	8 (100.0%)	1 (12.5%)	7 (87.5%)	- -
不動産業, 物品賃貸業	13 (100.0%)	- -	13 (100.0%)	- -
学術研究, 専門・ 技術サービス業	9 (100.0%)	- -	8 (88.9%)	1 (11.1%)
宿泊業, 飲食 サービス業	24 (100.0%)	5 (20.8%)	19 (79.2%)	- -
生活関連サービ ス業, 娯楽業	3 (100.0%)	- -	3 (100.0%)	- -
教育, 学習支援業	22 (100.0%)	3 (13.6%)	19 (86.4%)	- -
医療, 福祉	122 (100.0%)	8 (6.6%)	114 (93.4%)	- -
複合 サービス業	1 (100.0%)	- -	1 (100.0%)	- -
サービス業	49 (100.0%)	6 (12.2%)	39 (79.6%)	4 (8.2%)
その他	42 (100.0%)	4 (9.5%)	36 (85.7%)	2 (4.8%)
無回答	47 (100.0%)	5 (10.6%)	32 (68.1%)	10 (21.3%)

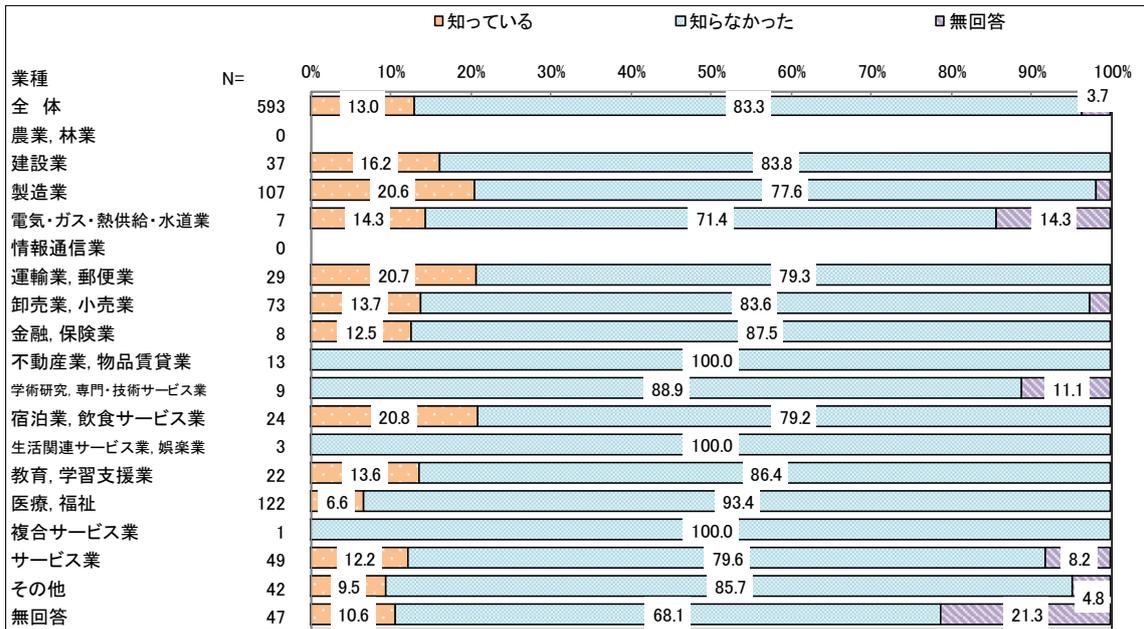
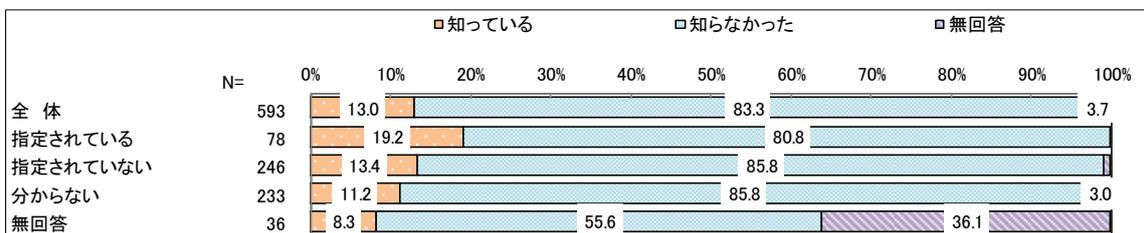


図 「事業系古紙回収協力事業所制度」を知っているか

○ 大規模指定事業所別にみると、大きな違いは見られなかった。

	全体	知っている	知らなかった	無回答
全体	593 (100.0%)	77 (13.0%)	494 (83.3%)	22 (3.7%)
事業用大規模建築物に 指定されている	78 (100.0%)	15 (19.2%)	63 (80.8%)	-
事業用大規模建築物に 指定されていない	246 (100.0%)	33 (13.4%)	211 (85.8%)	2 (0.8%)
分からない	233 (100.0%)	26 (11.2%)	200 (85.8%)	7 (3.0%)
無回答	36 (100.0%)	3 (8.3%)	20 (55.6%)	13 (36.1%)



#### (4) 事業用大規模建築物を所有する事業者への制度

##### ① 制度の有無

- 事業用大規模建築物を所有する事業者への制度について、「知っている」が26.3%となっており、前回調査(23.2%)よりわずかに高くなっている。
- 業種別にみると、『製造業』は10件以上回答のあった業種のなかで唯一「知っている」が45.8%と4割を上回っている。

	全体	知っている	知らなかった	無回答
全体	593 (100.0%)	156 (26.3%)	411 (69.3%)	26 (4.4%)
農業, 林業	- -	- -	- -	- -
建設業	37 (100.0%)	13 (35.1%)	24 (64.9%)	- -
製造業	107 (100.0%)	49 (45.8%)	57 (53.3%)	1 (0.9%)
電気・ガス・ 熱供給・水道業	7 (100.0%)	3 (42.9%)	4 (57.1%)	- -
情報通信業	- -	- -	- -	- -
運輸業, 郵便業	29 (100.0%)	8 (27.6%)	21 (72.4%)	- -
卸売業, 小売業	73 (100.0%)	19 (26.0%)	49 (67.1%)	5 (6.8%)
金融, 保険業	8 (100.0%)	3 (37.5%)	4 (50.0%)	1 (12.5%)
不動産業, 物品賃貸業	13 (100.0%)	3 (23.1%)	10 (76.9%)	- -
学術研究, 専門・ 技術サービス業	9 (100.0%)	- -	8 (88.9%)	1 (11.1%)
宿泊業, 飲食 サービス業	24 (100.0%)	2 (8.3%)	22 (91.7%)	- -
生活関連サービ ス業, 娯楽業	3 (100.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	- -
教育, 学習支援業	22 (100.0%)	5 (22.7%)	17 (77.3%)	- -
医療, 福祉	122 (100.0%)	25 (20.5%)	97 (79.5%)	- -
複合 サービス業	1 (100.0%)	- -	1 (100.0%)	- -
サービス業	49 (100.0%)	7 (14.3%)	38 (77.6%)	4 (8.2%)
その他	42 (100.0%)	10 (23.8%)	28 (66.7%)	4 (9.5%)
無回答	47 (100.0%)	7 (14.9%)	30 (63.8%)	10 (21.3%)

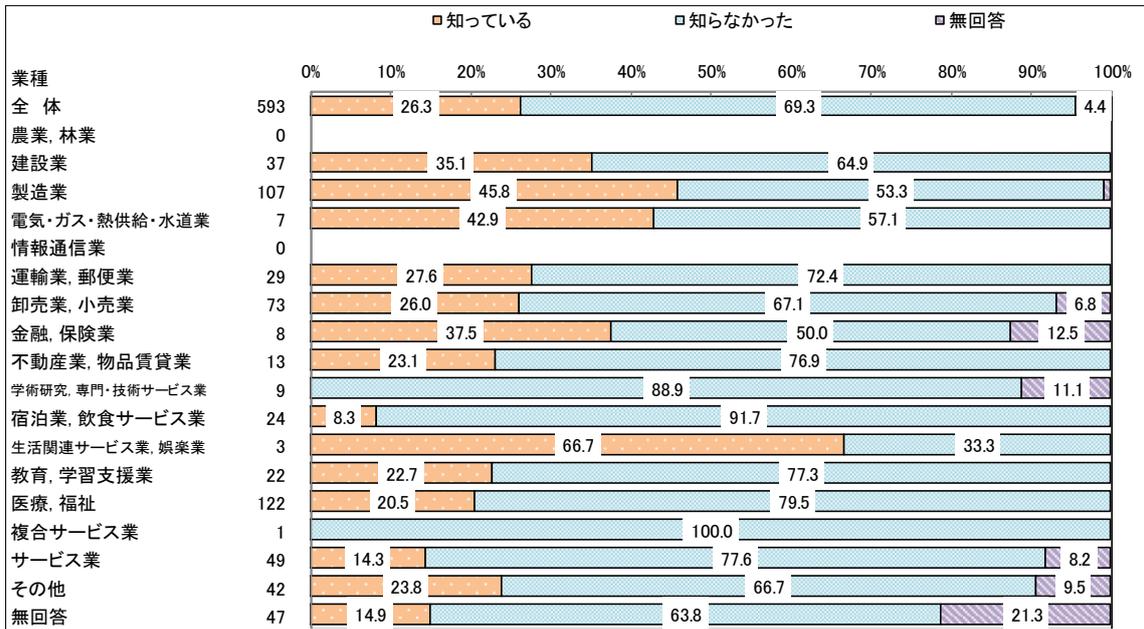
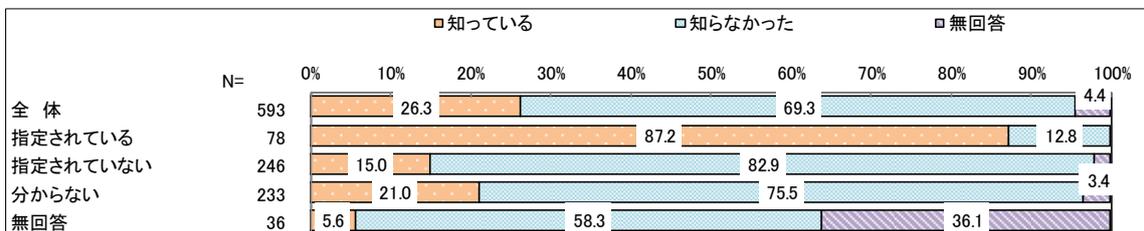


図 制度の有無

○ 大規模指定事業所別にみると、指定されている事業所では「知っている」が「知らなかった」を大きく上回っている。

	全体	知っている	知らなかった	無回答
全体	593 (100.0%)	156 (26.3%)	411 (69.3%)	26 (4.4%)
事業用大規模建築物に 指定されている	78 (100.0%)	68 (87.2%)	10 (12.8%)	-
事業用大規模建築物に 指定されていない	246 (100.0%)	37 (15.0%)	204 (82.9%)	5 (2.0%)
分からない	233 (100.0%)	49 (21.0%)	176 (75.5%)	8 (3.4%)
無回答	36 (100.0%)	2 (5.6%)	21 (58.3%)	13 (36.1%)



② 今後、この制度をどう考えるか

- 今後、この制度をどう考えるかについて、市全体で見ると「わからない」が47.6%と最も高く、次いで「現状のまま進めていくべき」が33.6%となっている。
- 業種別にみると、ほぼすべての業種で「推進・拡充すべき」が「廃止又は縮小すべき」を上回っている。
- 前回調査と比較すると、全体的に同様の結果となっている。

	全体	推進・拡充 すべき	現状のまま 進めていく べき	廃止又は縮 小すべき	わからない	無回答
全体	593 (100.0%)	67 (11.3%)	199 (33.6%)	17 (2.9%)	282 (47.6%)	28 (4.7%)
農業, 林業	- -	- -	- -	- -	- -	- -
建設業	37 (100.0%)	7 (18.9%)	20 (54.1%)	1 (2.7%)	9 (24.3%)	- -
製造業	107 (100.0%)	13 (12.1%)	39 (36.4%)	7 (6.5%)	47 (43.9%)	1 (0.9%)
電気・ガス・ 熱供給・水道業	7 (100.0%)	1 (14.3%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	- -
情報通信業	- -	- -	- -	- -	- -	- -
運輸業, 郵便業	29 (100.0%)	4 (13.8%)	9 (31.0%)	- -	16 (55.2%)	- -
卸売業, 小売業	73 (100.0%)	12 (16.4%)	19 (26.0%)	2 (2.7%)	36 (49.3%)	4 (5.5%)
金融, 保険業	8 (100.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)
不動産業, 物品賃貸業	13 (100.0%)	- -	5 (38.5%)	1 (7.7%)	7 (53.8%)	- -
学術研究, 専門・ 技術サービス業	9 (100.0%)	- -	- -	- -	8 (88.9%)	1 (11.1%)
宿泊業, 飲食 サービス業	24 (100.0%)	- -	5 (20.8%)	- -	16 (66.7%)	3 (12.5%)
生活関連サービ ス業, 娯楽業	3 (100.0%)	- -	2 (66.7%)	- -	1 (33.3%)	- -
教育, 学習支援業	22 (100.0%)	1 (4.5%)	11 (50.0%)	- -	10 (45.5%)	- -
医療, 福祉	122 (100.0%)	9 (7.4%)	39 (32.0%)	1 (0.8%)	73 (59.8%)	- -
複合 サービス業	1 (100.0%)	- -	- -	- -	1 (100.0%)	- -
サービス業	49 (100.0%)	7 (14.3%)	14 (28.6%)	1 (2.0%)	23 (46.9%)	4 (8.2%)
その他	42 (100.0%)	4 (9.5%)	12 (28.6%)	- -	22 (52.4%)	4 (9.5%)
無回答	47 (100.0%)	7 (14.9%)	20 (42.6%)	2 (4.3%)	8 (17.0%)	10 (21.3%)

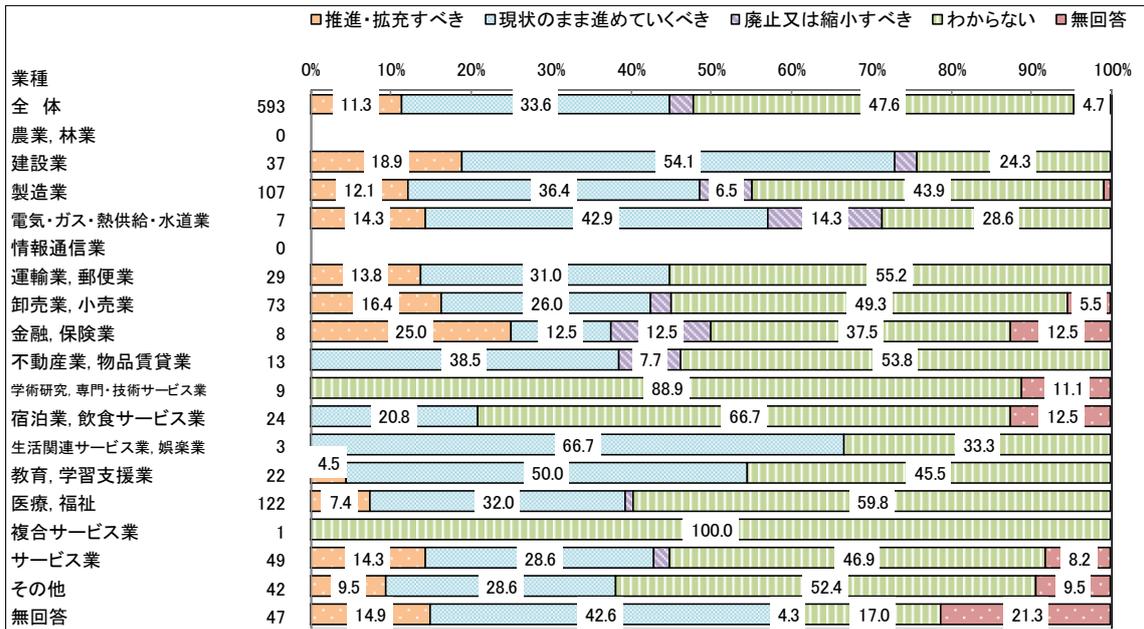
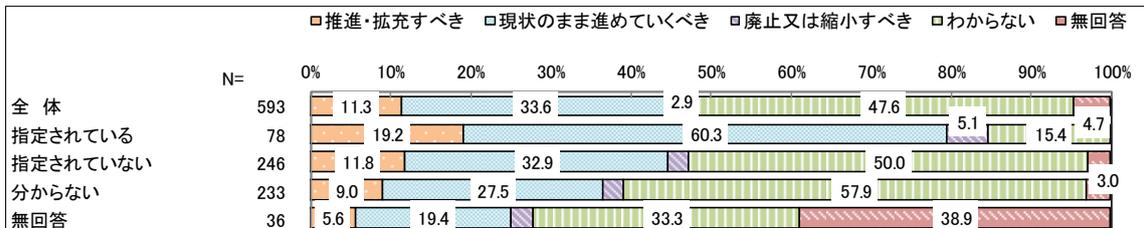


図 今後、この制度をどう考えるか

- 大規模指定事業所別にみると、指定されている事業所では「推進・拡充すべき」と「現状のまま進めていくべき」を合わせた肯定的な意見が79.5%と大部分を占めており、今後とも制度を推進することが望まれる。

	全体	推進・拡充すべき	現状のまま進めていくべき	廃止又は縮小すべき	わからない	無回答
全体	593 (100.0%)	67 (11.3%)	199 (33.6%)	17 (2.9%)	282 (47.6%)	28 (4.7%)
事業用大規模建築物に指定されている	78 (100.0%)	15 (19.2%)	47 (60.3%)	4 (5.1%)	12 (15.4%)	-
事業用大規模建築物に指定されていない	246 (100.0%)	29 (11.8%)	81 (32.9%)	6 (2.4%)	123 (50.0%)	7 (2.8%)
分からない	233 (100.0%)	21 (9.0%)	64 (27.5%)	6 (2.6%)	135 (57.9%)	7 (3.0%)
無回答	36 (100.0%)	2 (5.6%)	7 (19.4%)	1 (2.8%)	12 (33.3%)	14 (38.9%)



#### 4. 今後のごみ処理行政について

##### (1) 清掃工場に搬入される資源化可能な資源物の分別協力

- 資源化が可能な資源物の分別協力について、市全体でみると「できる限り資源物は分別するなど、リサイクルに協力したい」と「資源物の回収料金が清掃工場への持ち込み料金より安い場合は、分別してリサイクルに協力したい」を合わせた割合が89.0%を占めており、前回調査（85.4%）を上回っていることから、事業所のリサイクル意識の向上がみられる。
- 業種別にみると、『宿泊業，飲食サービス業』のみ「分別はできない」が1割を上回っている。

	全体	できる限り資源物は分別するなど、リサイクルに協力したい	資源物の回収料金が清掃工場への持ち込み料金より安い場合は、分別してリサイクルに協力したい	分別はできない	無回答
全体	593 (100.0%)	418 (70.5%)	110 (18.5%)	31 (5.2%)	34 (5.7%)
農業，林業	-	-	-	-	-
建設業	37 (100.0%)	30 (81.1%)	6 (16.2%)	-	1 (2.7%)
製造業	107 (100.0%)	78 (72.9%)	24 (22.4%)	3 (2.8%)	2 (1.9%)
電気・ガス・熱供給・水道業	7 (100.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)	-	-
情報通信業	-	-	-	-	-
運輸業，郵便業	29 (100.0%)	20 (69.0%)	7 (24.1%)	2 (6.9%)	-
卸売業，小売業	73 (100.0%)	57 (78.1%)	12 (16.4%)	2 (2.7%)	2 (2.7%)
金融，保険業	8 (100.0%)	7 (87.5%)	1 (12.5%)	-	-
不動産業，物品賃貸業	13 (100.0%)	9 (69.2%)	4 (30.8%)	-	-
学術研究，専門・技術サービス業	9 (100.0%)	8 (88.9%)	1 (11.1%)	-	-
宿泊業，飲食サービス業	24 (100.0%)	13 (54.2%)	5 (20.8%)	4 (16.7%)	2 (8.3%)
生活関連サービス業，娯楽業	3 (100.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	-	-
教育，学習支援業	22 (100.0%)	19 (86.4%)	3 (13.6%)	-	-
医療，福祉	122 (100.0%)	84 (68.9%)	22 (18.0%)	12 (9.8%)	4 (3.3%)
複合サービス業	1 (100.0%)	-	1 (100.0%)	-	-
サービス業	49 (100.0%)	33 (67.3%)	9 (18.4%)	4 (8.2%)	3 (6.1%)
その他	42 (100.0%)	27 (64.3%)	5 (11.9%)	3 (7.1%)	7 (16.7%)
無回答	47 (100.0%)	26 (55.3%)	7 (14.9%)	1 (2.1%)	13 (27.7%)

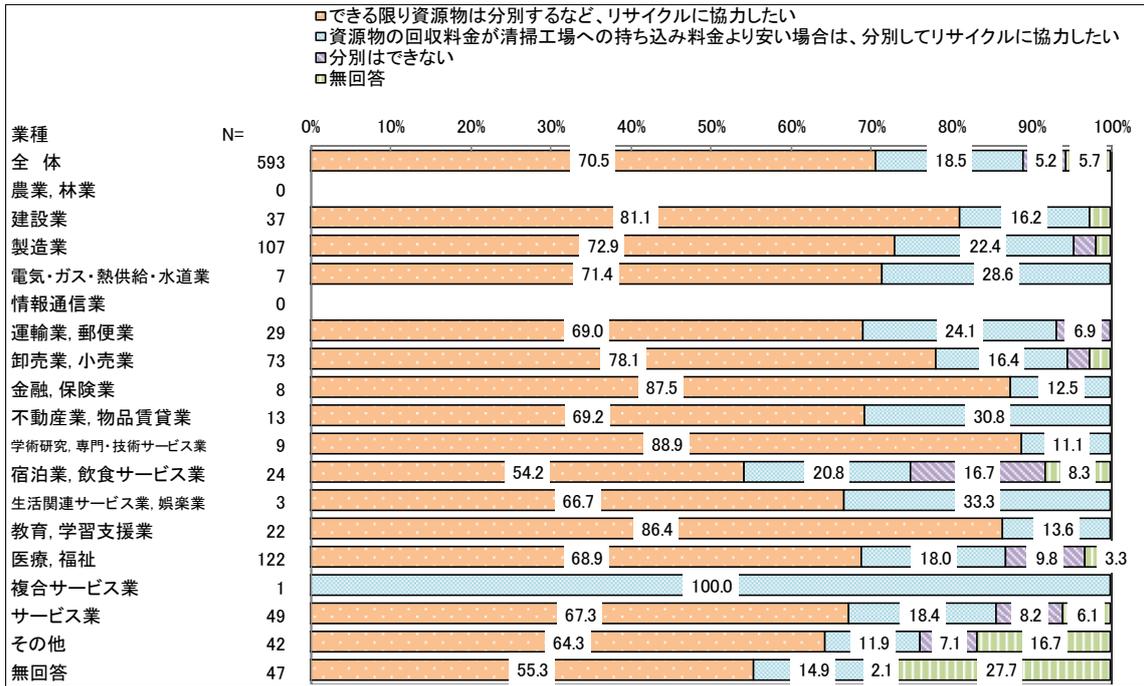
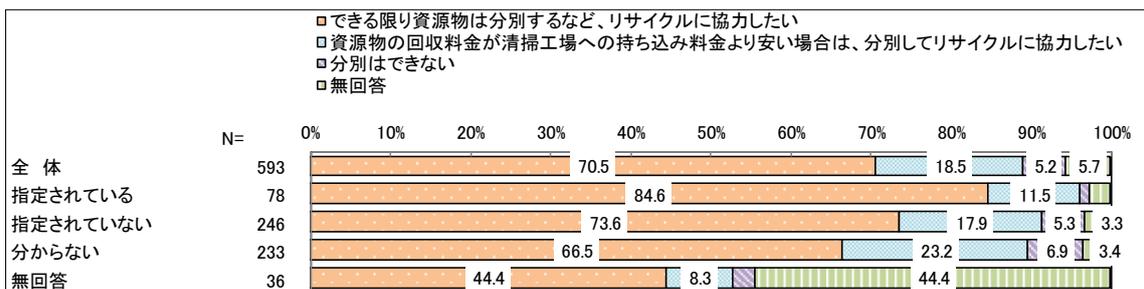


図 清掃工場に搬入される資源化可能な資源物の分別協力

- 大規模指定事業所別にみると、大きな違いは見られなかった。
- 条件付きを含めてリサイクルへの協力意向は高く、安価な料金を事業系一般廃棄物の資源物の分別収集が行われれば、リサイクルの推進が期待できると考えられる。

	全体	できる限り資源物は分別するなど、リサイクルに協力したい	資源物の回収料金が清掃工場への持ち込み料金より安い場合は、分別してリサイクルに協力したい	分別はできない	無回答
全体	593 (100.0%)	418 (70.5%)	110 (18.5%)	31 (5.2%)	34 (5.7%)
事業用大規模建築物に指定されている	78 (100.0%)	66 (84.6%)	9 (11.5%)	1 (1.3%)	2 (2.6%)
事業用大規模建築物に指定されていない	246 (100.0%)	181 (73.6%)	44 (17.9%)	13 (5.3%)	8 (3.3%)
分からない	233 (100.0%)	155 (66.5%)	54 (23.2%)	16 (6.9%)	8 (3.4%)
無回答	36 (100.0%)	16 (44.4%)	3 (8.3%)	1 (2.8%)	16 (44.4%)



## (2) 生ごみの減量化・リサイクルについて

- 生ごみの減量化・リサイクルについては、市全体でみると「多少費用や手間がかかっても取り組みたい」と「現在のごみ処理費より安く済むなどのメリットがあれば取り組みたい」を合わせた割合が76.2%を占めており、前回調査(70.2%)より高くなっている。
- 生ごみの排出が多い『宿泊業、飲食サービス業』では、「現在のごみ処理費より安く済むなどのメリットがあれば取り組みたい」が66.7%、「生ごみの減量化・リサイクルはできない」が20.8%となっている。
- 生ごみの減量化・リサイクルについては、その実施に対しては経済的インセンティブが占める割合が高いことがうかがえる。

	全体	多少費用や手間がかかっても取り組みたい	現在のごみ処理費より安く済むなどのメリットがあれば取り組みたい	生ごみの減量化・リサイクルはできない	無回答
全体	593 (100.0%)	97 (16.4%)	355 (59.9%)	93 (15.7%)	48 (8.1%)
農業、林業	- -	- -	- -	- -	- -
建設業	37 (100.0%)	8 (21.6%)	19 (51.4%)	9 (24.3%)	1 (2.7%)
製造業	107 (100.0%)	11 (10.3%)	71 (66.4%)	20 (18.7%)	5 (4.7%)
電気・ガス・熱供給・水道業	7 (100.0%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	- -
情報通信業	- -	- -	- -	- -	- -
運輸業、郵便業	29 (100.0%)	10 (34.5%)	14 (48.3%)	5 (17.2%)	- -
卸売業、小売業	73 (100.0%)	13 (17.8%)	47 (64.4%)	7 (9.6%)	6 (8.2%)
金融、保険業	8 (100.0%)	2 (25.0%)	4 (50.0%)	2 (25.0%)	- -
不動産業、物品賃貸業	13 (100.0%)	2 (15.4%)	9 (69.2%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)
学術研究、専門・技術サービス業	9 (100.0%)	2 (22.2%)	6 (66.7%)	1 (11.1%)	- -
宿泊業、飲食サービス業	24 (100.0%)	2 (8.3%)	16 (66.7%)	5 (20.8%)	1 (4.2%)
生活関連サービス業、娯楽業	3 (100.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	- -	- -
教育、学習支援業	22 (100.0%)	4 (18.2%)	12 (54.5%)	4 (18.2%)	2 (9.1%)
医療、福祉	122 (100.0%)	18 (14.8%)	75 (61.5%)	23 (18.9%)	6 (4.9%)
複合サービス業	1 (100.0%)	- -	1 (100.0%)	- -	- -
サービス業	49 (100.0%)	8 (16.3%)	29 (59.2%)	8 (16.3%)	4 (8.2%)
その他	42 (100.0%)	6 (14.3%)	24 (57.1%)	3 (7.1%)	9 (21.4%)
無回答	47 (100.0%)	7 (14.9%)	23 (48.9%)	4 (8.5%)	13 (27.7%)

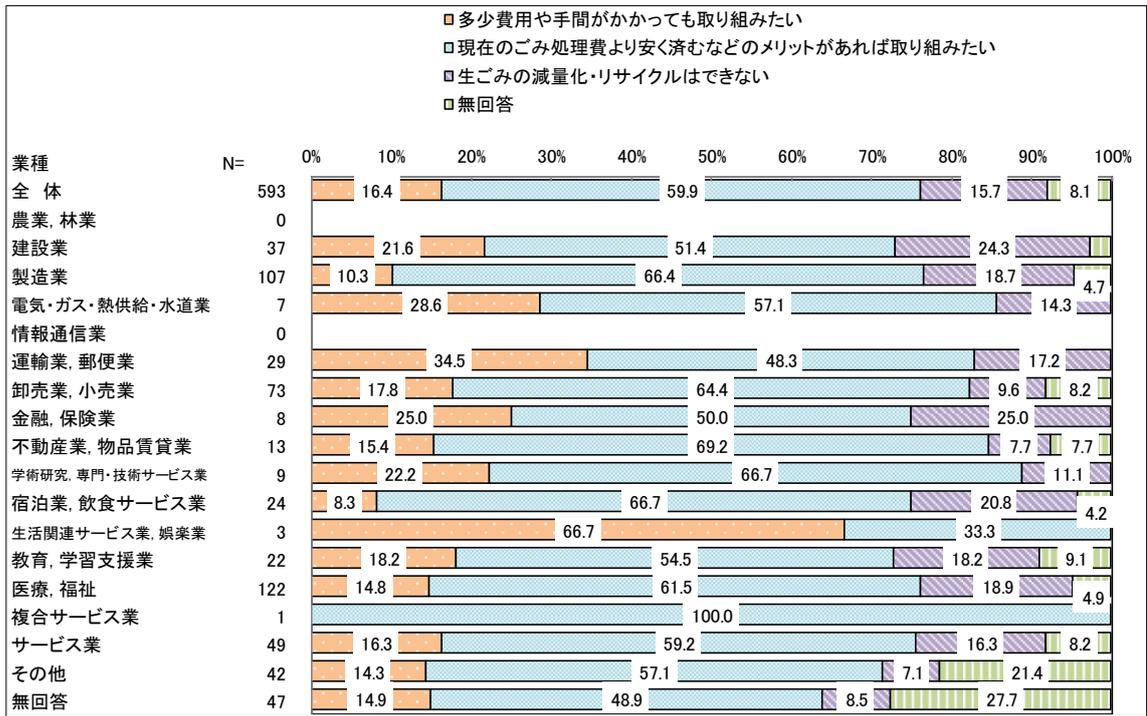
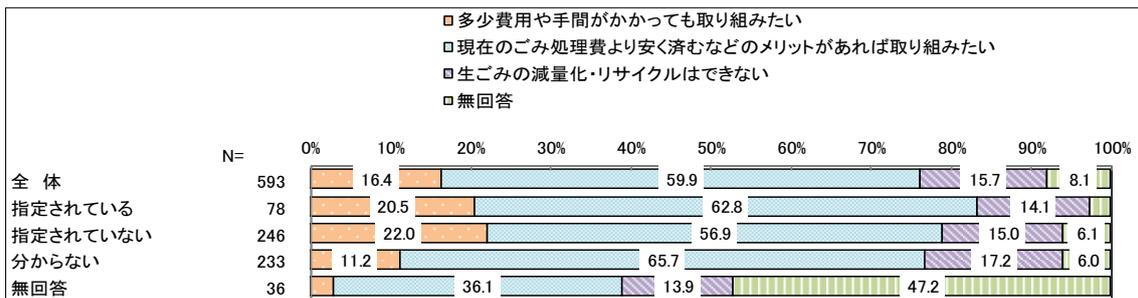


図 生ごみの減量化・リサイクルについて

- 大規模指定事業所別にみると、大きな違いは見られなかった。
- 前述のとおり、食品ロス削減推進法案が、早ければ4月中に成立する見込みであり、今後、事業者の意識が大きく変わっていくことが想定される。

	全体	多少費用や手間がかかっても取り組みたい	現在のごみ処理費より安く済むなどのメリットがあれば取り組みたい	生ごみの減量化・リサイクルはできない	無回答
全体	593 (100.0%)	97 (16.4%)	355 (59.9%)	93 (15.7%)	48 (8.1%)
事業用大規模建築物に指定されている	78 (100.0%)	16 (20.5%)	49 (62.8%)	11 (14.1%)	2 (2.6%)
事業用大規模建築物に指定されていない	246 (100.0%)	54 (22.0%)	140 (56.9%)	37 (15.0%)	15 (6.1%)
分からない	233 (100.0%)	26 (11.2%)	153 (65.7%)	40 (17.2%)	14 (6.0%)
無回答	36 (100.0%)	1 (2.8%)	13 (36.1%)	5 (13.9%)	17 (47.2%)



### (3) 市に求める周知施策（複数回答）

- 市に求める周知施策については、市全体でみると「収集業者や処理業者に関する情報提供」が43.8%と最も高く、次いで「古紙類や缶・びん・ペットボトルなどの資源物のリサイクルルートの情報提供」が43.3%、「法律や条例等の規制に関する情報提供」が40.8%となっている。
- 前回調査と比較すると、全体的に同様の結果となっている。

	全体	法律や条例等の規制に関する情報提供	収集業者や処理業者に関する情報提供	ニュースレターの配信	講習会の開催	事業所への出前研修会や相談員等の派遣	優良事例の紹介	マニュアル等の情報提供	古紙類や缶・びん・ペットボトルなどの資源物のリサイクルルートの情報提供	その他	無回答	合計回答数
全体	593	242 (40.8%)	260 (43.8%)	87 (14.7%)	92 (15.5%)	62 (10.5%)	119 (20.1%)	112 (18.9%)	257 (43.3%)	22 (3.7%)	45 (7.6%)	1,298
農業、林業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	37	16 (43.2%)	18 (48.6%)	6 (16.2%)	2 (5.4%)	1 (2.7%)	5 (13.5%)	6 (16.2%)	15 (40.5%)	2 (5.4%)	1 (2.7%)	72
製造業	107	47 (43.9%)	56 (52.3%)	19 (17.8%)	23 (21.5%)	10 (9.3%)	31 (29.0%)	19 (17.8%)	47 (43.9%)	2 (1.9%)	4 (3.7%)	258
電気・ガス・熱供給・水道業	7	5 (71.4%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	-	-	19
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業、郵便業	29	13 (44.8%)	19 (65.5%)	4 (13.8%)	5 (17.2%)	-	3 (10.3%)	5 (17.2%)	13 (44.8%)	-	-	62
卸売業、小売業	73	30 (41.1%)	24 (32.9%)	6 (8.2%)	12 (16.4%)	8 (11.0%)	15 (20.5%)	8 (11.0%)	32 (43.8%)	4 (5.5%)	6 (8.2%)	145
金融、保険業	8	4 (50.0%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	2 (25.0%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	-	17
不動産業、物品賃貸業	13	5 (38.5%)	6 (46.2%)	2 (15.4%)	-	1 (7.7%)	2 (15.4%)	4 (30.8%)	7 (53.8%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	29
学術研究、専門・技術サービス業	9	6 (66.7%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	6 (66.7%)	1 (11.1%)	-	21
宿泊業、飲食サービス業	24	6 (25.0%)	10 (41.7%)	6 (25.0%)	2 (8.3%)	1 (4.2%)	4 (16.7%)	2 (8.3%)	8 (33.3%)	1 (4.2%)	2 (8.3%)	42
生活関連サービス業、娯楽業	3	-	2 (66.7%)	-	1 (33.3%)	-	1 (33.3%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	-	-	7
教育、学習支援業	22	8 (36.4%)	11 (50.0%)	5 (22.7%)	2 (9.1%)	4 (18.2%)	3 (13.6%)	5 (22.7%)	9 (40.9%)	-	-	47
医療、福祉	122	58 (47.5%)	56 (45.9%)	16 (13.1%)	22 (18.0%)	20 (16.4%)	25 (20.5%)	35 (28.7%)	63 (51.6%)	2 (1.6%)	4 (3.3%)	301
複合サービス業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1 (100.0%)	-	1
サービス業	49	16 (32.7%)	19 (38.8%)	10 (20.4%)	6 (12.2%)	5 (10.2%)	11 (22.4%)	7 (14.3%)	20 (40.8%)	4 (8.2%)	4 (8.2%)	102
その他	42	10 (23.8%)	12 (28.6%)	3 (7.1%)	4 (9.5%)	2 (4.8%)	9 (21.4%)	7 (16.7%)	18 (42.9%)	1 (2.4%)	9 (21.4%)	75
無回答	47	18 (38.3%)	20 (42.6%)	6 (12.8%)	9 (19.1%)	6 (12.8%)	5 (10.6%)	8 (17.0%)	12 (25.5%)	2 (4.3%)	14 (29.8%)	100

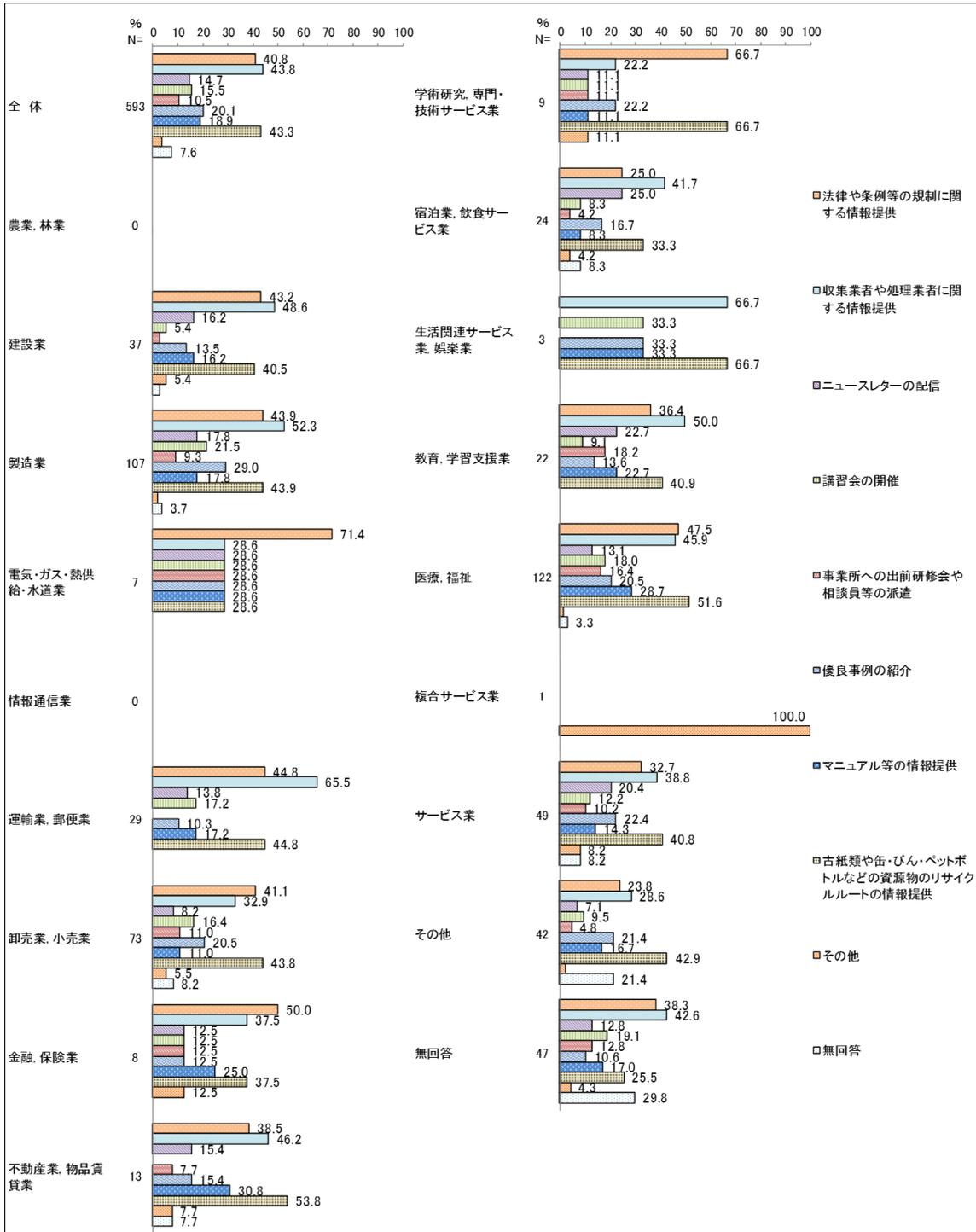
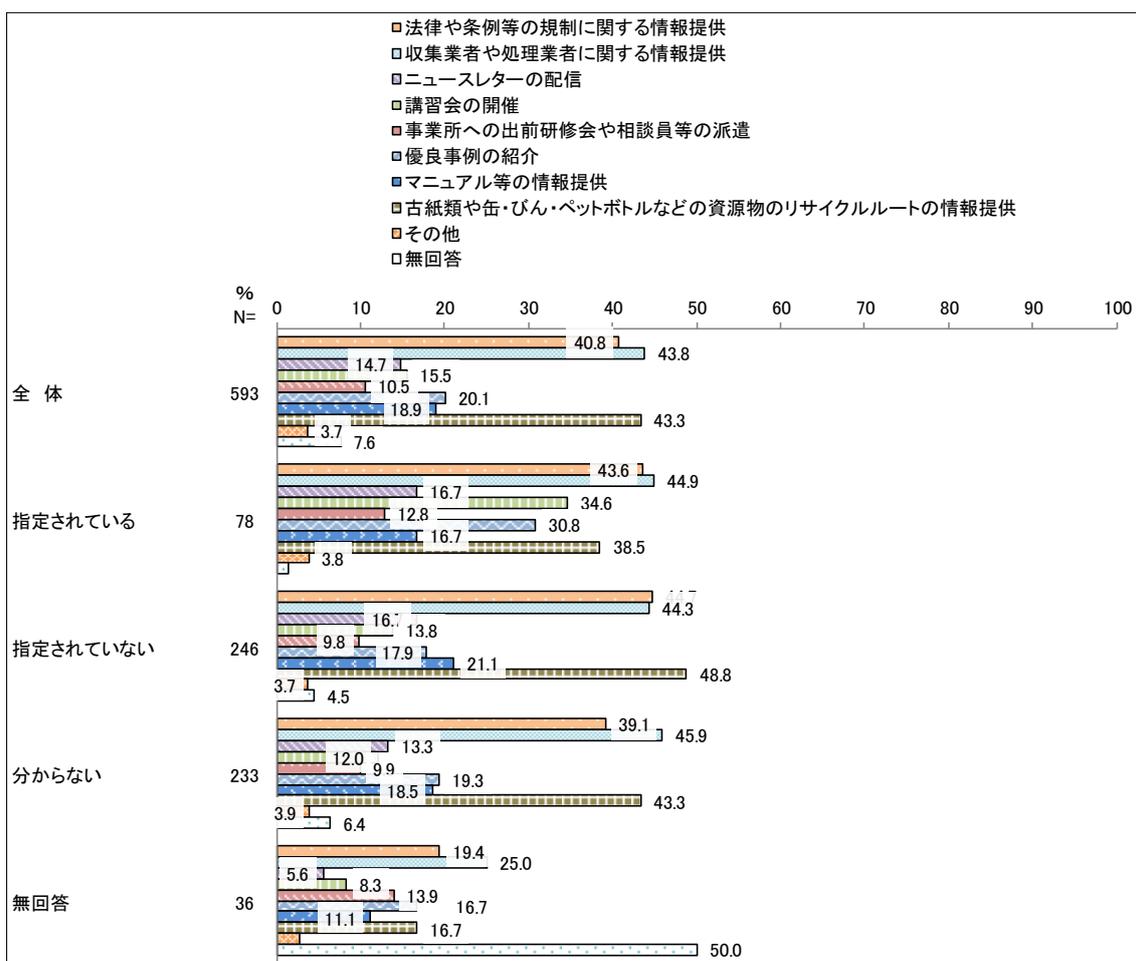


図 市に求める周知施策

○ 大規模指定事業所別にみると、指定されている事業所では「講習会の開催」や「優良事例の紹介」が比較的高く、ごみ処理への意識に応じた行政施策が求められている。

	全体	法律や条例等の規制に関する情報提供	収集業者や処理業者に関する情報提供	ニュースレターの配信	講習会の開催	事業所への出前研修会や相談員等の派遣	優良事例の紹介	マニュアル等の情報提供	古紙類や缶・びん・ペットボトルなどの資源物のリサイクルルートの情報提供	その他	無回答	合計回答数
全体	593	242 (40.8%)	260 (43.8%)	87 (14.7%)	92 (15.5%)	62 (10.5%)	119 (20.1%)	112 (18.9%)	257 (43.3%)	22 (3.7%)	45 (7.6%)	1,298
事業用大規模建築物に指定されている	78	34 (43.6%)	35 (44.9%)	13 (16.7%)	27 (34.6%)	10 (12.8%)	24 (30.8%)	13 (16.7%)	30 (38.5%)	3 (3.8%)	1 (1.3%)	190
事業用大規模建築物に指定されていない	246	110 (44.7%)	109 (44.3%)	41 (16.7%)	34 (13.8%)	24 (9.8%)	44 (17.9%)	52 (21.1%)	120 (48.8%)	9 (3.7%)	11 (4.5%)	554
分からない	233	91 (39.1%)	107 (45.9%)	31 (13.3%)	28 (12.0%)	23 (9.9%)	45 (19.3%)	43 (18.5%)	101 (43.3%)	9 (3.9%)	15 (6.4%)	493
無回答	36	7 (19.4%)	9 (25.0%)	2 (5.6%)	3 (8.3%)	5 (13.9%)	6 (16.7%)	4 (11.1%)	6 (16.7%)	1 (2.8%)	18 (50.0%)	61



#### (4) その他導入してほしい施策（複数回答）

- 市に導入してほしい施策については、市全体でみると「事業所向けの分別ボックス購入への補助金制度」が47.4%と最も高く、次いで「ごみ減量に関する情報誌の発行」が36.1%となっており、市から積極的な働きかけが求められている。

	全体	事業所向けの分別ボックス購入への補助金制度	ごみ減量・リサイクルに積極的に取り組む事業者の表彰制度	商店街などを対象とした、事業者とごみ収集業者が参加するごみ減量のための話し合いの場（ワークショップなど）の設置	市の清掃工場でのリサイクル可能物の搬入規制	ごみ減量に関する情報誌の発行	その他	無回答	合計回答数
全体	593	281 (47.4%)	100 (16.9%)	21 (3.5%)	98 (16.5%)	214 (36.1%)	16 (2.7%)	78 (13.2%)	808
農業、林業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	37	19 (51.4%)	3 (8.1%)	-	7 (18.9%)	15 (40.5%)	1 (2.7%)	4 (10.8%)	49
製造業	107	49 (45.8%)	25 (23.4%)	1 (0.9%)	16 (15.0%)	44 (41.1%)	1 (0.9%)	8 (7.5%)	144
電気・ガス・熱供給・水道業	7	4 (57.1%)	4 (57.1%)	-	-	3 (42.9%)	-	-	11
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業、郵便業	29	13 (44.8%)	7 (24.1%)	-	7 (24.1%)	9 (31.0%)	-	3 (10.3%)	39
卸売業、小売業	73	32 (43.8%)	10 (13.7%)	4 (5.5%)	13 (17.8%)	21 (28.8%)	2 (2.7%)	16 (21.9%)	98
金融、保険業	8	3 (37.5%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	-	12
不動産業、物品賃貸業	13	7 (53.8%)	4 (30.8%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	4 (30.8%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	19
学術研究、専門・技術サービス業	9	4 (44.4%)	1 (11.1%)	-	1 (11.1%)	5 (55.6%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	13
宿泊業、飲食サービス業	24	15 (62.5%)	5 (20.8%)	-	2 (8.3%)	10 (41.7%)	-	3 (12.5%)	35
生活関連サービス業、娯楽業	3	1 (33.3%)	-	-	-	1 (33.3%)	-	1 (33.3%)	3
教育、学習支援業	22	11 (50.0%)	4 (18.2%)	-	4 (18.2%)	8 (36.4%)	-	2 (9.1%)	29
医療、福祉	122	65 (53.3%)	18 (14.8%)	6 (4.9%)	22 (18.0%)	49 (40.2%)	5 (4.1%)	9 (7.4%)	174
複合サービス業	1	-	1 (100.0%)	-	-	-	-	-	1
サービス業	49	20 (40.8%)	4 (8.2%)	-	8 (16.3%)	17 (34.7%)	3 (6.1%)	7 (14.3%)	59
その他	42	18 (42.9%)	4 (9.5%)	3 (7.1%)	6 (14.3%)	12 (28.6%)	1 (2.4%)	8 (19.0%)	52
無回答	47	20 (42.6%)	8 (17.0%)	4 (8.5%)	10 (21.3%)	13 (27.7%)	-	15 (31.9%)	70

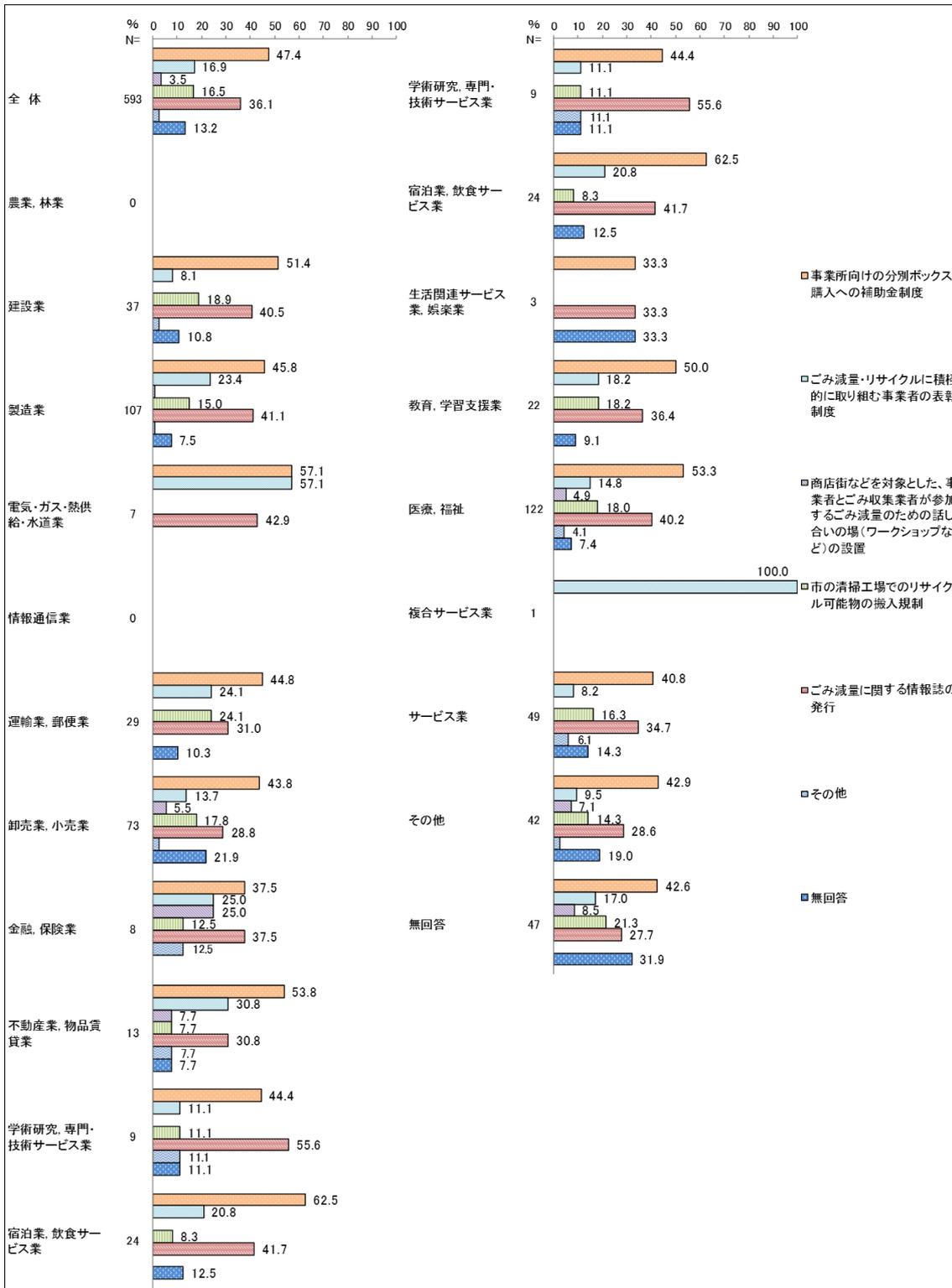
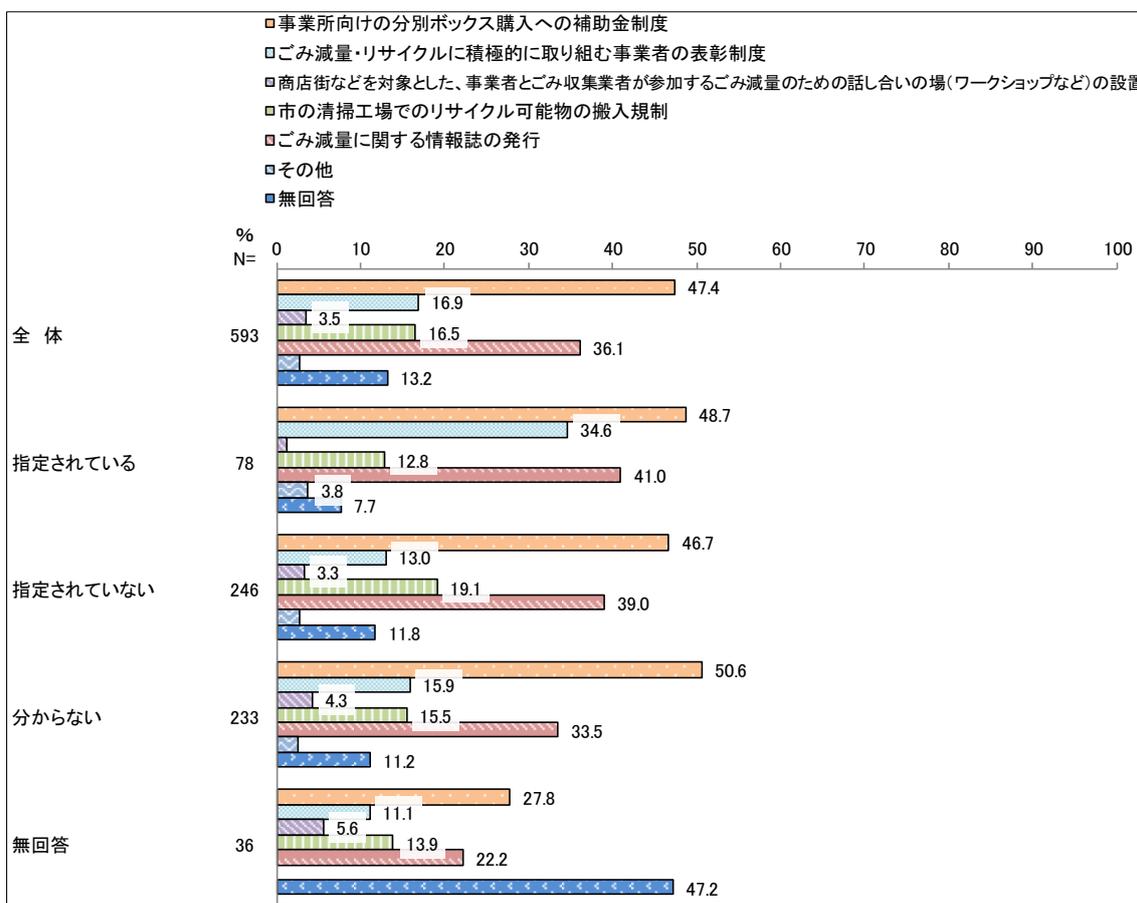


図 その他導入してほしい施策

- 大規模指定事業所別にみると、指定されている事業所では「ごみ減量・リサイクルに積極的に取り組む事業者の表彰制度」が34.6%と指定されていない事業所と比べて高くなっている。

	全体	事業所向けの分別ボックス購入への補助金制度	ごみ減量・リサイクルに積極的に取り組む事業者の表彰制度	商店街などを対象とした、事業者とごみ収集業者が参加するごみ減量のための話し合いの場(ワークショップなど)の設置	市の清掃工場でのリサイクル可能物の搬入規制	ごみ減量に関する情報誌の発行	その他	無回答	合計回答数
全体	593	281 (47.4%)	100 (16.9%)	21 (3.5%)	98 (16.5%)	214 (36.1%)	16 (2.7%)	78 (13.2%)	808
事業用大規模建築物に指定されている	78	38 (48.7%)	27 (34.6%)	1 (1.3%)	10 (12.8%)	32 (41.0%)	3 (3.8%)	6 (7.7%)	117
事業用大規模建築物に指定されていない	246	115 (46.7%)	32 (13.0%)	8 (3.3%)	47 (19.1%)	96 (39.0%)	7 (2.8%)	29 (11.8%)	334
分からない	233	118 (50.6%)	37 (15.9%)	10 (4.3%)	36 (15.5%)	78 (33.5%)	6 (2.6%)	26 (11.2%)	311
無回答	36	10 (27.8%)	4 (11.1%)	2 (5.6%)	5 (13.9%)	8 (22.2%)	-	17 (47.2%)	46



(5) 今後のごみ行政に求めることは？（自由意見）

番号	意見
1	リサイクルで費用の負担減情報、もしくは利益になるリサイクル業者情報等の発信、事業の設立。
2	ボタン電池の回収。スプレー缶の穴をあけない回収を行政でできませんか。不法投棄対策として必要です。
3	これまで引き取ってもらっていた処理業者から、引き取りを断られることが多くなり困っています。故障した機械の部品やフィルム等 0.5 m <sup>3</sup> 以下の産業廃棄物（一部台風被害物）等の処理方法を教えてください。
4	道路等にポイ捨てごみをなんとかしてもらおうことはできないですか。もっと一人一人、気を付けてもらう宣伝とかをしてほしいです。
5	水銀含有廃棄規制で許可業者を探すため苦労した。現在、他府県の業者・処理業も許可業者他府県で費用がかかっています。規制する前に、体制を先に整備してほしいです。
6	資源ごみについての分類は、分類ボックスなどを事業者置き、見える化をやっていけば推進できると思います。また、毎日（月曜～土曜）回収してもらっていますが、分別にごみの回収をする日を決めてもらえば協力できます。今は、空き缶、空き瓶しかやっていないので、ペットボトルやプラスチックはやればできると思います。
7	回収業者に一任しているので特にありません。ただ、分別するという手間に対して、何の見返り（メリット）も無く、分別しないとどういった弊害（デメリット）がある、という説明も無く、分別しろといっても理解は難しいと思います。
8	ガレージ関係でこのようなアンケートは不要です。
9	3事業所がそれぞれ小規模なので、1フロアに入居しています。共に設計業務のため、紙がどうしても多くなります。
10	他市等のように、一般家庭のごみ袋を有料化することで、もう少しごみが減るのではないかと思います。
11	店と住居が一緒で、事業所のごみというだけではありません。生活ごみがほとんどです。
12	自然災害（直近では台風 21 号）で発生した会社敷地内のごみなど、倒木の処理は行政経費で行ってほしいです。
13	当社から発生する廃プラスチックごみ（廃棄）について、中国の輸入規制等の社会情勢の変化により、引き受けもらえる産廃処理業者がいません。現在は、少ロットずつ業者を変えて処理委託を行っていますが、先行きが不透明であり、自社処理等も視野に検討を進め、かつ行政からの支援を期待します。
14	ボタン電池やスプレー缶のガス抜かずの回収を行政でできませんか。
15	ごみの分別をしていますが、収集業者はすべて一緒に混ぜて収集されています。せっかく分別しても無意味のように感じます。収集業者への分別教育が必要ではないかと思います。
16	当社は段ボールが少し多い程度で、ごみそのものが少ないです。現状、特に求めることはありません。

番号	意見
	ん。
17	マンション等に事務所を構え、1人で経営をしている法人に適したごみの処理方法があれば嬉しいです。家庭ごみの半分もごみがないのに関わらず、1回につき1,100円というのはごみが少ないと高いですし、毎回面倒だと感じています。ルールなので仕方がないですが、小さな事務所に適した特例があってもいいと思います。あとは、回収制度が自ら搬入する際と同じ料金であれば、ごみが少ない小さな事務所にとっても、それほど高く感じないように思います。
18	コンサルティング会社なので、シュレッダー後の紙くずがほとんどです。
19	本社は堺ですが、実際は別のところでごみを出しているの、回答が難しいです。事務所系のごみ出し、産廃の手続きは市にしているの、答えるのが困難です。
20	近い将来、ごみが無くなるようなシステムを作ればと思います。例えば、スーパー、小売店にごみを引き受けていただくとか、家で溜まったごみをどこかに中継して引き受けていただくシステムを作るなど。
21	幼児教育から見直す。
22	従業員は各家庭で分別をしているはずですので、分別に対してさほど抵抗はないかと思います。あとは家庭ごみの収集のように、○曜日は缶・ペットボトル、○曜日はプラスチック、○曜日は小型金属と、曜日ごとにきちんと収集すれば分別は進むかと思います。企業(産業)の収集の仕方と、家庭との違いがなぜあるのかとても不思議です。なぜ料金を支払っているのに、それができないのでしょうか。
23	回収し燃やしても「リサイクル」の中に入れ、数字をごまかしているのは事実ですか。古紙やコピー用紙等のごみを回収しリサイクルした場合、どう考えても経済的に成立しないのではないのでしょうか。(ペットボトル含む)
24	堺市は分別回収しているが、実際の処理についてはすべて同じ形で焼却していると市民のほとんどが思っているため、「分別しても無駄」と言われています。そのため、分別回収が進んでいません。
25	会計事務所なので、シュレッダー後の紙くずがほとんどです。
26	リサイクルが実際、どの程度実施されて、どのような効果、影響等があるのかが具体的に見える化されていけば、もう少し全体としても協力しやすくなって、協力する人も事務所も増えて、良い方向に進んでいくのではないのでしょうか。
27	各企業が販売している物品のプラと紙を使った包装について、減量や既定の重量を定めて販売すると、助成金が企業に入る等、取り組んだ見返りがあると取り組みやすいのではないかと思います。(難しいのですが)
28	ごみ減量に関する成功事案をご教示いただきたいです。
29	アンケートが多いです。報告書だけにしてください。
30	ごみ再生を含む、回収できる会社をお願いします。段ボール、紙、プラスチック、不燃、全部分けますので回収しに来ていただけたら助かります。

番号	意見
31	当社は生損保代理店で小規模ですので、家庭用ごみとしてもほんの少量で特に機密文書もありませんので、今後ご送付は遠慮します。とても手間取りますので迷惑です。今後外してください。とてもご参考にはならない小規模ですので、今後のアンケートを辞退させていただきます。
32	適宜、情報共有してほしいです。
33	2～3人の事業所なので、あまりアンケートのお役にたちません。
34	ごみのリサイクルの推進。一般廃棄物だけでなく、産業廃棄物の情報についても提供していただきたいです。(サービス業では、同じ廃棄物という認識が強いため)
35	古紙等に関して、当方は医療機関であり個人のプライバシーに関する書類も多く、情報漏洩防止の点でリサイクル不可です。生ごみは、食事が多過ぎて(毎日1,400～1,500食)大量にストックしておけません。その辺、業種ごとにきめ細かい対応をしていただきたいです。
36	一般廃棄物、産業廃棄物、特別産業廃棄物の区分をしっかりと理解できるよう、事業所への指導、およびリサイクル、適切な処理ができるよう指導を求めます。
37	生ごみおよびプラスチックごみは、コンビニ利用する従業員の数によって、増減するので管理できません。また、店舗周りに落ちているごみもコンビニ関連の物が多く、減らすことは難しいです。蛍光灯等が産業廃棄物になり、処分がしにくい。市役所で個人の物は受け取るが、事業所は産業廃棄物で依頼するため、都度依頼する訳にもいかず、処分に時間がかかります。
38	一般家庭ごみ等について、収集場所の確保・清潔な管理に努めてほしいです。
39	本来の仕事が人手不足等で多忙につき、本件に取り組むのはおろそかになりがちです。

### Ⅲ. 事業所意識調査結果考察

#### 1. ごみの排出と処理、リサイクル状況について

- 「第三次堺市一般廃棄物処理基本計画」について、事業所は市民よりは認知度が高いものの大規模指定事業所以外での認知度は低く、より一層の周知が必要と思われる。
- ごみの排出量や分別、処理方法について、排出量や処理費用の把握では、大規模指定事業所では把握している割合が9割近くを占めているものの、それ以外の事業所では5割、6割と少なくなっており、現状の把握から進めていく必要があると思われる。
- また、現状の把握ができていない要因の一つとして、ごみ処理費用では「月極め（量や大きさによらない）」の割合が高く、また費用の負担感については「妥当」と考えている事業所の割合が高いことから、ごみの減量による経済的インセンティブを認識していない状況にあると思われる。
- 事業系一般廃棄物として排出されるごみの種類では、「紙類」と「生ごみ」、「プラスチック製容器包装」などが高くなっている。事業系一般廃棄物を分別して排出している事業所は8割以上を占めていることから、品目別の資源化が可能な排出実態にあると思われる。
- 反面、分別排出しているごみの処理方法は「民間ごみ収集業者へ収集を委託」の割合が最も高く、事業系ごみの多くが焼却処理されている現状にあると推測できる。
- なお、分別排出をしない事業所の理由については、「分別しなくても収集してくれる」と回答した割合が高く、収集段階での分別を促進する対策を検討する必要があると思われる。
- 産業廃棄物として処理する必要があるごみを「貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入」や「継続ごみとして市に収集を依頼」と回答している事業所が存在することから、適正に処理するよう周知する必要があると思われる。
- ごみの排出量について5年前と現在の変化は、「変わらない」に次いで「やや増えた」の割合が高く、微増傾向にあると考えられる。ただし、今後のごみの増減予測については「現在の量から変わらないと思う」に次いで「1割程度（若干）は減らせる」の割合が高くなっていることから、今後は減少に転じることも大いに考えられる。

#### 2. ごみ減量・リサイクルについて

- ごみ減量・リサイクルに関する方針について、「定めていない」が6割以上を占めており、大規模指定事業所以外へもごみ減量・リサイクルに関する方針を定めるよう促す必要があると思われる。
- なお、ごみ減量・リサイクルに関する方針等の作成・公表の有無について、そもそも「わからない」としている事業所が多いことから、まずは方針作成の必要性や重要性について認識させていく必要があると思われる。
- ごみ減量の責任者については、「定めていない」が6割以上を占めており、上述と

同様、大規模指定事業所以外へもごみ減量の責任者を定めるよう促す必要があると思われる。

- ごみ減量・リサイクルに関する情報の入手先は、「堺市ホームページ、広報紙、パンフレットなど」の割合が最も高く、行政の発信する情報から入手するとしていた。ただし、宿泊業、飲食サービス業では「特に参考としているものはない」の割合が高く、ごみ減量・リサイクルへの意識の低さがうかがえる。
- ごみ減量・リサイクルに関する研修会等の実施については、大規模指定事業所では実施している割合が高いものの、その他の事業所では比較的实施されていない割合が高く、大規模指定事業所かによって意識の差が大きいことがうかがえる。
- ごみ減量・リサイクルに関する具体的な取組について、大規模指定事業所では「ごみ減量・リサイクルを事業所内に呼びかけている」や「ペーパーレス化を推進している」が約5割ほどであるものの、その他の事業所では「特に取り組んでいない」が最も多く、大規模指定事業所か否かによって意識の差が大きいことがうかがえる。
- 周辺事業所と共同での効率的な収集については、大規模指定事業所においても「共同での効率的な収集方法自体を知らない」とする割合が高く、収集方法自体の周知の必要性があると思われる。
- 地域におけるまちの美化活動等・ごみ減量活動への取組については、事業所周辺の美化運動など「できる範囲で取り組んでいる」と「わからない」の割合が高くなっており、取組状況は事業所によって二極化していることがわかる。

### 3. 市のごみ行政について

- 継続ごみ、許可業者への委託及び直接搬入の3種類の排出方法については、「許可業者への委託」が7割以上と他の方法と比べて認知度が高かった。  
また、その委託費用の中に市の処理施設での処理手数料が含まれているかについては、「知らなかった」が6割近くを占めており、ごみの処理に対する金銭的意識が低い事業者が多いことがわかる。
- 事業系古紙回収協力事業所制度と事業用大規模建築物を所有する事業者への制度について、「知らなかった」がそれぞれ83.3%、69.3%を占めており、より一層の周知が必要と思われる。

### 4. 今後のごみ処理行政について

- 市の清掃工場に搬入されている資源物の分別協力について、『協力したい』とした事業所が8割を超え、また、生ごみのリサイクルについても、『取り組みたい』とした事業所が7割を超えるなど、市の声掛けに対する協力は受けやすいと思われる。
- 市に求める周知施策については、業務に関連するような情報提供の割合が高かった。
- その他導入してほしい施策については、補助金制度の割合が高く、ごみの資源化対応に金銭的なメリットを期待する事業所が多いように思われる。



**ごみの減量化・リサイクル及び適正処理に関する  
市民・事業所意識調査結果報告書**

---

平成 31 年 3 月発行

編集／堺市環境局 環境事業部 環境事業管理課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

TEL:072-228-7478 FAX:072-229-4454

E-mail:kankan@city.sakai.lg.jp

---

行政資料番号: 1-I3-18-0337